

令和3年度厚生労働省
老人保健事業推進費等補助金
(老人保健健康増進等事業分)

テクノロジーを活用した効率的な 人員配置体制に関する調査研究事業 報告書

MRI 三菱総合研究所

令和4(2022)年3月

ヘルスケア&ウェルネス本部

目次

1. 事業概要	2
1.1 本調査研究の目的	2
1.2 介護報酬改定における介護ロボット等の活用の要件	2
1.3 本調査研究の概要	3
2. アンケート調査結果	5
2.1 調査目的	5
2.2 調査対象・方法	5
2.3 調査期間	5
2.4 調査項目	6
2.5 調査結果	7
3. ヒアリング調査結果	205
3.1 調査目的	205
3.2 調査対象・調査方法	205
3.3 調査期間	205
3.4 調査項目	206
3.5 調査結果	207
4. 本調査研究のまとめと課題	225
4.1 本調査研究のまとめ	225
4.2 今後に向けて	226
5. 参考資料	227
5.1 アンケート調査：施設調査票	228
5.2 アンケート調査：職員調査票	240
5.3 ヒアリングシート	242

1. 事業概要

1.1 本調査研究の目的

令和3年度介護報酬改定に関する審議報告において、テクノロジーの活用による①見守り機器等を導入した場合の夜勤職員配置加算の見直し、②見守り機器等を導入した場合の夜間における人員配置基準の緩和、③テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進等の見直しが行なわれた。一方で、テクノロジーを活用した場合の人員基準の緩和等による施行後の状況について把握・検証することとされている。

本調査研究は、テクノロジーを活用して効率的な人員配置を行う介護施設等における、ケアの質の維持・向上や職員の負担軽減に資する先進的な取組について詳細把握を行い、テクノロジー活用によるケアの質や職員の負担への影響を整理し、取りまとめることを目的とした。

1.2 介護報酬改定における介護ロボット等の活用の要件

令和3年度介護報酬改定において、介護ロボット等の活用が要件となっている項目は以下の通りである。

図表 1 介護ロボット等の活用が要件となっている項目

項目	対象サービス	利用するICT機器	加算要件	テクノロジー活用による緩和条件	R3改定内容
見守り機器を導入した場合の夜間における人員配置の緩和	介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、特定施設入居者生活介護、短期入所者生活介護	見守り機器、インカム等のICTの活用	見守り機器が入居者に占める割合10%	最低基準に加えて配置する人員 0.9人	15% ⇒10%
		見守り機器、インカム等のICTの活用	見守り機器が入居者に占める割合100%	<ユニット型の場合> 0.6人 <従来型の場合> ①人員配置基準緩和を適用する場合 0.8人 ②しない場合 0.6人	新設
	介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、特定施設入居者生活介護、短期入所者生活介護	見守り機器、インカム等のICTの活用	全床に見守り機器を使用している 夜勤職員全員がインカム等のICTを使用している	人員配置基準の緩和	新設
テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進	介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、特定施設入居者生活介護、短期入所者生活介護	テクノロジーを活用した複数の機器(見守り機器、インカム、記録ソフト等のICT、移乗支援機器)	テクノロジーを活用した複数の機器(見守り機器、インカム、記録ソフト等のICT、移乗支援機器)を活用し、利用者に対するケアのアセスメント評価や人員体制の見直しをPDCAサイクルによって継続して行う	日常生活継続支援加算及び介護付きホームの入居継続支援加算の介護福祉士の配置要件を緩和	6:1 ⇒7:1
会議者多職種連携におけるICTの活用	全サービス	テレビ電話等	・利用者等が参加せず、医療・介護の関係者のみで実施するものについて、「医療・介護関係事業者における個人情報 の適切な取扱いのためのガイドランス」及び「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等を参考にして、テレビ電話等を活用しての実施を認める。 ・利用者等が参加して実施するものについて、上記に加えて、利用者等の同意を得た上で、テレビ電話等を活用しての実施を認める。		新設

1.3 本調査研究の概要

1.3.1 検討委員会の設置・開催

学識者・有識者から構成する会議体を設置し、介護施設等における、介護ロボットをはじめとしたテクノロジーの活用に関する検討を行った。なお、検討委員会のメンバーはロボット技術分野等に関する有識者、施設介護・居宅介護の現場、関連団体の関係者等 9 名とし、3回開催した。

図表 2 検討委員会 委員（敬称略、50 音順）※所属は令和4年3月時点

役職	氏名	所属・役職
委員長	本田 幸夫	東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター 特任研究員(プロジェクト コーディネータ)
委員	飯島 節	筑波大学 名誉教授 医療法人財団秀行会 介護老人保健施設ミレニウム桜台 施設長
	五島 清国	公益財団法人テクノエイド協会 企画部長
	小林 卓人	一般社団法人全国介護付きホーム協会 副理事
	近藤 和泉	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター センター長
	新田 收	公益社団法人日本理学療法士協会 日本支援工学理学療法学会 理事 東京都立大学 健康福祉学部 名誉教授
	舟田 伸司	公益社団法人日本介護福祉士会 一般社団法人富山県介護福祉士会 会長
	山田 一久	公益社団法人全国老人福祉施設協議会 ロボット・ICT 推進委員会 副委員長
	渡邊 慎一	社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長 一般社団法人日本作業療法士協会 生活環境支援推進室 副室長

図表 3 検討委員会の開催時期と課題

回	時期	主な議題
第1回	令和3年8月30日(月) 15:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査概要について ● 調査実施方法・調査票について ● その他
第2回	令和3年12月20日(月) 15:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート調査結果(速報)について ● ヒアリング調査について ● その他
第3回	令和4年3月16日(水) 15:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書案について

1.3.2 アンケート調査の実施

介護ロボットを導入していると想定される施設・事業所 2,368 施設・事業所に対して、郵送によりアンケート調査を行った。

1.3.3 ヒアリング調査の実施

上記アンケート調査で回答があった施設・事業所のうち、テクノロジー活用を通じて令和3年度の介護報酬改定に関連した人員配置をしている施設・事業所 6 施設に対し、令和3年度介護報酬改定に沿った人員変更にかかる先進的な事例や効果の詳細をヒアリング調査で把握した。

2. アンケート調査結果

2.1 調査目的

令和3年度介護報酬改定に沿った人員配置変更状況の把握を目的に、介護ロボットを導入している施設、介護ロボットを導入している施設の職員に対してアンケート調査を行った。

2.2 調査対象・方法

施設については、地域医療介護総合確保基金等を活用して介護ロボットを導入した施設や、自治体等から該当施設に関する情報を収集したうえで調査対象とした。

職員については、調査対象となった施設において、介護ロボットを主導的に扱う職員を施設判断で3名まで選定いただいて、調査対象とした。

図表 4 調査票種別と記入者

調査票種別	記入者
施設調査票	・貴施設・事業所の管理者の方(事業所全般について回答できる方) ・貴施設・事業所が活用する介護ロボット導入・管理担当者の方
職員調査票	・貴施設・事業所において介護ロボットを日ごろから活用する職員の方(3名)

図表 5 アンケート対象数

調査対象	発送件数
介護ロボットを導入している施設	2,368 件
介護ロボットを導入している施設の職員	7,104 件 (各施設に 3 通送付)

2.3 調査期間

アンケート調査期間は、令和3年 11 月8日～12 月3日(督促後最終締切)であった。

2.4 調査項目

各調査対象の調査項目は、次の表の通りである。

図表 6 アンケート項目

対象	アンケート項目
介護ロボットを導入している施設（施設調査票）	<p><施設の基本情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開設種別、事業所番号、施設形態、開設年度 ● 施設の定員数、入所者数 ● 施設の職員数 ● 加算算定状況 <p><介護ロボット等の機器の活用状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボットの導入概況 <p><介護ロボット等に関する組織的な取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全かつ有効活用するための委員会の状況 ● 継続的に実施する教育・研修等の状況 ● 介護ロボット導入をきっかけとする利用者及び自施設に関するデータ分析内容 ● 介護ロボット等の安全な運用 <p><職員の変化、利用者の変化について></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更について ● 職員の行動や意識が変化について ● 利用者の行動等の変化について <p><「見守り機器等を導入した場合の夜勤職員配置加算の見直し」について></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 見直し後の夜勤配置加算算定について ● 「夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準」の緩和について <p><「見守り機器等を導入した場合の夜間における人員配置基準の緩和」について></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 見直しの後の基準での算定について ● 要件緩和を実務に展開するにあたっての課題について <p><「テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進」について></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基準緩和の要件について ● 要件緩和を実務に展開するにあたっての課題について
介護ロボットを導入している施設の職員（職員調査票）	<p><職員概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 性別、年齢階級、職種、役職、経験年数 <p><機器導入によるモチベーションの変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器導入による、仕事のやりがいの変化 ● 機器導入による、職場の活気の変化 <p><機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 勤務状況の変化について ● 行動や意識の変化について ● 「ケアの質」に関する変化について <p><機器導入による利用者の変化></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の行動変化について

2.5 調査結果

本アンケート調査の有効回収率は、施設調査票が24.1%(571件)、職員調査票は19.4%(1,383件)であった。

※以下、台数等に関する項目については、当該設問に回答があった施設のみを集計対象としている。

2.5.1 施設調査票 調査結果

(1) 施設の基本情報

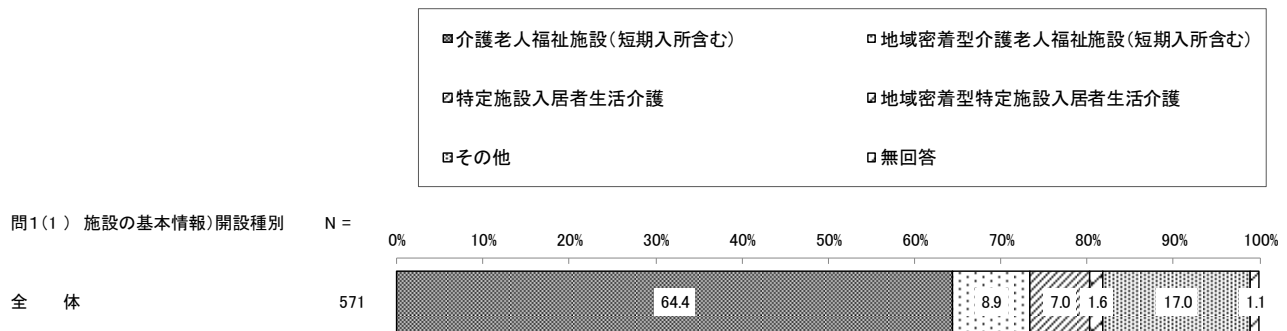
回答施設の基本属性は、次の通りであった。

1) 回答施設の開設種別

回答施設の開設種別は、次の通りであった。

図表 7 回答施設の開設種別(グラフ)

問1(1) 施設の基本情報)開設種別



図表 8 回答施設の開設種別(表)

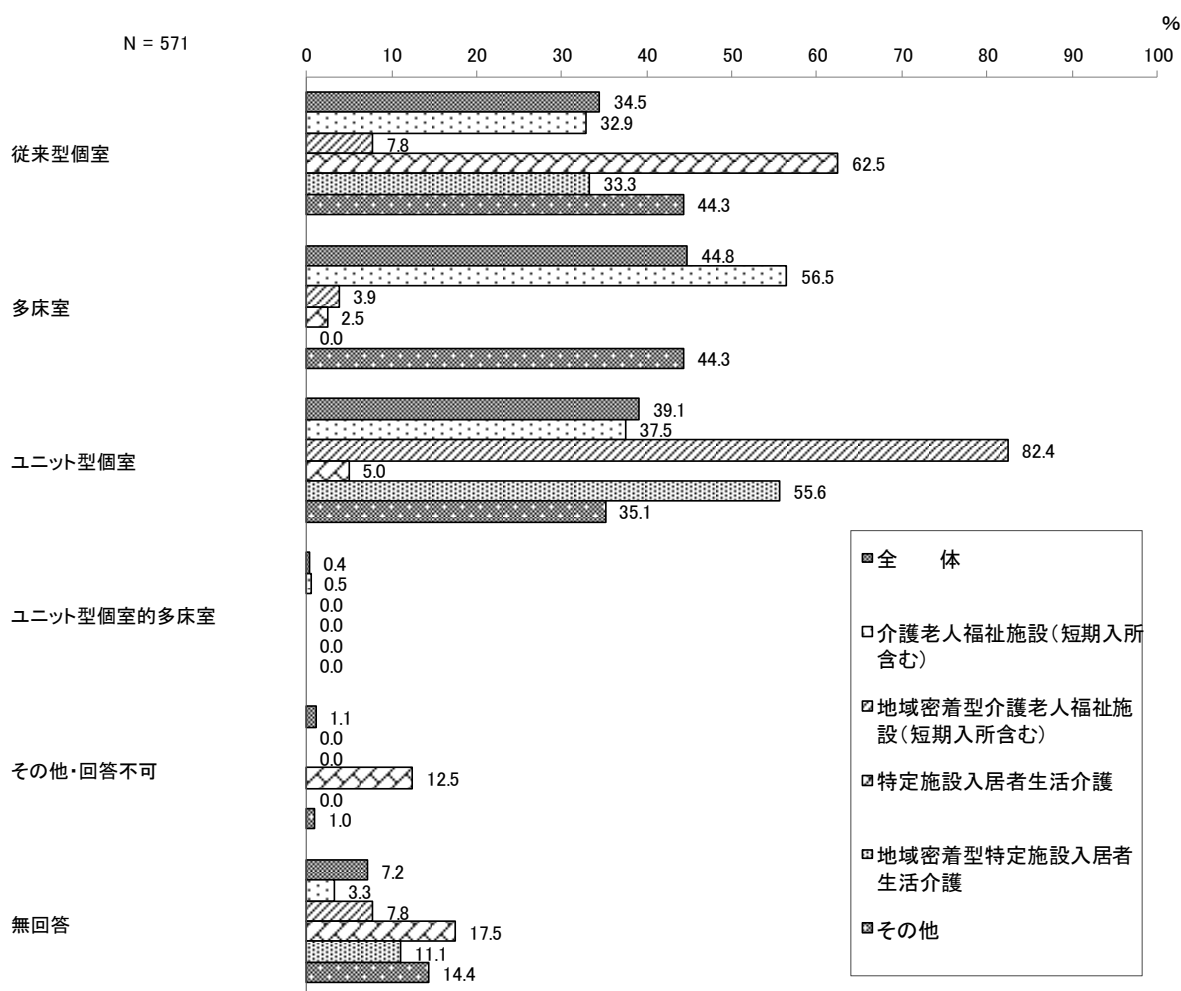
		問1(1) 施設の基本情報)開設種別						
		サンプル数	介護老人福祉施設(短期入所含む)	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	特定施設入居者生活介護	地域密着型特定施設入居者生活介護	その他	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	368	51	40	9	97	6
		100.0	64.4	8.9	7.0	1.6	17.0	1.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	368	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	-	51	-	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	40	-	-	40	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	-	-	9	-	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	
その他	97	-	-	-	-	97	-	
	100.0	-	-	-	-	100.0	-	

2) 回答施設の施設形態

回答施設の施設形態は、次の通りであった。

図表 9 回答施設の施設形態(グラフ)

問1(3) 施設の基本情報)施設形態



図表 10 回答施設の施設形態(表)

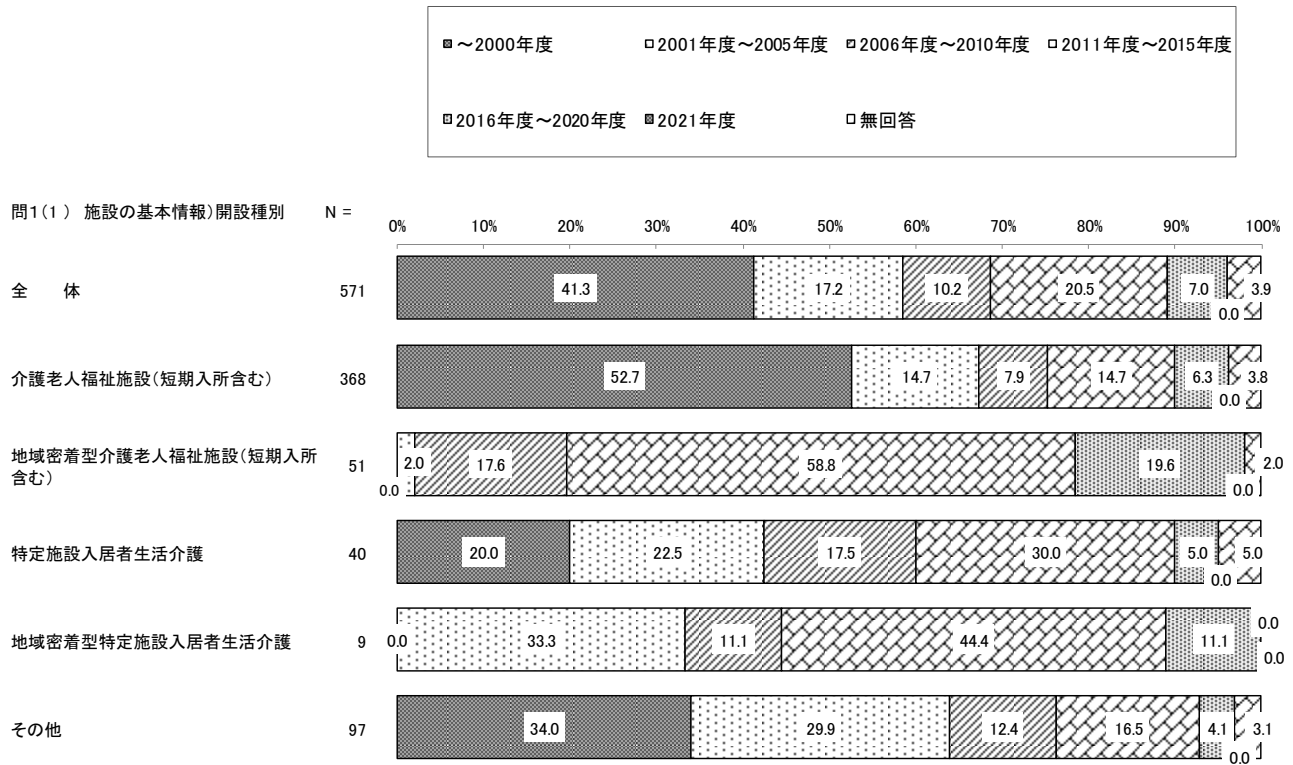
		問1(3) 施設の基本情報)施設形態						
		サンプル数	従来型個室	多床室	ユニット型個室	ユニット型個室的多床室	その他・回答不可	無回答
問1(3) 施設の基本情報)	全体	571	197	256	223	2	6	41
		100.0	34.5	44.8	39.1	0.4	1.1	7.2
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	121	208	138	2	-	12
		100.0	32.9	56.5	37.5	0.5	-	3.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	4	2	42	-	-	4
		100.0	7.8	3.9	82.4	-	-	7.8
	特定施設入居者生活介護	40	25	1	2	-	5	7
	100.0	62.5	2.5	5.0	-	12.5	17.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	3	-	5	-	-	1	
	100.0	33.3	-	55.6	-	-	11.1	
その他	97	43	43	34	-	1	14	
	100.0	44.3	44.3	35.1	-	1.0	14.4	

3) 回答施設の開設年度

回答施設の開設年度は、次の通りであった。

図表 11 回答施設の開設年度(グラフ)

問1(4) 施設の基本情報)開設年度



図表 12 回答施設の開設年度(表)

		問1(4) 施設の基本情報)開設年度							
		サンプル数	~2000年度	2001年度~2005年度	2006年度~2010年度	2011年度~2015年度	2016年度~2020年度	2021年度	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	236	98	58	117	40	-	22
		100.0	41.3	17.2	10.2	20.5	7.0	-	3.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	194	54	29	54	23	-	14
		100.0	52.7	14.7	7.9	14.7	6.3	-	3.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	-	1	9	30	10	-	1
		100.0	-	2.0	17.6	58.8	19.6	-	2.0
	特定施設入居者生活介護	40	8	9	7	12	2	-	2
	100.0	20.0	22.5	17.5	30.0	5.0	-	5.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	3	1	4	1	-	-	
	100.0	-	33.3	11.1	44.4	11.1	-	-	
その他	97	33	29	12	16	4	-	3	
	100.0	34.0	29.9	12.4	16.5	4.1	-	3.1	

4) 回答施設の定員数

回答施設の定員数は、次の通りであった。

図表 13 回答施設の定員数

		問1(5) 施設の基本情報)施設の定員数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	564 100.0	65.67	46.81	9.00	652.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	362 64.2	74.14	29.38	18.00	242.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51 9.0	28.37	7.29	9.00	58.00
	特定施設入居者生活介護	40 7.1	82.90	121.56	15.00	652.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9 1.6	16.44	7.78	9.00	29.00
	その他	97 17.2	52.57	42.58	9.00	162.00

5) 回答施設の入所者数

回答施設の入所者数は、次の通りであった。

図表 14 回答施設の入所者数

		問1(5) 施設の基本情報)施設の入所者数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	546 100.0	61.86	39.02	5.00	447.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	350 64.1	70.97	28.39	10.00	238.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51 9.3	27.39	7.12	5.00	58.00
	特定施設入居者生活介護	40 7.3	70.05	82.82	15.00	447.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9 1.6	16.22	7.58	9.00	29.00
	その他	91 16.7	48.66	38.97	8.00	145.00

6) 回答施設の管理者数

回答施設の管理者数は、次の通りであった。

図表 15 回答施設の管理者数

		問1(6)-1 施設の基本情報)施設の管理者数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	565 100.0	1.15	0.84	1.00	14.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	363 64.2	1.17	1.00	1.00	14.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51 9.0	1.02	0.14	1.00	2.00
	特定施設入居者生活介護	40 7.1	1.00	0.00	1.00	1.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9 1.6	1.11	0.31	1.00	2.00
	その他	97 17.2	1.21	0.55	1.00	5.00

7) 回答施設の介護職員数

回答施設の介護職員数は、次の通りであった。

図表 16 回答施設の介護職員数

		問1(6)-2 施設の基本情報)施設の介護職員数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	552 100.0	31.40	16.47	2.00	111.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	354 64.1	36.59	16.12	6.80	111.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51 9.2	19.10	6.46	6.00	37.00
	特定施設入居者生活介護	39 7.1	24.19	14.27	8.00	73.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9 1.6	13.56	5.74	6.00	25.00
	その他	94 17.0	23.64	14.11	2.00	61.00

8) 回答施設の医療職員数

回答施設の医療職員数は、次の通りであった。

図表 17 回答施設の医療職員数

		問1(6)-3 施設の基本情報)施設の医療職員数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	542 100.0	5.68	4.94	0.00	42.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	355 65.5	5.64	2.67	0.00	21.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51 9.4	2.96	1.48	0.00	8.00
	特定施設入居者生活介護	38 7.0	4.39	3.32	0.00	16.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	8 1.5	0.88	0.78	0.00	2.00
	その他	85 15.7	8.65	10.17	0.00	42.00

9) 回答施設の事務職員数

回答施設の事務職員数は、次の通りであった。

図表 18 回答施設の事務職員数

		問1(6)-4 施設の基本情報)施設の事務職員数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	528 100.0	5.79	7.57	0.00	80.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	352 66.7	6.50	7.00	0.00	60.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	50 9.5	2.68	2.57	0.00	12.00
	特定施設入居者生活介護	37 7.0	5.46	14.05	0.00	80.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	8 1.5	1.00	0.71	0.00	2.00
	その他	78 14.8	5.35	7.61	0.00	37.00

10) 回答施設の職員数合計

回答施設の職員数合計は、次の通りであった。

図表 19 回答施設の職員数合計

		問1(6)計 施設の基本情報)職員数合計				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情報	全 体	518 100.0	44.88	23.47	7.00	170.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	344 66.4	50.02	21.01	8.80	129.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	50 9.7	25.38	7.48	7.00	43.00
	特定施設入居者生活介護	35 6.8	36.50	28.34	11.00	170.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	8 1.5	17.50	5.83	8.00	28.00
	その他	78 15.1	41.57	28.73	8.00	112.00

11) 回答施設の介護職員数のうちの介護福祉士

回答施設の介護職員数のうちの介護福祉士数は、次の通りであった。

図表 20 回答施設の介護職員数のうちの介護福祉士

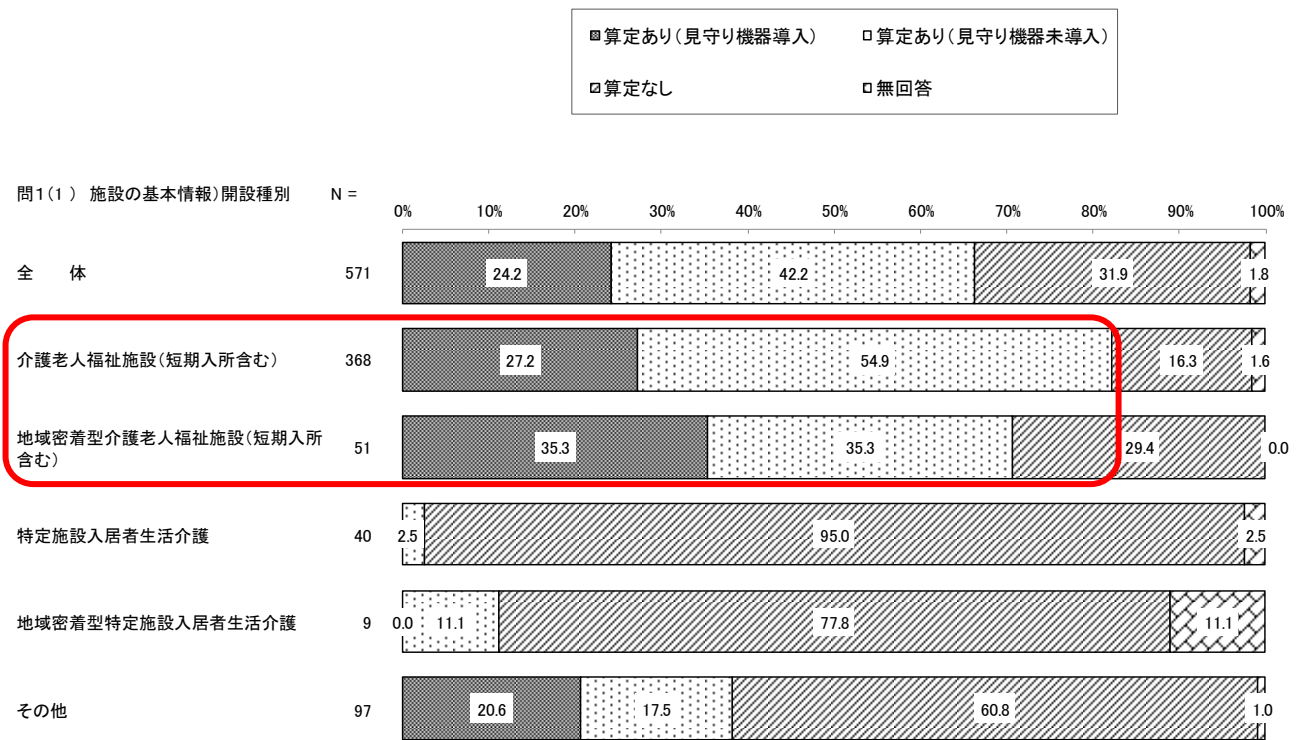
		問1(6)-2 施設の基本情報)介護職員数のうちの介護福祉士				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情報	全 体	538 100.0	19.28	11.21	1.00	70.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	343 63.8	22.56	10.41	2.00	70.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51 9.5	11.45	4.55	3.00	24.00
	特定施設入居者生活介護	38 7.1	12.90	9.85	2.00	55.30
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9 1.7	7.50	5.96	2.00	23.00
	その他	92 17.1	15.46	12.19	1.00	54.00

12) 回答施設の夜勤職員配置加算 算定状況

介護老人福祉施設および地域密着型介護老人福祉施設において、回答施設の過半数が夜勤職員加算を算定していた。

図表 21 回答施設の夜勤職員配置加算 算定状況(グラフ)

問1(7)-1 施設の基本情報)夜勤職員配置加算



図表 22 回答施設の夜勤職員配置加算 算定状況(表)

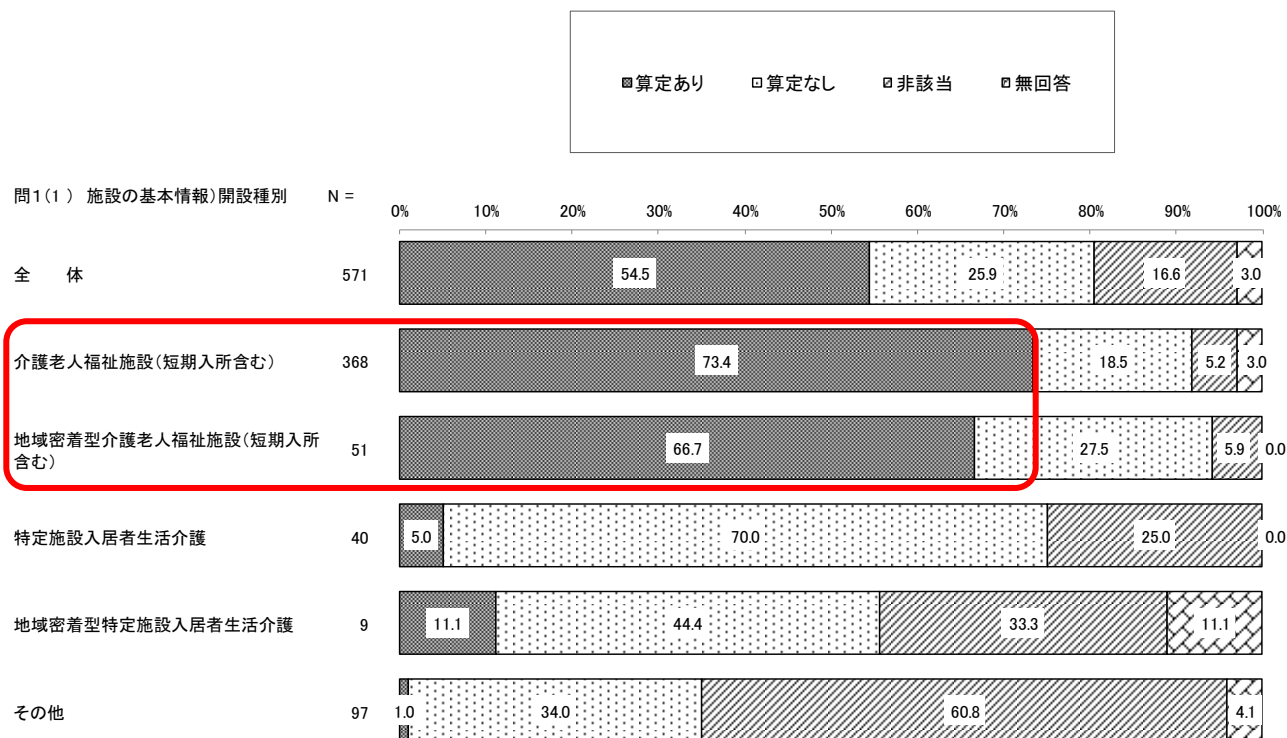
		問1(7)-1 施設の基本情報)夜勤職員配置加算				
		サンプル数	算定あり(見守り機器導入)	算定あり(見守り機器未導入)	算定なし	無回答
問1 (1) 施設の基本情報	全 体	571	138	241	182	10
		100.0	24.2	42.2	31.9	1.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	100	202	60	6
		100.0	27.2	54.9	16.3	1.6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	18	18	15	-
		100.0	35.3	35.3	29.4	-
	特定施設入居者生活介護	40	-	1	38	1
		100.0	-	2.5	95.0	2.5
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	1	7	1	
	100.0	-	11.1	77.8	11.1	
その他	97	20	17	59	1	
	100.0	20.6	17.5	60.8	1.0	

13) 回答施設の日常生活継続支援加算・入居継続支援加算 算定状況

介護老人福祉施設および地域密着型介護老人福祉施設において、回答施設の約7割が日常生活継続支援加算・入居継続支援加算を算定していた。

図表 23 回答施設の日常生活継続支援加算・入居継続支援加算 算定状況(グラフ)

問1(7)-2 施設の基本情報)日常生活継続支援加算・入居継続支援加算



図表 24 回答施設の日常生活継続支援加算・入居継続支援加算 算定状況(表)

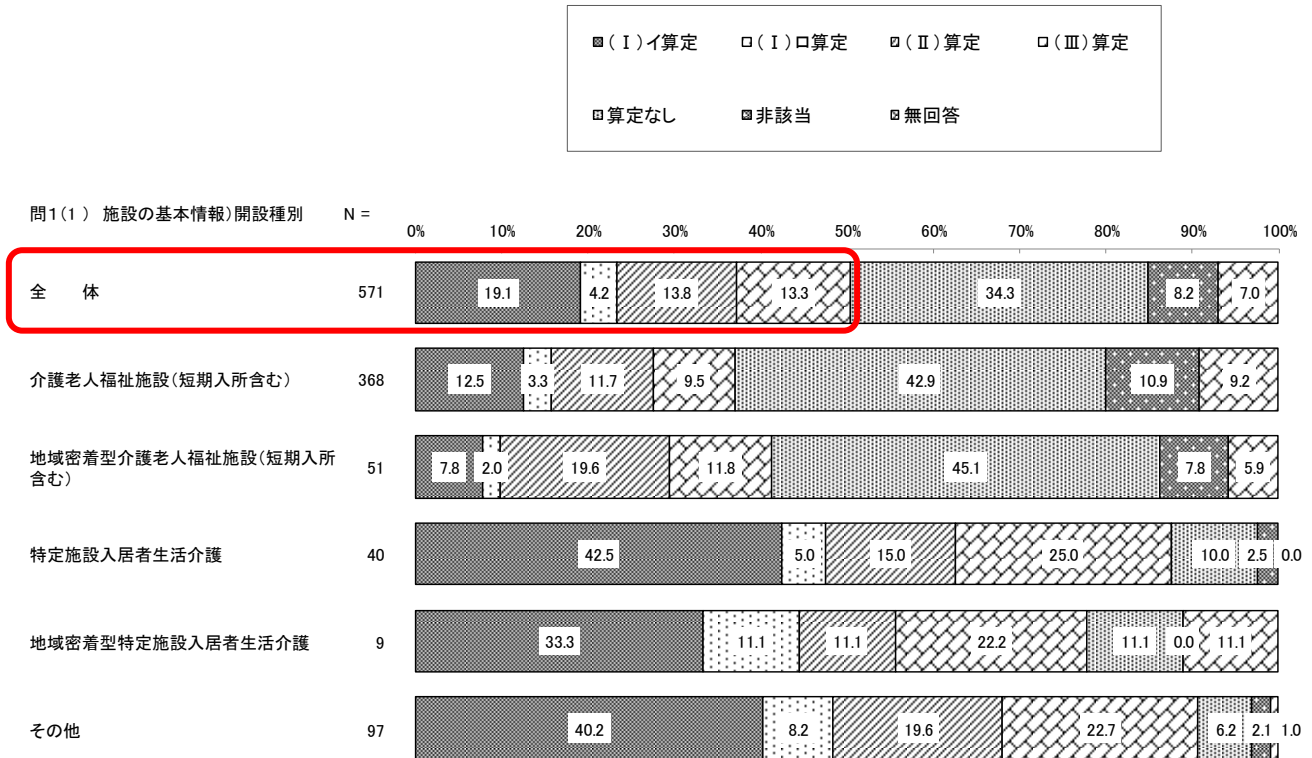
		問1(7)-2 施設の基本情報)日常生活継続支援加算・入居継続支援加算				
		サンプル数	算定あり	算定なし	非該当	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情 報)	全体	571	311	148	95	17
		100.0	54.5	25.9	16.6	3.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	270	68	19	11
		100.0	73.4	18.5	5.2	3.0
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	34	14	3	-
		100.0	66.7	27.5	5.9	-
	特定施設入居者生活介護	40	2	28	10	-
	100.0	5.0	70.0	25.0	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	1	4	3	1	
	100.0	11.1	44.4	33.3	11.1	
その他	97	1	33	59	4	
	100.0	1.0	34.0	60.8	4.1	

14) 回答施設のサービス提供体制強化加算 算定状況

サービス提供体制強化加算については、全体の約 5 割が算定していた。

図表 25 回答施設のサービス提供体制強化加算 算定状況(グラフ)

問1(7)-3 施設の基本情報)サービス提供体制強化加算



図表 26 回答施設のサービス提供体制強化加算 算定状況(表)

		問1(7)-3 施設の基本情報)サービス提供体制強化加算							
		サンプル数	(I)イ算定	(I)ロ算定	(II)算定	(III)算定	算定なし	非該当	無回答
問1(1)施設の基本情報	全 体	571	109	24	79	76	196	47	40
		100.0	19.1	4.2	13.8	13.3	34.3	8.2	7.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	46	12	43	35	158	40	34
		100.0	12.5	3.3	11.7	9.5	42.9	10.9	9.2
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	4	1	10	6	23	4	3
		100.0	7.8	2.0	19.6	11.8	45.1	7.8	5.9
	特定施設入居者生活介護	40	17	2	6	10	4	1	-
		100.0	42.5	5.0	15.0	25.0	10.0	2.5	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	3	1	1	2	1	-	1	
	100.0	33.3	11.1	11.1	22.2	11.1	-	11.1	
その他	97	39	8	19	22	6	2	1	
	100.0	40.2	8.2	19.6	22.7	6.2	2.1	1.0	

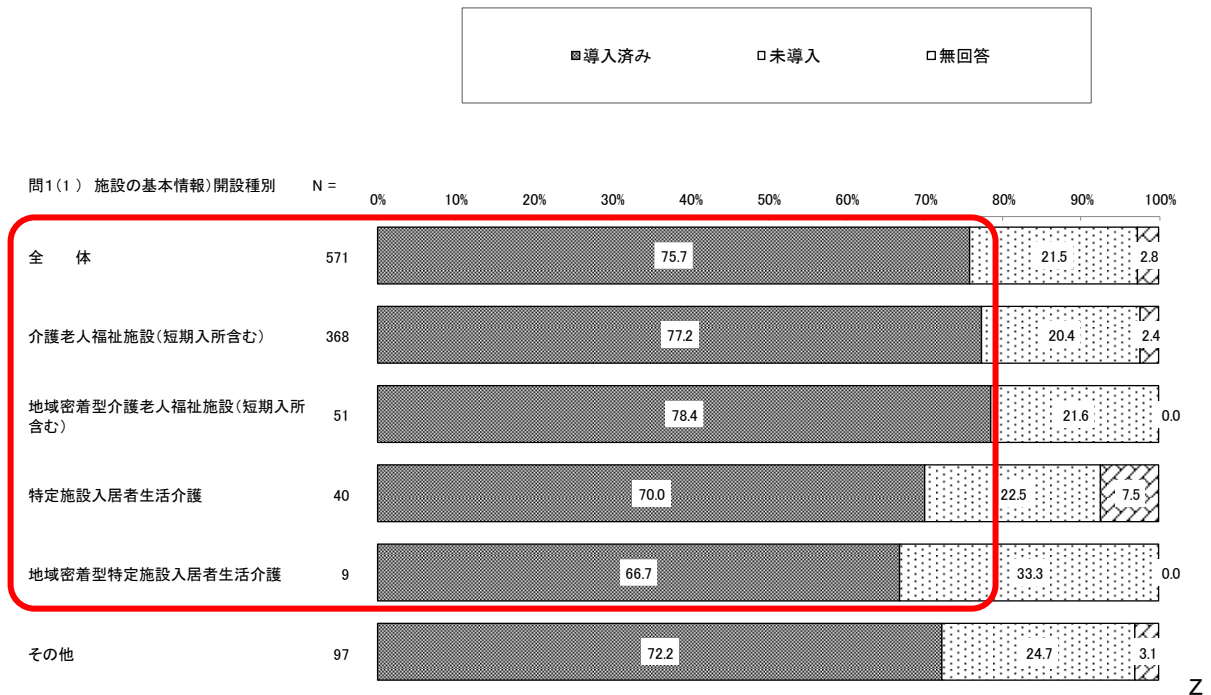
(2) 介護ロボット等の機器の活用状況

1) 介護ロボットの導入概況:見守り機器

回答施設の約7割(66.7~78.4%)が、見守り機器を導入済みであった。

図表 27 見守り機器の導入概況(グラフ)

問2-1① 活用状況)見守り機器



図表 28 見守り機器の導入概況(表)

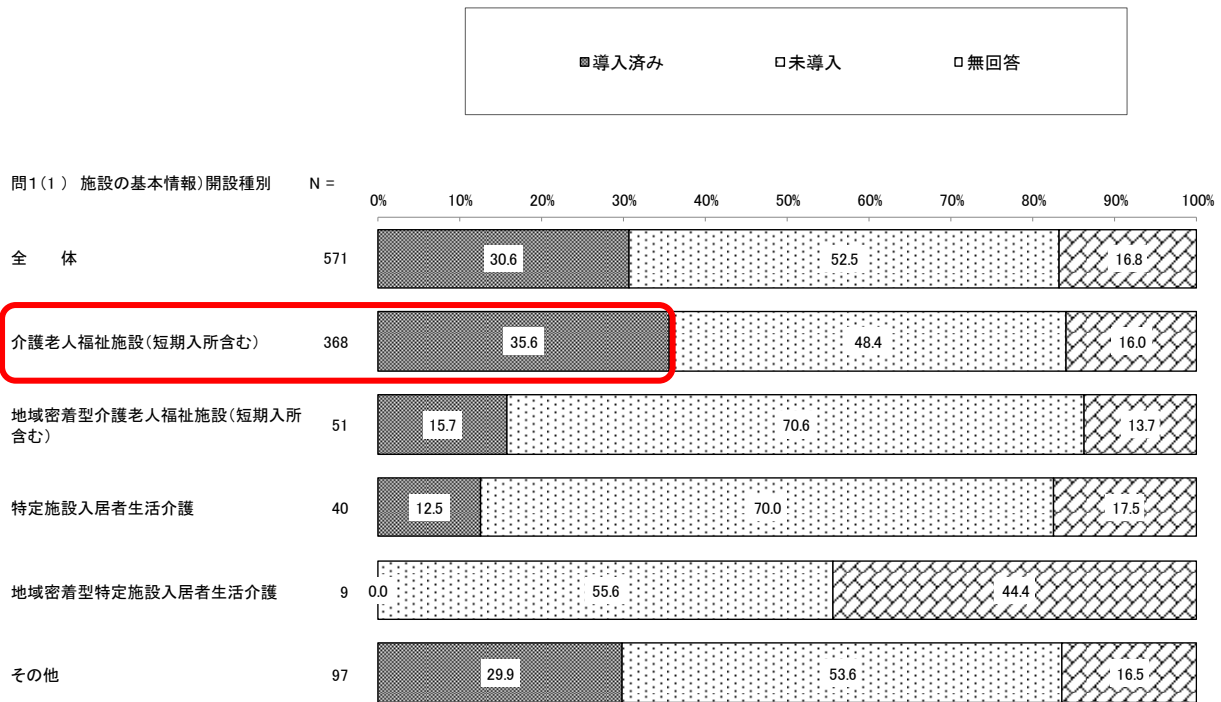
		問2-1① 活用状況)見守り機器			
		サンプル数	導入済み	未導入	無回答
問1 (1) 施設 の 基本 情 報	全体	571	432	123	16
		100.0	75.7	21.5	2.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	284	75	9
		100.0	77.2	20.4	2.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	40	11	-
		100.0	78.4	21.6	-
	特定施設入居者生活介護	40	28	9	3
	100.0	70.0	22.5	7.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	6	3	-	
	100.0	66.7	33.3	-	
その他	97	70	24	3	
	100.0	72.2	24.7	3.1	

2) 介護ロボットの導入概況:移乗支援機器

回答施設のうち、介護老人福祉施設の35.6%が移乗支援機器を導入済みであった。

図表 29 移乗支援機器の導入概況(グラフ)

問2-1② 活用状況)移乗支援機器



図表 30 移乗支援機器の導入概況(表)

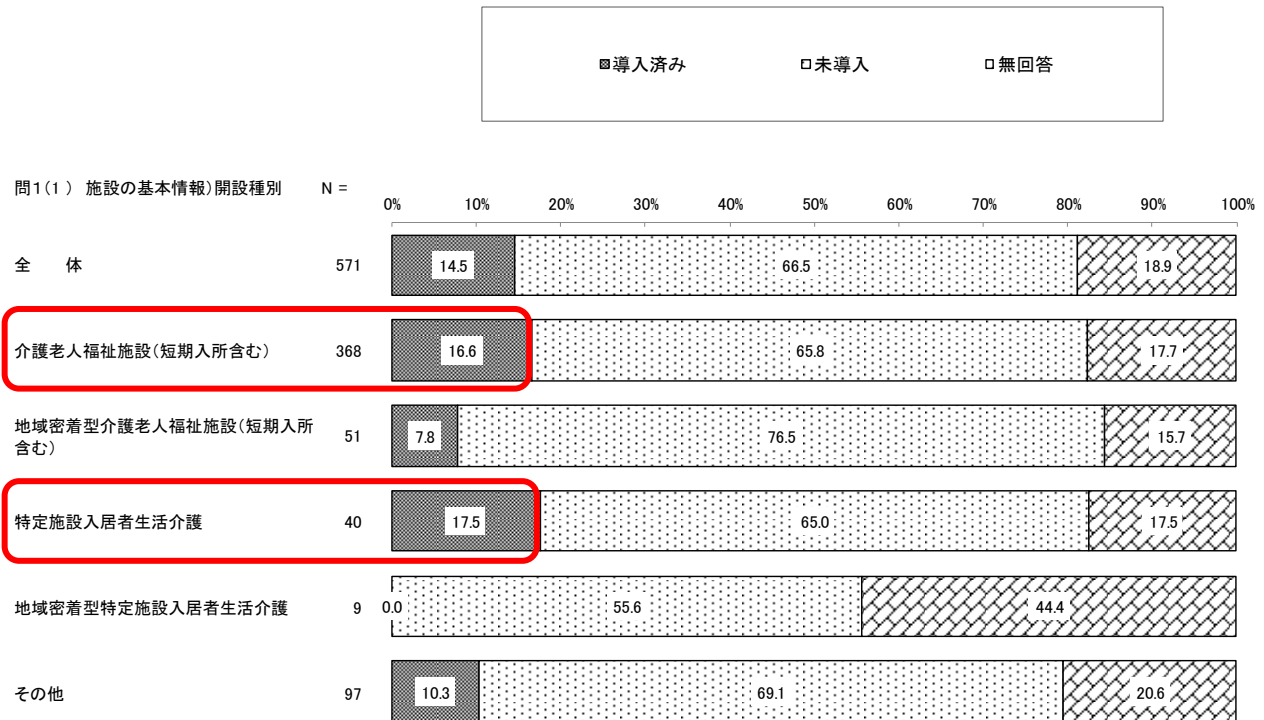
		問2-1② 活用状況)移乗支援機器			
		サンプル数	導入済み	未導入	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	175	300	96
		100.0	30.6	52.5	16.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	131	178	59
		100.0	35.6	48.4	16.0
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	8	36	7
		100.0	15.7	70.6	13.7
	特定施設入居者生活介護	40	5	28	7
	100.0	12.5	70.0	17.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	5	4	
	100.0	-	55.6	44.4	
その他	97	29	52	16	
	100.0	29.9	53.6	16.5	

3) インカムの状況

インカムは、介護老人福祉施設および特定施設入居者生活介護施設の回答施設で17%前後が導入済みであった。

図表 31 インカムの導入概況(グラフ)

問2-1③ 活用状況)インカム



図表 32 インカムの導入概況(表)

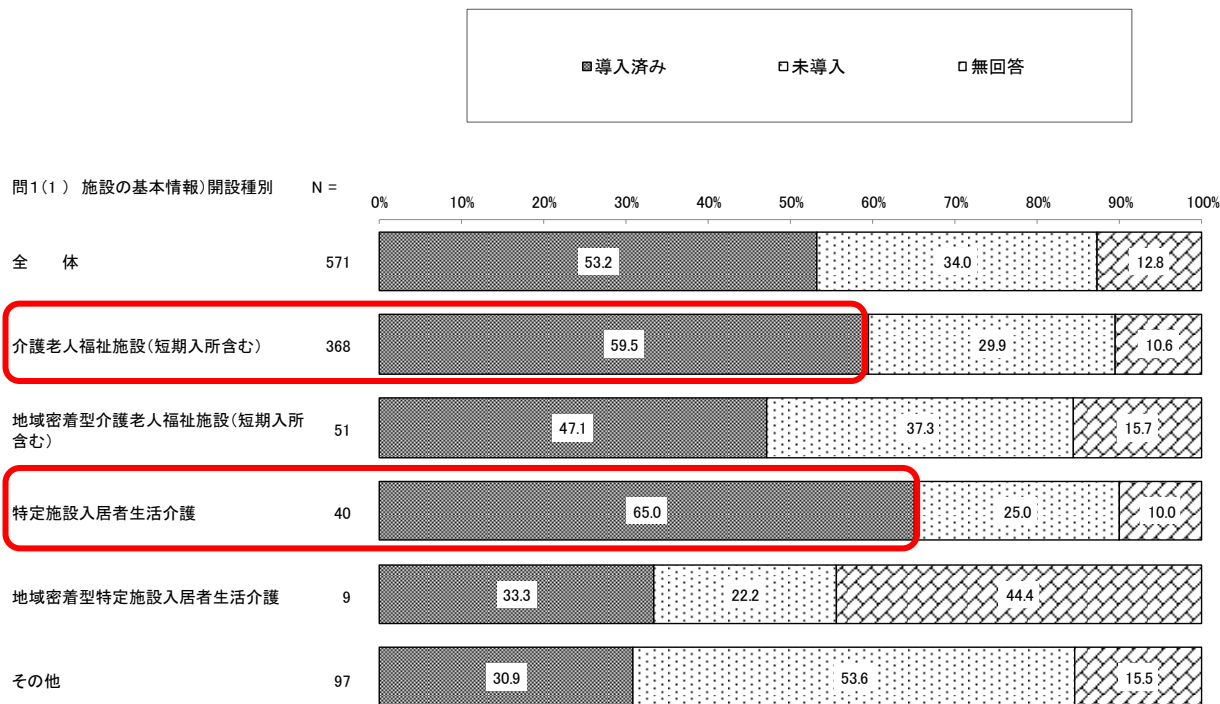
		問2-1③ 活用状況)インカム			
		サンプル数	導入済み	未導入	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	83	380	108
		100.0	14.5	66.5	18.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	61	242	65
		100.0	16.6	65.8	17.7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	4	39	8
		100.0	7.8	76.5	15.7
	特定施設入居者生活介護	40	7	26	7
	100.0	17.5	65.0	17.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	5	4	
	100.0	-	55.6	44.4	
その他	97	10	67	20	
	100.0	10.3	69.1	20.6	

4) 介護記録ソフト(タブレット・スマホ入力方式)の状況

介護記録ソフト(タブレット・スマホ入力方式)は、介護老人福祉施設および特定施設入居者生活介護施設の回答施設で約6割が導入済みであった。

図表 33 介護記録ソフト(タブレット・スマホ入力方式)の導入概況(グラフ)

問2-1④ 活用状況)介護記録ソフト



図表 34 介護記録ソフト(タブレット・スマホ入力方式)の導入概況(表)

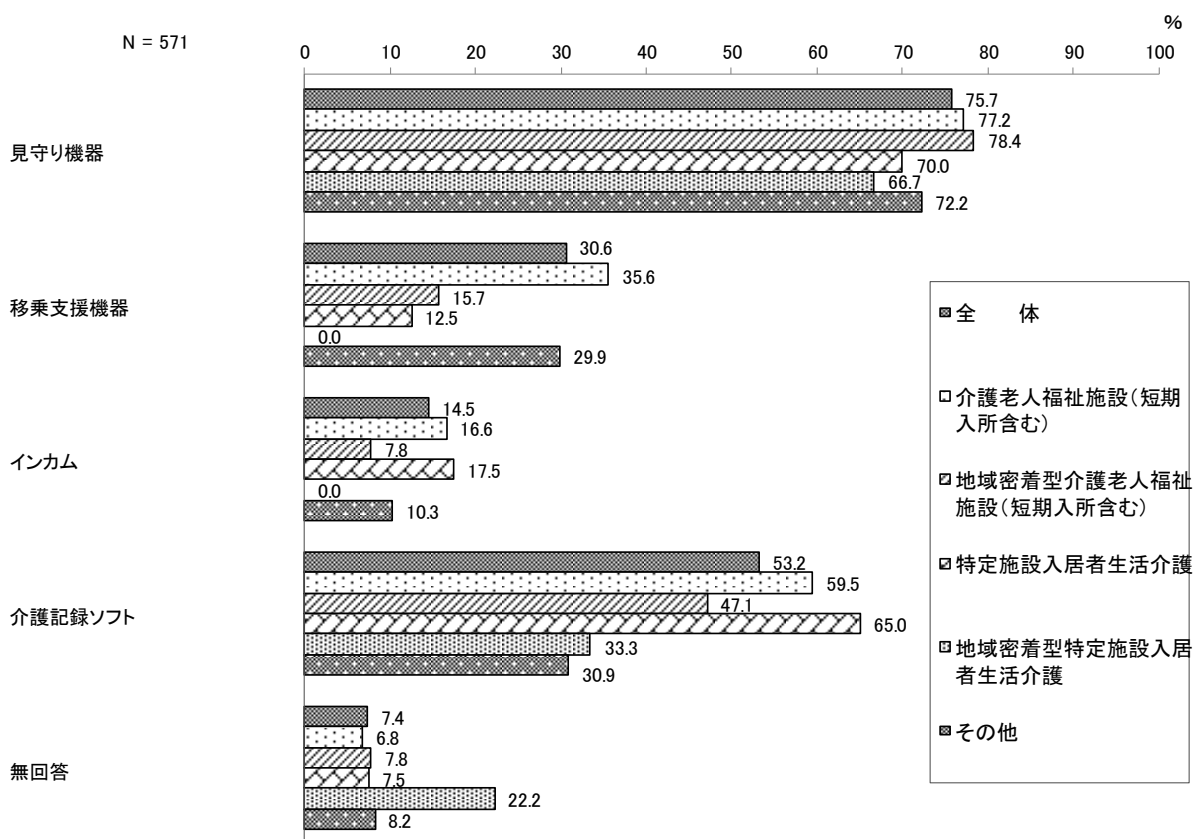
		問2-1④ 活用状況)介護記録ソフト			
		サンプル数	導入済み	未導入	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	304	194	73
		100.0	53.2	34.0	12.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	219	110	39
		100.0	59.5	29.9	10.6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	24	19	8
		100.0	47.1	37.3	15.7
	特定施設入居者生活介護	40	26	10	4
	100.0	65.0	25.0	10.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	3	2	4	
	100.0	33.3	22.2	44.4	
その他	97	30	52	15	
	100.0	30.9	53.6	15.5	

5) 導入済みの機器概況

回答施設では、見守り機器、介護記録ソフト、移乗支援機器、インカムの順で導入済み施設が多かった。

図表 35 導入済みの機器概況(グラフ)

問2-1 導入済みの機器



図表 36 導入済みの機器概況(表)

		問2-1 導入済みの機器					
		サンプル数	見守り機器	移乗支援機器	インカム	介護記録ソフト	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 の 基 本 情	全 体	571	432	175	83	304	42
		100.0	75.7	30.6	14.5	53.2	7.4
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	284	131	61	219	25
		100.0	77.2	35.6	16.6	59.5	6.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	40	8	4	24	4
		100.0	78.4	15.7	7.8	47.1	7.8
	特定施設入居者生活介護	40	28	5	7	26	3
	100.0	70.0	12.5	17.5	65.0	7.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	6	-	-	3	2	
	100.0	66.7	-	-	33.3	22.2	
その他	97	70	29	10	30	8	
	100.0	72.2	29.9	10.3	30.9	8.2	

6) 見守り機器の機種

回答施設が導入済の主な見守り機器は、次の通りであった。

図表 37 見守り機器の機種

		問2(1+2)活用状況見守り機器の機種名(①②計)														
		サンプル数	ハラマウントベッド「眠りSCAN」	ハラマウントベッド「見守り支援ベッド、離床キャッチ、等」	フランスベッド「見守りケアシステム M1、M2」	ハイオンルバー「ams」	キング通信工業「シルエント見守りセンサー」	ノーリツプレジジョン「NEOS+CAR E」	イデアクエ「STOWLSIGHT」	エイアイ「ビューライフ「A1」VIEW LIFE」	テクノスジャパン「コールマット」	センサーマット(その他)	センサーベッド(その他)	その他センサー(その他)	その他	無回答
問1 (1) 開設施設種別の基本情報	全 体	432	161	52	27	31	37	22	5	7	10	25	18	30	45	37
		100.0	37.3	12.0	6.3	7.2	8.6	5.1	1.2	1.6	2.3	5.8	4.2	6.9	10.4	8.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	284	104	35	24	18	21	14	2	5	8	17	15	17	27	26
		100.0	36.6	12.3	8.5	6.3	7.4	4.9	0.7	1.8	2.8	6.0	5.3	6.0	9.5	9.2
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	40	21	1	1	5	2	3	1	-	1	3	2	4	2	4
		100.0	52.5	2.5	2.5	12.5	5.0	7.5	2.5	-	2.5	7.5	5.0	10.0	5.0	10.0
	特定施設入居者生活介護	28	16	-	-	1	3	1	-	1	-	1	-	1	8	2
	100.0	57.1	-	-	3.6	10.7	3.6	-	3.6	-	3.6	-	3.6	28.6	7.1	
地域密着型特定施設入居者生活介護	6	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	100.0	50.0	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	
その他	70	13	15	2	6	10	4	2	1	1	4	1	7	8	5	
	100.0	18.6	21.4	2.9	8.6	14.3	5.7	2.9	1.4	1.4	5.7	1.4	10.0	11.4	7.1	

7) 見守り機器の初回導入年月

回答施設の見守り機器導入時期は、2016年、2019年、2020年の割合が高かった。

図表 38 見守り機器の初回導入年月(グラフ)

問2(1)+(2) 計① 活用状況)見守り機器の初回導入年月



図表 39 見守り機器の初回導入年月(表)

		問2(1)+(2) 計① 活用状況)見守り機器の初回導入年月									
		サンプル数	2010年度以前	2011年度～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	無回答
問1 (1) 施設 種別 の 基本 情	全体	432	3.7	6.5	23.8	8.6	10.6	15.0	18.1	2.5	11.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	284	1.1	6.7	19.7	9.5	14.8	19.7	24.6	1.8	12.0
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	40	2.5	2.5	20.0	12.5	7.5	32.5	10.0	7.5	5.0
	特定施設入居者生活介護	28	3.6	3.6	10.7	3.6	7.1	21.4	39.3	10.7	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	6	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0
	その他	70	1.4	11.4	52.9	7.1	5.7	4.3	5.7	0.0	11.4
		100.0	1.4	11.4	52.9	7.1	5.7	4.3	5.7	0.0	11.4

8) 見守り機器の初回導入台数

介護老人福祉施設における見守り機器の初回導入台数は平均 13.5 台であった。

図表 40 見守り機器の初回導入台数

		問2(1)+(2) 計② 活用状況見守り機器の初回導入台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	398	10.77	21.00	1.00	200.00
		100.0				
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	259	13.51	25.07	1.00	200.00
		65.1				
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	38	5.92	7.87	1.00	49.00
		9.5				
	特定施設入居者生活介護	28	9.21	10.74	2.00	47.00
	7.0					
地域密着型特定施設入居者生活介護	6	3.00	1.41	1.00	4.00	
	1.5					
その他	64	4.36	4.16	1.00	23.00	
	16.1					

9) 見守り機器の現体制となった時期

回答施設が見守り機器の現体制となった時期は 2020 年の割合が最も高かった。

図表 41 見守り機器の現体制となった時期(表)

		問2(1)+(2) 計③ 活用状況見守り機器の現体制となった時期											
		サンプル数	2000年度以前	2001年度～2005年度	2006年度～2010年度	2011年度～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	432	2	-	2	8	67	10	23	61	127	56	115
		100.0	0.5	-	0.5	1.9	15.5	2.3	5.3	14.1	29.4	13.0	26.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	284	1	-	2	2	30	6	15	45	93	38	78
		100.0	0.4	-	0.7	0.7	10.6	2.1	5.3	15.8	32.7	13.4	27.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	40	-	-	-	1	3	-	1	9	14	5	11
		100.0	-	-	-	2.5	7.5	-	2.5	22.5	35.0	12.5	27.5
	特定施設入居者生活介護	28	-	-	-	2	1	-	2	5	10	6	6
	100.0	-	-	-	7.1	3.6	-	7.1	17.9	35.7	21.4	21.4	
地域密着型特定施設入居者生活介護	6	-	-	-	1	1	-	-	-	4	-	1	
	100.0	-	-	-	16.7	16.7	-	-	-	66.7	-	16.7	
その他	70	1	-	-	2	30	4	5	2	5	6	18	
	100.0	1.4	-	-	2.9	42.9	5.7	7.1	2.9	7.1	8.6	25.7	

10) 見守り機器の現在導入済みの台数

見守り機器の現在導入済みの台数は、次の通りであった。

図表 42 見守り機器の現在導入済みの台数

		問2(1)+(2) 計④ 活用状況)見守り機器の現在導入済みの台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報(開設種別)施設の基本情報	全 体	377 100.0	17.23	24.58	1.00	200.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	242 64.2	20.80	28.26	1.00	200.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	36 9.5	13.14	13.32	1.00	49.00
	特定施設入居者生活介護	27 7.2	16.26	15.07	2.00	60.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5 1.3	8.60	8.04	1.00	23.00
	その他	64 17.0	7.80	13.29	1.00	100.00

11) 見守り機器の導入支援の活用台数

見守り機器の導入支援の活用台数は、平均約 12 台であった。

※導入支援を 1 台以上活用している施設について集計している。

図表 43 見守り機器の導入支援の活用台数

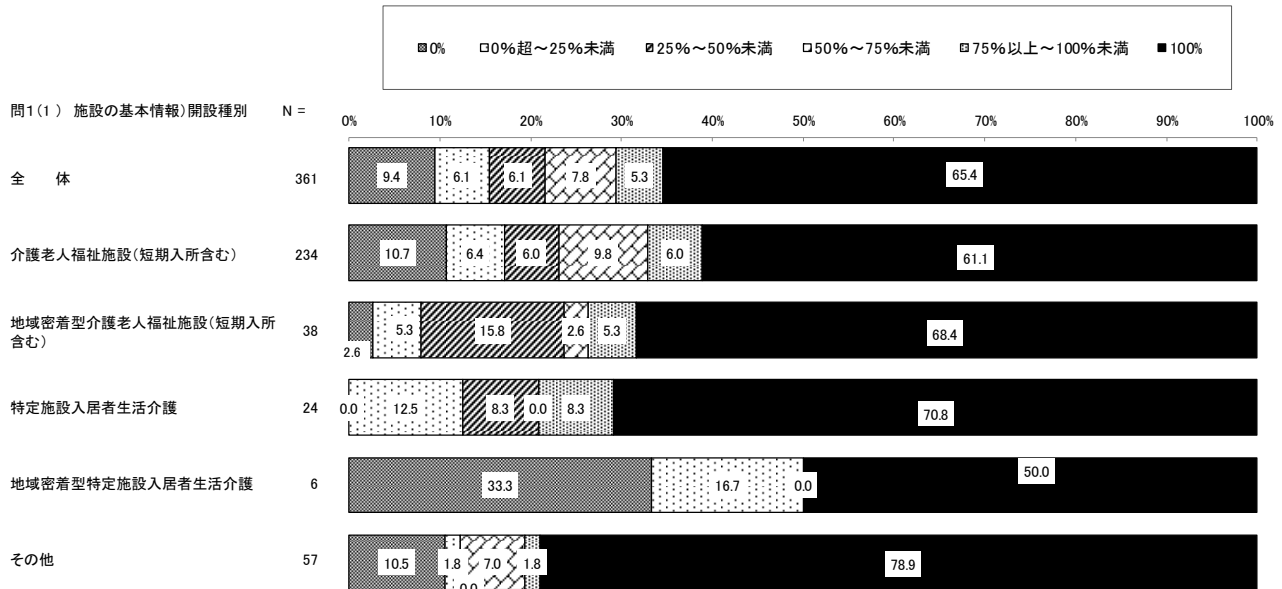
		問2(1)+(2) 計⑤ 活用状況)見守り機器の導入支援の活用台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報(開設種別)施設の基本情報	全 体	330 100.0	11.68	18.08	1.00	180.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	211 63.9	13.21	20.08	1.00	180.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	37 11.2	9.03	10.63	1.00	49.00
	特定施設入居者生活介護	24 7.3	14.00	15.34	2.00	60.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	4 1.2	8.75	8.79	1.00	23.00
	その他	52 15.8	6.81	14.07	1.00	100.00

12) 見守り機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数

現在導入済みの見守り機器のうち、導入支援を活用した台数が100%の施設は約65%であった。

図表 44 見守り機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数(グラフ)

問2(1)+(2)計⑤ 活用状況)見守り機器の導入支援の活用台数
 ÷問2(1)+(2)計④ 活用状況)見守り機器の現在導入済みの台数



図表 45 見守り機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数(表)

		問2(1)+(2)計⑤ 活用状況)見守り機器の導入支援の活用台数 ÷問2(1)+(2)計④ 活用状況)見守り機器の現在導入済みの台数						
		サンプル数	0%	0%超~ 25%未満	25%~ 50%未満	50%~ 75%未満	75%以上~ 100%未満	100%
問1 (1) 施設 種別 の 基本 情 報	全体	361	34	22	22	28	19	236
		100.0	9.4	6.1	6.1	7.8	5.3	65.4
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	234	25	15	14	23	14	143
		100.0	10.7	6.4	6.0	9.8	6.0	61.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	38	1	2	6	1	2	26
		100.0	2.6	5.3	15.8	2.6	5.3	68.4
	特定施設入居者生活介護	24	0	3	2	0	2	17
	100.0	0.0	12.5	8.3	0.0	8.3	70.8	
地域密着型特定施設入居者生活介護	6	2	1	0	0	0	3	
	100.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	
その他	57	6	1	0	4	1	45	
	100.0	10.5	1.8	0.0	7.0	1.8	78.9	

13) 見守り機器の稼働中の台数

介護老人福祉施設で稼働中の見守り機器は平均約 20 台であった。

※稼働中の台数が 1 台以上の施設について集計している。

図表 46 見守り機器の稼働中の台数

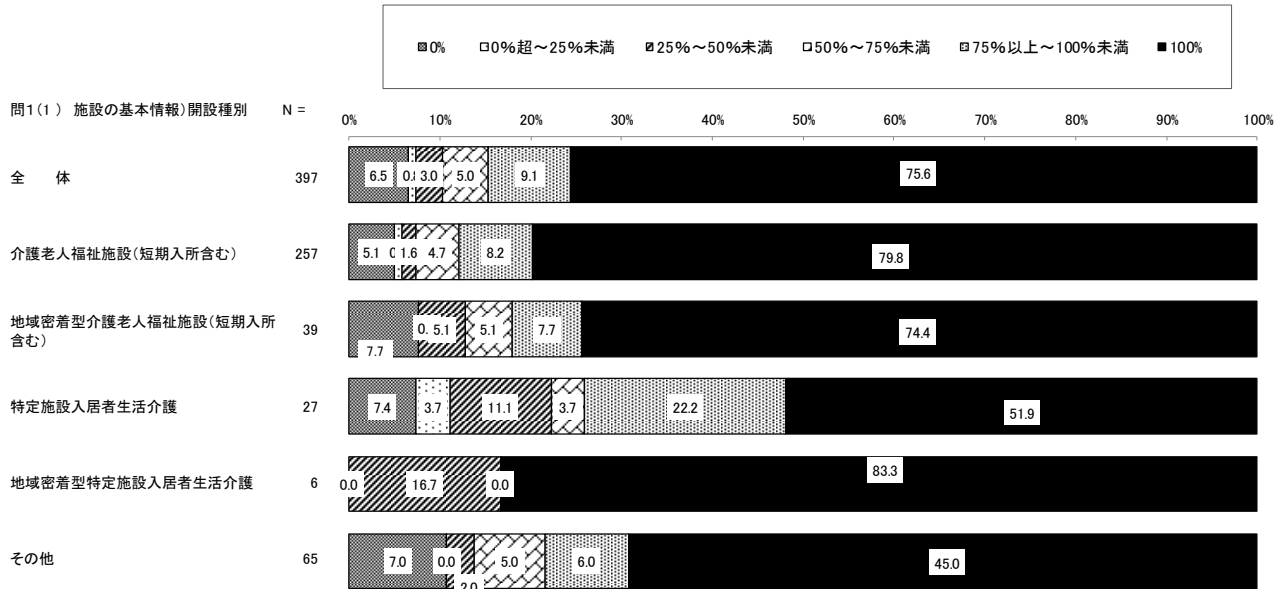
		問2(1)+(2) 計⑥ 活用状況)見守り機器の稼働中の台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問 1 報 開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	375 100.0	16.37	23.80	1.00	172.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	247 65.9	19.66	27.08	1.00	172.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	36 9.6	12.33	13.14	1.00	49.00
	特定施設入居者生活介護	25 6.7	13.44	13.87	2.00	60.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	6 1.6	7.00	7.64	1.00	23.00
	その他	59 15.7	7.68	13.71	1.00	100.00

14) 見守り機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数

現在導入済みの見守り機器のうち、稼働中の台数が100%の施設は約76%であった。

図表 47 見守り機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数(グラフ)

問2(1)+(2)計⑥ 活用状況)見守り機器の稼働中の台数
 ÷問2(1)+(2)計④ 活用状況)見守り機器の現在導入済みの台数



図表 48 見守り機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数(表)

施設の種類	サンプル数	問2(1)+(2)計⑥ 活用状況)見守り機器の稼働中の台数 ÷問2(1)+(2)計④ 活用状況)見守り機器の現在導入済みの台数					100%	
		0%	0%超～25%未満	25%～50%未満	50%～75%未満	75%以上～100%未満		
問1(1) 施設の基本情報	全体	397	26	3	12	20	36	300
		100.0	6.5	0.8	3.0	5.0	9.1	75.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	257	13	2	4	12	21	205
		100.0	5.1	0.8	1.6	4.7	8.2	79.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	39	3	0	2	2	3	29
		100.0	7.7	0.0	5.1	5.1	7.7	74.4
	特定施設入居者生活介護	27	2	1	3	1	6	14
	100.0	7.4	3.7	11.1	3.7	22.2	51.9	
地域密着型特定施設入居者生活介護	6	0	0	1	0	0	5	
	100.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	83.3	
その他	65	7	0	2	5	6	45	
	100.0	10.8	0.0	3.1	7.7	9.2	69.2	

15) 移乗支援機器の機種名

回答施設が導入済の主な移乗支援機器は、次の通り。

図表 49 移乗支援機器の機種名

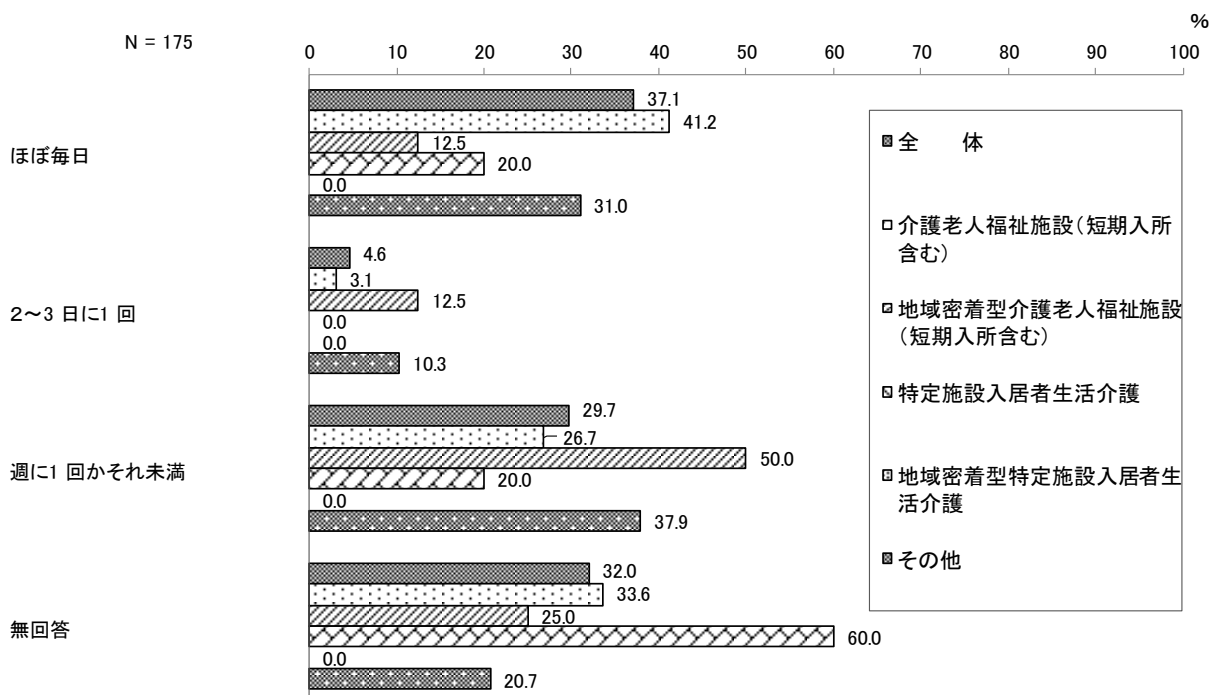
		問2(3+4)活用状況)移乗支援機器の機種名(①②計)													
		サンプル数	イノフィス「マツルシリーズ」	サイバーダイナ「HAL」	パナソニック「リショーンシリーズ」	マッスル「ロボヘルパーSASUKE」	FUJIFHUG」	積水ホームテクノ「wellsリフトキャリー」	いすら「移動式リフト」等	モリト「つるべ」	ウェルパートナース「介護リフトスマイル」	パラマウント「床走行式電動介護リフト」	大佳(だいいち)「愛移乗くん」	その他	無回答
問1(報)開設種別 の 基本 情	全 体	175	40	16	11	11	13	2	9	6	6	3	4	50	26
		100.0	22.9	9.1	6.3	6.3	7.4	1.1	5.1	3.4	3.4	1.7	2.3	28.6	14.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	131	26	10	8	9	11	2	7	6	5	3	4	41	20
		100.0	19.8	7.6	6.1	6.9	8.4	1.5	5.3	4.6	3.8	2.3	3.1	31.3	15.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	8	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1
		100.0	50.0	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	25.0	12.5
	特定施設入居者生活介護	5	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-
		100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	40.0	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	29	7	6	3	1	2	-	2	-	-	-	-	5	4	
	100.0	24.1	20.7	10.3	3.4	6.9	-	6.9	-	-	-	-	17.2	13.8	

16) 移乗支援機器の現在の利用頻度

回答施設の移乗支援機器の利用頻度は、ほぼ毎日と週1回以下に2極化していた。

図表 50 移乗支援機器の現在の利用頻度(グラフ)

問2(3)+(4) 計① 活用状況 移乗支援機器の現在の利用頻度



図表 51 移乗支援機器の現在の利用頻度(表)

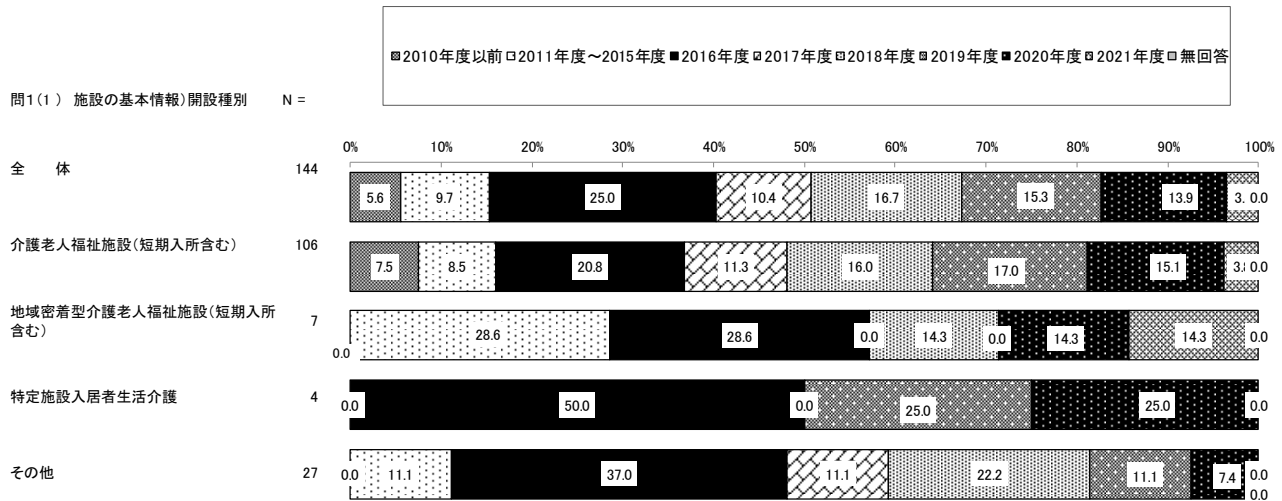
		問2(3)+(4) 計① 活用状況 移乗支援機器の現在の利用頻度				
		サンプル数	ほぼ毎日	2~3日に1回	週に1回かそれ未満	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の 基本情	全体	175	65	8	52	56
		100.0	37.1	4.6	29.7	32.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	131	54	4	35	44
		100.0	41.2	3.1	26.7	33.6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	8	1	1	4	2
		100.0	12.5	12.5	50.0	25.0
	特定施設入居者生活介護	5	1	-	1	3
	100.0	20.0	-	20.0	60.0	
	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	
	29	9	3	11	6	
	100.0	31.0	10.3	37.9	20.7	

17) 移乗支援機器の初回導入年月

移乗支援機器の初回導入年月は、次の通りであった。

図表 52 移乗支援機器の初回導入年月(グラフ)

問2(3)+(4) 計② 活用状況)移乗支援機器の初回導入年月



図表 53 移乗支援機器の初回導入年月(表)

		問2(3)+(4) 計② 活用状況)移乗支援機器の初回導入年月									
		サンプル数	2010年度以前	2011年度～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	無回答
問1(1) 報(1) 開設種別の基本情報	全 体	144	8	14	36	15	24	22	20	5	0
		100.0	5.6	9.7	25.0	10.4	16.7	15.3	13.9	3.5	0.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	106	8	9	22	12	17	18	16	4	0
		100.0	7.5	8.5	20.8	11.3	16.0	17.0	15.1	3.8	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7	0	2	2	0	1	0	1	1	0
		100.0	0.0	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	特定施設入居者生活介護	4	0	0	2	0	0	1	1	0	0
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	27	0	3	10	3	6	3	2	0	0	
	100.0	0.0	11.1	37.0	11.1	22.2	11.1	7.4	0.0	0.0	

18) 移乗支援機器の初回導入台数

移乗支援機器の初回導入台数は、次の通りであった。

図表 54 移乗支援機器の初回導入台数

		問2(3)+(4) 計③ 活用状況) 移乗支援機器の初回導入台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 施設の種類別の基本情報	全 体	153 100.0	2.51	3.56	1.00	40.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	111 72.5	2.87	4.09	1.00	40.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7 4.6	1.71	0.88	1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	5 3.3	1.60	0.49	1.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	29 19.0	1.48	0.77	1.00	4.00

19) 移乗支援機器の現体制となった時期

回答施設の移乗支援機器が現体制になった時期は、9割以上が2011年以降であった。

図表 55 移乗支援機器の現体制となった時期

		問2(3)+(4) 計④ 活用状況) 移乗支援機器の現体制となった時期											
		サンプル数	2000年度以前	2001年度～2005年度	2006年度～2010年度	2011年度～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	無回答
問1 (1) 施設の種類別の基本情報	全 体	175 100.0	2 1.1	-	1 0.6	10 5.7	23 13.1	15 8.6	17 9.7	18 10.3	25 14.3	9 5.1	64 36.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	131 100.0	2 1.5	-	1 0.8	7 5.3	15 11.5	11 8.4	14 10.7	15 11.5	23 17.6	6 4.6	46 35.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	8 100.0	-	-	-	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	-	1 12.5	4 50.0
	特定施設入居者生活介護	5 100.0	-	-	-	-	2 40.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	29 100.0	-	-	-	2 6.9	6 20.7	3 10.3	2 6.9	2 6.9	1 3.4	2 6.9	11 37.9

20) 移乗支援機器の現在導入済みの台数

移乗支援機器の現在導入済みの台数は、次の通りであった。

図表 56 移乗支援機器の現在導入済みの台数

		問2(3)+(4) 計⑤ 活用状況)移乗支援機器の現在導入済みの台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問 1 報 1 開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	137 100.0	3.29	4.76	1.00	46.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	102 74.5	3.86	5.38	1.00	46.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 3.6	2.20	0.98	1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	5 3.6	1.60	0.49	1.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	24 17.5	1.50	0.82	1.00	4.00

21) 移乗支援機器の導入支援の活用台数

移乗支援機器の導入支援の活用台数は、次の通りであった。

図表 57 移乗支援機器の導入支援の活用台数

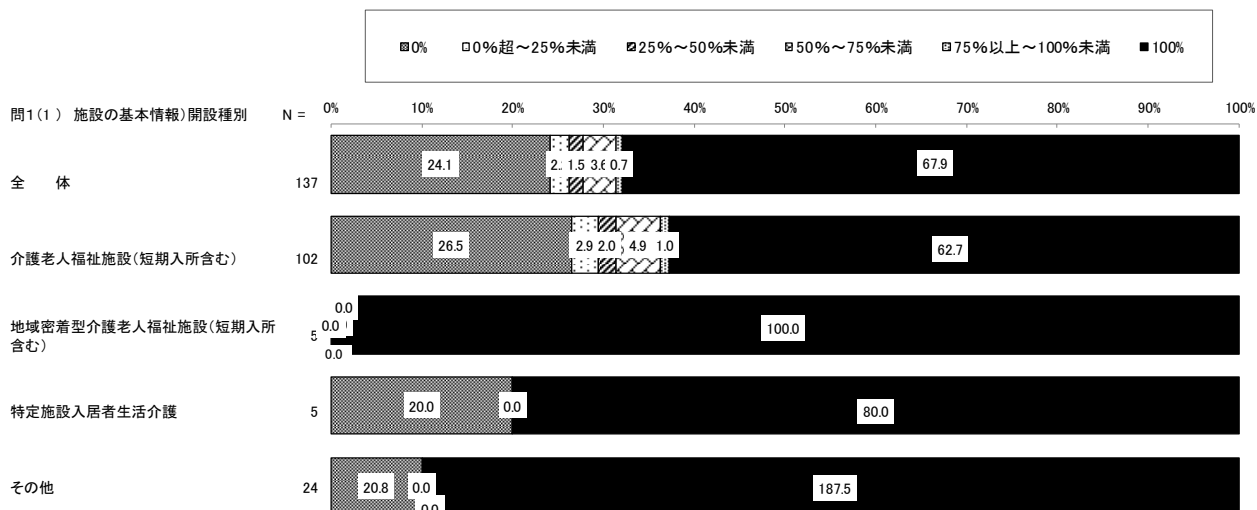
		問2(3)+(4) 計⑥ 活用状況)移乗支援機器の現導入支援の活用台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問1 報1 開設種別 施設の 基本情	全 体	117 100.0	2.38	1.81	1.00	10.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	83 70.9	2.67	2.01	1.00	10.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	6 5.1	2.33	0.94	1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	4 3.4	1.75	0.43	1.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	23 19.7	1.48	0.77	1.00	4.00

22) 移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数

移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数は、次の通りであった。

図表 58 移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数(グラフ)

問2(3)+(4)計⑥ 活用状況) 移乗支援機器の導入支援の活用台数
 ÷ 問2(3)+(4)計⑤ 活用状況) 移乗支援機器の現在導入済みの台数



図表 59 移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める導入支援の活用台数(表)

施設種別	問2(3)+(4)計⑥ 活用状況) 移乗支援機器の導入支援の活用台数 ÷ 問2(3)+(4)計⑤ 活用状況) 移乗支援機器の現在導入済みの台数						
	サンプル数	0%	0%超～25%未満	25%～50%未満	50%～75%未満	75%以上～100%未満	100%
問1(1) 全体	137	33	3	2	5	1	93
介護老人福祉施設(短期入所含む)	102	27	3	2	5	1	64
地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5	0	0	0	0	0	5
特定施設入居者生活介護	5	1	0	0	0	0	4
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0
その他	24	5	0	0	0	0	45
	100.0	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	187.5

23) 移乗支援機器の稼働中の台数

移乗支援機器の稼働中の台数は、次の通りであった。

図表 60 移乗支援機器の稼働中の台数

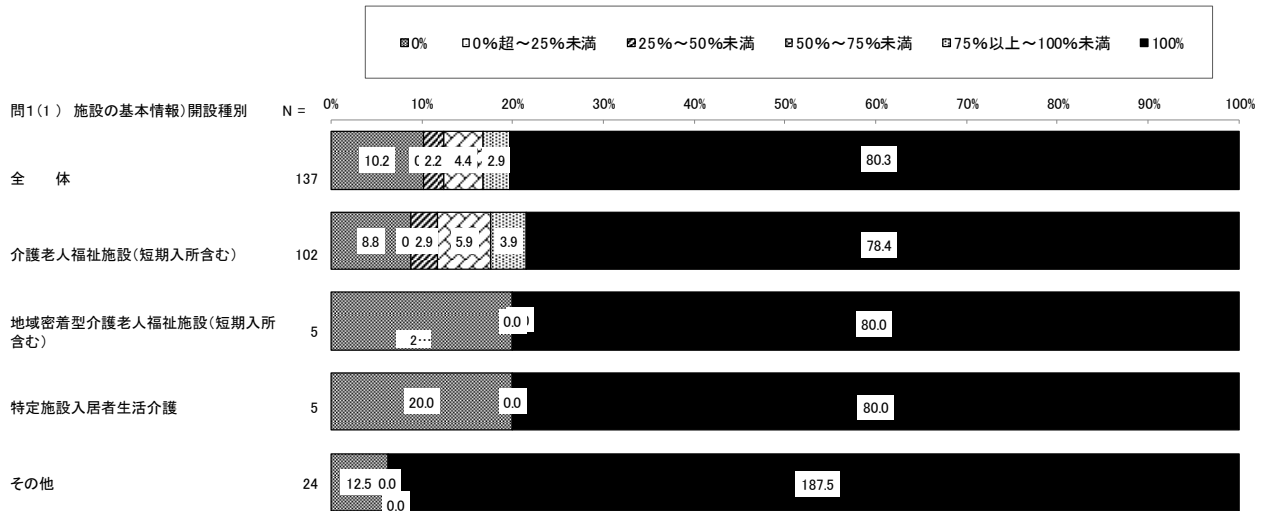
		問2(3)+(4) 計⑦ 活用状況)移乗支援機器の稼働中の台数				
		サンプル数	平均(台)	標準偏差	最小値	最大値
問 1 報 1 開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	135 100.0	3.13	4.42	1.00	41.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	101 74.8	3.62	4.99	1.00	41.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 3.7	2.60	0.80	1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	4 3.0	1.50	0.50	1.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	24 17.8	1.46	0.76	1.00	4.00

24) 移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数

移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数は、次の通りであった。

図表 61 移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数(グラフ)

問2(3)+(4)計⑦ 活用状況) 移乗支援機器の稼働中の台数
 ÷ 問2(3)+(4)計⑤ 活用状況) 移乗支援機器の現在導入済みの台数



図表 62 移乗支援機器の現在導入済みの台数に占める稼働中の台数(表)

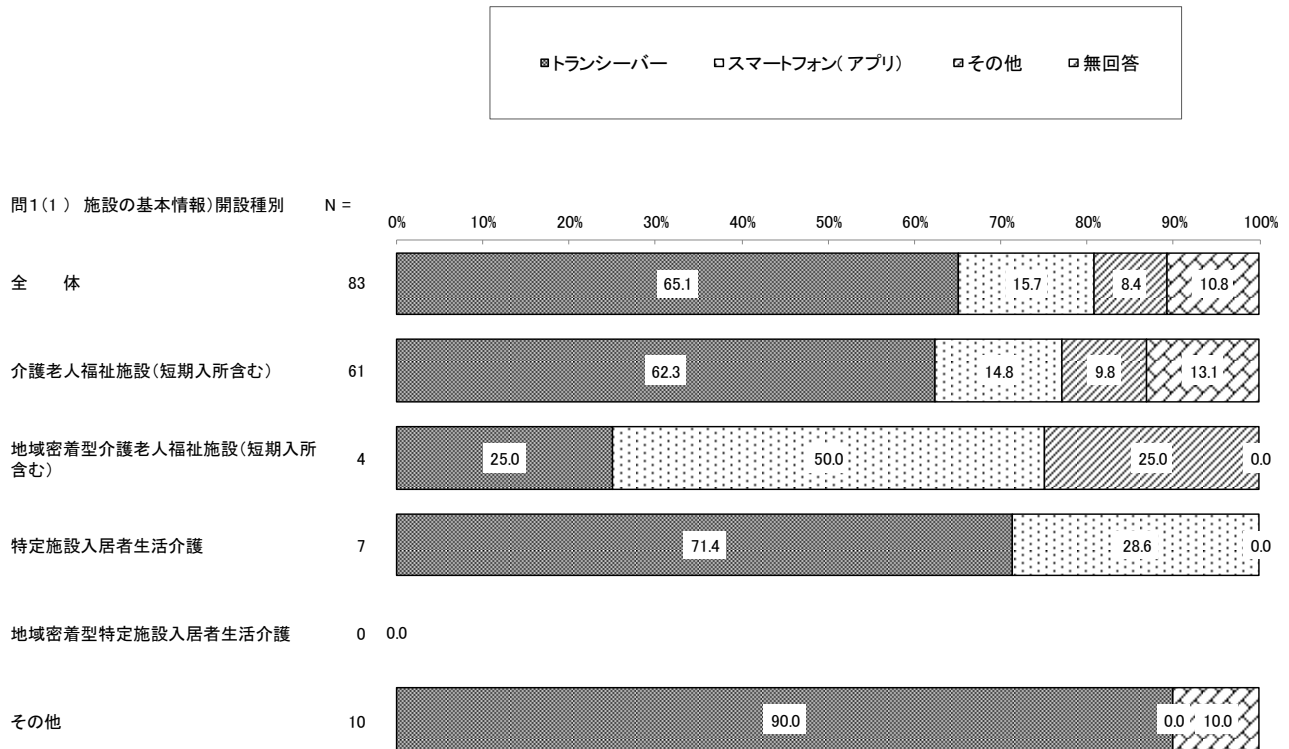
施設種別	サンプル数	問2(3)+(4)計⑦ 活用状況) 移乗支援機器の稼働中の台数 ÷ 問2(3)+(4)計⑤ 活用状況) 移乗支援機器の現在導入済みの台数					
		0%	0%超~25%未満	25%~50%未満	50%~75%未満	75%以上~100%未満	100%
問1(1) 全体	137	14	0	3	6	4	110
介護老人福祉施設(短期入所含む)	102	10.2	0.0	2.2	4.4	2.9	80.3
地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5	9	0	3	6	4	80
特定施設入居者生活介護	5	8.8	0.0	2.9	5.9	3.9	78.4
地域密着型特定施設入居者生活介護	5	1	0	0	0	0	4
その他	24	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
	0	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	-
	24	3	0	0	0	0	45
	100.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	187.5

25) インカムのタイプ

トランシーバータイプのインカムを導入する回答施設が6割を超えていた。

図表 63 インカムのタイプ(グラフ)

問2(5)① 活用状況)インカムのタイプ



図表 64 インカムのタイプ(表)

		問2(5)① 活用状況)インカムのタイプ				
		サンプル数	トランシーバー	スマートフォン(アプリ)	その他	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	83	54	13	7	9
		100.0	65.1	15.7	8.4	10.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	61	38	9	6	8
		100.0	62.3	14.8	9.8	13.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	1	2	1	-
		100.0	25.0	50.0	25.0	-
	特定施設入居者生活介護	7	5	2	-	-
	100.0	71.4	28.6	-	-	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	10	9	-	-	1
		100.0	90.0	-	-	10.0

26) インカム導入済みの台数

導入済みのインカムの台数は、次の通りであった。

図表 65 インカム導入済みの台数

		問2(5)② 活用状況)インカム導入済みの台数				
		サンプル数	台(平均)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	78 100.0	18.96	13.12	3.00	66.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	56 71.8	20.46	13.43	5.00	66.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4 5.1	10.25	5.07	3.00	15.00
	特定施設入居者生活介護	7 9.0	14.14	12.63	3.00	43.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	10 12.8	16.90	12.05	5.00	40.00

27) インカム導入支援の活用

導入支援を活用したインカム台数は、次の通りであった。

図表 66 インカム導入支援の活用

		問2(5)③ 活用状況)インカム導入支援の活用				
		サンプル数	台(平均)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	59 100.0	7.81	11.13	0.00	50.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	43 72.9	8.74	11.66	0.00	50.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	3 5.1	1.00	1.41	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	6 10.2	3.33	4.71	0.00	10.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	7 11.9	8.86	12.10	0.00	30.00

28) インカム稼働中の台数

稼働中のインカムの台数は、次の通りであった。

図表 67 インカム稼働中の台数

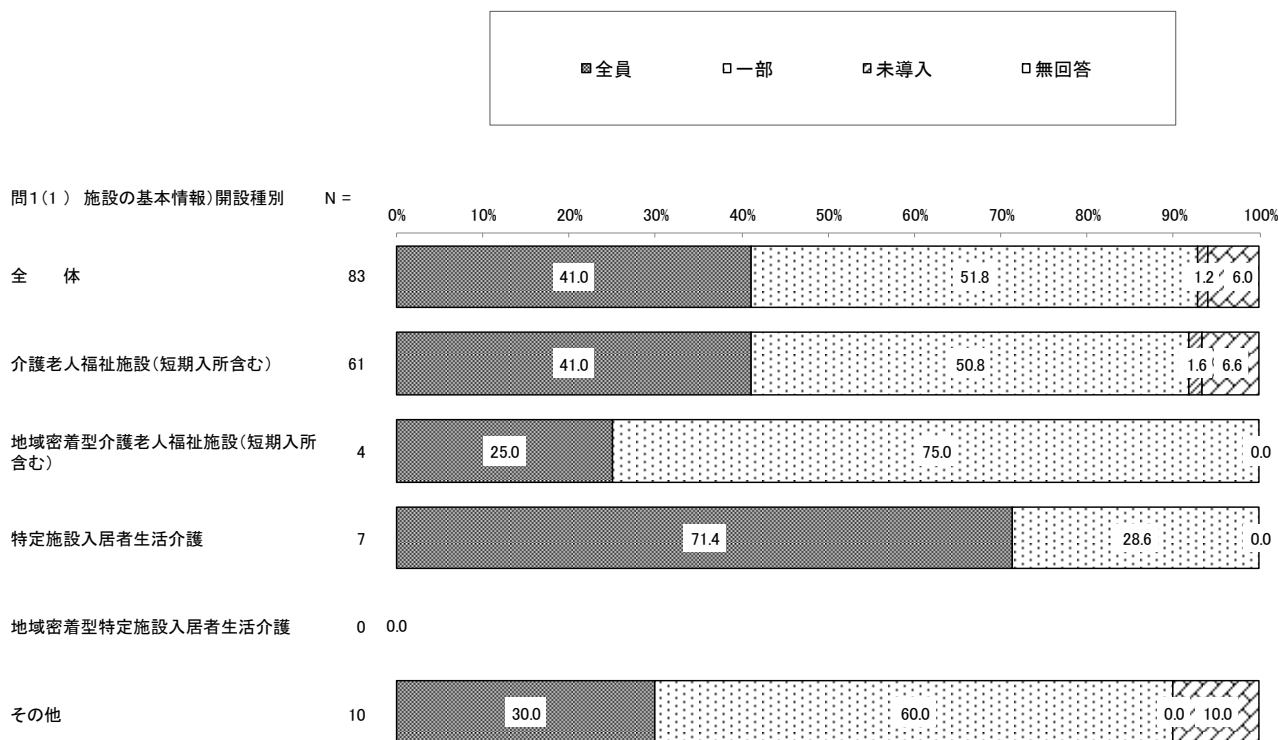
		問2(5)④ 活用状況)インカム稼働中の台数				
		サンプル数	台(平均)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の 基本情	全 体	75 100.0	17.71	12.48	3.00	66.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	55 73.3	19.07	13.00	5.00	66.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4 5.3	10.00	5.20	3.00	15.00
	特定施設入居者生活介護	6 8.0	8.83	4.98	3.00	15.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	9 12.0	18.00	11.85	5.00	40.00

29) インカムの介護職の利用状況

インカムを導入した施設の41.0%で介護職全員がインカムを利用していた。

図表 68 インカムの介護職の利用状況(グラフ)

問2(5)⑤-1 活用状況)インカムの介護職の利用状況



図表 69 インカムの介護職の利用状況(表)

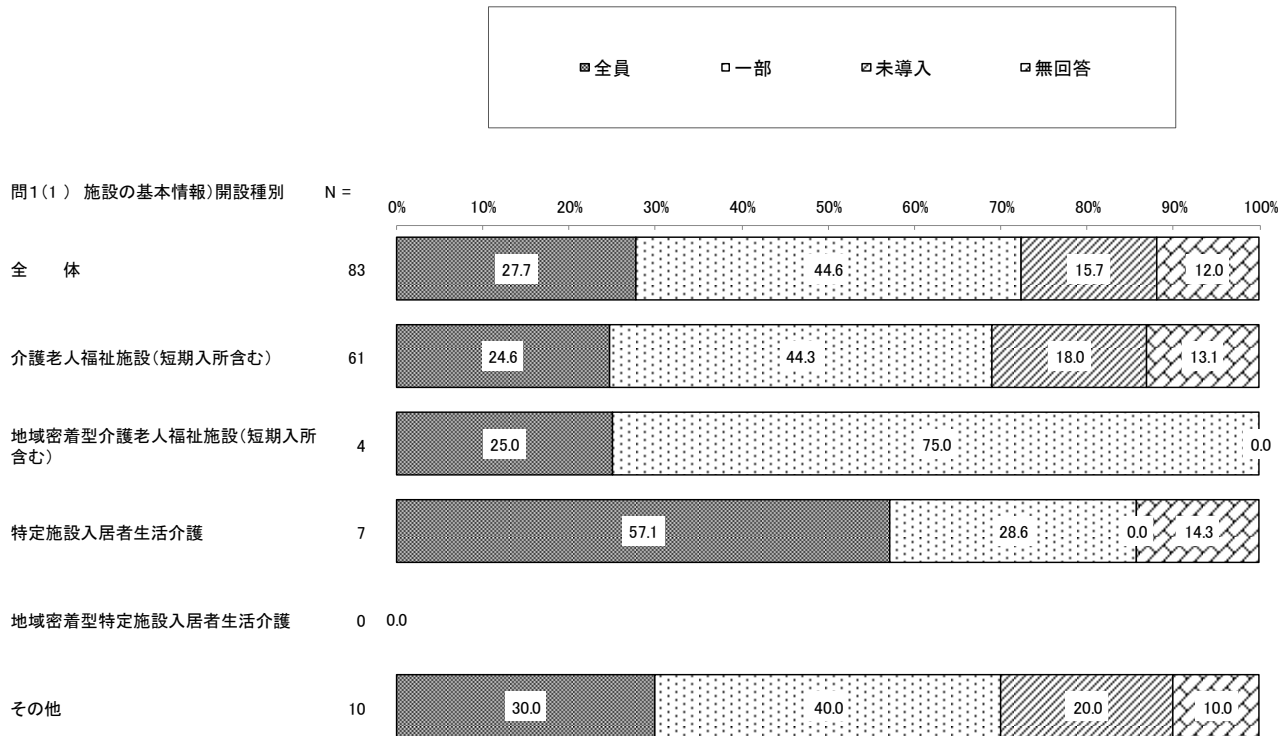
		問2(5)⑤-1 活用状況)インカムの介護職の利用状況				
		サンプル数	全員	一部	未導入	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	83	34	43	1	5
		100.0	41.0	51.8	1.2	6.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	61	25	31	1	4
		100.0	41.0	50.8	1.6	6.6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	1	3	-	-
		100.0	25.0	75.0	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	5	2	-	-
	100.0	71.4	28.6	-	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	
その他	10	3	6	-	1	
	100.0	30.0	60.0	-	10.0	

30) インカムの看護職の利用状況

インカムを導入した施設の27.7%で看護職全員がインカムを利用していた。

図表 70 インカムの看護職の利用状況(グラフ)

問2(5)⑤-2 活用状況)インカムの看護職の利用状況



図表 71 インカムの看護職の利用状況(表)

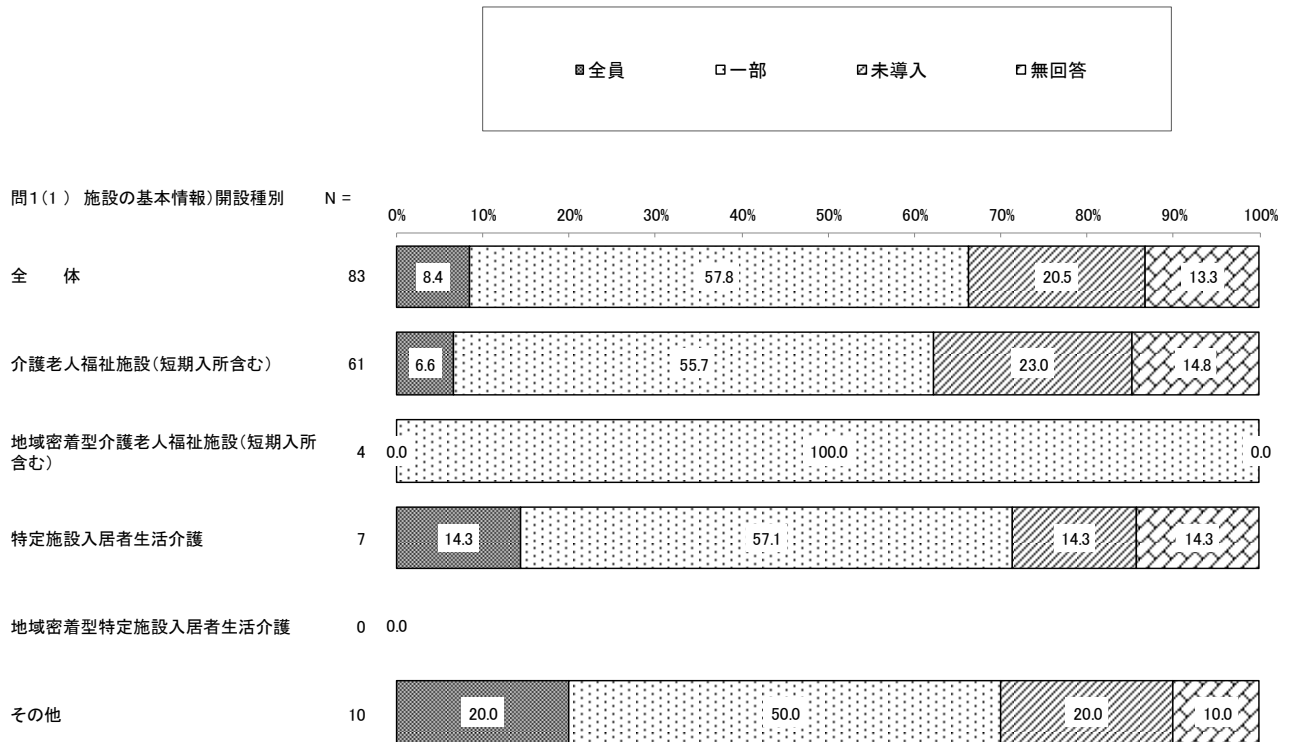
		問2(5)⑤-2 活用状況)インカムの看護職の利用状況				
		サンプル数	全員	一部	未導入	無回答
問1 (1) 施設の基本情報	全体	83	23	37	13	10
		100.0	27.7	44.6	15.7	12.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	61	15	27	11	8
		100.0	24.6	44.3	18.0	13.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	1	3	-	-
		100.0	25.0	75.0	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	4	2	-	1
	100.0	57.1	28.6	-	14.3	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-
	その他	10	3	4	2	1
		100.0	30.0	40.0	20.0	10.0

31) インカムのその他専門職・管理職の利用状況

インカムを導入した施設の57.8%でその他専門職・管理職の一部がインカムを利用していた。

図表 72 インカムのその他専門職・管理職の利用状況(グラフ)

問2(5)⑤-3 活用状況)インカムのその他専門職・管理職の利用状況



図表 73 インカムのその他専門職・管理職の利用状況(表)

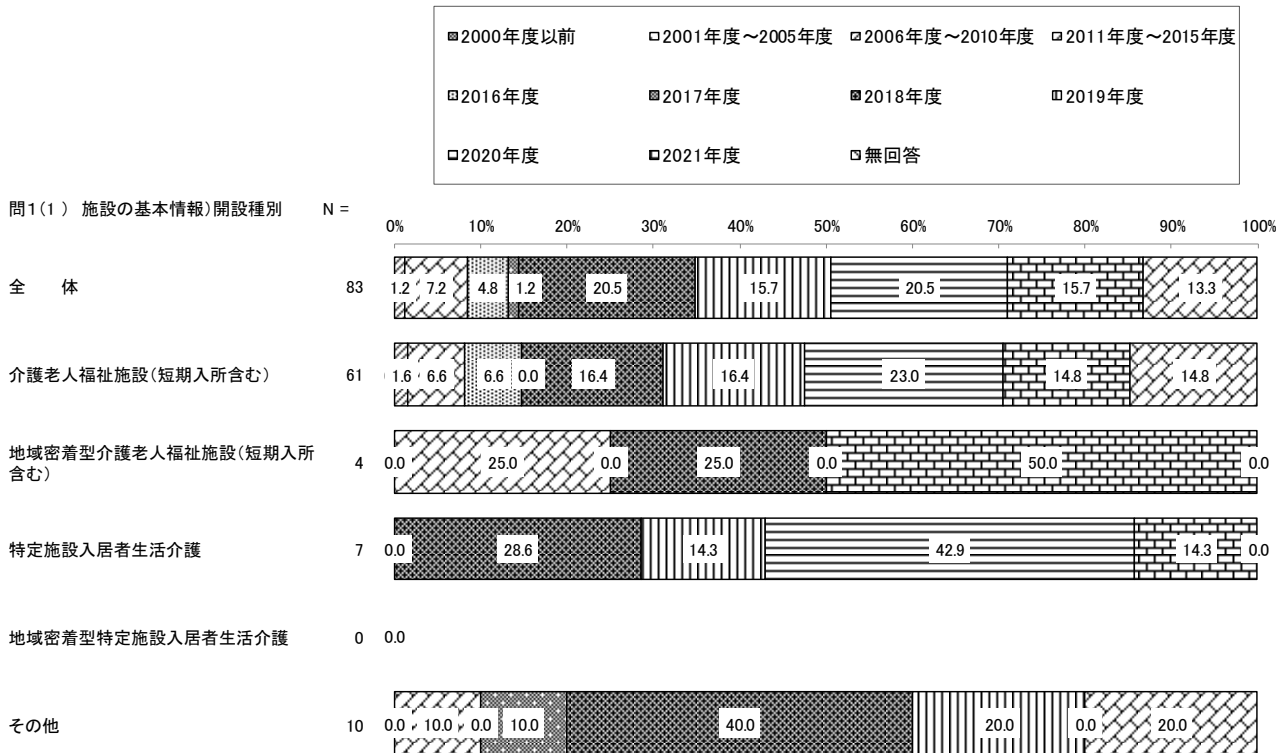
		問2(5)⑤-3 活用状況)インカムのその他専門職・管理職の利用状況				
		サンプル数	全員	一部	未導入	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	83	7	48	17	11
		100.0	8.4	57.8	20.5	13.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	61	4	34	14	9
		100.0	6.6	55.7	23.0	14.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	-	4	-	-
		100.0	-	100.0	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	1	4	1	1
	100.0	14.3	57.1	14.3	14.3	
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	
その他	10	2	5	2	1	
	100.0	20.0	50.0	20.0	10.0	

32) インカムの導入年月

インカムの導入年月は、次の通りであった。

図表 74 インカムの導入年月(グラフ)

問2(5)⑥ 活用状況)インカムの導入年月



図表 75 インカムの導入年月(表)

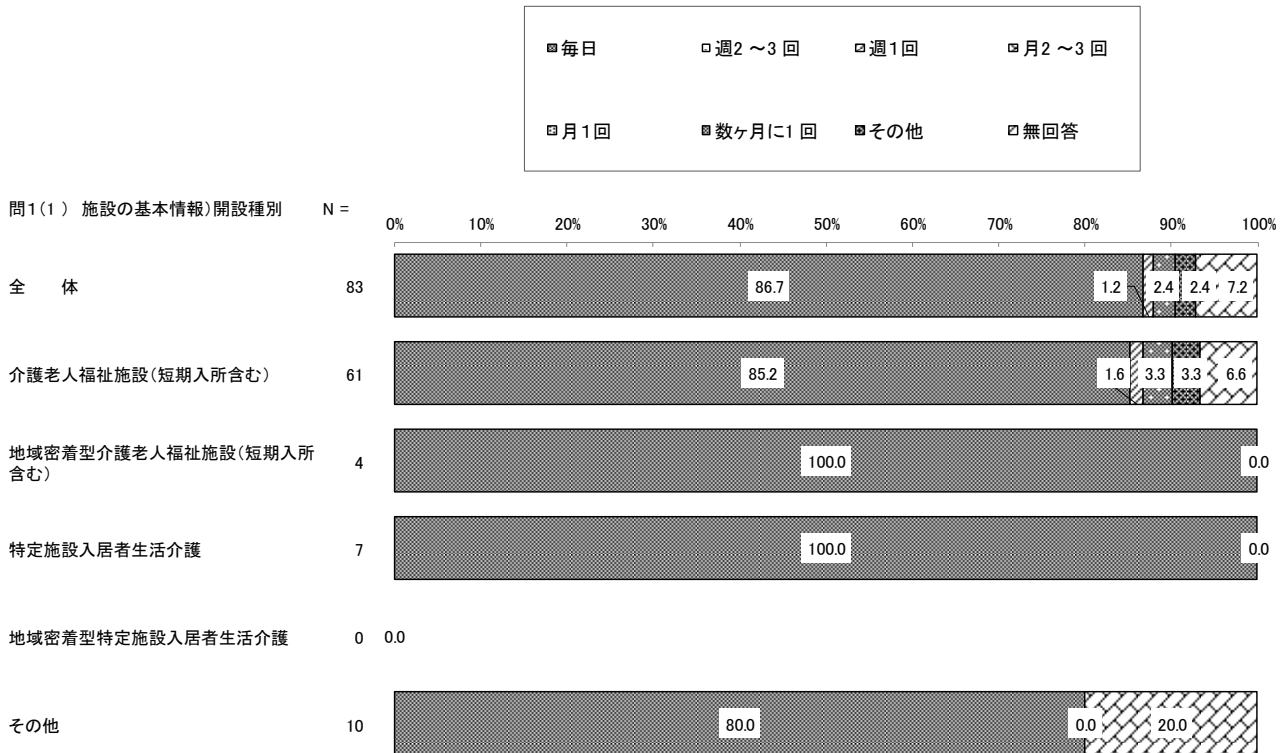
		問2(5)⑥ 活用状況)インカムの導入年月											
		サンプル数	2000年度以前	2001年度～2005年度	2006年度～2010年度	2011年度～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	無回答
問1(1)施設の基本情報	全体	83	-	-	1	6	4	1	17	13	17	13	11
		100.0	-	-	1.2	7.2	4.8	1.2	20.5	15.7	20.5	15.7	13.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	61	-	-	1	4	4	-	10	10	14	9	9
		100.0	-	-	1.6	6.6	6.6	-	16.4	16.4	23.0	14.8	14.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-
		100.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-
	特定施設入居者生活介護	7	-	-	-	-	-	-	2	1	3	1	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	28.6	14.3	42.9	14.3	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	10	-	-	-	1	-	1	4	2	-	-	2	
	100.0	-	-	-	10.0	-	10.0	40.0	20.0	-	-	20.0	

33) インカムの利用頻度

インカムを導入した施設の86.7%で毎日利用していた。

図表 76 インカムの利用頻度(グラフ)

問2(5)⑦ 活用状況)インカムの利用頻度



図表 77 インカムの利用頻度(表)

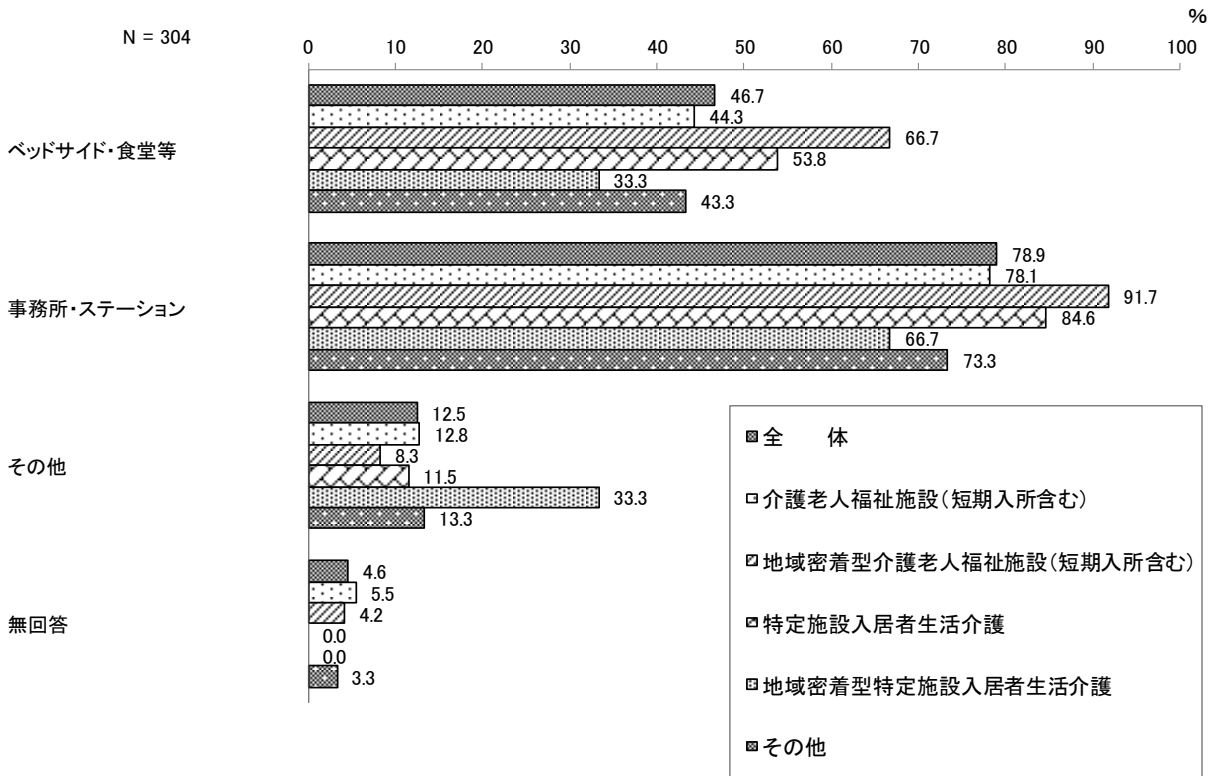
		問2(5)⑦ 活用状況)インカムの利用頻度								
		サンプル数	毎日	週2~3回	週1回	月2~3回	月1回	数ヶ月に1回	その他	無回答
問1 (1) 報 (1) 施設 開設 種別 の 基本 情	全 体	83	72	-	1	-	-	2	2	6
		100.0	86.7	-	1.2	-	-	2.4	2.4	7.2
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	61	52	-	1	-	-	2	2	4
		100.0	85.2	-	1.6	-	-	3.3	3.3	6.6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	4	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	7	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	10	8	-	-	-	-	-	-	2	
	100.0	80.0	-	-	-	-	-	-	20.0	

34) 介護記録ソフトの主な操作場所

介護記録ソフトの主な操作場所は、導入施設の78.9%が事務所・ステーションであった。

図表 78 介護記録ソフトの主な操作場所(グラフ)

問2(6)② 活用状況)介護記録ソフトの主な操作場所



図表 79 介護記録ソフトの主な操作場所(表)

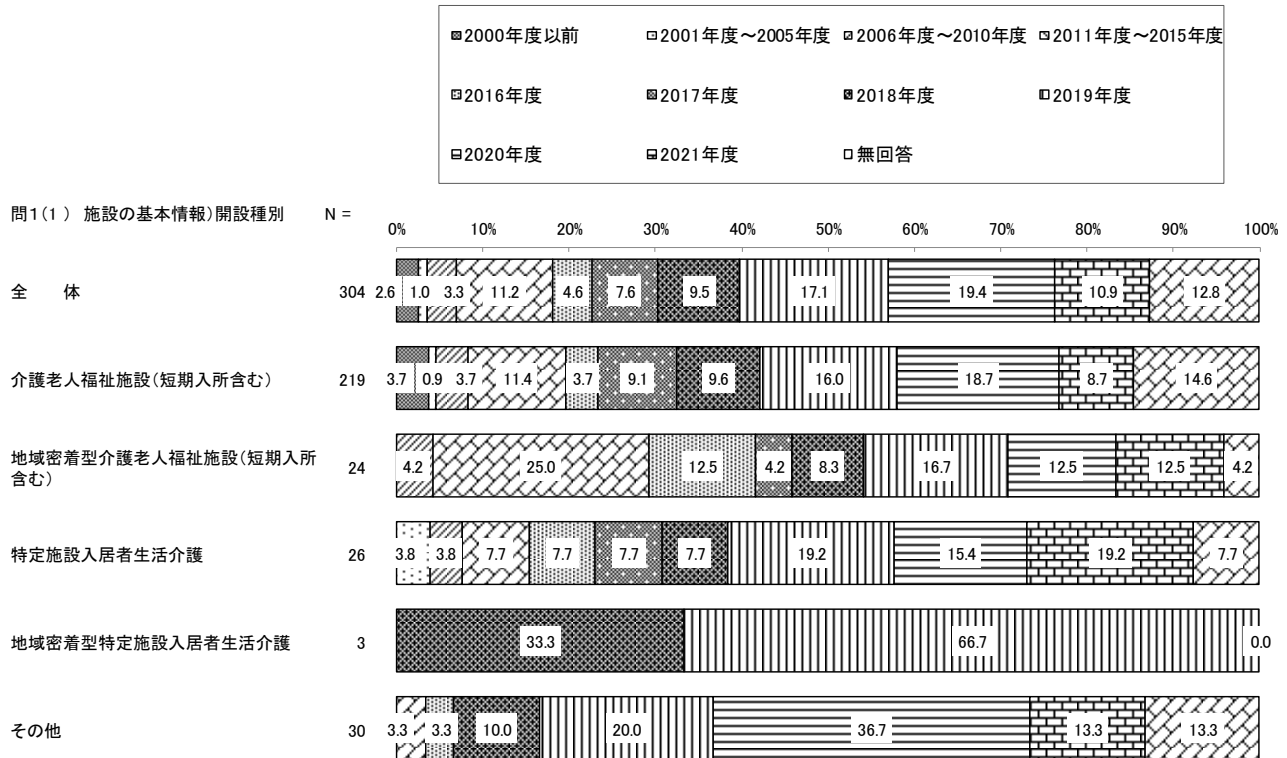
		問2(6)② 活用状況)介護記録ソフトの主な操作場所				
		サンプル数	ベッドサイド・食堂等	事務所・ステーション	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の 基本情	全体	304	142	240	38	14
		100.0	46.7	78.9	12.5	4.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	219	97	171	28	12
		100.0	44.3	78.1	12.8	5.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	24	16	22	2	1
		100.0	66.7	91.7	8.3	4.2
	特定施設入居者生活介護	26	14	22	3	-
	100.0	53.8	84.6	11.5	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	1	2	1	-	
	100.0	33.3	66.7	33.3	-	
その他	30	13	22	4	1	
	100.0	43.3	73.3	13.3	3.3	

35) 介護記録ソフトの導入年月

介護記録ソフトの導入年月は、次の通りであった。

図表 80 介護記録ソフトの導入年月(グラフ)

問2(6)③ 活用状況)介護記録ソフトの導入年月



図表 81 介護記録ソフトの導入年月(表)

		問2(6)③ 活用状況)介護記録ソフトの導入年月												
		サンプル数	2000年度以前	2001年度～2005年度	2006年度～2010年度	2011年度～2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	無回答	
問1(1) 施設の基本情報	全体	304	2.6	1.0	3.3	11.2	4.6	7.6	9.5	17.1	19.4	10.9	12.8	
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	219	3.7	0.9	3.7	11.4	3.7	9.1	9.6	16.0	18.7	8.7	14.6	
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	24	4.2	-	-	25.0	-	12.5	4.2	8.3	16.7	12.5	12.5	4.2
	特定施設入居者生活介護	26	3.8	3.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	19.2	15.4	19.2	7.7	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3	-	-	-	33.3	-	-	-	66.7	-	-	0.0	
	その他	30	3.3	3.3	10.0	-	20.0	-	-	36.7	-	13.3	13.3	

36) 介護記録ソフトの導入済みの入力端末台数

介護記録ソフトの導入済みの入力端末台数は、次の通りであった。

図表 82 介護記録ソフトの導入済みの入力端末台数(グラフ)

		問2(6)④ 活用状況介護記録ソフトの導入済みの入力端末台数				
		サンプル数	台(平均)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	277 100.0	10.85	9.77	1.00	80.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	195 70.4	11.86	10.10	1.00	80.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	24 8.7	7.50	7.86	1.00	40.00
	特定施設入居者生活介護	25 9.0	7.04	3.49	1.00	15.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3 1.1	3.00	0.82	2.00	4.00
	その他	28 10.1	11.00	11.47	2.00	43.00

37) 介護記録ソフトの稼働中の入力端末台数

介護記録ソフトの稼働中の入力端末台数は、導入済みの台数とほぼ同じであった。

図表 83 介護記録ソフトの導入済みの入力端末台数(表)

		問2(6)⑤ 活用状況介護記録ソフトの稼働中の入力端末台数				
		サンプル数	台(平均)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	269 100.0	10.79	9.90	1.00	80.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	189 70.3	11.81	10.25	1.00	80.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23 8.6	7.65	7.99	1.00	40.00
	特定施設入居者生活介護	25 9.3	6.92	3.55	1.00	15.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3 1.1	3.00	0.82	2.00	4.00
	その他	27 10.0	10.78	11.71	2.00	43.00

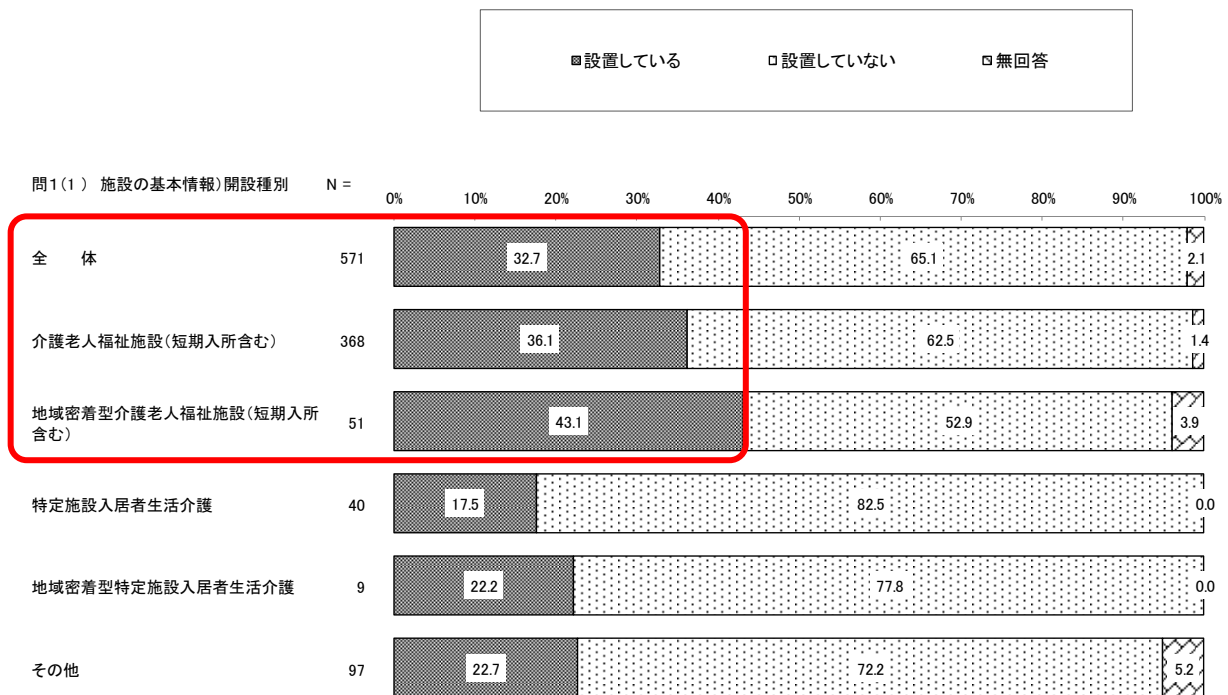
(3) 介護ロボット等に関する組織的な取組み

1) 安全かつ有効活用するための委員会の設置状況

介護ロボット等を安全かつ有効活用するための委員会を設置していると回答した施設は介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設で割合が高く、全体では32.7%であった。

図表 84 安全かつ有効活用するための委員会の設置状況(グラフ)

問3-1(1) 組織的な取組み)委員会の設置有無



図表 85 安全かつ有効活用するための委員会の設置状況(表)

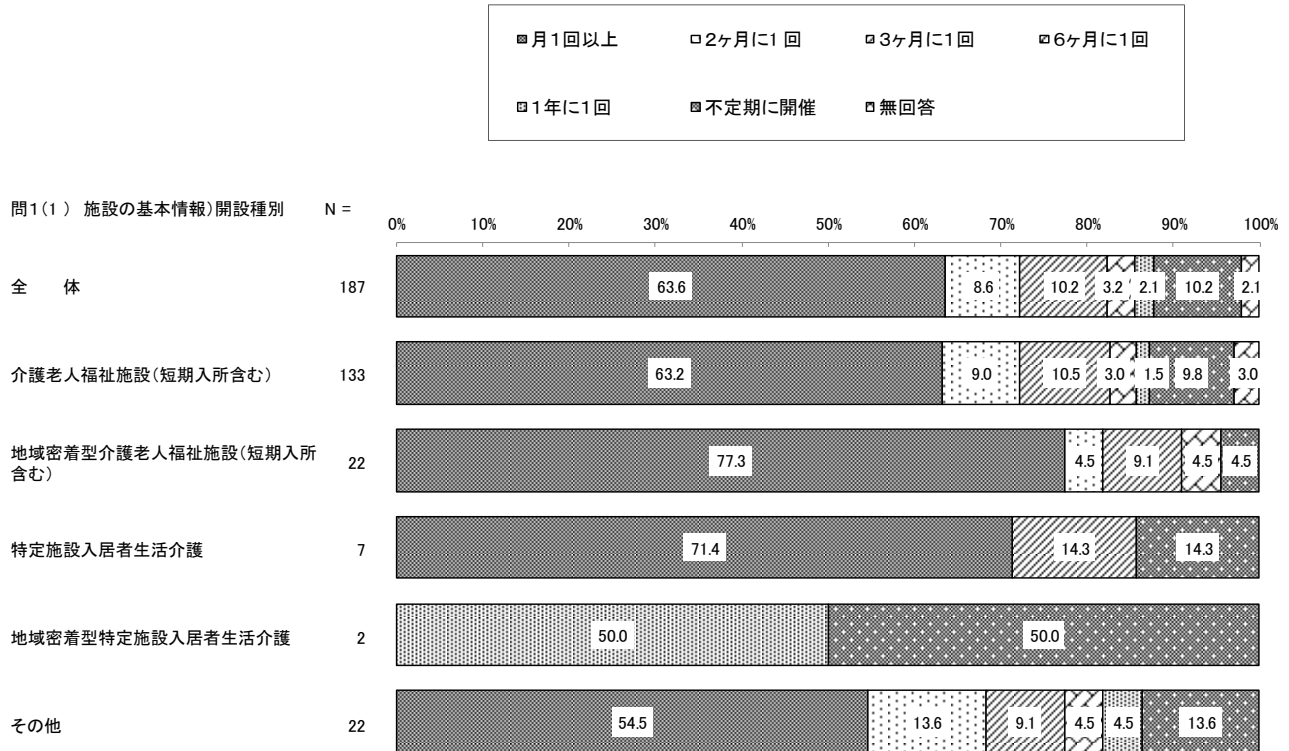
		問3-1(1) 組織的な取組み)委員会の設置有無			
		サンプル数	設置している	設置していない	無回答
問1(1) 施設の基本情報)	全 体	571	187	372	12
		100.0	32.7	65.1	2.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	133	230	5
		100.0	36.1	62.5	1.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	22	27	2
		100.0	43.1	52.9	3.9
	特定施設入居者生活介護	40	7	33	-
	100.0	17.5	82.5	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	2	7	-	
	100.0	22.2	77.8	-	
その他	97	22	70	5	
	100.0	22.7	72.2	5.2	

2) 委員会の開催頻度

委員会の開催頻度は、設置施設の 63.6%が月に 1 回以上委員会を開催していた。

図表 86 委員会の開催頻度(グラフ)

問3-1(2) 組織的な取り組み)委員会の開催頻度



図表 87 委員会の開催頻度(表)

		問3-1(2) 組織的な取り組み)委員会の開催頻度							
		サンプル数	月1回以上	2ヶ月に1回	3ヶ月に1回	6ヶ月に1回	1年に1回	不定期に開催	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	187	119	16	19	6	4	19	4
		100.0	63.6	8.6	10.2	3.2	2.1	10.2	2.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	133	84	12	14	4	2	13	4
		100.0	63.2	9.0	10.5	3.0	1.5	9.8	3.0
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22	17	1	2	1	-	1	-
		100.0	77.3	4.5	9.1	4.5	-	4.5	-
	特定施設入居者生活介護	7	5	-	1	-	-	1	-
		100.0	71.4	-	14.3	-	-	14.3	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	-	-	-	1	1	-	
	100.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	
その他	22	12	3	2	1	1	3	-	
	100.0	54.5	13.6	9.1	4.5	4.5	13.6	-	

3) 不定期の開催数

委員会を不定期的に開催している施設における開催頻度は、次の通りであった。

図表 88 不定期の開催数

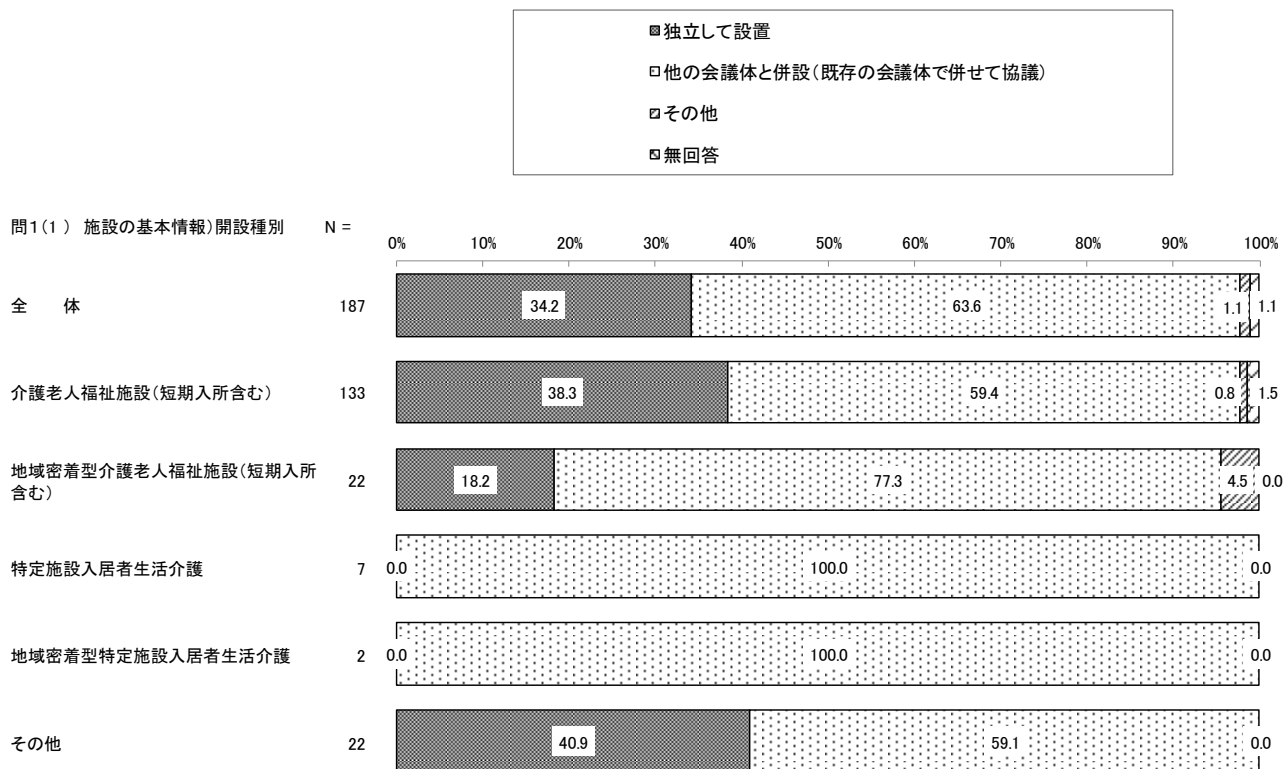
		問3-1(2) 組織的な取り組み) 不定期の開催数				
		サンプル数	回(平均)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報(開設種別) 施設の基本情報	全 体	16 100.0	3.00	1.66	1.00	8.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	11 68.8	3.09	1.73	2.00	8.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	1 6.3	2.00	0.00	2.00	2.00
	特定施設入居者生活介護	1 6.3	2.00	0.00	2.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1 6.3	4.00	0.00	4.00	4.00
	その他	2 12.5	3.00	2.00	1.00	5.00

4) 委員会の位置づけ

委員会の位置づけは、委員会を設置する施設のうち 63.6%が他の会議体と併設で委員会を位置づけていた。

図表 89 委員会の位置づけ(グラフ)

問3-1(3) 組織的な取り組み)委員会の位置づけ



図表 90 委員会の位置づけ(表)

		問3-1(3) 組織的な取り組み)委員会の位置づけ				
		サンプル数	独立して設置	他の会議体と併設(既存の会議体で併せて協議)	その他	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	187	64	119	2	2
		100.0	34.2	63.6	1.1	1.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	133	51	79	1	2
		100.0	38.3	59.4	0.8	1.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22	4	17	1	-
		100.0	18.2	77.3	4.5	-
	特定施設入居者生活介護	7	-	7	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
その他	22	9	13	-	-	
	100.0	40.9	59.1	-	-	

5) 委員会参加者の構成:管理者(施設長等)

委員会への管理者(施設長等)の参加人数は、次の通りであった。

図表 91 委員会参加者の構成:管理者(施設長等)

		問3-1(4)-1 委員会の参加者構成)管理者(施設長等)				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問 1 報 開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	184	1.03	0.94	0.00	7.00
		100.0				
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130	0.99	0.85	0.00	5.00
		70.7				
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22	1.41	1.50	0.00	7.00
		12.0				
	特定施設入居者生活介護	7	1.00	0.00	1.00	1.00
		3.8				
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	1.00	0.00	1.00	1.00
		1.1				
	その他	22	0.91	0.79	0.00	3.00
		12.0				

6) 委員会参加者の構成:介護職員

委員会への介護職員の参加人数は、次の通りであった。

図表 92 委員会参加者の構成:介護職員

		問3-1(4)-2 委員会の参加者構成)介護職員				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	184 100.0	5.19	3.89	0.00	26.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130 70.7	5.25	3.95	0.00	26.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22 12.0	5.18	3.61	2.00	16.00
	特定施設入居者生活介護	7 3.8	7.29	6.04	2.00	20.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2 1.1	4.50	2.50	2.00	7.00
	その他	22 12.0	4.18	2.62	0.00	10.00

7) 委員会参加者の構成:医師

委員会への医師の参加人数は、次の通りであった。

図表 93 委員会参加者の構成:医師

		問3-1(4)-3 委員会の参加者構成)医師				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	184 100.0	0.07	0.26	0.00	1.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130 70.7	0.05	0.21	0.00	1.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22 12.0	0.09	0.29	0.00	1.00
	特定施設入居者生活介護	7 3.8	0.00	0.00	0.00	0.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2 1.1	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他	22 12.0	0.23	0.42	0.00	1.00

8) 委員会参加者の構成:看護師

委員会への看護師の参加人数は、次の通りであった。

図表 94 委員会参加者の構成:看護師

		問3-1(4)-4 委員会の参加者構成)看護師				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	184 100.0	0.88	0.75	0.00	4.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130 70.7	0.82	0.67	0.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22 12.0	1.18	0.89	0.00	4.00
	特定施設入居者生活介護	7 3.8	1.43	0.73	1.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2 1.1	0.50	0.50	0.00	1.00
	その他	22 12.0	0.82	0.89	0.00	3.00

9) 委員会参加者の構成:リハビリテーション専門職

委員会へのリハビリテーション専門職の参加人数は、次の通りであった。

図表 95 委員会参加者の構成:リハビリテーション専門職

		問3-1(4)-5 委員会の参加者構成)リハビリテーション専門職				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	184 100.0	0.52	0.64	0.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130 70.7	0.47	0.60	0.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22 12.0	0.45	0.50	0.00	1.00
	特定施設入居者生活介護	7 3.8	0.43	0.49	0.00	1.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2 1.1	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他	22 12.0	0.95	0.88	0.00	3.00

10) 委員会参加者の構成:その他

委員会へのその他職員の参加人数は、次の通りであった。

図表 96 委員会参加者の構成:その他

		問3-1(4)-6 委員会の参加者構成)その他				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報(開設種別)施設の基本情報	全 体	184 100.0	1.35	1.54	0.00	11.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130 70.7	1.41	1.67	0.00	11.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22 12.0	1.27	1.05	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	7 3.8	1.14	0.83	0.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2 1.1	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他	22 12.0	1.23	1.35	0.00	4.00

11) 委員の総人数

委員会委員の総人数は、次の通りであった。

図表 97 委員の総人数

		問3-1(4)計 委員会の参加者構成)委員の総人数				
		サンプル数	平均(名)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報(開設種別)施設の基本情報	全 体	184 100.0	9.03	4.67	1.00	27.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	130 70.7	8.98	4.70	2.00	27.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22 12.0	9.59	4.38	5.00	20.00
	特定施設入居者生活介護	7 3.8	11.29	6.63	6.00	25.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2 1.1	6.00	3.00	3.00	9.00
	その他	22 12.0	8.32	3.76	1.00	15.00

12) 委員会での協議内容

委員会の協議内容としては、「介護ロボット活用中の利用者の状況確認」、「介護ロボットを活用したケアの質の向上・確保」の割合が高かった。

図表 98 委員会での協議内容

		問3-1(5) 組織的な取り組み 委員会での協議内容											
		サンプル数	介護ロボット活用中の利用者の状況確認	介護ロボットを活用したケアの質の向上・確保	介護ロボット適応可否の検討(既存利用者、新規利用者)	ヒヤリハット・事故等の発生状況確認	機器の不具合等の発生状況共有	職員の負担を軽減する運用方法の検討・効果の把握	利用方法の相談・工夫の共有	機器の新規導入や追加導入に向けた検討・情報共有	メーカーからの技術情報の報告・共有	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	187	127	114	88	100	101	105	99	66	41	3	3
		100.0	67.9	61.0	47.1	53.5	54.0	56.1	52.9	35.3	21.9	1.6	1.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	133	89	83	60	65	70	76	71	52	27	3	2
		100.0	66.2	62.4	45.1	48.9	52.6	57.1	53.4	39.1	20.3	2.3	1.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22	20	13	12	18	16	10	12	4	4	-	-
		100.0	90.9	59.1	54.5	81.8	72.7	45.5	54.5	18.2	18.2	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	5	4	4	5	4	4	4	1	2	-	-
		100.0	71.4	57.1	57.1	71.4	57.1	57.1	57.1	14.3	28.6	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	1	1	1	-	1	-	1	-	1	-	-	
	100.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	
その他	22	12	12	10	11	10	14	10	9	7	-	1	
	100.0	54.5	54.5	45.5	50.0	45.5	63.6	45.5	40.9	31.8	-	4.5	

13) 現場の意見の反映

委員会への現場の意見の反映方法は、84.0%が「現場を代表する職員が委員として参加している」方法を採用していた。

図表 99 現場の意見の反映

		問3-1(6) 組織的な取り組み 現場の意見の反映方法						
		サンプル数	現場を代表する職員が委員として参加している	委員が現場の職員の間で意見を定期的に設けている	書面アンケート等で定期的に意見を収集している	施設職員参加のSNSやメールなどで随時意見を収集している	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	187	157	82	35	4	5	4
		100.0	84.0	43.9	18.7	2.1	2.7	2.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	133	113	57	24	3	3	3
		100.0	85.0	42.9	18.0	2.3	2.3	2.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	22	21	9	4	1	-	-
		100.0	95.5	40.9	18.2	4.5	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	6	3	2	-	1	-
		100.0	85.7	42.9	28.6	-	14.3	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	2	-	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
その他	22	14	12	5	-	1	1	
	100.0	63.6	54.5	22.7	-	4.5	4.5	

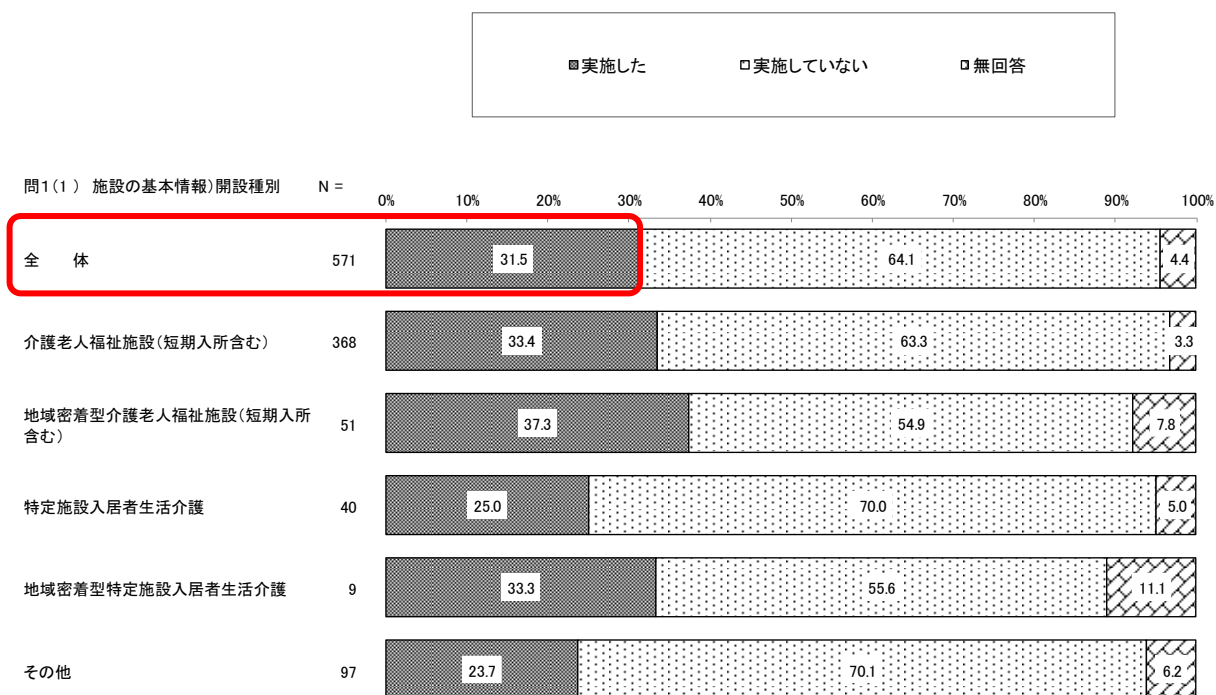
(4) 継続的に実施する教育・研修等の状況

1) 直近1年以内における介護ロボットに関する教育・研修等の実施状況

直近1年以内における介護ロボットに関する職員向け教育・研修を実施した施設は約3割であった。

図表 100 直近1年以内における介護ロボットに関する教育・研修等の実施状況(グラフ)

問3-2(1) 組織的な取り組み)介護ロボットに関する教育・研修の実施



図表 101 直近1年以内における介護ロボットに関する教育・研修等の実施状況(表)

		問3-2(1) 組織的な取り組み)介護ロボットに関する教育・研修の実施			
		サンプル数	実施した	実施していない	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	180	366	25
		100.0	31.5	64.1	4.4
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	123	233	12
		100.0	33.4	63.3	3.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	19	28	4
		100.0	37.3	54.9	7.8
	特定施設入居者生活介護	40	10	28	2
	100.0	25.0	70.0	5.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	3	5	1	
	100.0	33.3	55.6	11.1	
その他	97	23	68	6	
	100.0	23.7	70.1	6.2	

2) 研修のテーマ件数

教育・研修で設定したテーマの件数は、次の通りであった。

図表 102 研修のテーマ件数

		問3-2(2) 組織的な取り組み)教育・研修で設定したテーマ				
		サンプル数	平均(件)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	170 100.0	1.61	1.22	1.00	10.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	115 67.6	1.68	1.29	1.00	10.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19 11.2	1.63	1.35	1.00	7.00
	特定施設入居者生活介護	10 5.9	1.70	1.27	1.00	5.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3 1.8	1.00	0.00	1.00	1.00
	その他	21 12.4	1.29	0.55	1.00	3.00

3) 研修の開催回数(延べ)

教育・研修の開催回数は、次の通りであった。

図表 103 研修の開催回数(延べ)

		問3-2(2) 組織的な取り組み)教育・研修の開催回数				
		サンプル数	平均(回)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	171 100.0	3.27	3.30	1.00	20.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	115 67.3	3.57	3.41	1.00	20.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19 11.1	2.21	1.40	1.00	7.00
	特定施設入居者生活介護	10 5.8	2.70	3.16	1.00	12.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3 1.8	3.67	3.77	1.00	9.00
	その他	22 12.9	2.91	3.72	1.00	17.00

4) 研修の対象者・参加者

教育・研修の対象者および参加者は、次の通りであった。

図表 104 研修の対象者・参加者

		問3-2(3) 組織的な取り組み教育・研修の対象者・参加者						
		サンプル数	介護職員(パート等含む)	医療職職員	施設長等の管理職	事務を担当する職員(パート等含む)	その他	無回答
問1 (1) 報 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	180	173	93	59	45	15	3
		100.0	96.1	51.7	32.8	25.0	8.3	1.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	119	63	37	32	8	3
		100.0	96.7	51.2	30.1	26.0	6.5	2.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	18	12	10	6	3	-
		100.0	94.7	63.2	52.6	31.6	15.8	-
	特定施設入居者生活介護	10	9	6	4	4	1	-
		100.0	90.0	60.0	40.0	40.0	10.0	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	3	1	1	-	-	-	
	100.0	100.0	33.3	33.3	-	-	-	
その他	23	22	10	6	3	3	-	
	100.0	95.7	43.5	26.1	13.0	13.0	-	

5) 研修の開催方法

教育・研修の開催方法は、開催した施設のうち 87.2%が「対面・講義形式」であった。

図表 105 研修の開催方法

		問3-2(4) 組織的な取り組み教育・研修の開催方式						
		サンプル数	対面・講義形式	オンライン講座 (Zoom等)	ビデオ講座・DVD講座(受講者の都合で自由に受講)	e-ラーニング(パワーポイント形式の資料)	その他	無回答
問1 (1) 報 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	180	157	27	6	4	8	4
		100.0	87.2	15.0	3.3	2.2	4.4	2.2
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	107	20	4	2	6	4
		100.0	87.0	16.3	3.3	1.6	4.9	3.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	18	3	1	-	1	-
		100.0	94.7	15.8	5.3	-	5.3	-
	特定施設入居者生活介護	10	9	1	-	-	-	-
		100.0	90.0	10.0	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	2	1	-	-	-	-	
	100.0	66.7	33.3	-	-	-	-	
その他	23	19	2	1	2	1	-	
	100.0	82.6	8.7	4.3	8.7	4.3	-	

6) 研修の講師

研修の講師は、教育・研修を行った施設のうち 53.9%が「メーカーや販売代理店の担当者」を招聘していた。

図表 106 研修の講師

		問3-2(5) 組織的な取り組み)教育・研修の講師(話題提供者)						
		サンプル数	施設の介護ロボット担当者	施設的一般職員	メーカーや販売代理店の担当者	他施設の利用経験者	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	180	75	37	97	3	13	3
		100.0	41.7	20.6	53.9	1.7	7.2	1.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	52	22	66	3	9	3
		100.0	42.3	17.9	53.7	2.4	7.3	2.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	7	6	12	-	-	-
		100.0	36.8	31.6	63.2	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	10	3	1	9	-	-	-
		100.0	30.0	10.0	90.0	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	1	-	2	-	-	-	
	100.0	33.3	-	66.7	-	-	-	
その他	23	12	8	7	-	3	-	
	100.0	52.2	34.8	30.4	-	13.0	-	

7) メーカーや販売代理店の支援

メーカーや販売代理店の支援は、教育・研修を行った施設のうち 47.8%が「研修用資料の提供」を受けていた。

図表 107 メーカーや販売代理店の支援

		問3-2(6) 組織的な取り組み)教育・研修へのメーカーや販売代理店の支援						
		サンプル数	講師の招聘	研修用資料の提供	試用機器の無料貸し出し	支援を受けたことはない	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	180	69	86	59	39	5	3
		100.0	38.3	47.8	32.8	21.7	2.8	1.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	52	61	46	22	1	3
		100.0	42.3	49.6	37.4	17.9	0.8	2.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	4	9	7	6	-	-
		100.0	21.1	47.4	36.8	31.6	-	-
	特定施設入居者生活介護	10	8	7	1	-	-	-
		100.0	80.0	70.0	10.0	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	1	2	1	1	-	-	
	100.0	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	
その他	23	3	7	4	9	4	-	
	100.0	13.0	30.4	17.4	39.1	17.4	-	

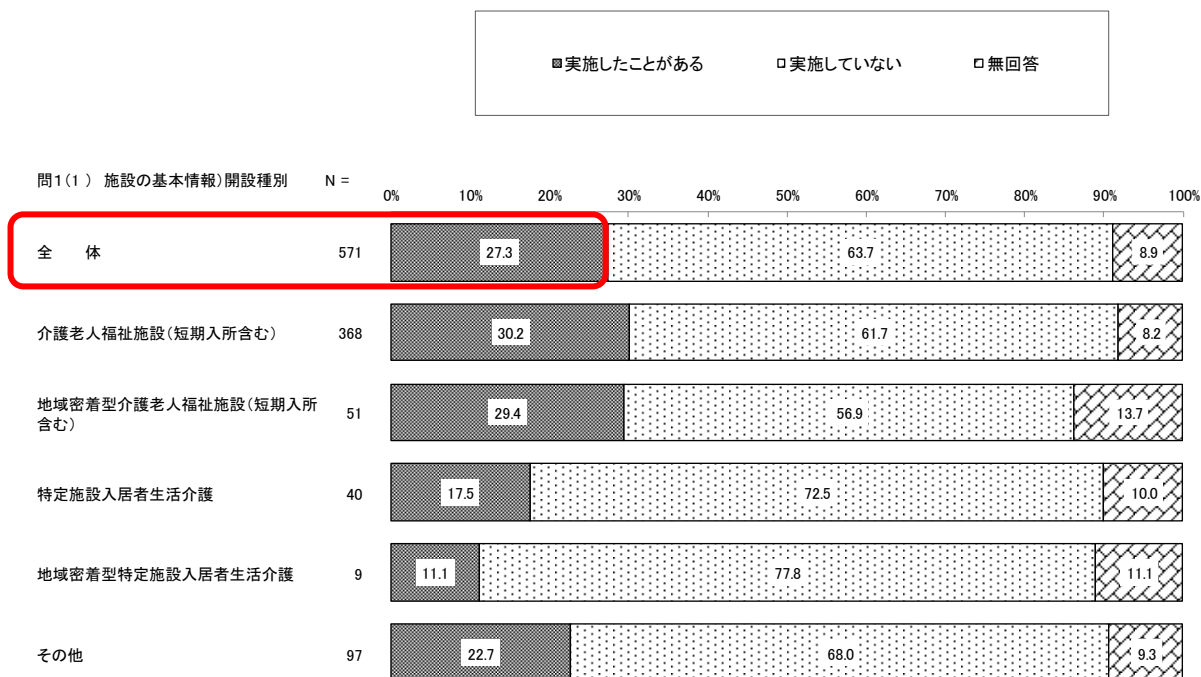
(5) 介護ロボット導入をきっかけとする利用者及び自施設に関するデータ分析内容

1) データ分析の実施有無

介護ロボット導入をきっかけとする利用者及び自施設に関するデータ分析を実施したことがあると回答した施設は約3割であった。

図表 108 データ分析の実施有無(グラフ)

問3-3(1) 組織的な取り組み)データ分析の実施有無



図表 109 データ分析の実施有無(表)

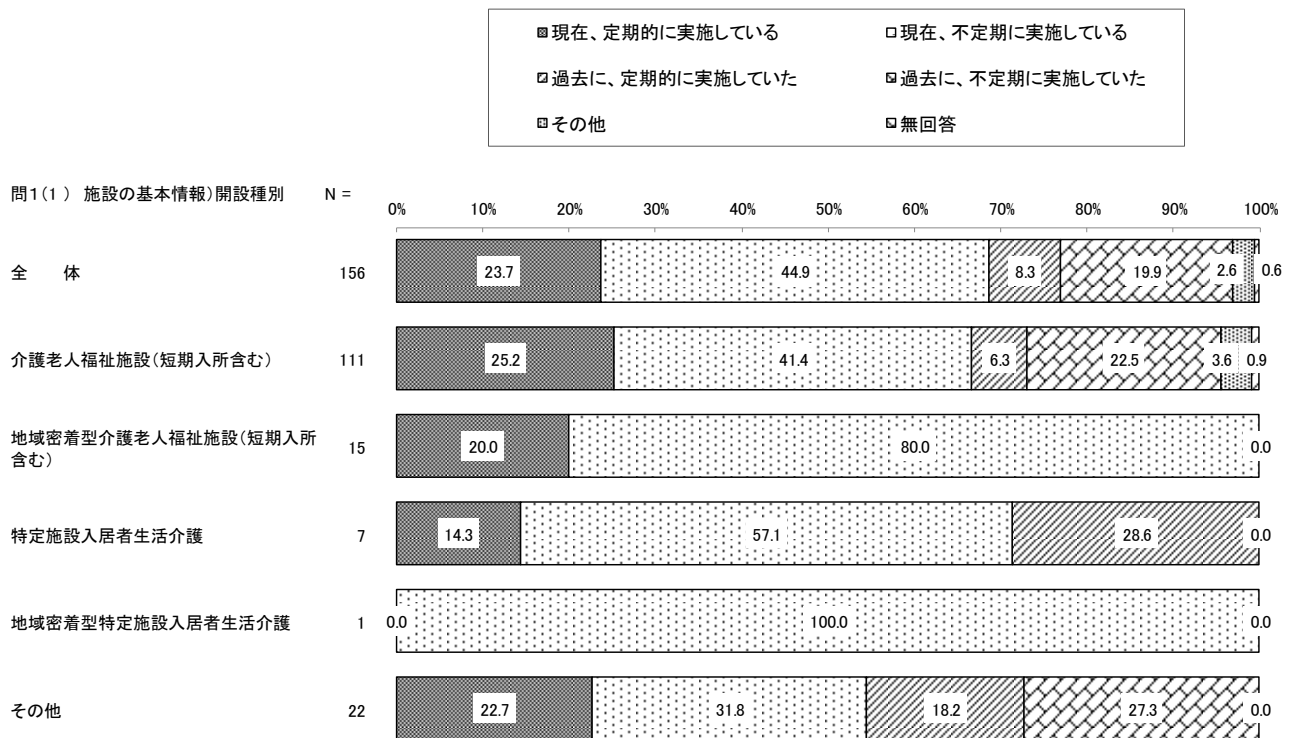
		問3-3(1) 組織的な取り組み)データ分析の実施有無			
		サンプル数	実施したことがある	実施していない	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全体	571	156	364	51
		100.0	27.3	63.7	8.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	111	227	30
		100.0	30.2	61.7	8.2
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	15	29	7
		100.0	29.4	56.9	13.7
	特定施設入居者生活介護	40	7	29	4
	100.0	17.5	72.5	10.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	1	7	1	
	100.0	11.1	77.8	11.1	
その他	97	22	66	9	
	100.0	22.7	68.0	9.3	

2) データ分析の実施頻度

データ分析の実施頻度は、実施している施設のうち 44.9%が「現在、不定期に実施している」との回答であった。

図表 110 データ分析の実施頻度(グラフ)

問3-3(2) 組織的な取り組み)データ分析の実施頻度



図表 111 データ分析の実施頻度(表 1)

		問3-3(2) 組織的な取り組み)データ分析の実施頻度						
		サンプル数	現在、定期的に実施している	現在、不定期に実施している	過去に、定期的に実施していた	過去に、不定期に実施していた	その他	無回答
問1 報 開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	156	37	70	13	31	4	1
		100.0	23.7	44.9	8.3	19.9	2.6	0.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	111	28	46	7	25	4	1
		100.0	25.2	41.4	6.3	22.5	3.6	0.9
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	15	3	12	-	-	-	-
		100.0	20.0	80.0	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	7	1	4	2	-	-	-
		100.0	14.3	57.1	28.6	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	-	1	-	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	
その他	22	5	7	4	6	-	-	
	100.0	22.7	31.8	18.2	27.3	-	-	

図表 112 データ分析の実施頻度(表 2)

		問3-3(3) 組織的な取り組み)データ分析の実施頻度				
		サンプル数	平均(回)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	36 100.0	5.17	8.20	1.00	48.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	28 77.8	5.39	8.97	1.00	48.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	3 8.3	6.00	4.32	2.00	12.00
	特定施設入居者生活介護	1 2.8	2.00	0.00	2.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	- -	-	-	-	-
	その他	4 11.1	3.75	4.76	1.00	12.00

3) データ分析項目

データ分析項目は、実施している施設のうち 57.1%が「利用者の ADL・IADL」を分析していた。

図表 113 データ分析項目

		問3-3(4) 組織的な取り組み)データ分析の分析項目							
		サンプル数	利用者の ADL・IADL	利用者の認知機能	利用者の行動心理症状	利用者の栄養状態	利用者の口腔・嚥下機能	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	156 100.0	89 57.1	36 23.1	54 34.6	16 10.3	8 5.1	53 34.0	8 5.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	111 100.0	67 60.4	28 25.2	40 36.0	12 10.8	5 4.5	36 32.4	5 4.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	15 100.0	8 53.3	4 26.7	4 26.7	2 13.3	2 13.3	5 33.3	1 6.7
	特定施設入居者生活介護	7 100.0	4 57.1	-	2 28.6	1 14.3	-	3 42.9	1 14.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	その他	22 100.0	9 40.9	4 18.2	8 36.4	1 4.5	1 4.5	9 40.9	1 4.5

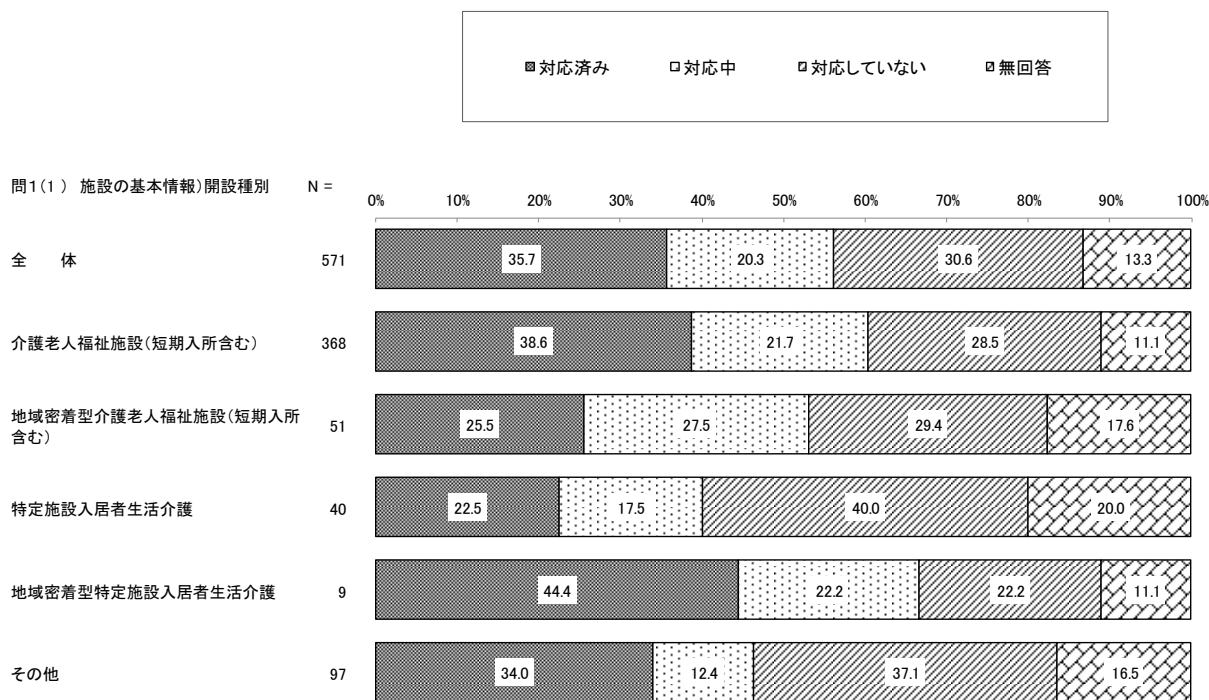
(6) 介護ロボットを考慮した安全体制の確保

1) 勤務・雇用条件への配慮(十分な休憩時間の確保等)

勤務・雇用条件への配慮の状況は、36.7%が「対応済み」との回答であった。

図表 114 勤務・雇用条件への配慮(十分な休憩時間の確保等)(グラフ)

問3-4(1)① 組織的な取り組み)勤務・雇用条件への配慮



図表 115 勤務・雇用条件への配慮(十分な休憩時間の確保等)(表)

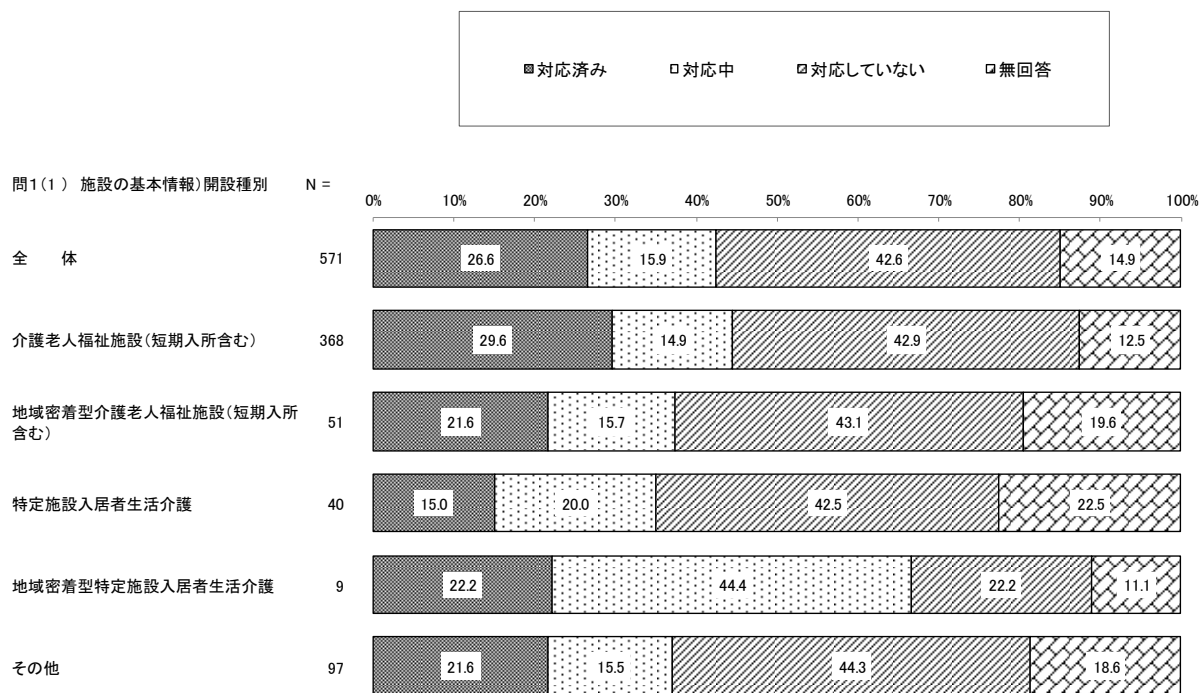
		問3-4(1)① 組織的な取り組み)勤務・雇用条件への配慮				
		サンプル数	対応済み	対応中	対応していない	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全体	571	204	116	175	76
		100.0	35.7	20.3	30.6	13.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	142	80	105	41
		100.0	38.6	21.7	28.5	11.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	13	14	15	9
		100.0	25.5	27.5	29.4	17.6
	特定施設入居者生活介護	40	9	7	16	8
	100.0	22.5	17.5	40.0	20.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	4	2	2	1	
	100.0	44.4	22.2	22.2	11.1	
その他	97	33	12	36	16	
	100.0	34.0	12.4	37.1	16.5	

2) 緊急時の体制整備(近隣在住職を中心とした緊急参集要員の確保等)

緊急時の体制整備の状況は、26.6%が「対応済み」との回答であった。

図表 116 緊急時の体制整備(近隣在住職を中心とした緊急参集要員の確保等)(グラフ)

問3-4(1)② 組織的な取り組み)緊急時の体制整備



図表 117 緊急時の体制整備(近隣在住職を中心とした緊急参集要員の確保等)(表)

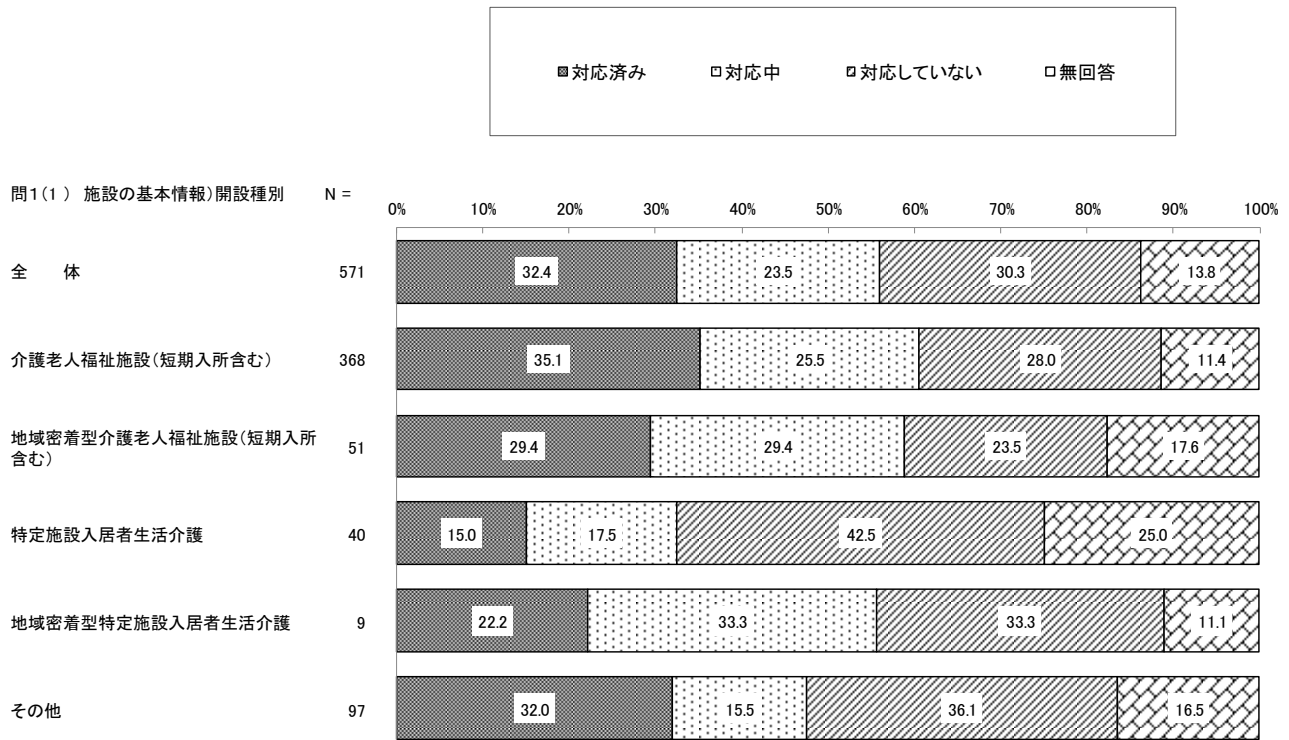
		問3-4(1)② 組織的な取り組み)緊急時の体制整備				
		サンプル数	対応済み	対応中	対応していない	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	571	152	91	243	85
		100.0	26.6	15.9	42.6	14.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	109	55	158	46
		100.0	29.6	14.9	42.9	12.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	11	8	22	10
		100.0	21.6	15.7	43.1	19.6
	特定施設入居者生活介護	40	6	8	17	9
	100.0	15.0	20.0	42.5	22.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	2	4	2	1	
	100.0	22.2	44.4	22.2	11.1	
その他	97	21	15	43	18	
	100.0	21.6	15.5	44.3	18.6	

3) 機器の不具合の定期チェックの実施(メーカー連携等)

機器の不具合の定期チェックは、32.4%が「対応済み」との回答であった。

図表 118 機器の不具合の定期チェックの実施(メーカー連携等)(グラフ)

問3-4(1)③ 組織的な取り組み)機器の不具合の定期チェック



図表 119 機器の不具合の定期チェックの実施(メーカー連携等)(表)

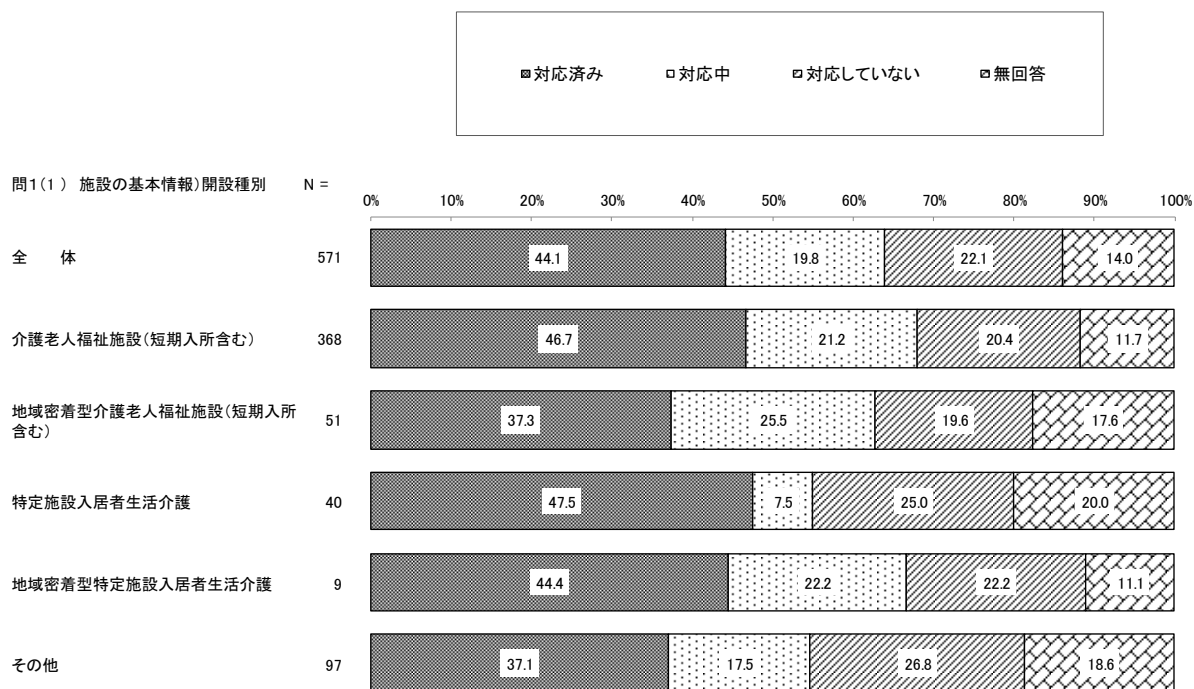
		問3-4(1)③ 組織的な取り組み)機器の不具合の定期チェック				
		サンプル数	対応済み	対応中	対応していない	無回答
問1(1) 報(1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	571	185	134	173	79
		100.0	32.4	23.5	30.3	13.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	129	94	103	42
		100.0	35.1	25.5	28.0	11.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	15	15	12	9
		100.0	29.4	29.4	23.5	17.6
	特定施設入居者生活介護	40	6	7	17	10
	100.0	15.0	17.5	42.5	25.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	2	3	3	1	
	100.0	22.2	33.3	33.3	11.1	
その他	97	31	15	35	16	
	100.0	32.0	15.5	36.1	16.5	

4) 夜間の訪室が必要な利用者に対する訪室の個別実施

夜間の訪室が必要な利用者に対する訪室の個別実施は、44.1%が「対応済み」との回答であった。
 ※本設問は、介護ロボットを考慮した安全体制の確保に対応しているかについて調査しているものである。「対応していない」と回答した施設が訪室の個別実施をしていないと回答したものではない。

図表 120 夜間の訪室が必要な利用者に対する訪室の個別実施(グラフ)

問3-4(1)④ 組織的な取り組み)夜間の訪室の個別実施



図表 121 夜間の訪室が必要な利用者に対する訪室の個別実施(表)

		問3-4(1)④ 組織的な取り組み)夜間の訪室の個別実施				
		サンプル数	対応済み	対応中	対応していない	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 の 基 本 情 報	全体	571	252	113	126	80
		100.0	44.1	19.8	22.1	14.0
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	172	78	75	43
		100.0	46.7	21.2	20.4	11.7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	19	13	10	9
		100.0	37.3	25.5	19.6	17.6
	特定施設入居者生活介護	40	19	3	10	8
	100.0	47.5	7.5	25.0	20.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	4	2	2	1	
	100.0	44.4	22.2	22.2	11.1	
その他	97	36	17	26	18	
	100.0	37.1	17.5	26.8	18.6	

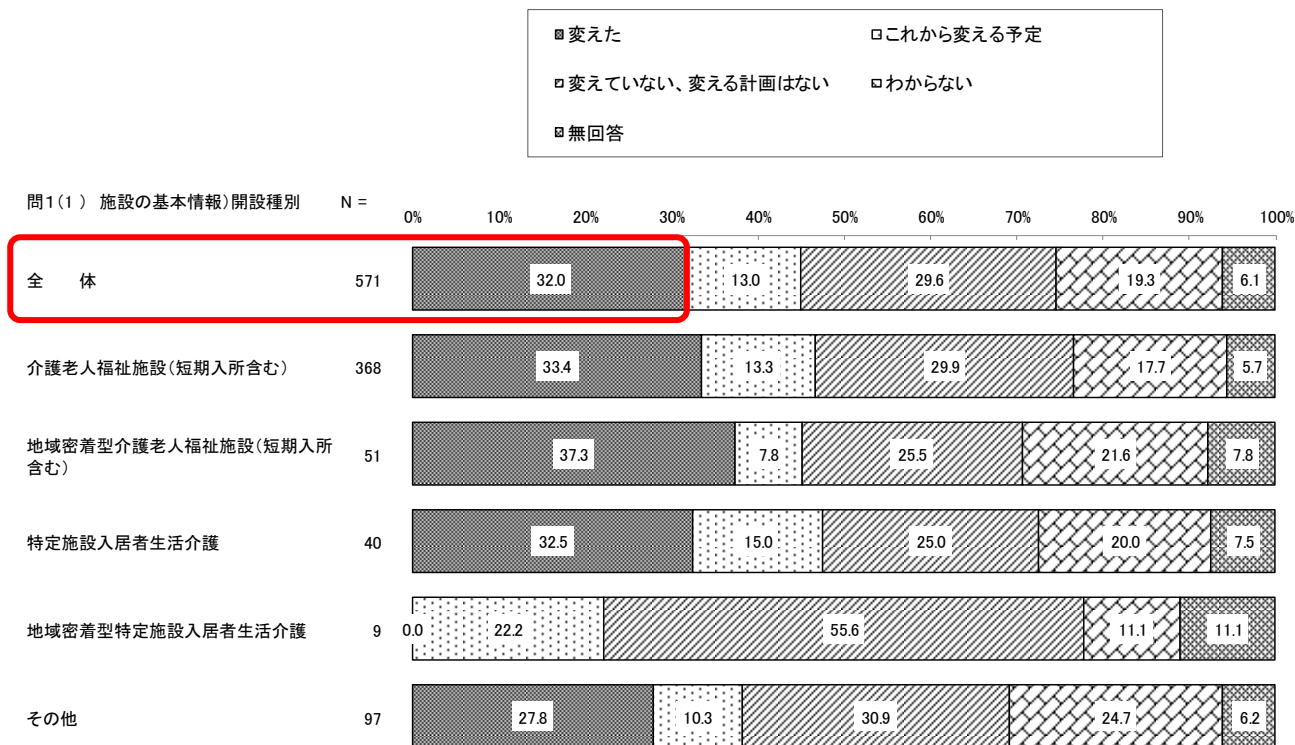
(7) 職員の変化、利用者の変化について

1) 介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更

介護ロボットの導入により、ケアのオペレーションを変えたと回答した施設は約3割であった。

図表 122 介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更(グラフ)

問4(1) 職員、利用者の変化)介護ロボットの導入によりケアのオペレーションを変更



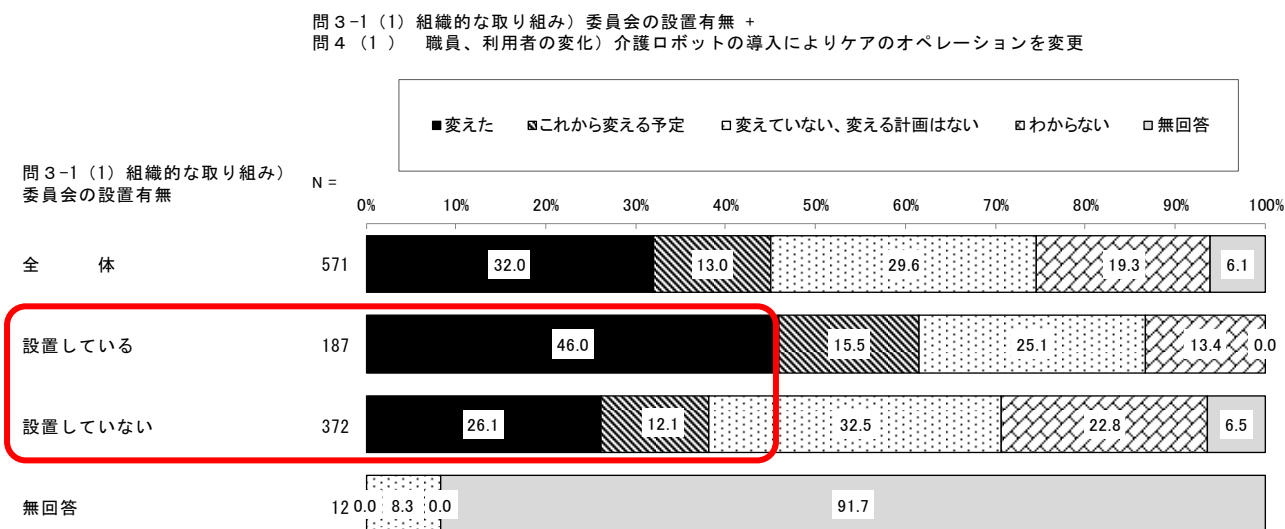
図表 123 介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更(表)

		問4(1) 職員、利用者の変化)介護ロボットの導入によりケアのオペレーションを変更					
		サンプル数	変えた	これから変える予定	変えていない、変える計画はない	わからない	無回答
問1 (1) 報 (1) 施設種別 の基本情報	全体	571	183	74	169	110	35
		100.0	32.0	13.0	29.6	19.3	6.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	123	49	110	65	21
		100.0	33.4	13.3	29.9	17.7	5.7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	19	4	13	11	4
		100.0	37.3	7.8	25.5	21.6	7.8
	特定施設入居者生活介護	40	13	6	10	8	3
	100.0	32.5	15.0	25.0	20.0	7.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	2	5	1	1	
	100.0	-	22.2	55.6	11.1	11.1	
その他	97	27	10	30	24	6	
	100.0	27.8	10.3	30.9	24.7	6.2	

2) 委員会設置有無別介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更

介護ロボットの導入によるケアのオペレーションを変えた施設を委員会設置有無別で比較した。委員会を設置している施設では 46.0%、委員会を設置していない施設では 26.1%であり、委員会を設置している施設の方が、ケアのオペレーションを変えた割合が高かった。

図表 124 委員会設置有無別介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更(グラフ)



図表 125 委員会設置有無別介護ロボットの導入によるケアのオペレーション変更(表)

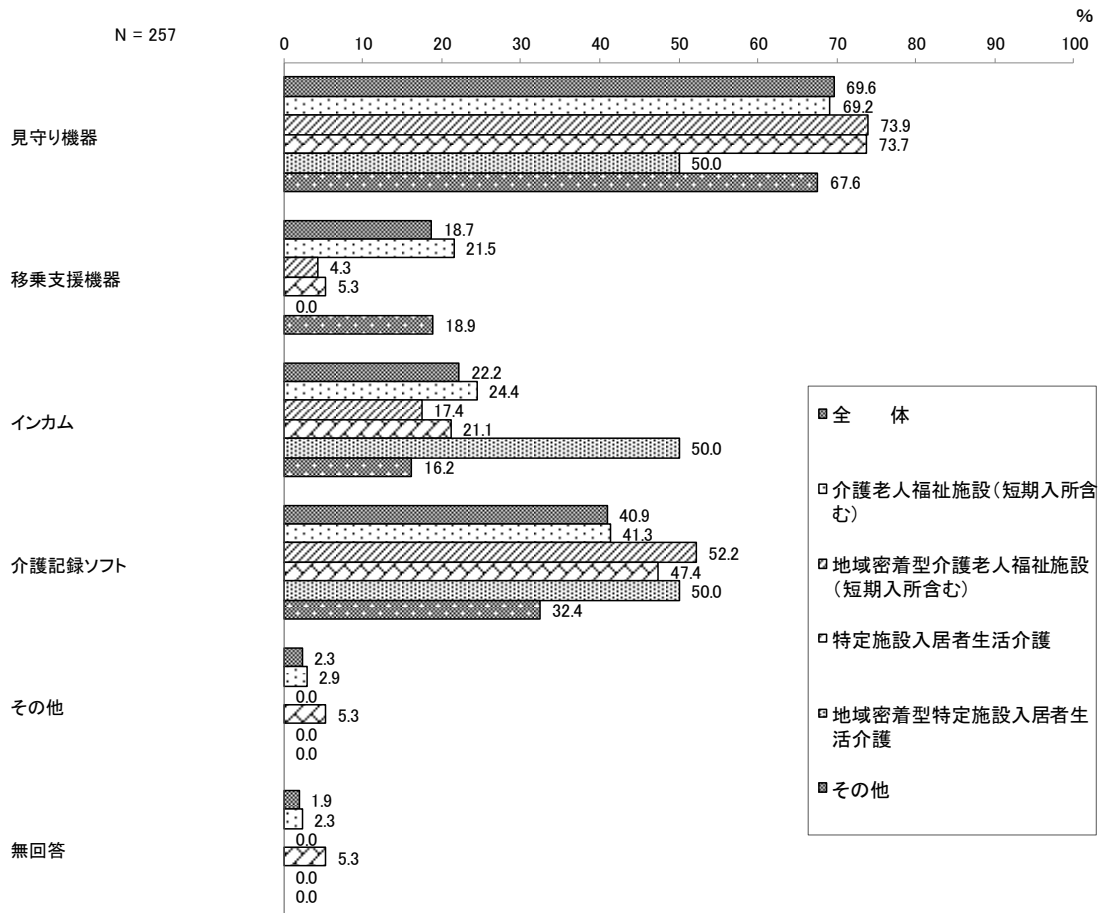
		問4(1) 職員、利用者の変化) 介護ロボットの導入によりケアのオペレーションを変更					
		サンプル数	変えた	これから変える予定	変えていない、変える計画はない	わからない	無回答
取問 3- 組1 (1) 委員 会組 織的 設置 有無	全体	571	183	74	169	110	35
		100.0	32.0	13.0	29.6	19.3	6.1
	設置している	187	86	29	47	25	0
		100.0	46.0	15.5	25.1	13.4	0.0
	設置していない	372	97	45	121	85	24
	100.0	26.1	12.1	32.5	22.8	6.5	
	無回答	12	0	0	1	0	11
		100.0	0.0	0.0	8.3	0.0	91.7

3) オペレーション変更につながった導入機器の種類

オペレーション変更につながった導入機器は、「見守り機器」とした施設が 69.6%、「介護記録ソフト」とした施設が 40.9%であった。

図表 126 オペレーション変更につながった導入機器の種類(グラフ)

問4(2) 職員、利用者の変化)オペレーションの変更は、どの機器の導入を踏まえたものか



図表 127 オペレーション変更につながった踏まえた導入機器の種類(表)

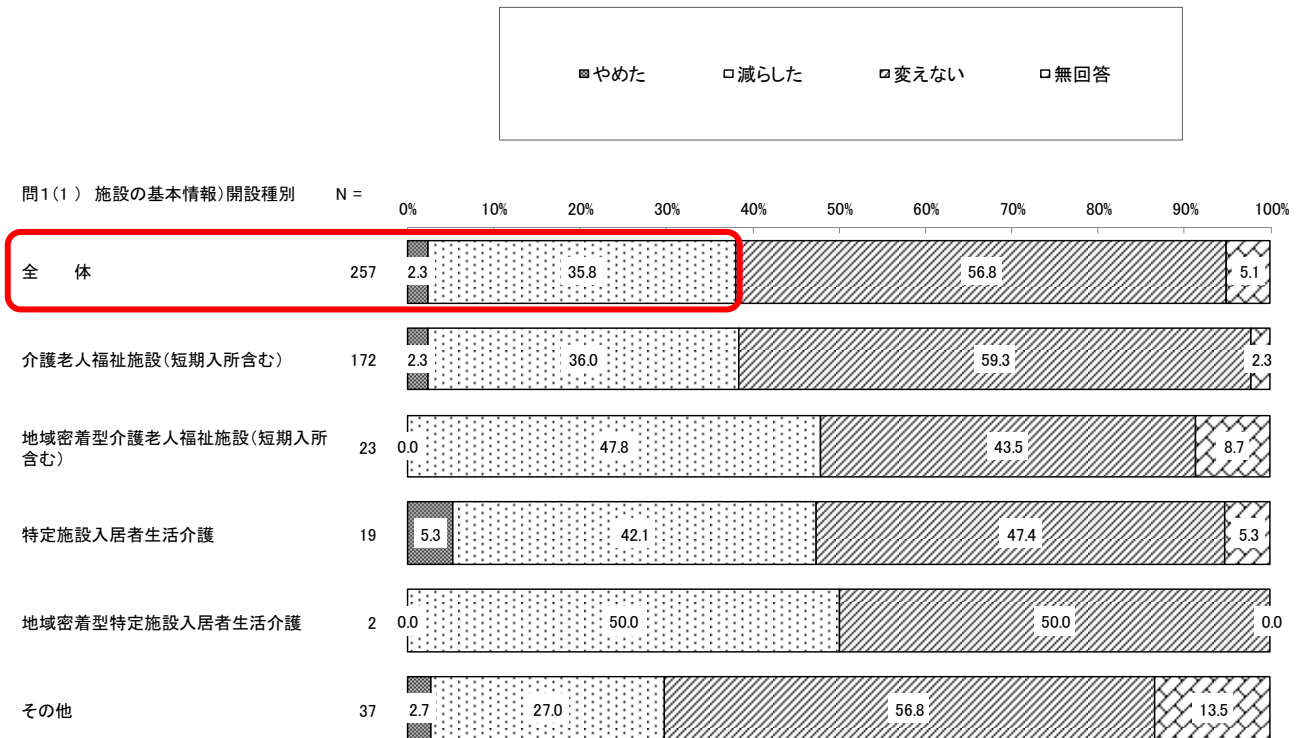
		問4(2) 職員、利用者の変化)オペレーションの変更は、どの機器の導入を踏まえたものか						
		サンプル数	見守り機器	移乗支援機器	インカム	介護記録ソフト	その他	無回答
問1 (1) 施設の種類別の基本情報	全体	257	179	48	57	105	6	5
		100.0	69.6	18.7	22.2	40.9	2.3	1.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	119	37	42	71	5	4
		100.0	69.2	21.5	24.4	41.3	2.9	2.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	17	1	4	12	-	-
		100.0	73.9	4.3	17.4	52.2	-	-
	特定施設入居者生活介護	19	14	1	4	9	1	1
	100.0	73.7	5.3	21.1	47.4	5.3	5.3	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	1	-	1	1	-	-	
	100.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	
その他	37	25	7	6	12	-	-	
	100.0	67.6	18.9	16.2	32.4	-	-	

4) オペレーション変更の状況(定期訪問)

定期訪問(巡回)をやめた、又は減らしたと回答した施設は約 4 割であった。

図表 128 オペレーション変更の状況(定期訪問)(グラフ)

問4(3)① 職員、利用者の変化)定期訪問(巡回)



図表 129 オペレーション変更の状況(定期訪問)(表)

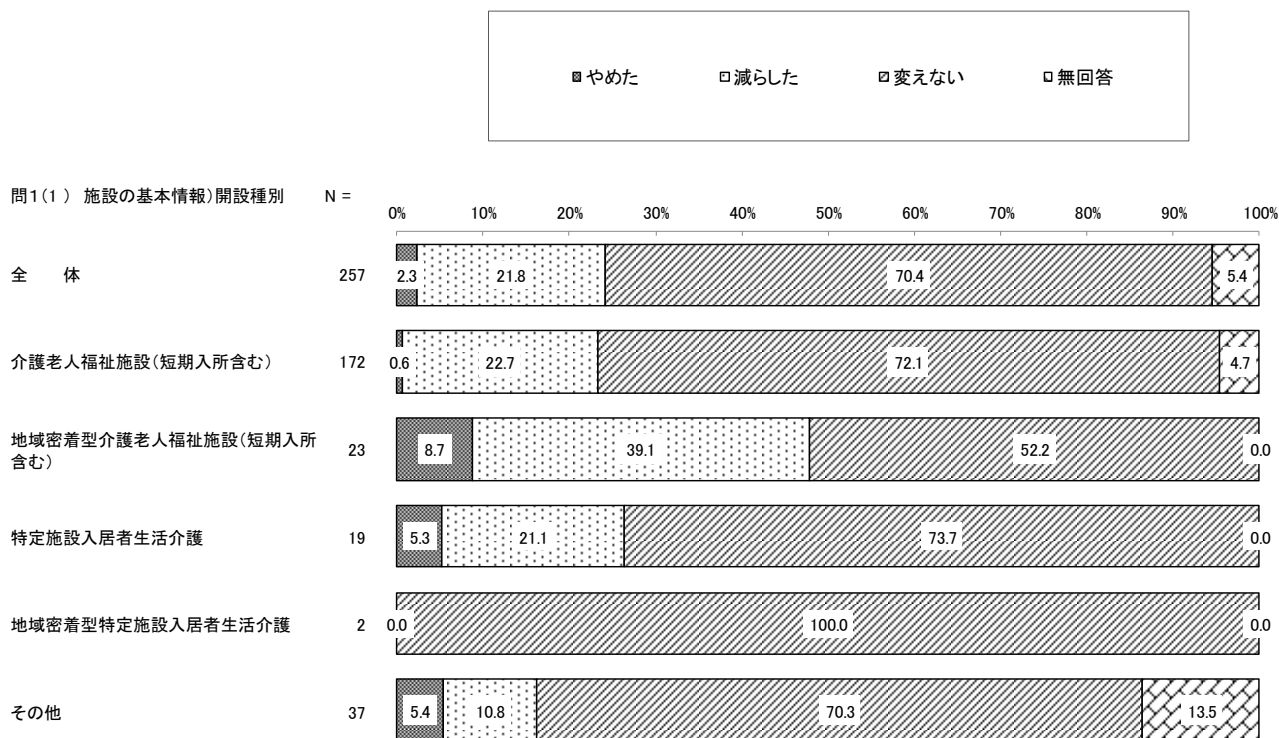
		問4(3)① 職員、利用者の変化)定期訪問(巡回)				
		サンプル数	やめた	減らした	変えない	無回答
問1(1) 報(1) 施設の種類別の基本情報	全 体	257	6	92	146	13
		100.0	2.3	35.8	56.8	5.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	4	62	102	4
		100.0	2.3	36.0	59.3	2.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	-	11	10	2
		100.0	-	47.8	43.5	8.7
	特定施設入居者生活介護	19	1	8	9	1
	100.0	5.3	42.1	47.4	5.3	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	1	1	-	
	100.0	-	50.0	50.0	-	
その他	37	1	10	21	5	
	100.0	2.7	27.0	56.8	13.5	

5) オペレーション変更の状況(定時の排泄介助)

定時の排泄介助について、当該機器導入施設の 70.4%がオペレーションを「変えない」との回答であった。

図表 130 オペレーション変更の状況(定時の排泄介助)(グラフ)

問4(3)② 職員、利用者の変化)定時の排泄介助



図表 131 オペレーション変更の状況(定時の排泄介助)(表)

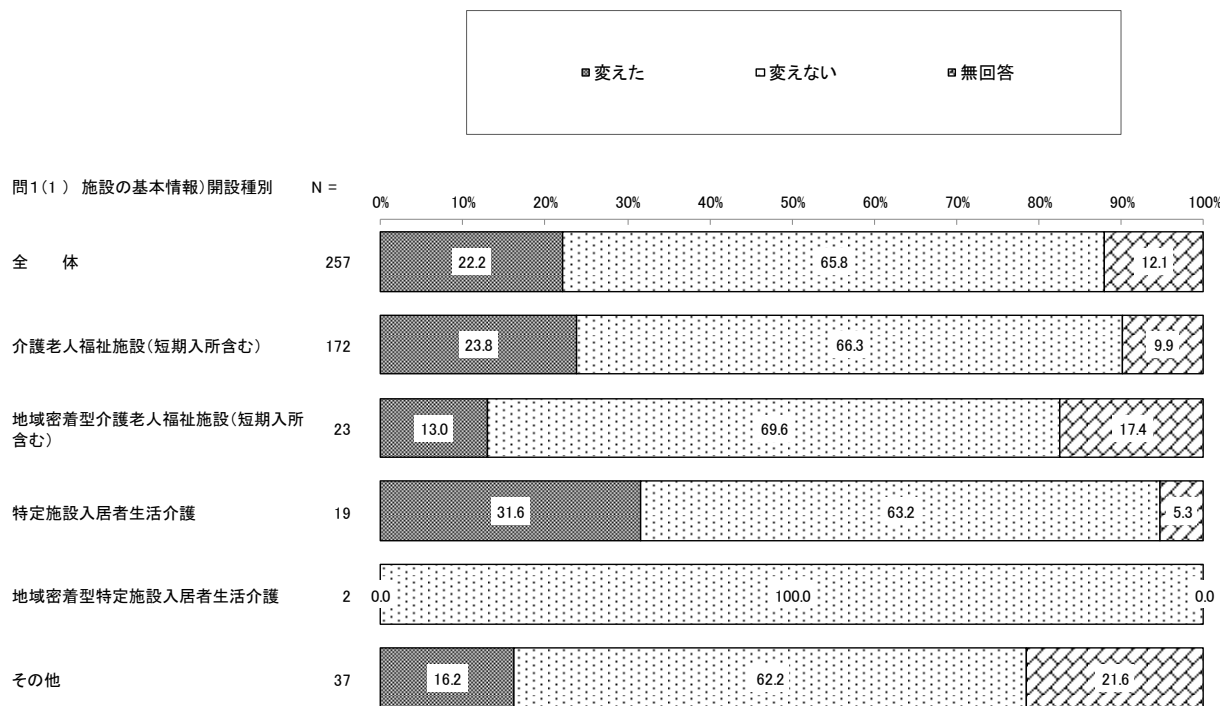
		問4(3)② 職員、利用者の変化)定時の排泄介助				
		サンプル数	やめた	減らした	変えない	無回答
問1 (1) 報 (1) 施設 開設 種別 の 基本 情	全 体	257	6	56	181	14
		100.0	2.3	21.8	70.4	5.4
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	1	39	124	8
		100.0	0.6	22.7	72.1	4.7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	2	9	12	-
		100.0	8.7	39.1	52.2	-
	特定施設入居者生活介護	19	1	4	14	-
	100.0	5.3	21.1	73.7	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	-	2	-	
	100.0	-	-	100.0	-	
その他	37	2	4	26	5	
	100.0	5.4	10.8	70.3	13.5	

6) オペレーション変更の状況(訪問・排泄介助等の個別対応)

訪問・排泄の個別対応について、当該機器導入施設の 65.8%がオペレーションを「変えない」との回答であった。

図表 132 オペレーション変更の状況(訪問・排泄介助等の個別対応)(グラフ)

問4(3)③ 職員、利用者の変化)個別対応(訪問・排泄介助等)



図表 133 オペレーション変更の状況(訪問・排泄介助等の個別対応)(表)

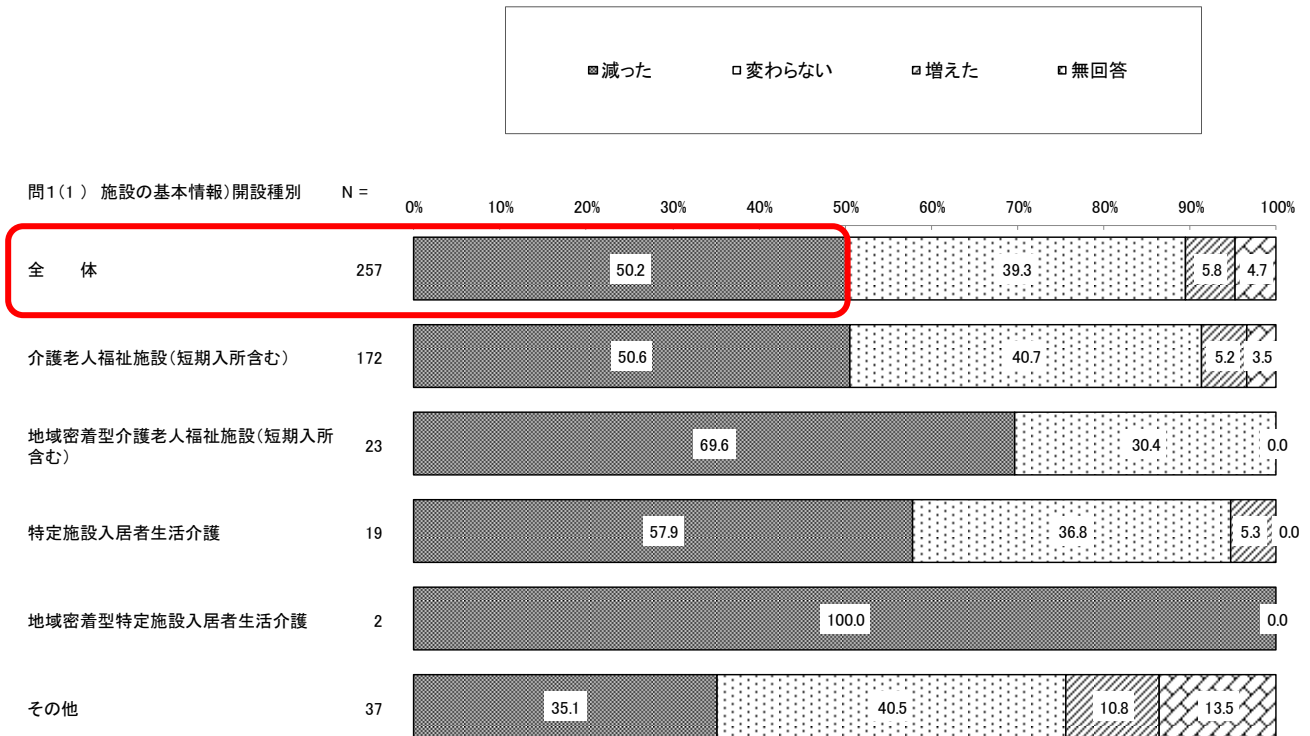
		問4(3)③ 職員、利用者の変化)個別対応(訪問・排泄介助等)			
		サンプル数	変えた	変えない	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全体	257	57	169	31
		100.0	22.2	65.8	12.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	41	114	17
		100.0	23.8	66.3	9.9
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	3	16	4
		100.0	13.0	69.6	17.4
	特定施設入居者生活介護	19	6	12	1
	100.0	31.6	63.2	5.3	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-
		100.0	-	100.0	-
	その他	37	6	23	8
		100.0	16.2	62.2	21.6

7) オペレーション変更の状況(総訪問回数)

総訪問回数が減ったと回答した施設は約半数であった。

図表 134 オペレーション変更の状況(総訪問回数)(グラフ)

問4(3)④ 職員、利用者の変化)総訪問回数



図表 135 オペレーション変更の状況(総訪問回数)(表)

		問4(3)④ 職員、利用者の変化)総訪問回数				
		サンプル数	減った	変わらない	増えた	無回答
問1(1) 報(開設種別) 施設の基本情報	全体	257	129	101	15	12
		100.0	50.2	39.3	5.8	4.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	87	70	9	6
		100.0	50.6	40.7	5.2	3.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	16	7	-	-
		100.0	69.6	30.4	-	-
	特定施設入居者生活介護	19	11	7	1	-
	100.0	57.9	36.8	5.3	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	2	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	
その他	37	13	15	4	5	
	100.0	35.1	40.5	10.8	13.5	

8) 見守り機器導入によるオペレーション変更の状況

見守り機器導入によるオペレーション変更の状況については、次の通りであった。

図表 136 見守り機器導入によるオペレーション変更の状況

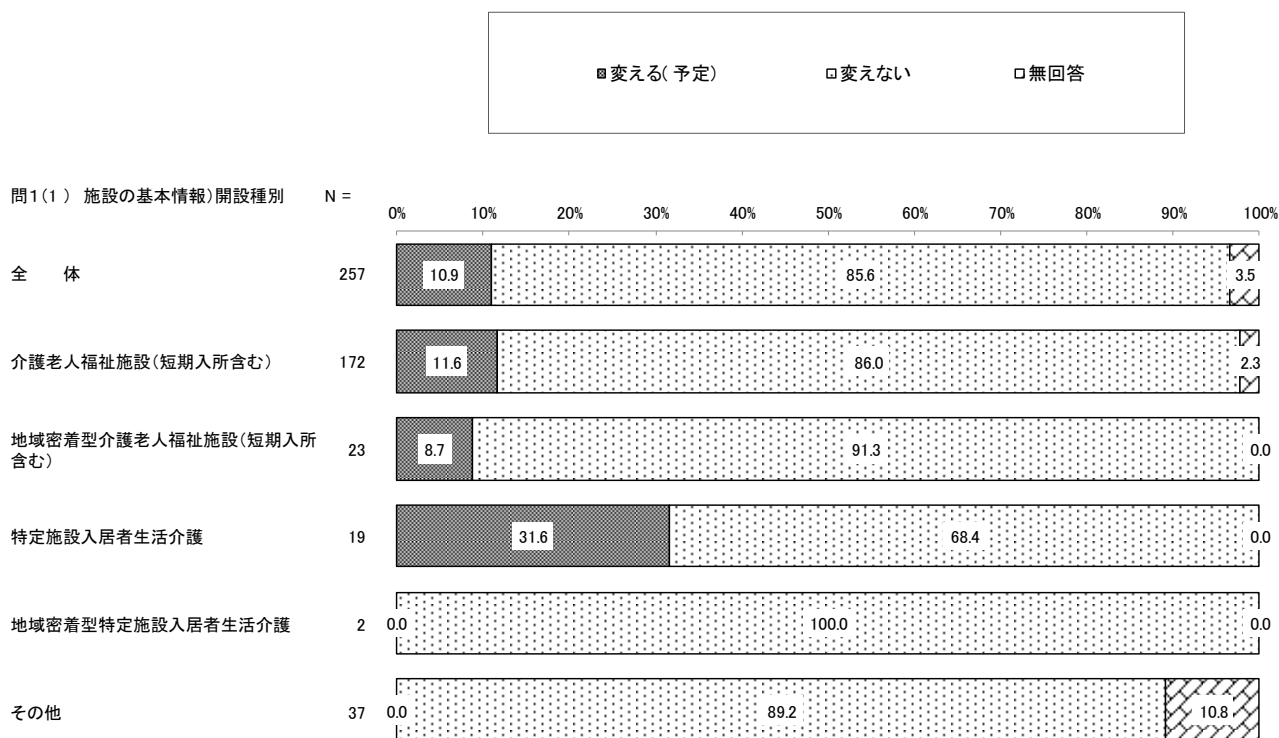
		問4(2) 職員、利用者の変化)オペレーションの変更は、どの機器の導入を踏まえたものか 見守り機器 +問4(3) オペレーション変更の状況				
		サンプル数	やめた	減らした	変えない	無回答
問 4 (3) オ ペ レ ー シ ヨ ン 変 更 の 状 況	① 職員、利用者の変化) 定期訪問(巡回)	179	6	81	85	7
		100.0	3.4	45.3	47.5	3.9
	② 職員、利用者の変化) 定時の排泄介助	179	5	46	119	9
		100.0	2.8	25.7	66.5	5.0
	③ 職員、利用者の変化) 個別対応(訪問・排泄介助等)	サンプル数	変えた	変えない	無回答	
		179	46	112	21	
		100.0	25.7	62.6	11.7	
		サンプル数	減った	変わらない	増えた	無回答
	④ 職員、利用者の変化) 総訪問回数	179	114	51	8	6
		100.0	63.7	28.5	4.5	3.4

9) オペレーション変更の状況(休憩時間・仮眠時間の運用)

休憩時間・仮眠時間の運用について、当該機器導入施設の 85.6%が「変えない」との回答であった。

図表 137 オペレーション変更の状況(休憩時間・仮眠時間の運用)(グラフ)

問4(4)① 職員、利用者の変化)休憩時間・仮眠時間の運用



図表 138 オペレーション変更の状況(休憩時間・仮眠時間の運用)(表)

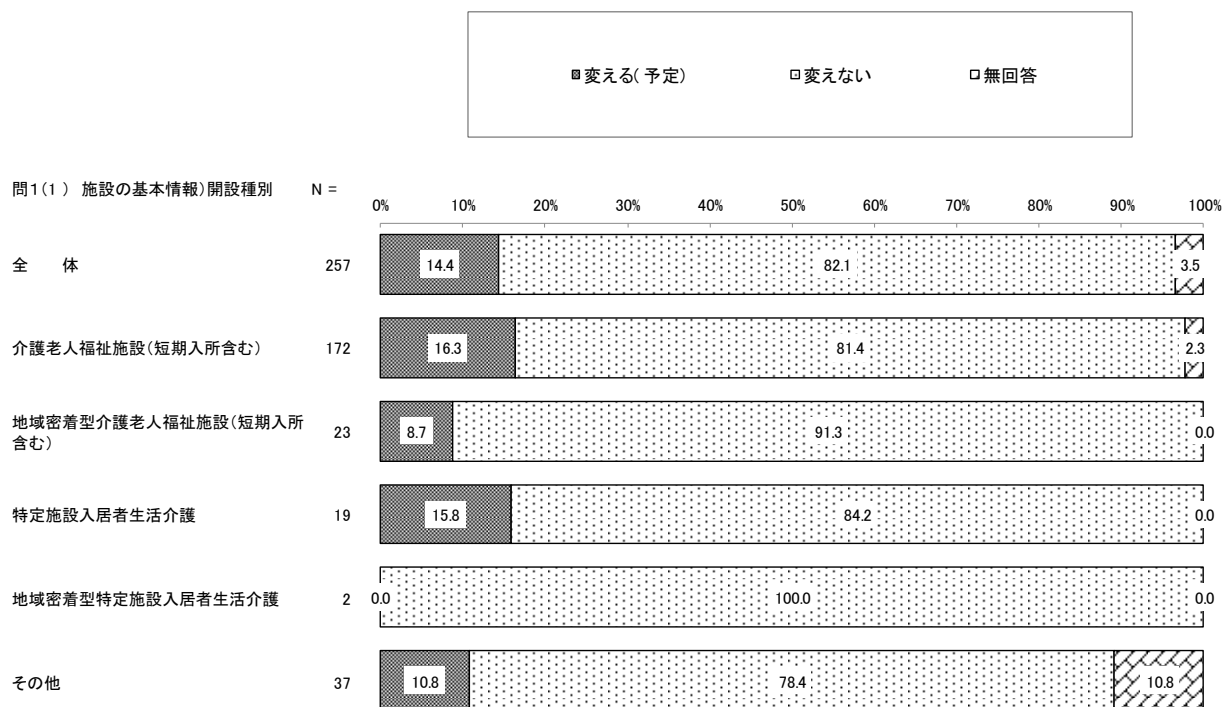
		問4(4)① 職員、利用者の変化)休憩時間・仮眠時間の運用			
		サンプル数	変える(予定)	変えない	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	257	28	220	9
		100.0	10.9	85.6	3.5
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	20	148	4
		100.0	11.6	86.0	2.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	2	21	-
		100.0	8.7	91.3	-
	特定施設入居者生活介護	19	6	13	-
	100.0	31.6	68.4	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他	37	-	33	4	
	100.0	-	89.2	10.8	

10) オペレーション変更の状況(時間外勤務管理)

時間外勤務管理の運用について、当該機器導入施設の82.1%が「変えない」との回答であった。

図表 139 オペレーション変更の状況(時間外勤務管理)(グラフ)

問4(4)② 職員、利用者の変化)時間外勤務管理



図表 140 オペレーション変更の状況(時間外勤務管理)(表)

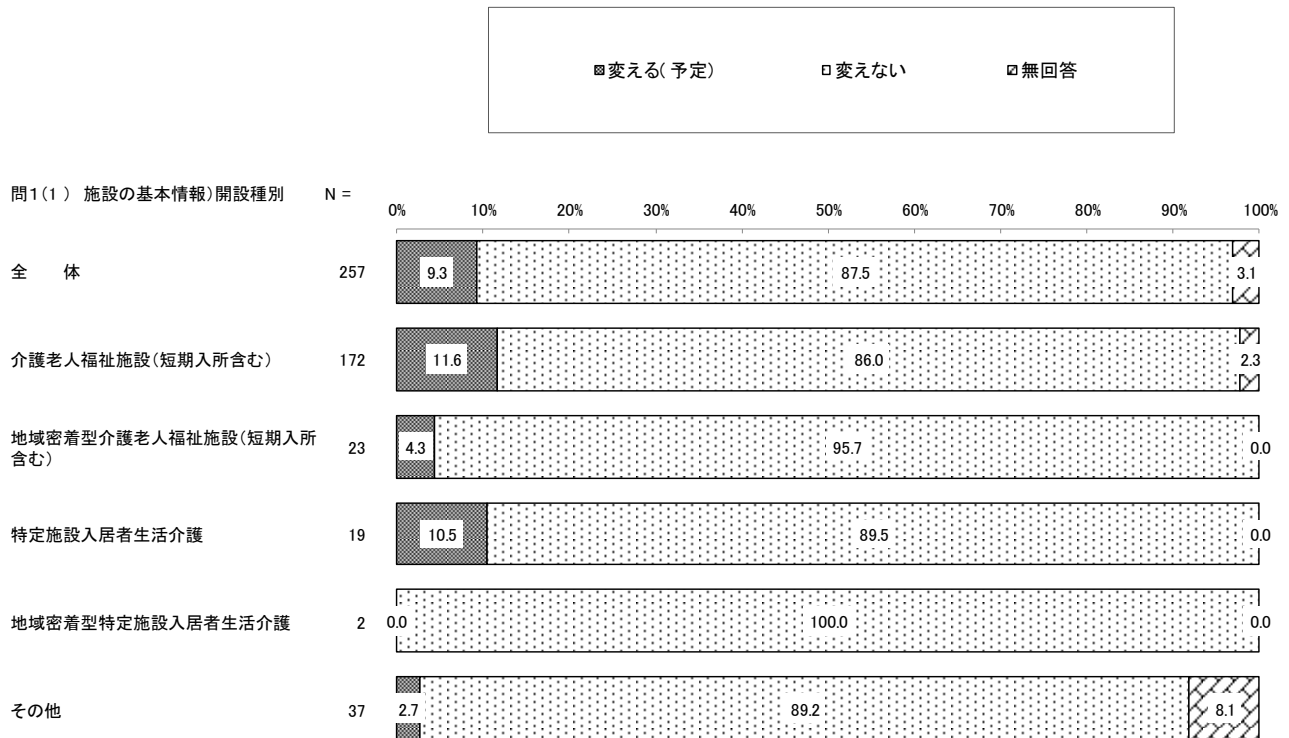
		問4(4)② 職員、利用者の変化)時間外勤務管理			
		サンプル数	変える(予定)	変えない	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	257	37	211	9
		100.0	14.4	82.1	3.5
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	28	140	4
		100.0	16.3	81.4	2.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	2	21	-
		100.0	8.7	91.3	-
	特定施設入居者生活介護	19	3	16	-
	100.0	15.8	84.2	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他	37	4	29	4	
	100.0	10.8	78.4	10.8	

11) オペレーション変更の状況(勤務時間管理)

勤務時間の管理について、当該機器導入施設の87.5%が「変えない」との回答であった。

図表 141 オペレーション変更の状況(勤務時間管理)(グラフ)

問4(4)③ 職員、利用者の変化)勤務時間管理



図表 142 オペレーション変更の状況(勤務時間管理)(表)

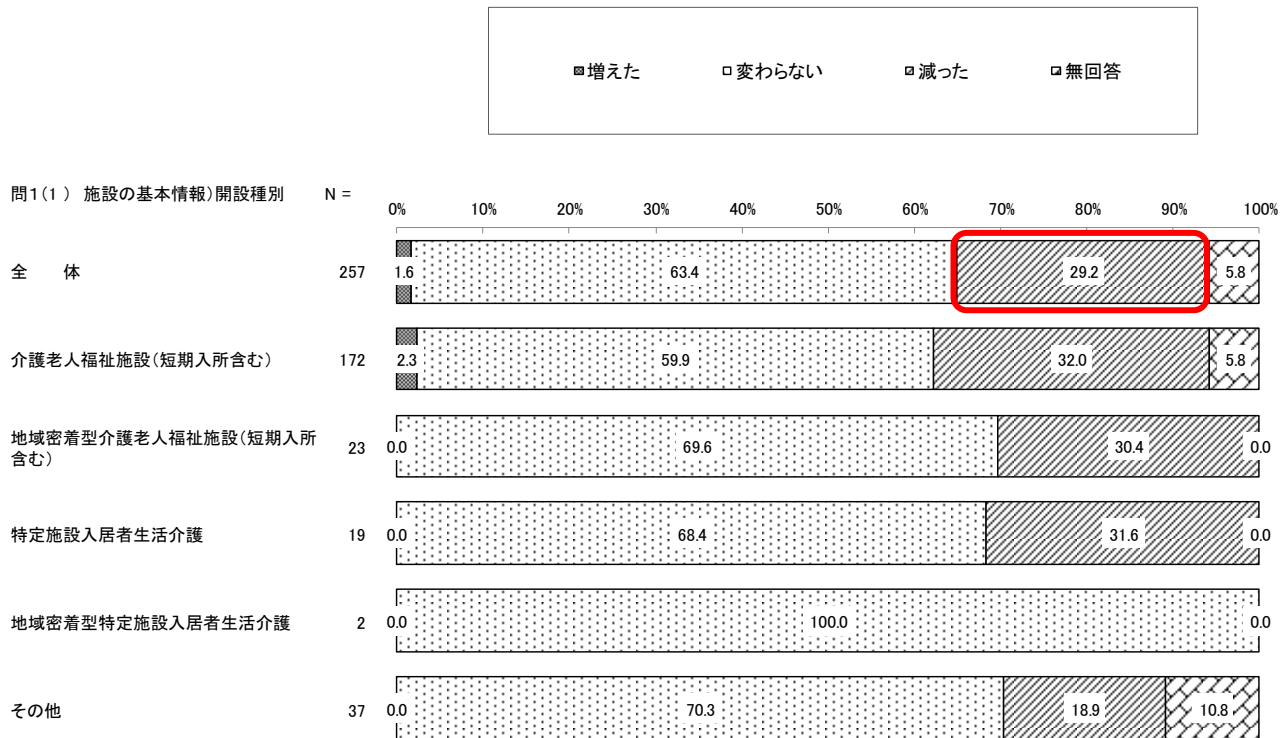
		問4(4)③ 職員、利用者の変化)勤務時間管理			
		サンプル数	変える(予定)	変えない	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	257	24	225	8
		100.0	9.3	87.5	3.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	20	148	4
		100.0	11.6	86.0	2.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	1	22	-
		100.0	4.3	95.7	-
	特定施設入居者生活介護	19	2	17	-
	100.0	10.5	89.5	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	
	100.0	-	100.0	-	
その他	37	1	33	3	
	100.0	2.7	89.2	8.1	

12) オペレーション変更による勤務状況の変化(残業時間)

オペレーション変更により、残業時間が減ったと回答した施設は約 3 割であった。

図表 143 オペレーション変更による勤務状況の変化(残業時間)(グラフ)

問4(5)① 職員、利用者の変化) 残業時間



図表 144 オペレーション変更による勤務状況の変化(残業時間)(表)

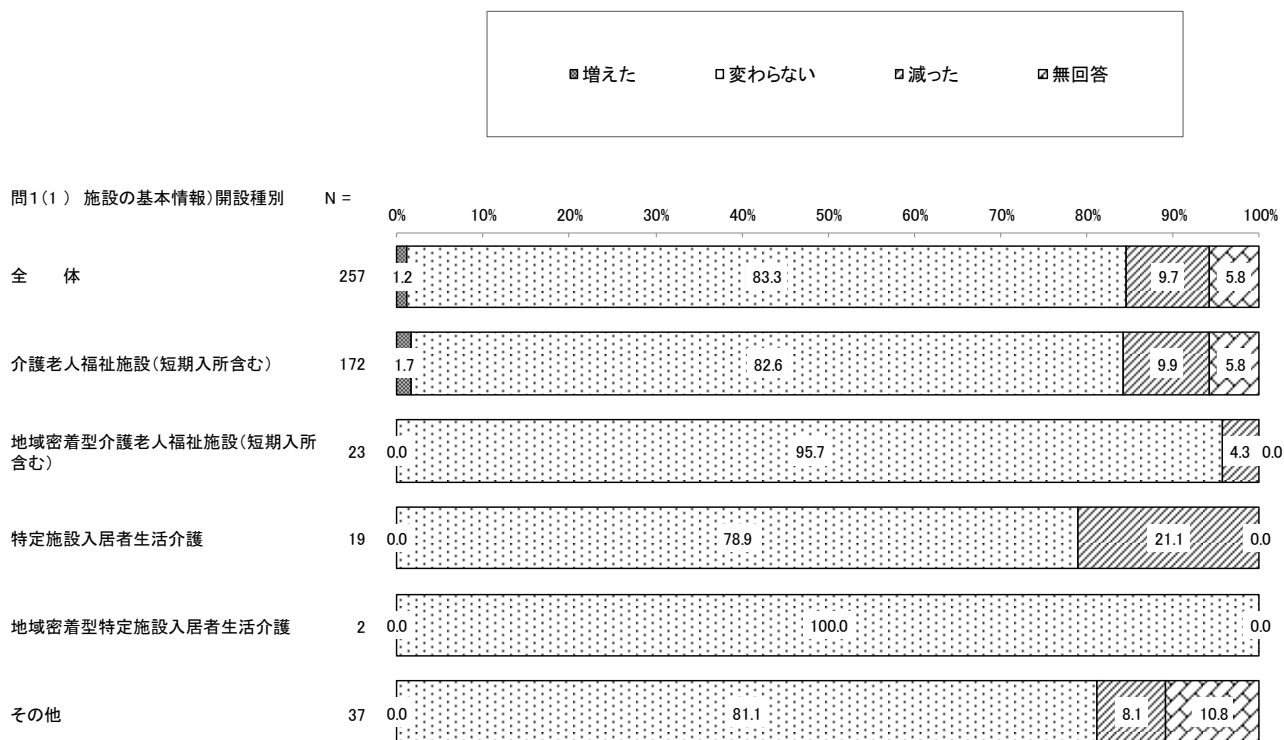
		問4(5)① 職員、利用者の変化) 残業時間				
		サンプル数	増えた	変わらない	減った	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	257	4	163	75	15
		100.0	1.6	63.4	29.2	5.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	4	103	55	10
		100.0	2.3	59.9	32.0	5.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	-	16	7	-
		100.0	-	69.6	30.4	-
	特定施設入居者生活介護	19	-	13	6	-
	100.0	-	68.4	31.6	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
その他	37	-	26	7	4	
	100.0	-	70.3	18.9	10.8	

13) オペレーション変更による勤務状況の変化(平均勤務時間)

オペレーション変更により、平均勤務時間が減ったと回答した施設は約1割であった。

図表 145 オペレーション変更による勤務状況の変化(平均勤務時間)(グラフ)

問4(5)② 職員、利用者の変化)平均勤務時間



図表 146 オペレーション変更による勤務状況の変化(平均勤務時間)(表)

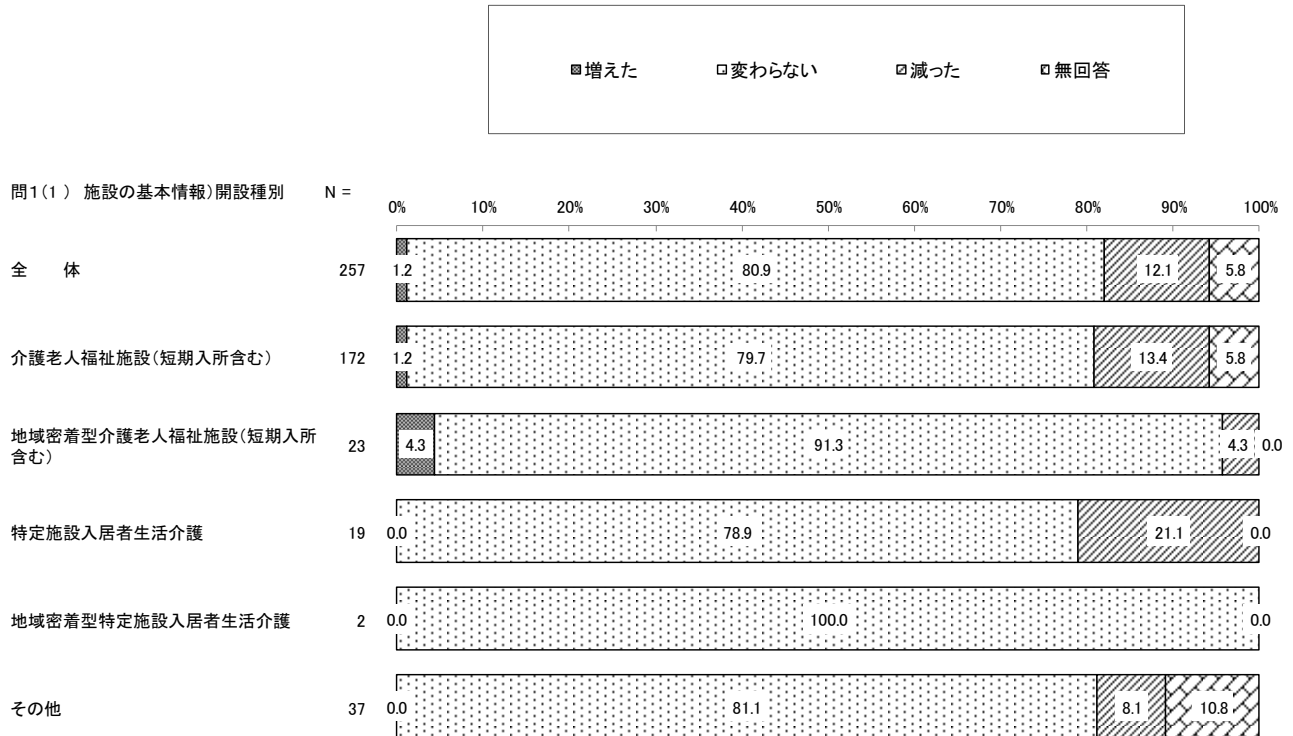
		問4(5)② 職員、利用者の変化)平均勤務時間				
		サンプル数	増えた	変わらない	減った	無回答
問1(1) 報(1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	257	3	214	25	15
		100.0	1.2	83.3	9.7	5.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	3	142	17	10
		100.0	1.7	82.6	9.9	5.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	-	22	1	-
		100.0	-	95.7	4.3	-
	特定施設入居者生活介護	19	-	15	4	-
	100.0	-	78.9	21.1	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
その他	37	-	30	3	4	
	100.0	-	81.1	8.1	10.8	

14) オペレーション変更による勤務状況の変化(夜勤職員の平均労働時間)

オペレーション変更により、夜勤職員の平均労働時間が減ったと回答した施設は約1割であった。

図表 147 オペレーション変更による勤務状況の変化(夜勤職員の平均労働時間)(グラフ)

問4(5)③ 職員、利用者の変化)夜勤職員の平均労働時間



図表 148 オペレーション変更による勤務状況の変化(夜勤職員の平均労働時間)(表)

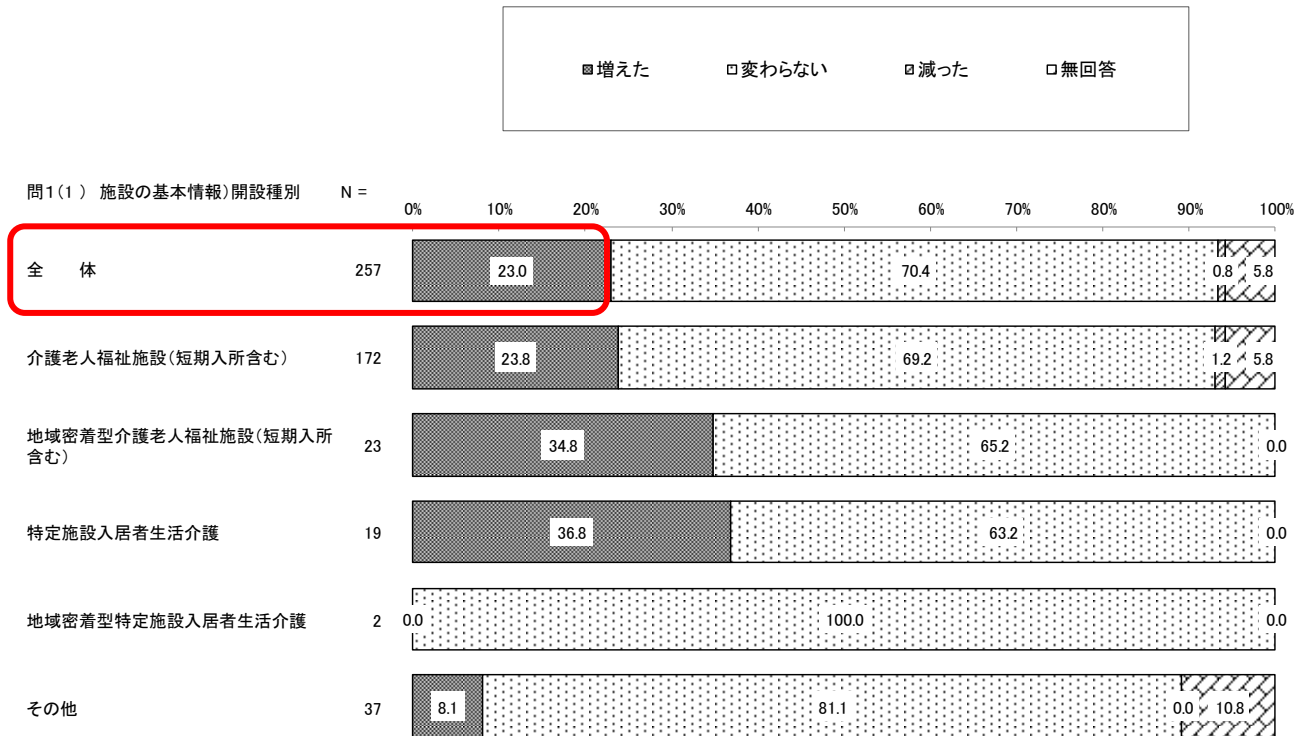
		問4(5)③ 職員、利用者の変化)夜勤職員の平均労働時間				
		サンプル数	増えた	変わらない	減った	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全 体	257	3	208	31	15
		100.0	1.2	80.9	12.1	5.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	2	137	23	10
		100.0	1.2	79.7	13.4	5.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	1	21	1	-
		100.0	4.3	91.3	4.3	-
	特定施設入居者生活介護	19	-	15	4	-
	100.0	-	78.9	21.1	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
その他	37	-	30	3	4	
	100.0	-	81.1	8.1	10.8	

15) オペレーション変更による勤務状況の変化(有給休暇の取得状況)

オペレーション変更により有給休暇の取得が増えたと回答した施設は約2～3割であった。

図表 149 オペレーション変更による勤務状況の変化(有給休暇の取得状況)(グラフ)

問4(5)④ 職員、利用者の変化)有給休暇の取得状況



図表 150 オペレーション変更による勤務状況の変化(有給休暇の取得状況)(表)

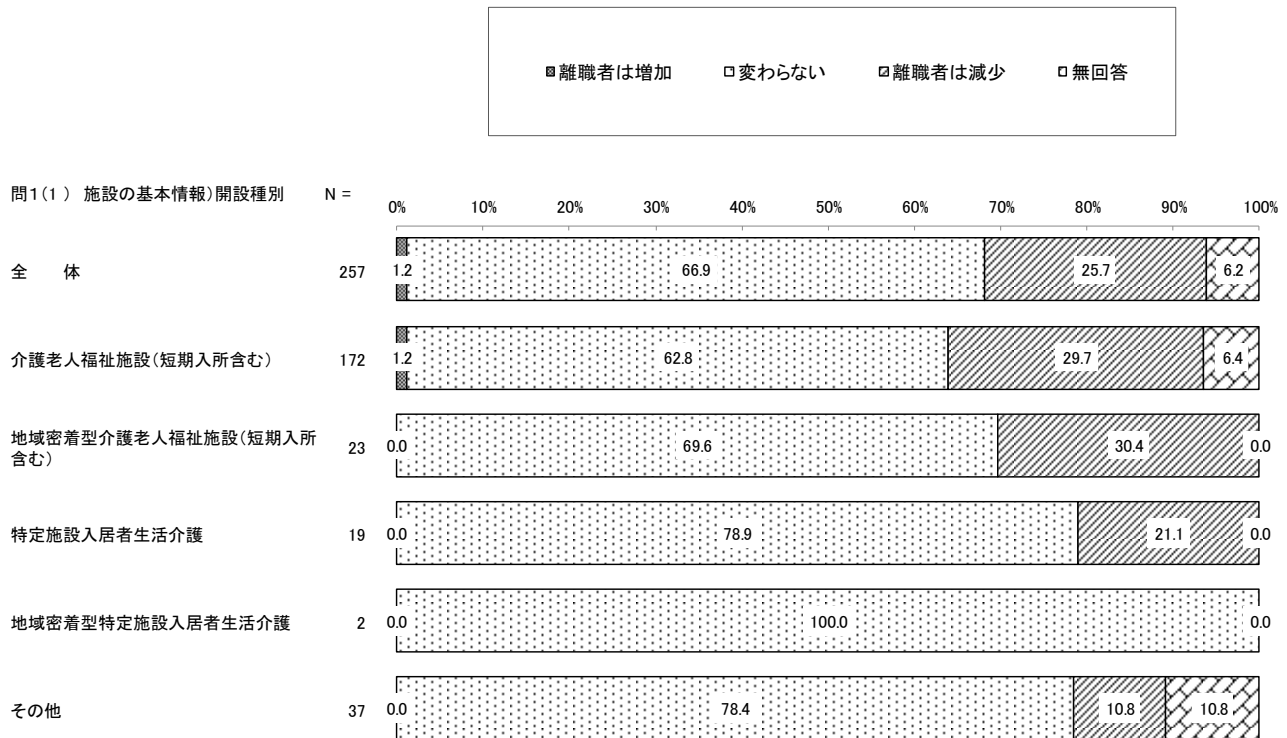
		問4(5)④ 職員、利用者の変化)有給休暇の取得状況				
		サンプル数	増えた	変わらない	減った	無回答
問1(1) 報(開設種別) 施設の基本情報	全 体	257	59	181	2	15
		100.0	23.0	70.4	0.8	5.8
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	41	119	2	10
		100.0	23.8	69.2	1.2	5.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	8	15	-	-
		100.0	34.8	65.2	-	-
	特定施設入居者生活介護	19	7	12	-	-
	100.0	36.8	63.2	-	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
その他	37	3	30	-	4	
	100.0	8.1	81.1	-	10.8	

16) オペレーション変更による勤務状況の変化(職員の定着(離職)状況)

オペレーション変更により、離職者が減ったと回答した施設は約2～3割であった。

図表 151 オペレーション変更による勤務状況の変化(職員の定着(離職)状況)(グラフ)

問4(5)⑤ 職員、利用者の変化)職員の定着(離職)状況



図表 152 オペレーション変更による勤務状況の変化(職員の定着(離職)状況)(表)

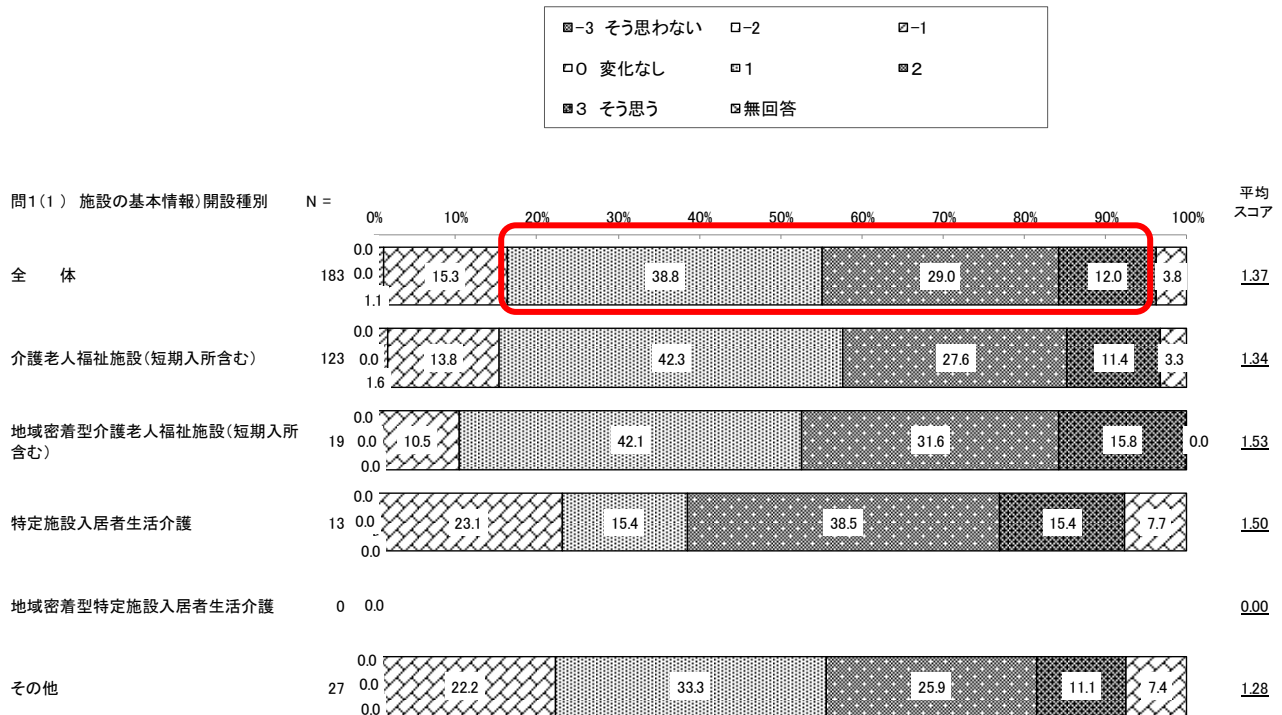
		問4(5)⑤ 職員、利用者の変化)職員の定着(離職)状況				
		サンプル数	離職者は増加	変わらない	離職者は減少	無回答
問1(1) 報(開設種別) 施設の基本情報	全 体	257	3	172	66	16
		100.0	1.2	66.9	25.7	6.2
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	172	2	108	51	11
		100.0	1.2	62.8	29.7	6.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	-	16	7	-
		100.0	-	69.6	30.4	-
	特定施設入居者生活介護	19	-	15	4	-
	100.0	-	78.9	21.1	-	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	2	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	
その他	37	-	29	4	4	
	100.0	-	78.4	10.8	10.8	

17) 職員の行動や意識の変化:①気持ちに余裕ができた

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、気持ちに余裕ができたと回答した施設は約8割であった。

図表 153 職員の行動や意識の変化:①気持ちに余裕ができた(グラフ)

問4(6)① 職員の変化)気持ちに余裕ができた



図表 154 職員の行動や意識の変化:①気持ちに余裕ができた(表)

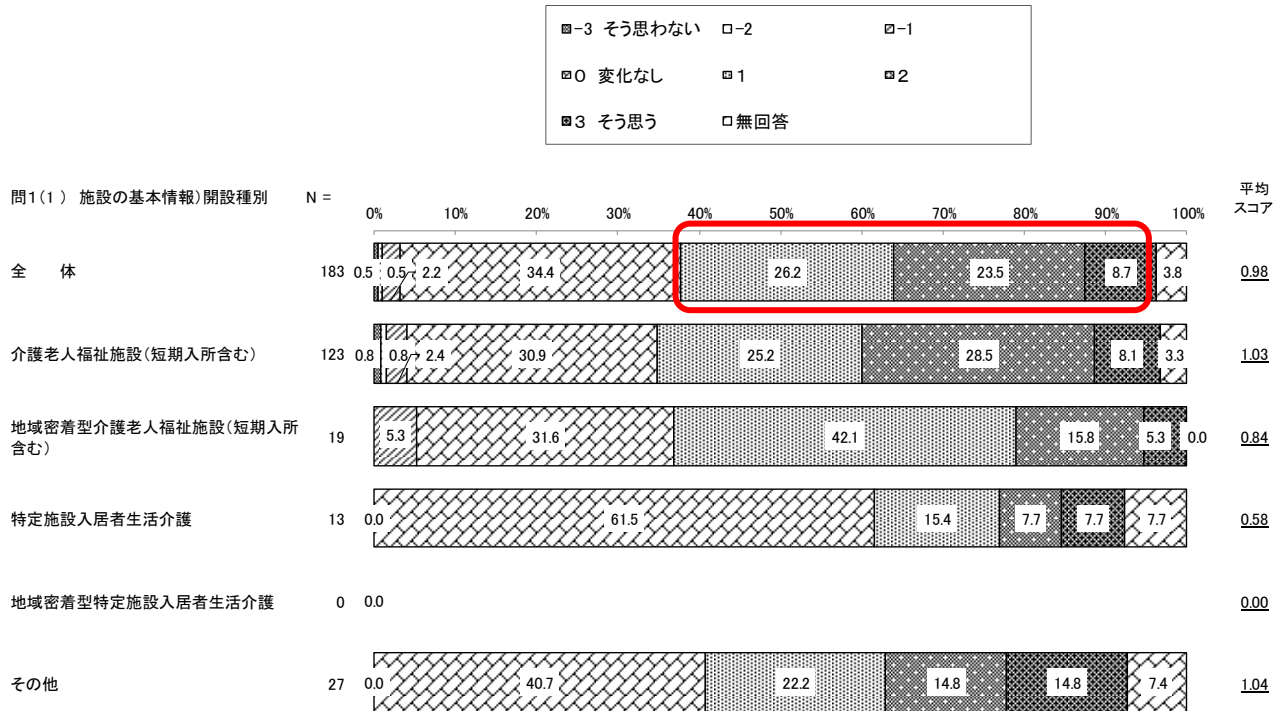
		問4(6)① 職員の変化)気持ちに余裕ができた												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう 思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報) 開 設 種 別 の 基 本 情	全 体	183	-	-	2	28	71	53	22	7	1.37	0.93	-1.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	1.1	15.3	38.8	29.0	12.0	3.8				
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	1.6	13.8	42.3	27.6	11.4	3.3	1.34	0.92	-1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	2	8	6	3	-	1.53	0.88	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	-	23.1	15.4	38.5	15.4	7.7	1.50	1.04	0.00	3.00
	100.0	-	-	-	22.2	33.3	25.9	11.1	7.4					

18) 職員の行動や意識の変化:②身体的負担(体の痛みなど)が軽減した

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、身体的負担が軽減したと回答した施設は約6割であった。

図表 155 職員の行動や意識の変化:②身体的負担(体の痛みなど)が軽減した(グラフ)

問4(6)② 職員の変化)身体的負担(体の痛みなど)が軽減した



図表 156 職員の行動や意識の変化:②身体的負担(体の痛みなど)が軽減した(表)

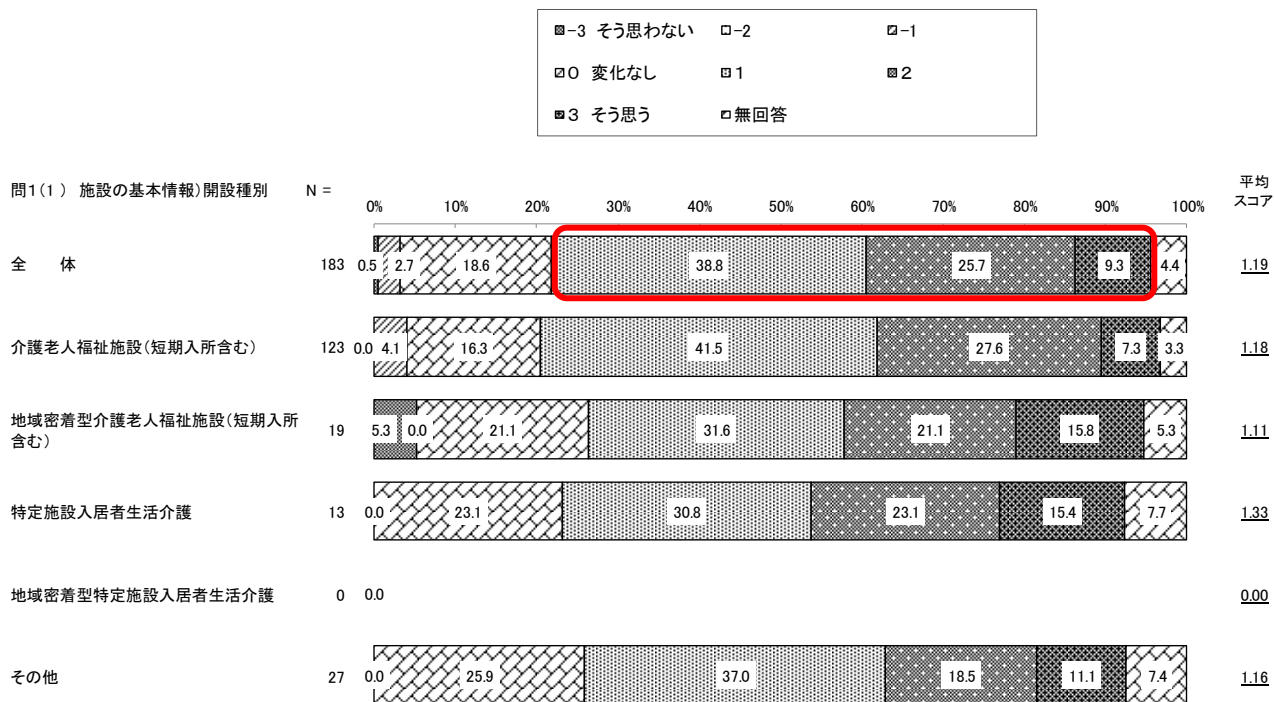
		問4(6)② 職員の変化)身体的負担(体の痛みなど)が軽減した										標準偏差	最小値	最大値
施設種別	サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2 3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値		
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	1	1	4	63	48	43	16	7	0.98	1.09	-3.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	1	1	3	38	31	35	10	4	1.03	1.12	-3.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	—	—	1	6	8	3	1	—	0.84	0.93	-1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	—	—	—	8	2	1	1	1	0.58	0.95	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	27	—	—	—	11	6	4	4	2	1.04	1.11	0.00	3.00
	合計	100.0	—	—	—	40.7	22.2	14.8	14.8	7.4	—	—	—	—

19) 職員の行動や意識の変化:③精神的負担(ストレスなど)が軽減した

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、精神的負担が軽減したと回答した施設は約7割であった。

図表 157 職員の行動や意識の変化:③精神的負担(ストレスなど)が軽減した(グラフ)

問4(6)③ 職員の変化)精神的負担(ストレスなど)が軽減した



図表 158 職員の行動や意識の変化:③精神的負担(ストレスなど)が軽減した(表)

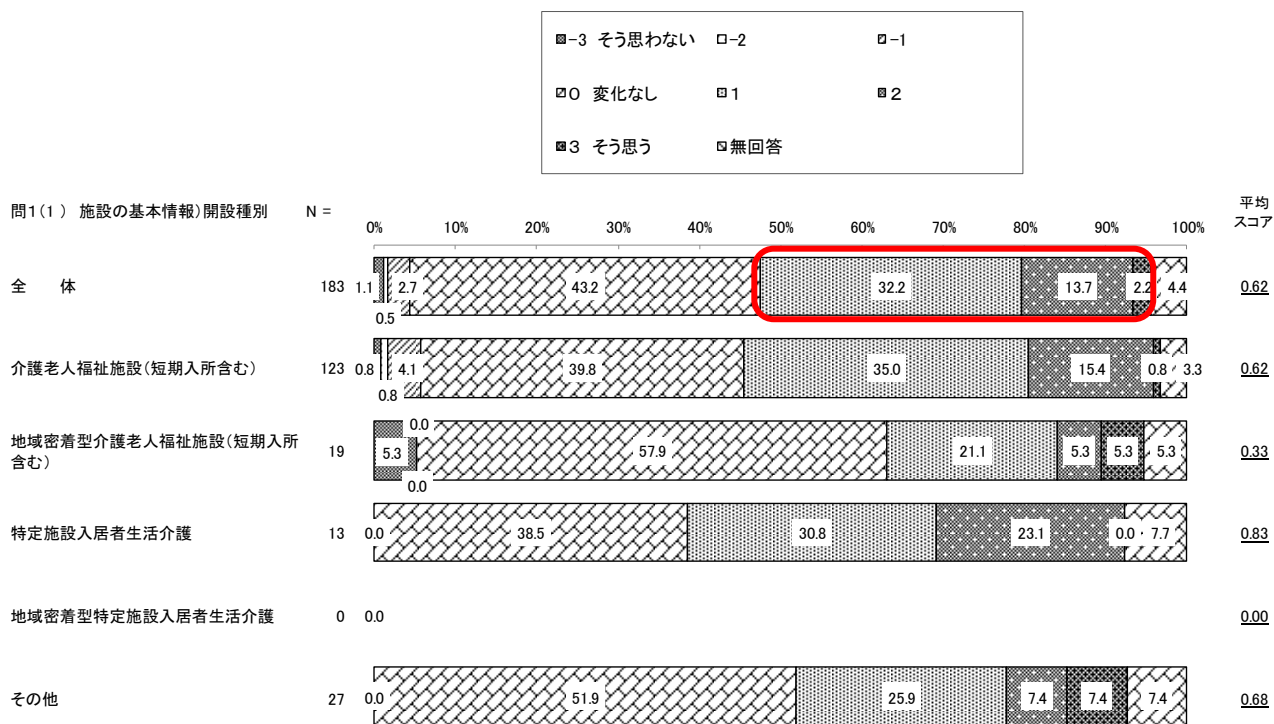
		問4(6)③ 職員の変化)精神的負担(ストレスなど)が軽減した												
		サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	0.5	2.7	18.6	38.8	25.7	9.3	4.4		1.19	1.01	-3.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	0.0	4.1	16.3	41.5	27.6	7.3	3.3		1.18	0.94	-1.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	5.3	0.0	21.1	31.6	21.1	15.8	5.3		1.11	1.41	-3.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	23.1	30.8	23.1	15.4	7.7			1.33	1.03	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0											
	その他	27	0.0	25.9	37.0	18.5	11.1	7.4			1.16	0.97	0.00	3.00
			100.0			25.9	37.0	18.5	11.1	7.4				

20) 職員の行動や意識の変化:④利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、利用者とのコミュニケーションやケアの時間が十分にとれるようになったと回答した施設は、約 4 割であった。

図表 159 職員の行動や意識の変化:
④利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった(グラフ)

問4(6)④ 職員の変化)利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった



図表 160 職員の行動や意識の変化:
④利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった(表)

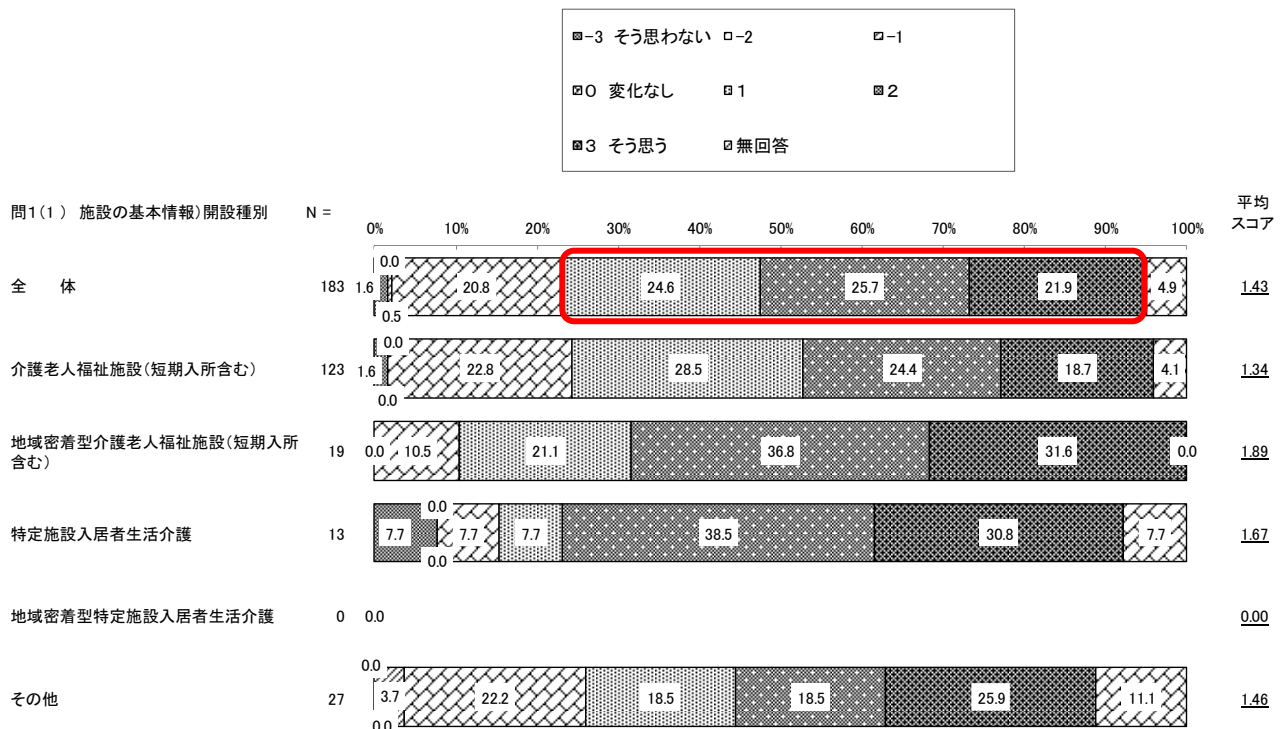
		問4(6)④ 職員の変化)利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった										スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1)施設の基本情報	施設の種類	サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値	
問1(1)施設の基本情報	全体	183	1.1	2.7	43.2	32.2	13.7	2.2	4.4	0.5	0.62	0.94	-3.00	3.00	
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	0.8	4.1	39.8	35.0	15.4	0.8	3.3	0.8	0.62	0.92	-3.00	3.00	
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	0.0	5.3	57.9	21.1	5.3	5.3	5.3	0.0	0.33	1.15	-3.00	3.00	
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	0.0	38.5	30.8	23.1	0.0	7.7	0.0	0.83	0.80	0.00	2.00	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	
	その他	27	0.0	0.0	51.9	25.9	7.4	7.4	7.4	0.0	0.68	0.93	0.00	3.00	

21) 職員の行動や意識の変化:⑤訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、訪室しなくても利用者の状況が分かるようになったと回答した施設は、約7割であった。

図表 161 職員の行動や意識の変化:
⑤訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)(グラフ)

問4(6)⑤ 職員の変化)訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)



図表 162 職員の行動や意識の変化:
⑤訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)(表)

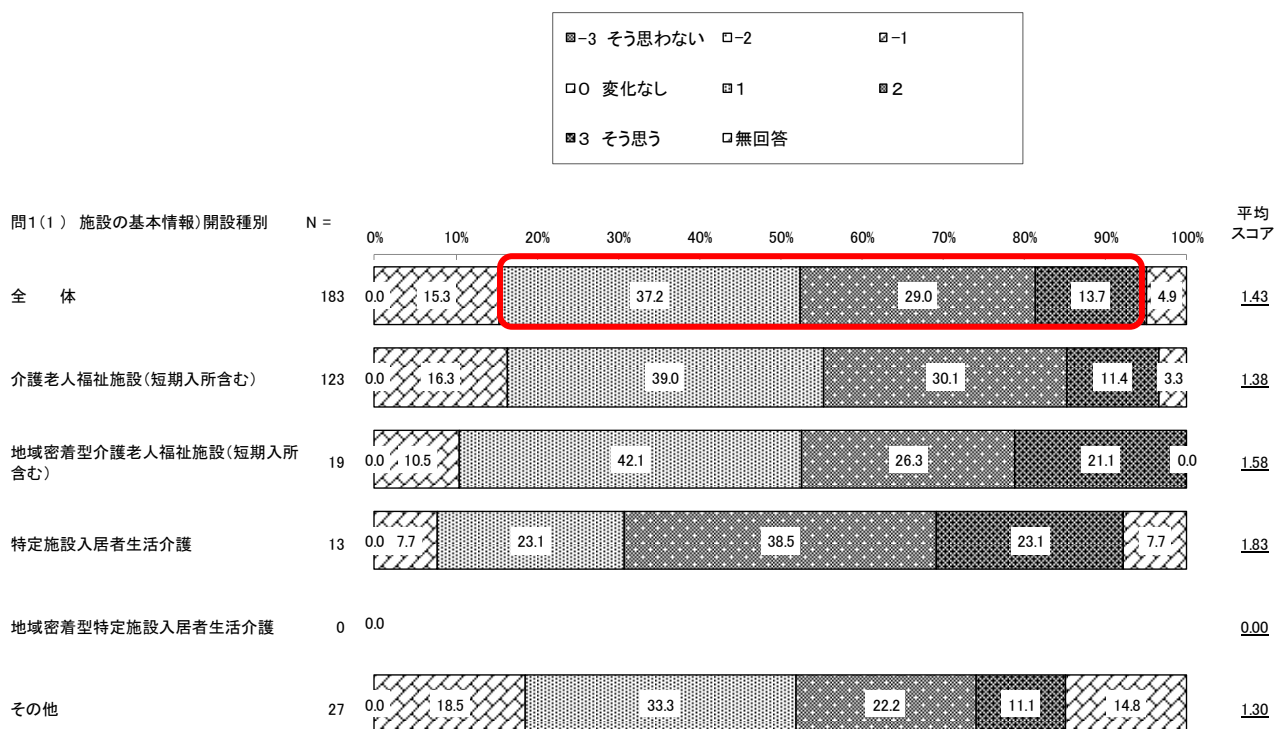
		問4(6)⑤ 職員の変化)訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1 変化なし	0	1	2 3 そう思	3	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報) 開 設 種 別 の 基 本 情 報	全 体	183	3	-	1	38	45	47	40	9	1.43	1.23	-3.00	3.00
		100.0	1.6	-	0.5	20.8	24.6	25.7	21.9	4.9				
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	2	-	-	28	35	30	23	5	1.34	1.19	-3.00	3.00
		100.0	1.6	-	-	22.8	28.5	24.4	18.7	4.1				
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	1	-	-	2	4	7	6	-	1.89	0.97	0.00	3.00
		100.0	-	-	-	10.5	21.1	36.8	31.6	-				
	特定施設入居者生活介護	13	1	-	-	1	1	5	4	1	1.67	1.65	-3.00	3.00
	100.0	7.7	-	-	7.7	7.7	38.5	30.8	7.7					
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	1	6	5	5	7	3	1.46	1.26	-1.00	3.00
		100.0	-	-	3.7	22.2	18.5	18.5	25.9	11.1				

22) 職員の行動や意識の変化:⑥利用者の行動パターンが把握できるようになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、利用者の行動パターンが把握できるようになったと回答した施設は、約8割であった。

図表 163 職員の行動や意識の変化:⑥利用者の行動パターンが把握できるようになった(グラフ)

問4(6)⑥ 職員の变化)利用者の行動パターンが把握できるようになった



図表 164 職員の行動や意識の変化:⑥利用者の行動パターンが把握できるようになった(表)

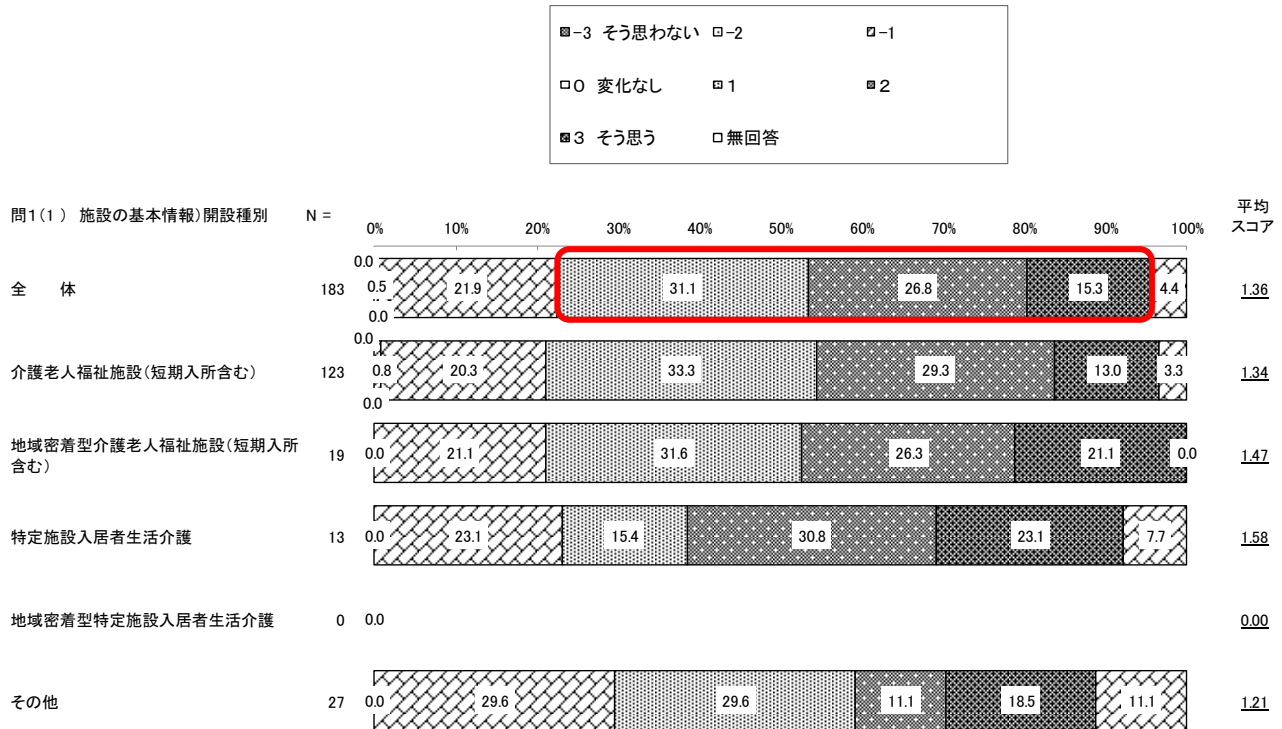
		問4(6)⑥ 職員の变化)利用者の行動パターンが把握できるようになった												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情 報)	全体	183	-	-	-	28	68	53	25	9	1.43	0.92	0.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	-	20	48	37	14	4	1.38	0.90	0.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	2	8	5	4	-	1.58	0.94	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	1	3	5	3	1	1.83	0.90	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	-	5	9	6	3	4	1.30	0.95	0.00	3.00
		100.0	-	-	-	18.5	33.3	22.2	11.1	14.8				

23) 職員の行動や意識の変化:⑦事故原因分析の参考情報にできた

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、事故原因分析の参考資料にできたと回答した施設は、約7割であった。

図表 165 職員の行動や意識の変化:⑦事故原因分析の参考情報にできた(グラフ)

問4(6)⑦ 職員の変化)事故原因分析の参考情報にできた



図表 166 職員の行動や意識の変化:⑦事故原因分析の参考情報にできた(表)

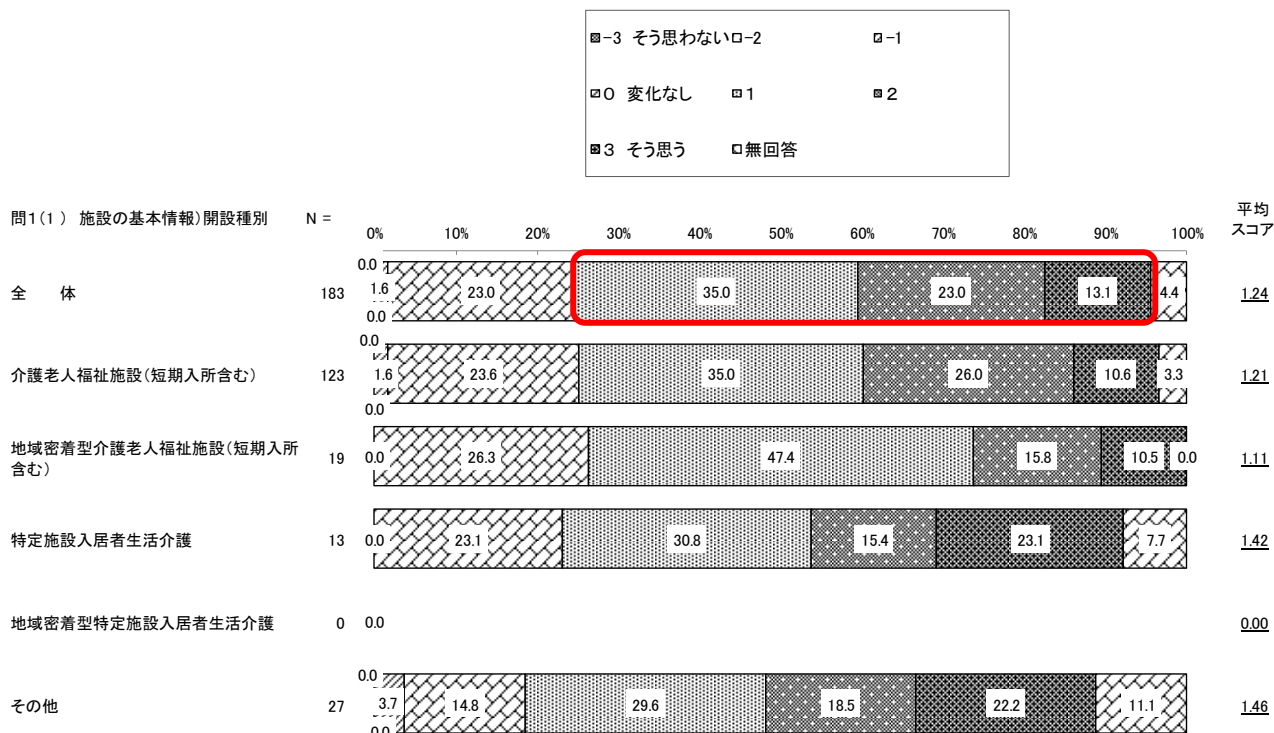
		問4(6)⑦ 職員の変化)事故原因分析の参考情報にできた												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情 報)	全体	183	-	-	1	40	57	49	28	8	1.36	1.02	-1.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	1	25	41	36	16	4	1.34	0.98	-1.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	4	6	5	4	-	1.47	1.04	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	3	2	4	3	1	1.58	1.11	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	-	8	8	3	5	3	1.21	1.12	0.00	3.00
		100.0	-	-	-	29.6	29.6	11.1	18.5	11.1				

24) 職員の行動や意識の変化:⑧優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中等)

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、優先順位の判断ができるようになったと回答した施設は、約7割であった。

図表 167 職員の行動や意識の変化:
⑧優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中等)(グラフ)

問4(6)⑧ 職員の変化)優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中等)



図表 168 職員の行動や意識の変化:
⑧優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中等)(表)

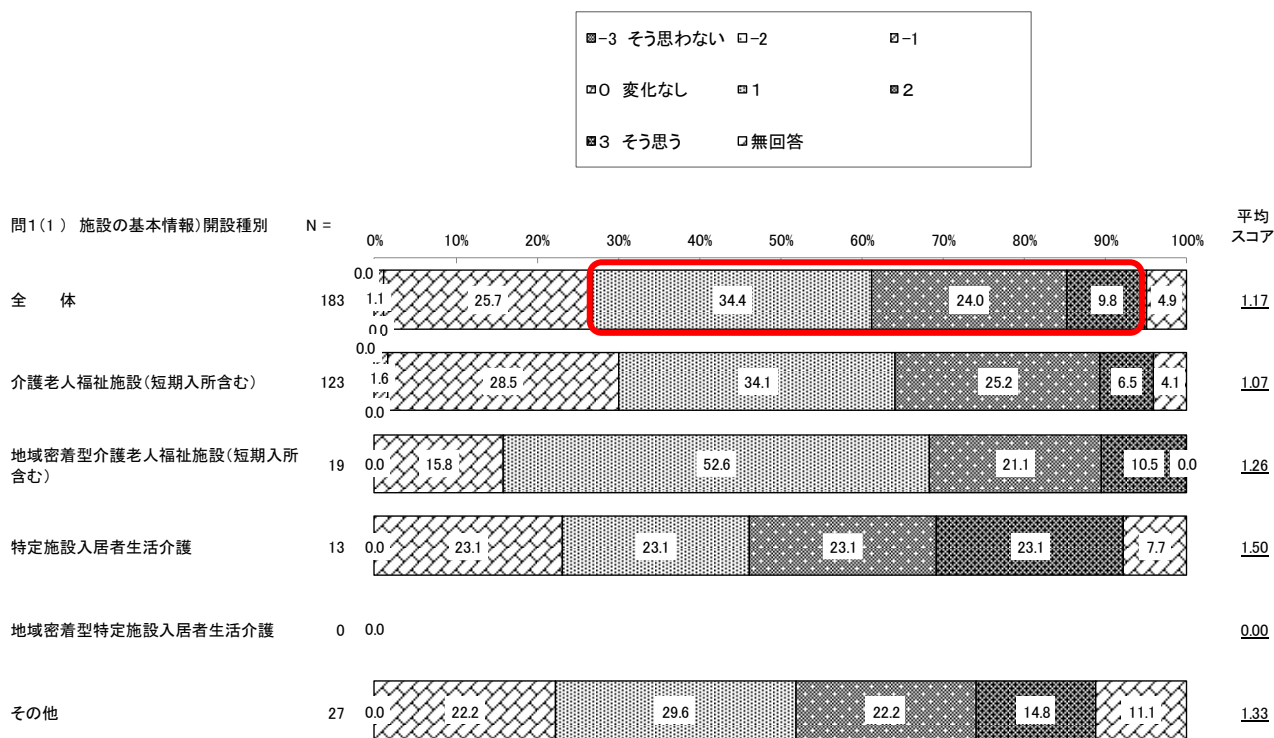
		問4(6)⑧ 職員の変化)優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中等)												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう 思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報) 開 設 種 別 の 基 本 情	全 体	183	-	3	42	64	42	24	8	1.24	1.02	-1.00	3.00	
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	2	29	43	32	13	4	1.21	0.99	-1.00	3.00	
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	5	9	3	2	-	1.11	0.91	0.00	3.00	
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	3	4	2	3	1	1.42	1.11	0.00	3.00	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	27	-	1	4	8	5	6	3	1.46	1.15	-1.00	3.00	
		100.0	-	3.7	14.8	29.6	18.5	22.2	11.1					

25) 職員の行動や意識の変化:⑨利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等)

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、利用者のペースに合わせた介助ができるようになったと回答した施設は、約6割であった。

図表 169 職員の行動や意識の変化:⑨利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等) (グラフ)

問4(6)⑨ 職員の変化)利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等)



図表 170 職員の行動や意識の変化:⑨利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等) (表)

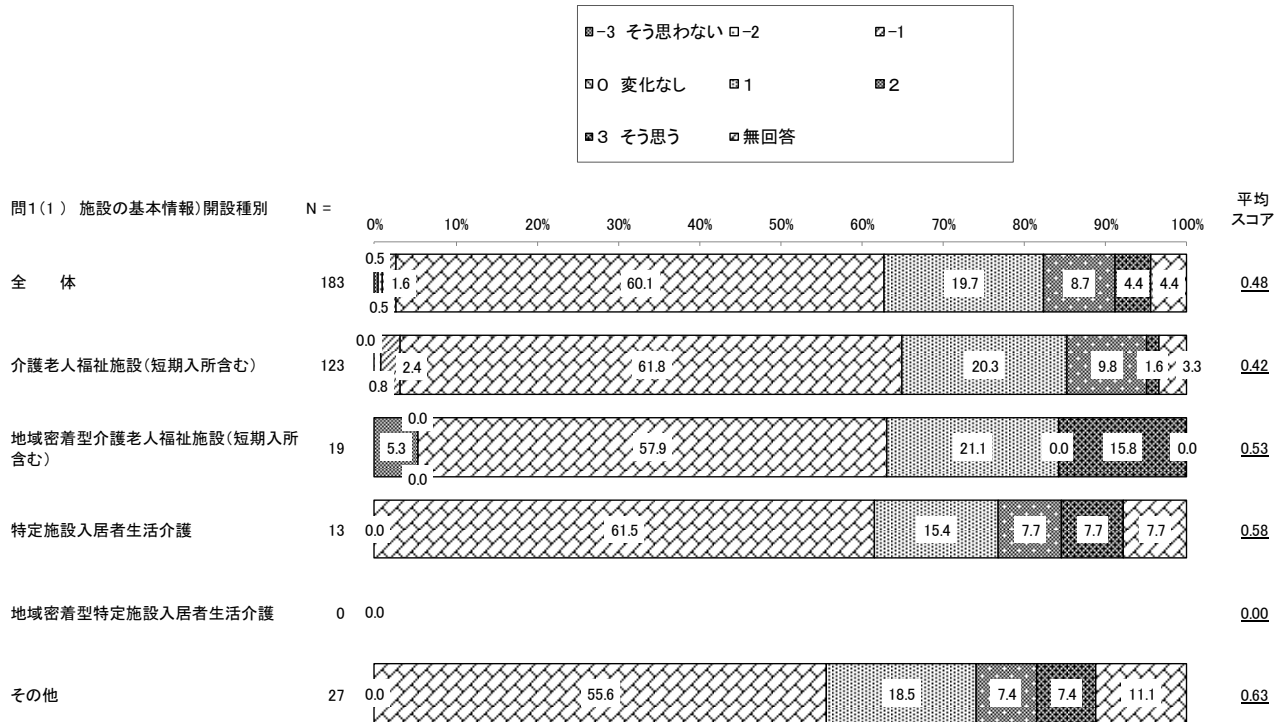
		問4(6)⑨ 職員の変化)利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等)												
		サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1)施設の基本情報	全体	183	-	-	2	47	63	44	18	9	1.17	0.98	-1.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	2	35	42	31	8	5	1.07	0.95	-1.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	3	10	4	2	-	1.26	0.85	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	3	3	3	3	1	1.50	1.12	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	-	6	8	6	4	3	1.33	1.03	0.00	3.00
		100.0	-	-	-	22.2	29.6	22.2	14.8	11.1				

26) 職員の行動や意識の変化:⑩休憩時間に休むことができるようになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、休憩時間に休むことができるようになったと回答した施設は、約3割であった。

図表 171 職員の行動や意識の変化:⑩休憩時間に休むことができるようになった(グラフ)

問4(6)⑩ 職員の変化)休憩時間に休むことができるようになった



図表 172 職員の行動や意識の変化:⑩休憩時間に休むことができるようになった(表)

		問4(6)⑩ 職員の変化)休憩時間に休むことができるようになった												
		サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	0.5	1.6	60.1	19.7	8.7	4.4	4.4	0.5	0.48	0.92	-3.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	0.0	2.4	61.8	20.3	9.8	1.6	3.3	0.8	0.42	0.80	-2.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	0.0	5.3	57.9	21.1	0.0	15.8	0.0	0.0	0.53	1.35	-3.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	0.0	61.5	15.4	7.7	7.7	7.7	0.0	0.58	0.95	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	その他	27	0.0	0.0	55.6	18.5	7.4	7.4	11.1	0.0	0.63	0.95	0.00	3.00
	合計	100.0	0.5	1.6	60.1	19.7	8.7	4.4	4.4	0.5	0.48	0.92	-3.00	3.00

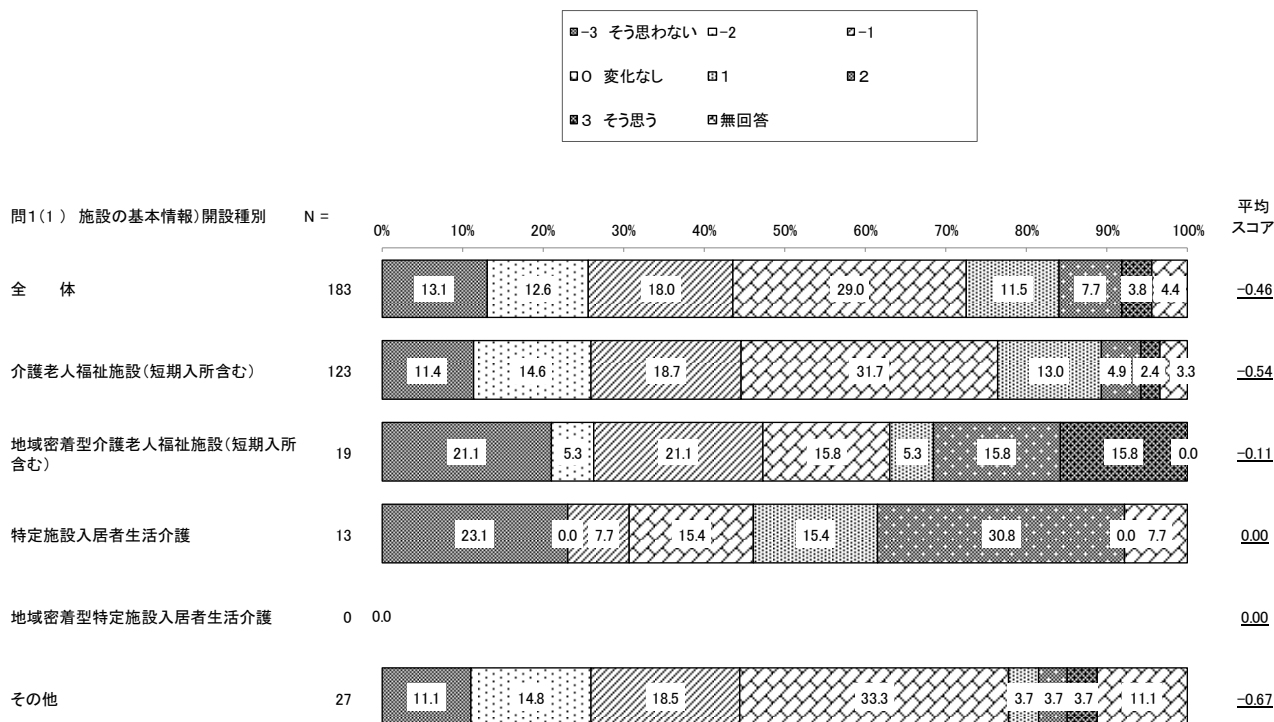
27) 職員の行動や意識の変化:①必要以上に利用者を見に行くことになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、必要以上に利用者を見に行くことになったと回答した施設は約2割、そうは思わないと回答した施設は約4割、変化なしと回答した施設は約3割であった。

※本設問は、ネガティブな設問であることに留意が必要。

図表 173 職員の行動や意識の変化:①必要以上に利用者を見に行くことになった(グラフ)

問4(6)① 職員の変化)必要以上に利用者を見に行くことになった



図表 174 職員の行動や意識の変化:①必要以上に利用者を見に行くことになった(表)

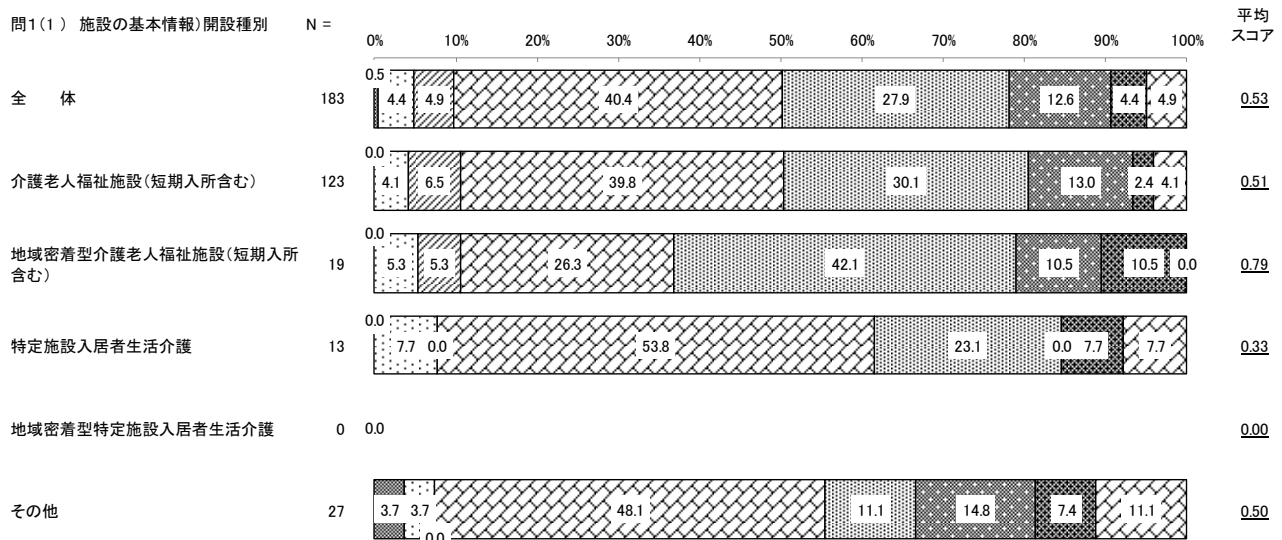
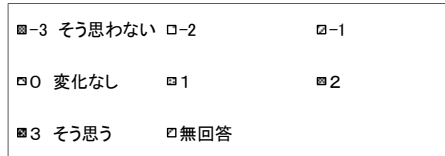
施設の種類	問4(6)① 職員の変化)必要以上に利用者を見に行くことになった													
	サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう 思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値	
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	13.1	12.6	18.0	29.0	11.5	7.7	3.8	4.4	-0.46	1.59	-3.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	11.4	14.6	18.7	31.7	13.0	4.9	2.4	3.3	-0.54	1.46	-3.00	3.00
開設種別	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	21.1	5.3	21.1	15.8	5.3	15.8	15.8	0.0	-0.11	2.10	-3.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	23.1	0.0	7.7	15.4	15.4	30.8	0.0	7.7	0.00	1.96	-3.00	2.00
施設の基本情報	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0											
	その他	27	11.1	14.8	18.5	33.3	3.7	3.7	3.7	11.1	-0.67	1.46	-3.00	3.00

28) 職員の行動や意識の変化:⑫走って訪室することが減った

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、走って訪室することが減ったと回答した施設は約4割、変化なしと回答した施設が4割であった。

図表 175 職員の行動や意識の変化:⑫走って訪室することが減った(グラフ)

問4(6)⑫ 職員の変化)走って訪室することが減った



図表 176 職員の行動や意識の変化:⑫走って訪室することが減った(表)

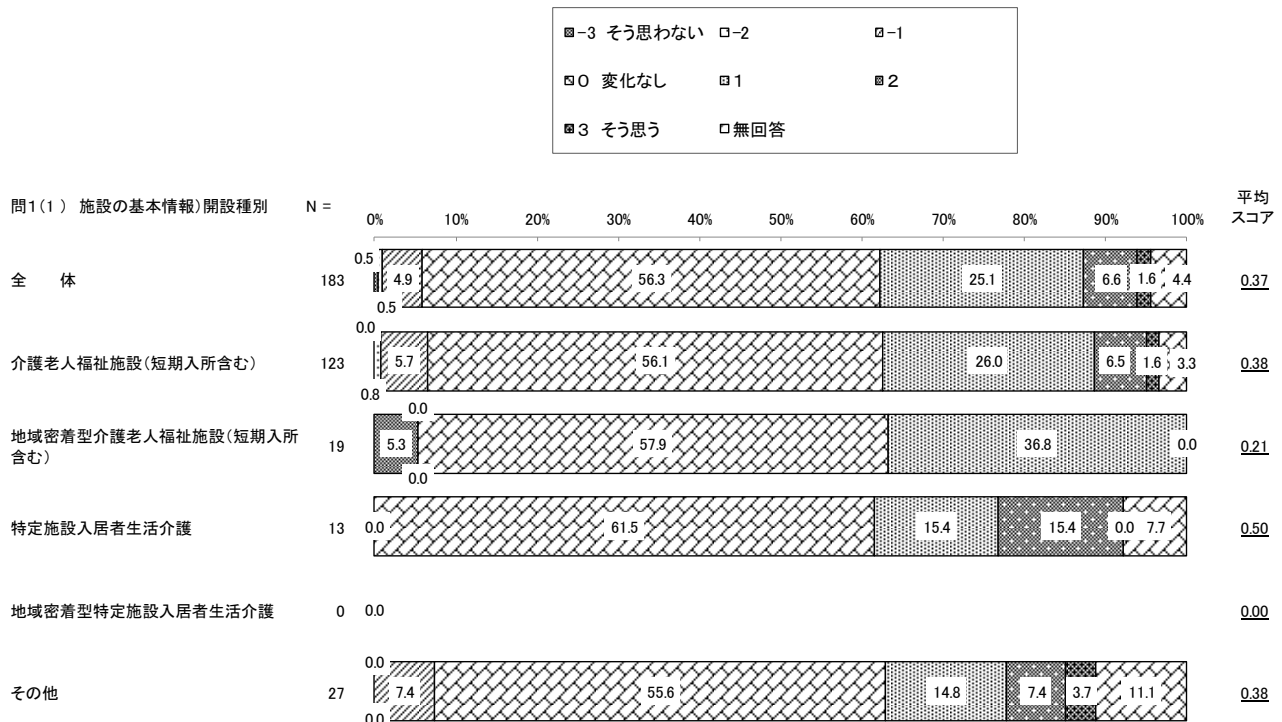
		問4(6)⑫ 職員の変化)走って訪室することが減った										スコア	標準偏差	最小値	最大値
施設の種類	基本情報	サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答					
問1(1)施設の基本情報	全体	183	1	8	9	74	51	23	8	9	0.53	1.11	-3.00	3.00	
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123		5	8	49	37	16	3	5	0.51	1.03	-2.00	3.00	
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19		1	1	5	8	2	2		0.79	1.20	-2.00	3.00	
	特定施設入居者生活介護	13		1		7	3		1	1	0.33	1.11	-2.00	3.00	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0													
	その他	27	1	1		13	3	4	2	3	0.50	1.35	-3.00	3.00	
		100.0	3.7	3.7		48.1	11.1	14.8	7.4	11.1					

29) 職員の行動や意識の変化:⑬機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えたと回答した施設は約3割、変化なしと回答した施設は約6割であった。

図表 177 職員の行動や意識の変化:⑬機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた(グラフ)

問4(6)⑬ 職員の变化)機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた



図表 178 職員の行動や意識の変化:⑬機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた(表)

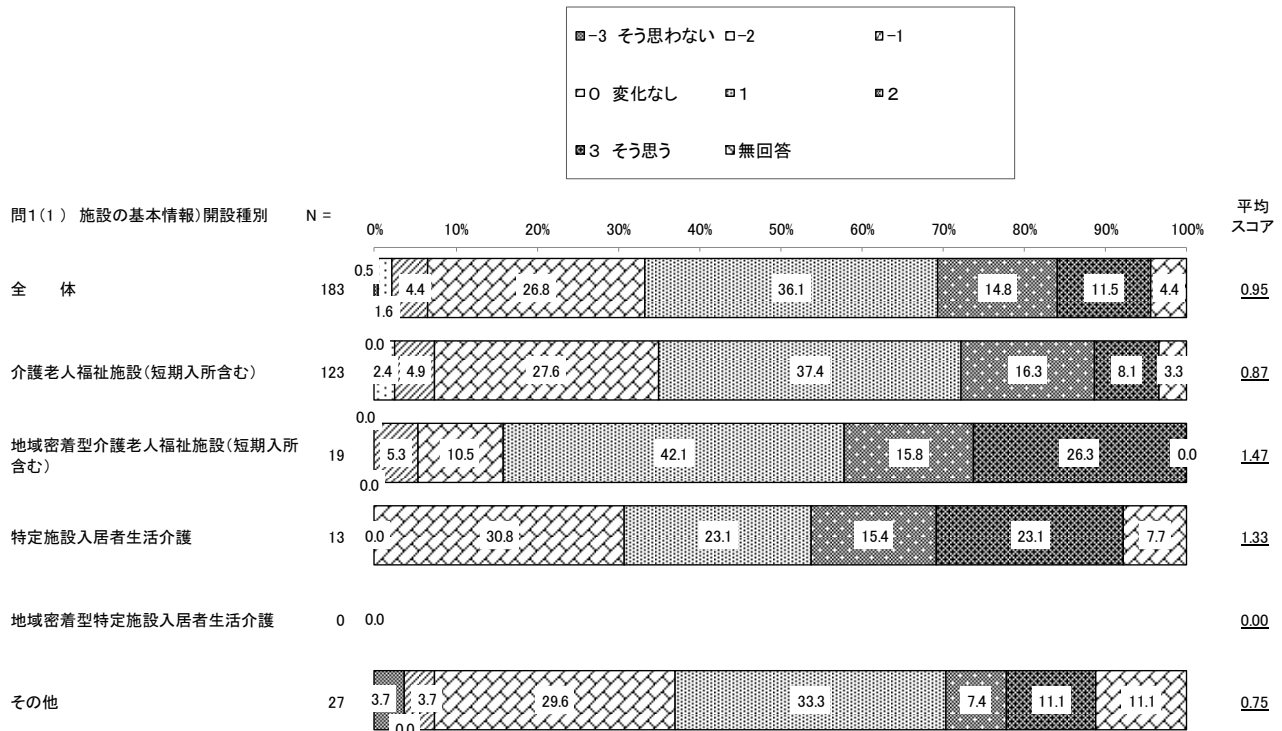
		問4(6)⑬ 職員の变化)機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう 思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情	全 体	183	0.5	4.9	56.3	25.1	6.6	1.6	4.4	0.5	0.37	0.82	-3.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	0.0	5.7	56.1	26.0	6.5	1.6	3.3	0.8	0.38	0.80	-2.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	0.0	5.3	57.9	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.21	0.89	-3.00	1.00
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	0.0	61.5	15.4	15.4	0.0	7.7	0.0	0.50	0.76	0.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	その他	27	0.0	7.4	55.6	14.8	7.4	3.7	11.1	0.0	0.38	0.90	-1.00	3.00
		100.0	-	-	7.4	55.6	14.8	7.4	3.7	11.1	-	-	-	-

30) 職員の行動や意識の変化:⑭訪室回数合計が減った

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、訪室回数が減ったと回答した施設は、約6割であった。

図表 179 職員の行動や意識の変化:⑭訪室回数合計が減った(グラフ)

問4(6)⑭ 職員の变化)訪室回数合計が減った



図表 180 職員の行動や意識の変化:⑭訪室回数合計が減った(表)

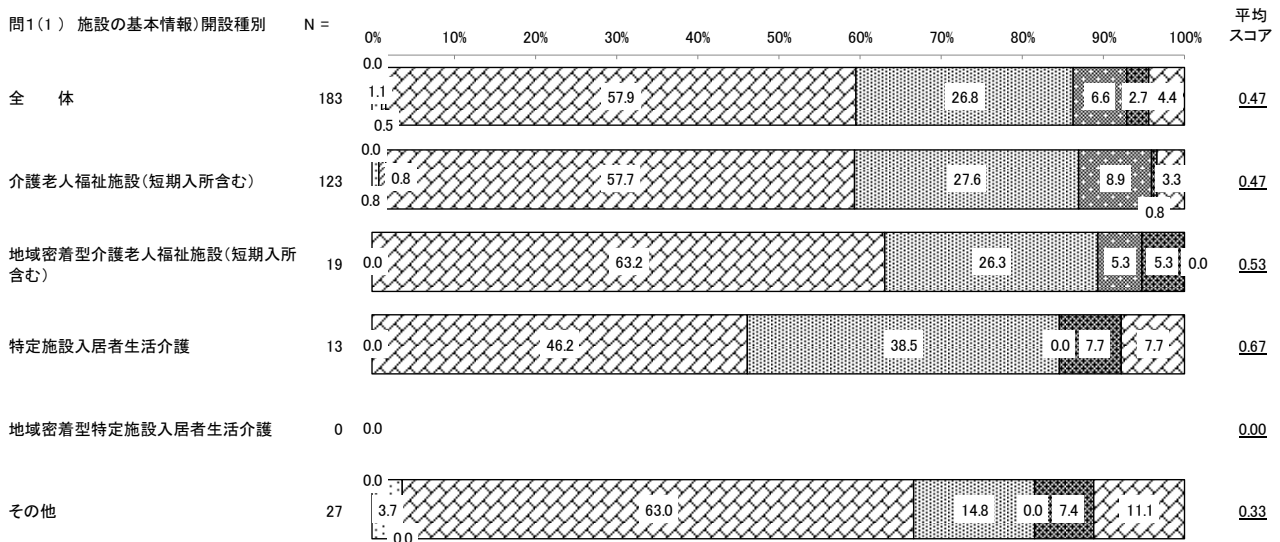
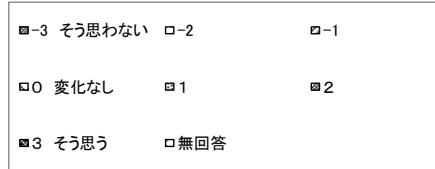
		問4(6)⑭ 職員の变化)訪室回数合計が減った												
問1(1)施設の基本情報	施設の種類	サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう 思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	2.4	4.9	27.6	37.4	16.3	8.1	3.3	0.0	0.87	1.10	-2.00	3.00	
地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	5.3	10.5	42.1	15.8	26.3	0.0	0.0	0.0	1.47	1.14	-1.00	3.00	
特定施設入居者生活介護	13	0.0	30.8	23.1	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0	1.33	1.18	0.00	3.00	
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	
その他	27	3.7	3.7	29.6	33.3	7.4	11.1	11.1	0.0	0.75	1.30	-3.00	3.00	

31) 職員の行動や意識の変化:⑮自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになったと回答した施設は約3割、変化なしと回答した施設が約6割であった。

図表 181 職員の行動や意識の変化:⑮自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった(グラフ)

問4(6)⑮ 職員の変化)自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった



図表 182 職員の行動や意識の変化:⑮自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった(表)

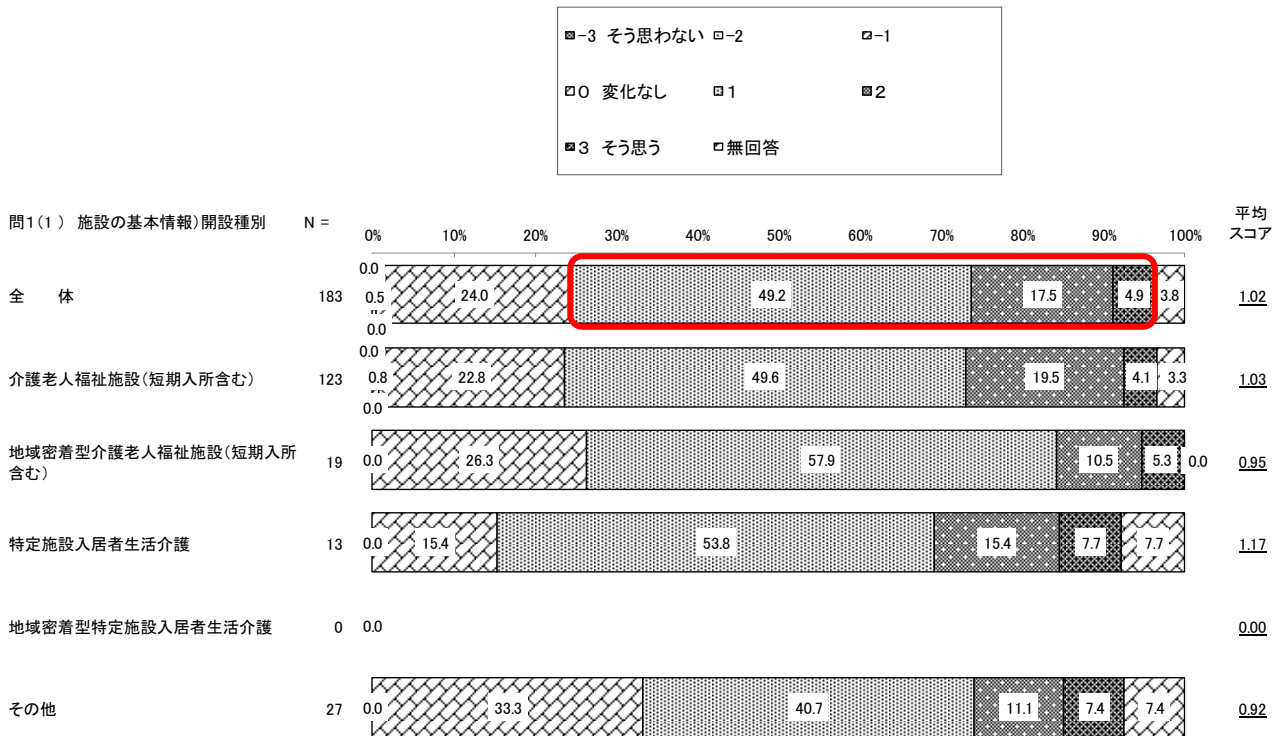
		問4(6)⑮ 職員の変化)自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう 思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情 報)	全 体	183	-	2	1	106	49	12	5	8	0.47	0.80	-2.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	1	1	71	34	11	1	4	0.47	0.74	-2.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	12	5	1	1	-	0.53	0.82	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	6	5	-	1	1	0.67	0.85	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	1	-	17	4	-	2	3	0.33	0.99	-2.00	3.00
		100.0	-	3.7	-	63.0	14.8	-	7.4	11.1				

32) 職員の行動や意識の変化:⑩利用者により良いケアが提供できるようになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、利用者により良いケアが提供できるようになったと回答した施設は約7割であった。

図表 183 職員の行動や意識の変化:⑩利用者により良いケアが提供できるようになった(グラフ)

問4(6)⑩ 職員の変化)利用者により良いケアが提供できるようになった



図表 184 職員の行動や意識の変化:⑩利用者により良いケアが提供できるようになった(表)

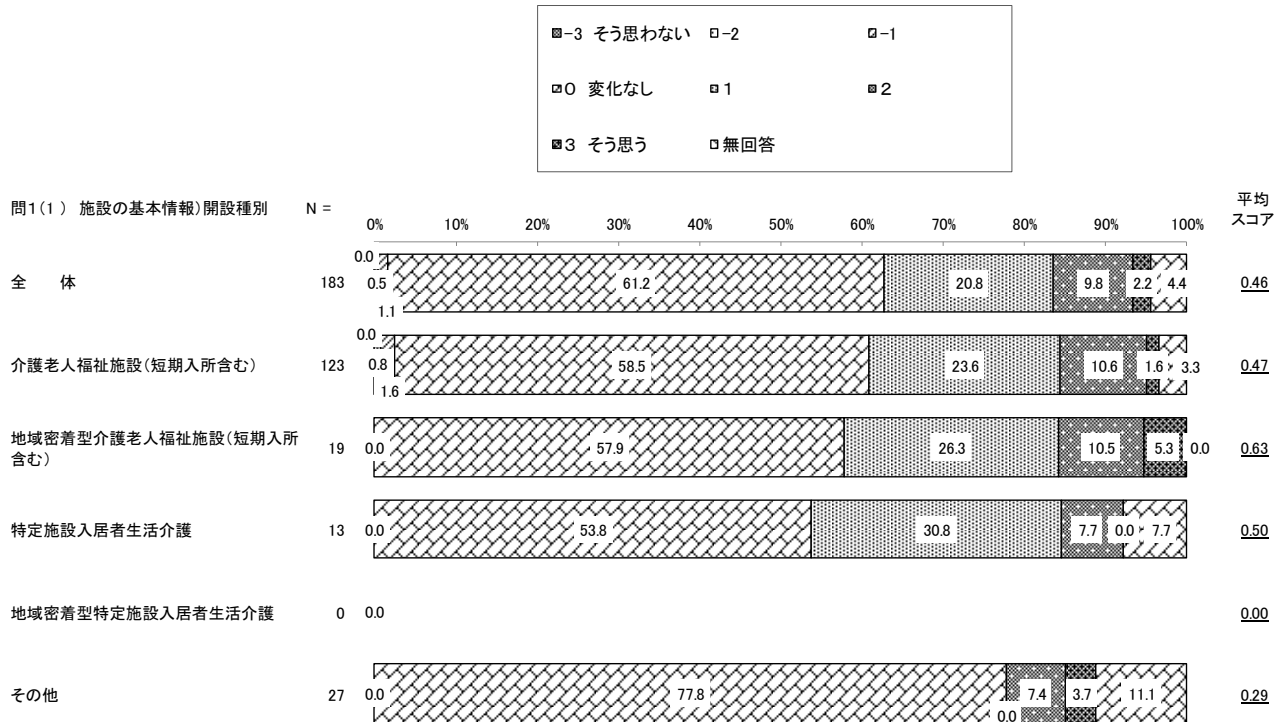
		問4(6)⑩ 職員の変化)利用者により良いケアが提供できるようになった												
		サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	-	-	1	44	90	32	9	7	1.02	0.81	-1.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	1	28	61	24	5	4	1.03	0.80	-1.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	5	11	2	1	-	0.95	0.76	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	26.3	57.9	10.5	5.3	-	1.17	0.80	0.00	3.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	-	9	11	3	2	2	0.92	0.89	0.00	3.00
		100.0	-	-	-	33.3	40.7	11.1	7.4	7.4				

33) 職員の行動や意識の変化:⑩教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった

オペレーション変更による職員の行動や意識の変化として、教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになったと回答した施設は約3割、変化なしと回答した施設が約6割であった。

図表 185 職員の行動や意識の変化:⑩教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった(グラフ)

問4(6)⑩ 職員の变化)教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった



図表 186 職員の行動や意識の変化:⑩教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった(表)

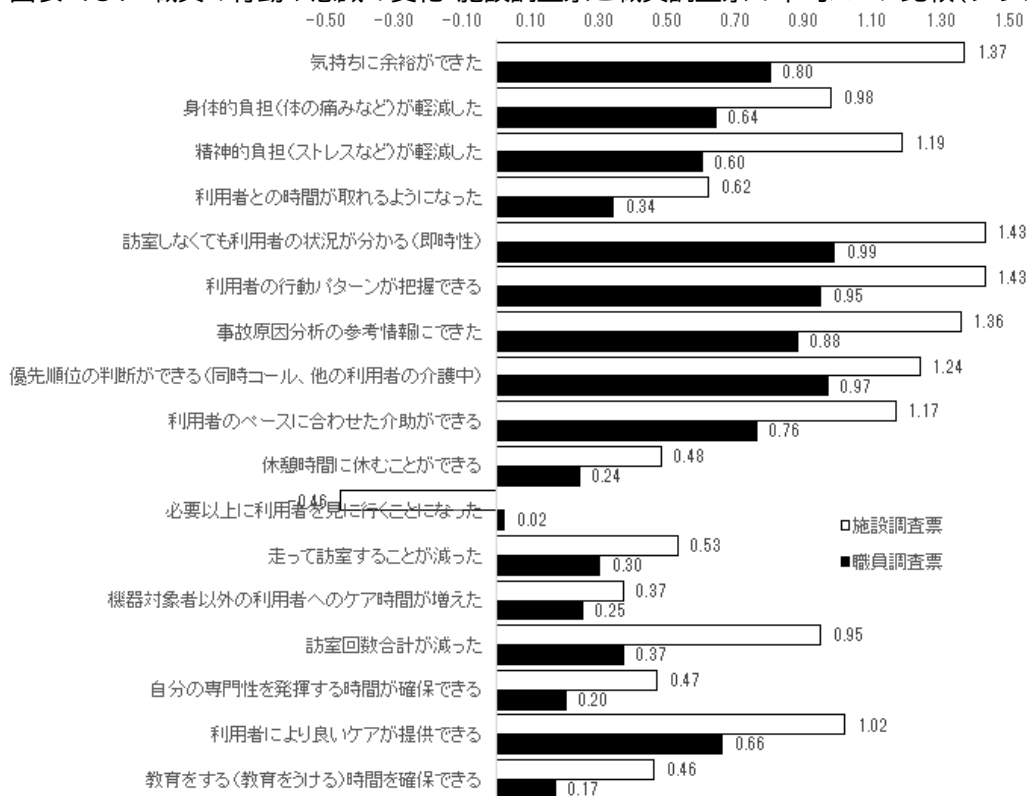
		問4(6)⑩ 職員の变化)教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった												
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう 思 う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情 報)	全 体	183	0.5	1.1	61.2	20.8	9.8	2.2	4.4	0.46	0.83	-3.00	3.00	
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	0.8	1.6	58.5	23.6	10.6	1.6	3.3	0.47	0.84	-3.00	3.00	
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	0.0	0.0	57.9	26.3	10.5	5.3	0.0	0.63	0.87	0.00	3.00	
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	0.0	53.8	30.8	7.7	0.0	7.7	0.50	0.65	0.00	2.00	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	
	その他	27	0.0	0.0	77.8	7.4	3.7	11.1	0.0	0.29	0.79	0.00	3.00	
			100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

34) 職員の行動や意識の変化:施設調査票と職員調査票の平均スコア比較

職員の行動や意識の変化について、平均スコアを施設調査票と職員調査票で比較した。施設調査票の平均スコアが高い傾向にあり、機器の導入効果を現場職員までは感じられていないことが伺えた。

※設問のうち「必要以上に利用者を見に行くことになった」のみ、ネガティブな設問であることに留意が必要。

図表 187 職員の行動や意識の変化:施設調査票と職員調査票の平均スコア比較(グラフ)



図表 188 職員の行動や意識の変化:施設調査票と職員調査票の平均スコア比較(表)

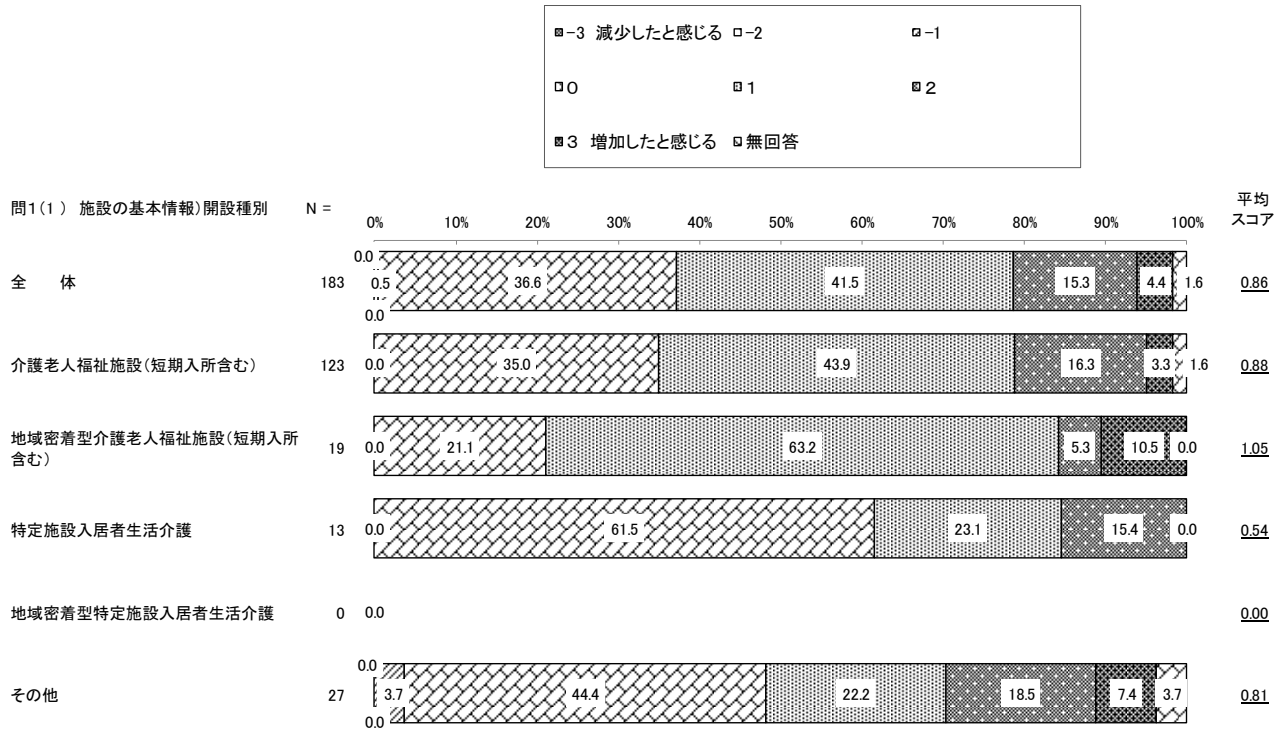
	職員の行動や意識の変化 平均スコア	施設調査票	
		施設調査票	職員調査票
1	気持ちに余裕ができた	1.37	0.80
2	身体的負担(体の痛みなど)が軽減した	0.98	0.64
3	精神的負担(ストレスなど)が軽減した	1.19	0.60
4	利用者との時間が取れるようになった	0.62	0.34
5	訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)	1.43	0.99
6	利用者の行動パターンが把握できる	1.43	0.95
7	事故原因分析の参考情報にできた	1.36	0.88
8	優先順位の判断ができる(同時コール、他の)	1.24	0.97
9	利用者のペースに合わせた介助ができる	1.17	0.76
10	休憩時間に休むことができる	0.48	0.24
11	必要以上に利用者を見に行くことになった	-0.46	0.02
12	走って訪室することが減った	0.53	0.30
13	機器対象者以外の利用者へのケア時間が増え	0.37	0.25
14	訪室回数合計が減った	0.95	0.37
15	自分の専門性を発揮する時間が確保できる	0.47	0.20
16	利用者により良いケアが提供できる	1.02	0.66
17	教育をする(教育をうける)時間を確保でき	0.46	0.17

35) 職員のモチベーションの変化:機器導入による、仕事のやりがいの変化

オペレーション変更による職員のモチベーションの変化として、機器導入による、仕事のやりがいが増加したと回答した施設は約6割であった。

図表 189 職員のモチベーションの変化:機器導入による、仕事のやりがいの変化(グラフ)

問4(7)① 職員の変化)機器導入による、仕事のやりがいの変化



図表 190 職員のモチベーションの変化:機器導入による、仕事のやりがいの変化(表)

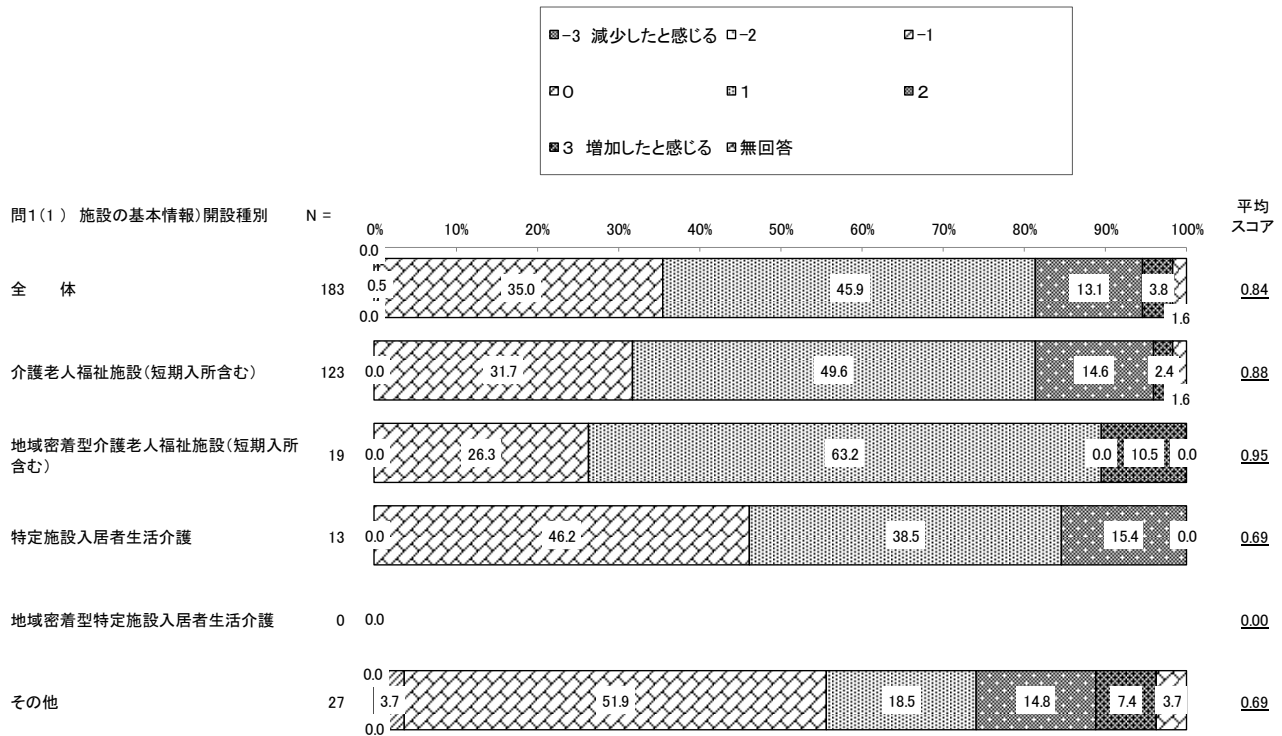
		問4(7)① 職員の変化)機器導入による、仕事のやりがいの変化												
		サンプル数	-3 減少したと感じる	-2	-1	0	1	2	3 増加したと感じる	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	-	-	1	67	76	28	8	3	0.86	0.84	-1.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	0.5	36.6	41.5	15.3	4.4	1.6	0.88	0.80	0.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	4	12	1	2	-	1.05	0.83	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	8	3	2	-	-	0.54	0.75	0.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	27	-	-	1	12	6	5	2	1	0.81	1.04	-1.00	3.00
		100.0	-	-	3.7	44.4	22.2	18.5	7.4	3.7	-	-	-	-

36) 職員のモチベーションの変化:機器導入による、職場の活気の変化

オペレーション変更による職員のモチベーションの変化として、機器導入による、職場の活気が増加したと回答した施設は約6割であった。

図表 191 職員のモチベーションの変化:機器導入による、職場の活気の変化(グラフ)

問4(7)② 職員の変化)機器導入による、職場の活気の変化



図表 192 職員のモチベーションの変化:機器導入による、職場の活気の変化(表)

		問4(7)② 職員の変化)機器導入による、職場の活気の変化												
		サンプル数	-3 減少したと感 じる	-2	-1	0	1	2	3 増加し たと感 じる	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情 報)	全体	183	-	-	1	64	84	24	7	3	0.84	0.80	-1.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	-	-	0.5	35.0	45.9	13.1	3.8	1.6				
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	-	-	-	39	61	19	3	2	0.88	0.74	0.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	-	-	-	31.7	49.6	14.6	2.4	1.6				
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	-	-	-	5	12	-	2	-	0.95	0.83	0.00	3.00
	その他	27	-	-	-	26.3	63.2	-	10.5	-				
	100.0	-	-	-	6	5	2	-	-	0.69	0.72	0.00	2.00	
	100.0	-	-	-	46.2	38.5	15.4	-	-					
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-					
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-					
	100.0	-	-	-	3.7	51.9	18.5	14.8	7.4	3.7		1.03	-1.00	3.00

37) 介護ロボット機器を導入して「ケアの質」に関して一番変わったと感じる点(自由記述)

介護ロボットを導入して「ケアの質」に関して、一番変わったと感じる点についての自由記述回答のうち、主なものを列挙すると、次の通りであった。

図表 193 介護ロボット機器を導入して「ケアの質」に関して一番変わったと感じる点(自由記述)抜粋

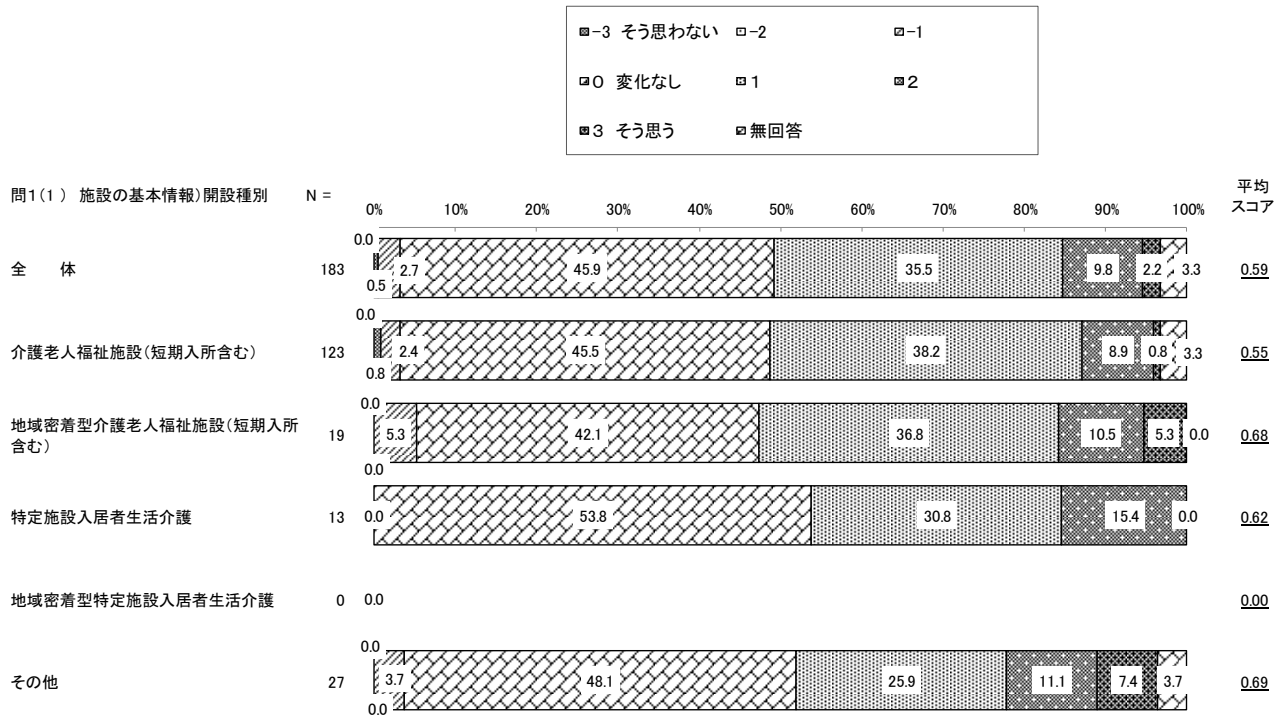
介護ロボットありきで活用方法を考えるのではなく、何が自施設の課題かをしっかり分析、具体化していくプロセスを経て、本来に必要なロボットを導入することで、自分たちの仕事の内容を可視化できた。
見守り機器を安全かつ有効に活用するための委員会を設定した事が、違った角度から活用方法やリスクなどを考える機会ができた。
移乗支援機器を導入したことにより、移乗介助2人対応だった利用者の離床・臥床介助をお待たせすることなく、対応できるようになった。センサー付ベッドや見守り機器は利用者の動きや睡眠状態などを把握でき、利用者の生活リズムに合わせたケアの検討・提供につながっている。
モニターをみることで、利用者の状況を把握しやすくなり事前に予測して動くことができるようになった。
見守り機器導入で不必要な訪室が減じる結果となったため、訪室による同室利用者の睡眠妨害も減り、睡眠の質向上にも寄与しているものと考えられる。
訪室回数が減り、職員の労力、ストレス軽減となり利用者とのコミュニケーションなどに変化あり。
記録する時間を省くことができたため利用者とは接する時間が設けられ、傾聴時間をとることがよりできるようになった。
ノーリフトケアを導入している。介護ロボットを導入したことで余裕ができ、利用者のケアの質の向上にかかる時間が増えた。
離床センサーを導入したが、触れるだけで反応してしまうため訪室が増えたが、事故等が未然に防げるので良いと思われる。
行動把握は、確実に became したが、誤作動も多く、介護者の負担は増えた。機器にふり回される事が多いので、精度によって良かったり悪かったりである。
以前は、移乗リフトを使うと「時間がかかる」と、拒否反応が強かったが、アザの事故等から少しずつではあるが使用するようになってきた。

38) 利用者の行動等の変化:①利用者の自立支援につながる機会が増えた

オペレーション変更による利用者の行動等の変化として、自立支援につながる機会が増えたと回答した施設は約4割、変化なしと回答した施設が約5割であった。

図表 194 利用者の行動等の変化:①利用者の自立支援につながる機会が増えた(グラフ)

問4(9)① 利用者の変化)利用者の自立支援につながる機会が増えた



図表 195 利用者の行動等の変化:①利用者の自立支援につながる機会が増えた(表)

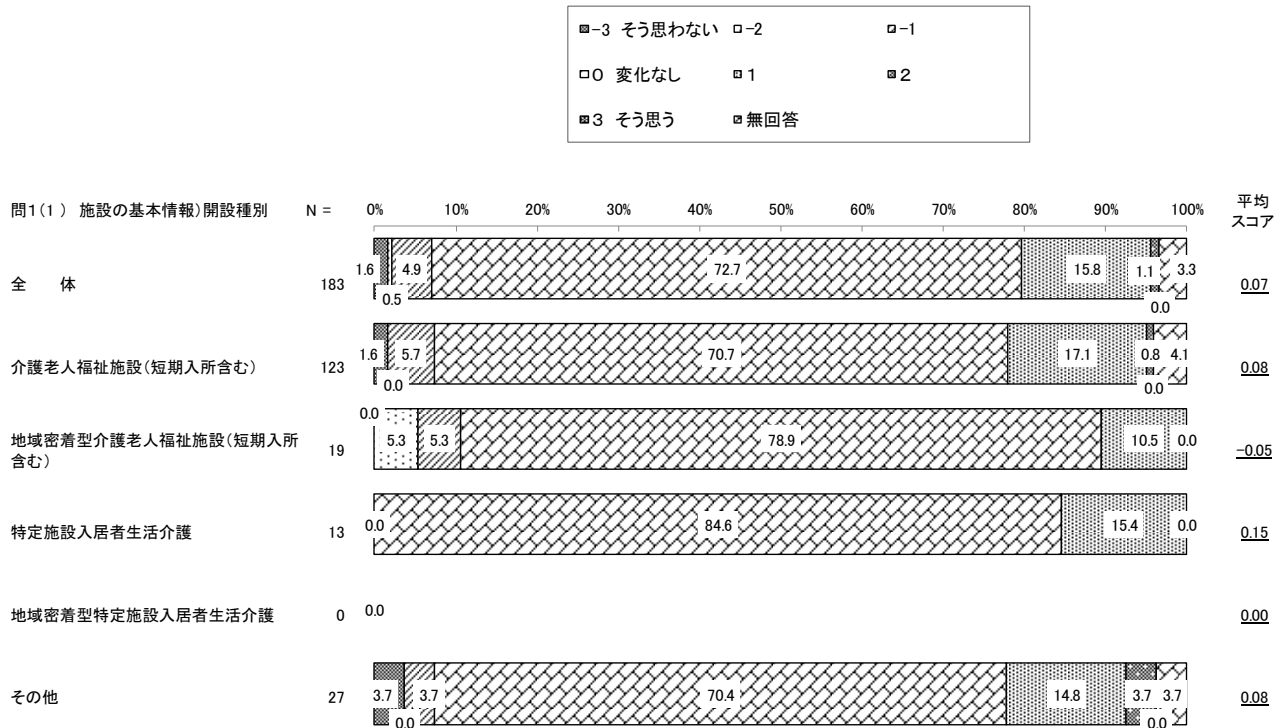
		問4(9)① 利用者の変化)利用者の自立支援につながる機会が増えた												
		サンプル数	-3 そう思わない	-2	-1	0 変化なし	1	2	3 そう思う	無回答	スコア	標準偏差	最小値	最大値
問1(1) 施設の基本情報	全体	183	2.7	0.5	45.9	35.5	9.8	2.2	3.3		0.59	0.84	-3.00	3.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	2.4	0.8	45.5	38.2	8.9	0.8	3.3		0.55	0.80	-3.00	3.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	5.3	0.0	42.1	36.8	10.5	5.3	0.0		0.68	0.92	-1.00	3.00
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	0.0	53.8	30.8	15.4	0.0	0.0		0.62	0.74	0.00	2.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		-	-	-	-
	その他	27	3.7	0.0	48.1	25.9	11.1	7.4	3.7		0.69	0.99	-1.00	3.00
		100.0	-	-	3.7	48.1	25.9	11.1	7.4	3.7				

39) 利用者の行動等の変化:②利用者の社会参加が増えた

オペレーション変更による利用者の行動等の変化として、社会参加が増えたと回答した施設は約2割、変化なしと回答した施設が約7割であった。

図表 196 利用者の行動等の変化:②利用者の社会参加が増えた(グラフ)

問4(9)② 利用者の変化)利用者の社会参加が増えた



図表 197 利用者の行動等の変化:②利用者の社会参加が増えた(表)

		問4(9)② 利用者の変化)利用者の社会参加が増えた											
		サンプル数	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア	標準偏差	最小値
問 1 (報) 開 設 種 別 の 基 本 情	全 体	183	0.5	1.6	4.9	72.7	15.8	1.1	3.3	0.07	0.66	-3.00	2.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	123	0.0	1.6	5.7	70.7	17.1	0.8	4.1	0.08	0.65	-3.00	2.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	19	0.0	5.3	5.3	78.9	10.5	0.0	0.0	-0.05	0.60	-2.00	1.00
	特定施設入居者生活介護	13	0.0	0.0	0.0	84.6	15.4	0.0	0.0	0.15	0.36	0.00	1.00
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	その他	27	0.0	3.7	3.7	70.4	14.8	3.7	3.7	0.08	0.83	-3.00	2.00

40) 介護ロボット機器を導入して利用者の行動が一番変わったと感じる点(自由記述)

介護ロボットを導入して利用者の行動が一番変わったと感じる点についての自由記述回答のうち、主なものを列挙すると、次の通りであった。

図表 198 介護ロボット機器を導入して利用者の行動が一番変わったと感じる点(自由記述)抜粋

認知症の利用者が夜間に排泄で目覚めたときのタイミングでトイレ誘導できることで不穏軽減や、睡眠のリズムが分かり生活リズムの安定や体調維持に対応できる。
朝眠っている時に起床の声かけをしても覚醒不十分で食事が進まず。朝、覚醒したタイミングで声かけを行い、食事がしっかりと摂れるようになった。
コールの正確性が増し、転倒転落アクシデントが減少。骨折やケガも減少したことによりADLが維持できている
ノーリフトケアが進むことで、利用者の姿勢が改善され、よりお元気になった方がいる。嚥下が良くなった方や拘縮が改善した方もいる。
下剤が減り、トイレでの排便が増えるようになった。
コミュニケーションロボットの使用で、利用者が一定時間集中することができ、トイレの回数が減った。
在宅復帰を想定とした、シミュレーションを十分行えたり、屋外散歩で気分転換が図れ、イライラが減り不穏が抑制できた。
寝たきりの方への機器使用が主であり、変化は感じられない。
介護ロボット導入により、職員装着後の違和感があったようで怖いイメージが付いてしまった点でケアに入れない方がでてしまった点があった。

(8) 【加算の見直し】見守り機器等を導入した場合の夜勤職員配置加算の見直し

1) 見直し後の夜勤配置加算算定実施状況

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していたのは、介護老人保健施設で 13.0%、地域密着型介護老人福祉施設で 23.5%であった。

図表 199 見直し後の夜勤配置加算算定実施状況(グラフ)



図表 200 見直し後の夜勤配置加算算定実施状況(表)

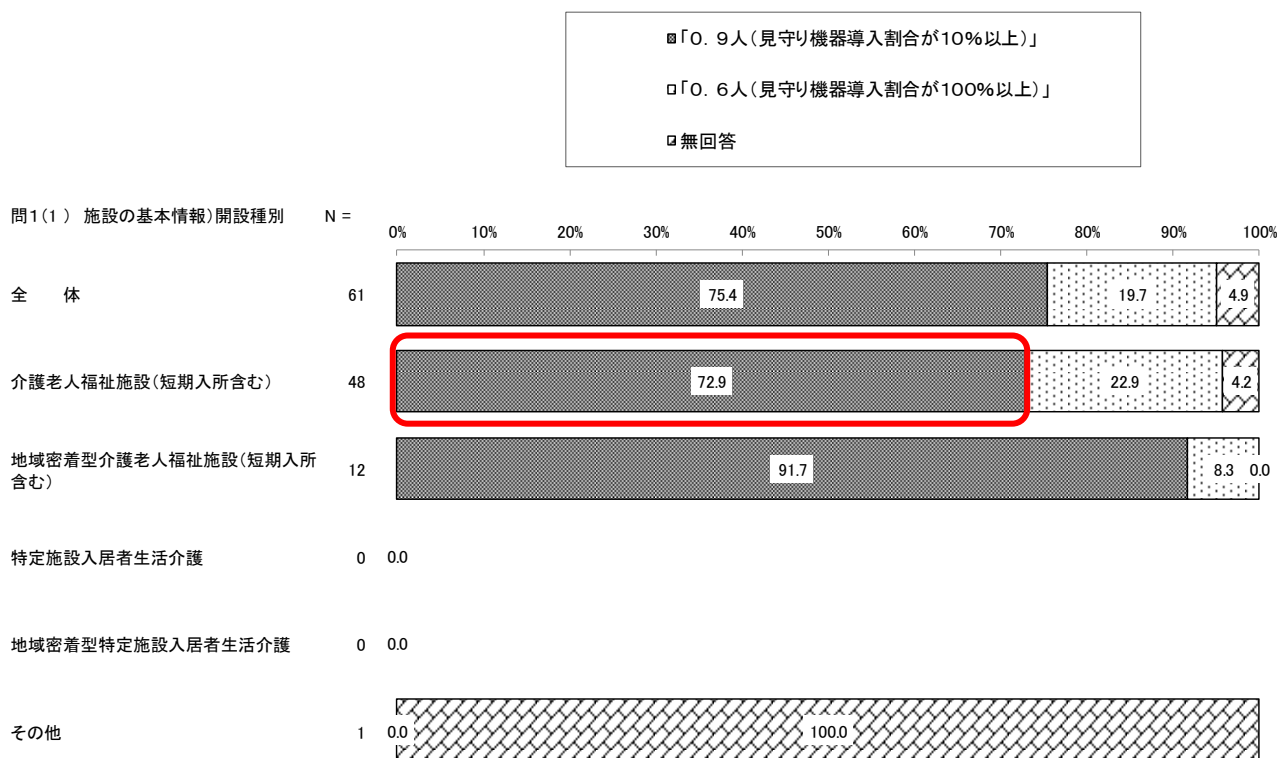
問1(1) 施設の基本情報	施設の種類	問5(1) 加算の見直し見直し後の夜勤配置加算を算定しているか			
		サンプル数	はい	いいえ	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	571	61	338	172
		100.0	10.7	59.2	30.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	48	268	52
		100.0	13.0	72.8	14.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	12	29	10
		100.0	23.5	56.9	19.6
	特定施設入居者生活介護	40	-	8	32
	100.0	-	20.0	80.0	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	2	7
		100.0	-	22.2	77.8
	その他	97	1	26	70
		100.0	1.0	26.8	72.2

2) 見直し後の緩和要件

見直し後の緩和要件は、介護老人福祉施設で「0.9人(見守り機器導入割合が10%以上)」が72.9%であった。

図表 201 見直し後の緩和要件(グラフ)

問5(2) 加算の見直し)どの緩和要件に合致しているか



図表 202 見直し後の緩和要件(表)

問1(1) 施設の基本情報	開設種別	問5(2) 加算の見直し)どの緩和要件に合致しているか			
		サンプル数	「0.9人(見守り機器導入割合が10%以上)」	「0.6人(見守り機器導入割合が100%以上)」	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	61	46	12	3
		100.0	75.4	19.7	4.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	48	35	11	2
		100.0	72.9	22.9	4.2
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	12	11	1	0
		100.0	91.7	8.3	0
	特定施設入居者生活介護	0	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	
その他	1	0	0	1	
	100.0	0	0	100.0	

3) 緩和で得られた時間の職員の就労要件への反映

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していた施設について、要件緩和で得られた時間の職員の就労要件への反映について、従来の勤務体制のまま(何も変更していない)が67.2%であった。

図表 203 緩和で得られた時間の職員の就労要件への反映

		問5(3) 加算の見直し)緩和で得られた時間の職員の就労条件への反映						
		サンプル数	夜勤職員の就業時間短縮(勤務開始の繰り延べ、勤務終了時)	夜勤中の休憩・仮眠時間の拡充	夜勤中に別業務(兼務)時間を割当	何も変更していない(従来の勤務体制のまま)	その他	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 施 設 の 基 本 情	全 体	61 100.0	4 6.6	6 9.8	5 8.2	41 67.2	1 1.6	4 6.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	48 100.0	2 4.2	5 10.4	4 8.3	33 68.8	-	4 8.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	12 100.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	7 58.3	1 8.3	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-

4) 緩和で得られた時間の職員の就労要件への反映に関する具体的な内容(自由記述)

緩和で得られた時間の職員の就労要件への反映に関する具体的な内容についての自由記述回答のうち、主なものを列举すると、次の通りであった。

図表 204 緩和で得られた時間の職員の就労要件への反映に関する具体的な内容(自由記述)抜粋

遅出20:00までの勤務を1h繰り上げたり早出7:00からの勤務が8:00からになったり、若干の時間調整ができる。
夜勤職員配置加算の条件である+1人を守るために夕方以降の職員を配置していたが、+0.9人になり、昼間に職員を少しだけ厚くできた。
16時間夜勤人数を減らし、8時間(準夜勤)人数を増やした。
勤務時間の短縮し、16時間から13時間とした。休憩時間を確保できるようになった。
夜勤者の人数を5人から4人に変更した。
0.1人の削減の為、職員の就労条件の反映までは難しい。
勤務体制の変更をするまでの緩和となっていない。

5) 夜勤中の別業務(兼務)の内容

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していた施設のうち、夜勤中に別業務(兼務)時間を割当てた施設について、その具体的な内容は、次の通りであった。

図表 205 夜勤中の別業務(兼務)の内容

		問5(4) 加算の見直し別業務の具体的な内容							
		サンプル数	当該ユニット・フロアに関する業務(整理清掃、用具・備品の管)	別ユニット・フロアに関する夜勤業務	別ユニット・フロアに関する業務(整理清掃、用具・備品の管)	別事業所(同一建物・敷地内の別施設等)に関する夜勤業務	別事業所(同一建物・敷地内の別施設等)に関する業務(整理)	その他	無回答
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情報	全 体	5 100.0	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	4 100.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-

6) 上記具体的な内容(自由記述)

夜勤中の別業務の具体的な内容についての自由記述回答のうち、主なものは、次の通りであった。

図表 206 夜勤中の別業務(兼務)の具体的な内容(自由記述)抜粋

ケアマネ業務
委員会活動に必要な資料作成時間にあてたり、キャリア段位レベル認定の評価入力時間にあてたり、様々。
センサーがあるので、安心して業務に専念できる。
記録業務、モニタリング等、事務作業
共有スペースの清掃

7) 従来の運用と比較して職員にとってのメリット・デメリット(自由記述)

従来の運用と比較して職員にとってのメリット・デメリットについての自由記述回答のうち、主なものは、次の通りであった。

図表 207 従来の運用と比較して職員にとってのメリット・デメリット(自由記述)抜粋

メリット: 訪室回数、優先順位の確認ができ、業務負担の軽減。 デメリット: 機器不具合時の対応困難、適用の時間の確保。
メリット: 時間を有効活用できる。休憩がとれる。 デメリット: 新しい機器の使用方法を身につけること。
メリット: 科学的な情報量が増えた。 デメリット: 管理の負担が増えた
メリット: 職員の負担軽減 デメリット: 導入までの期間や慣れるまでの負担

8) 従来の運用と比較して施設としてのメリット・デメリット(自由記述)

従来の運用と比較して施設にとってのメリット・デメリットについての自由記述回答のうち、主なものは、次の通りであった。

図表 208 従来の運用と比較して施設としてのメリット・デメリット(自由記述)抜粋

メリット:時間を有効活用し、時間外勤務を必要最小限にできる。 デメリット:経費がかかること。
メリット:離職防止につながり、施設のブランド化になる。 デメリット:機器の単価が高い。
メリット:事業所のシステム化の充足と発信。 デメリット:体調不良や人員不足時の職員負担増
メリット:訪室せずに居室内の様子が分かる為、動線を見直し、移動距離の短縮ができた。
デメリット:機器が高いため、全床そろえることがむずかしい。

9) 「何も変更していない(従来の勤務体制のまま)」と回答した施設の変更しない理由

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していた施設のうち、何も変更していない(従来の勤務体制のまま)と回答した施設について、その理由は、次の通りであった。

図表 209 「何も変更していない(従来の勤務体制のまま)」と回答した施設の変更しない理由

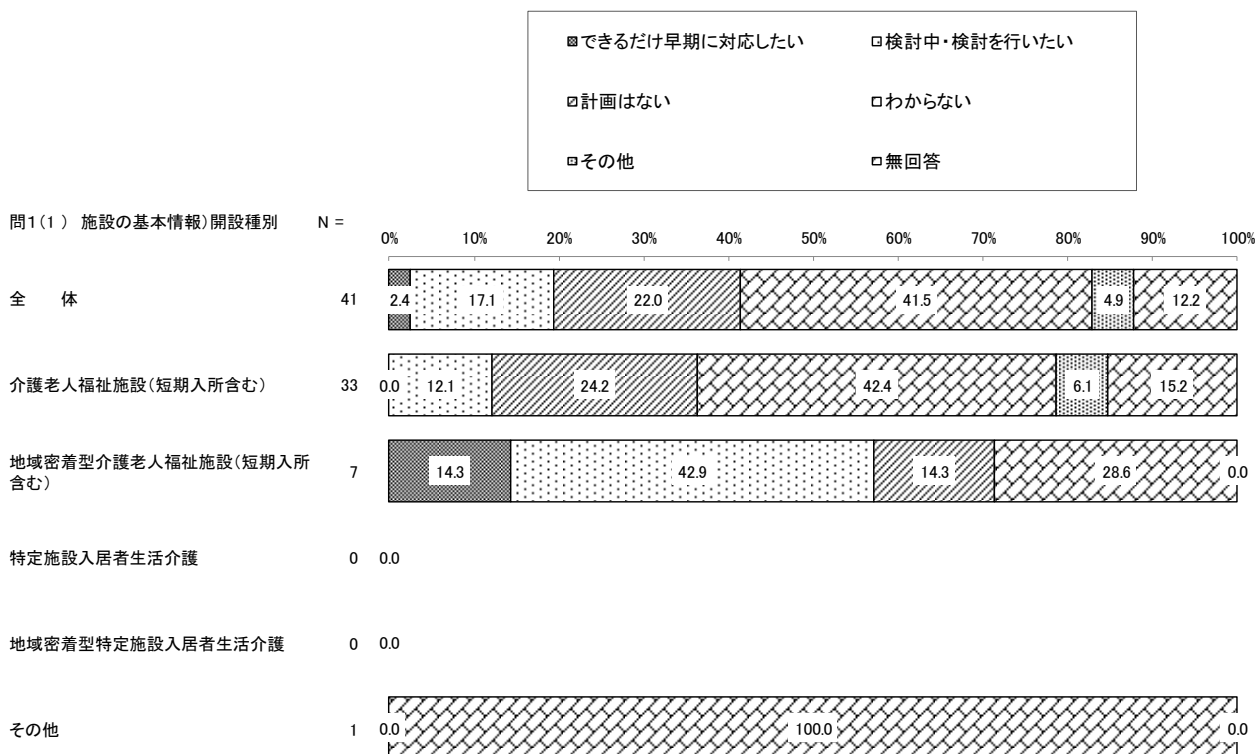
		問5(6) 加算の見直し)変更しない理由						
		サンプル数	事務手続きが煩雑	緩和された分の人員の配置の仕方がわからない	ケアの質の維持がむずかしい	安全体制の確保がむずかしい	その他	無回答
問1 報 (開設種別 施設の基本情報	全 体	41	1	8	14	18	5	12
		100.0	2.4	19.5	34.1	43.9	12.2	29.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	33	1	4	12	13	5	11
		100.0	3.0	12.1	36.4	39.4	15.2	33.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7	-	4	2	5	-	-
		100.0	-	57.1	28.6	71.4	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	1	
	100.0	-	-	-	-	-	100.0	

10) 夜勤配置加算を何も変更していない(従来の勤務体制のまま)と回答した施設の今後の反映予定

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していた施設のうち、何も変更していない(従来の勤務体制のまま)と回答した施設の今後の反映予定は、次の通りであった。

図表 210 夜勤配置加算を何も変更していない(従来の勤務体制のまま)と回答した施設の今後の反映予定(グラフ)

問5(7) 加算の見直し今後、職員の終了条件に反映される予定はありますか



図表 211 夜勤配置加算を何も変更していない(従来の勤務体制のまま)と回答した施設の今後の反映予定(表)

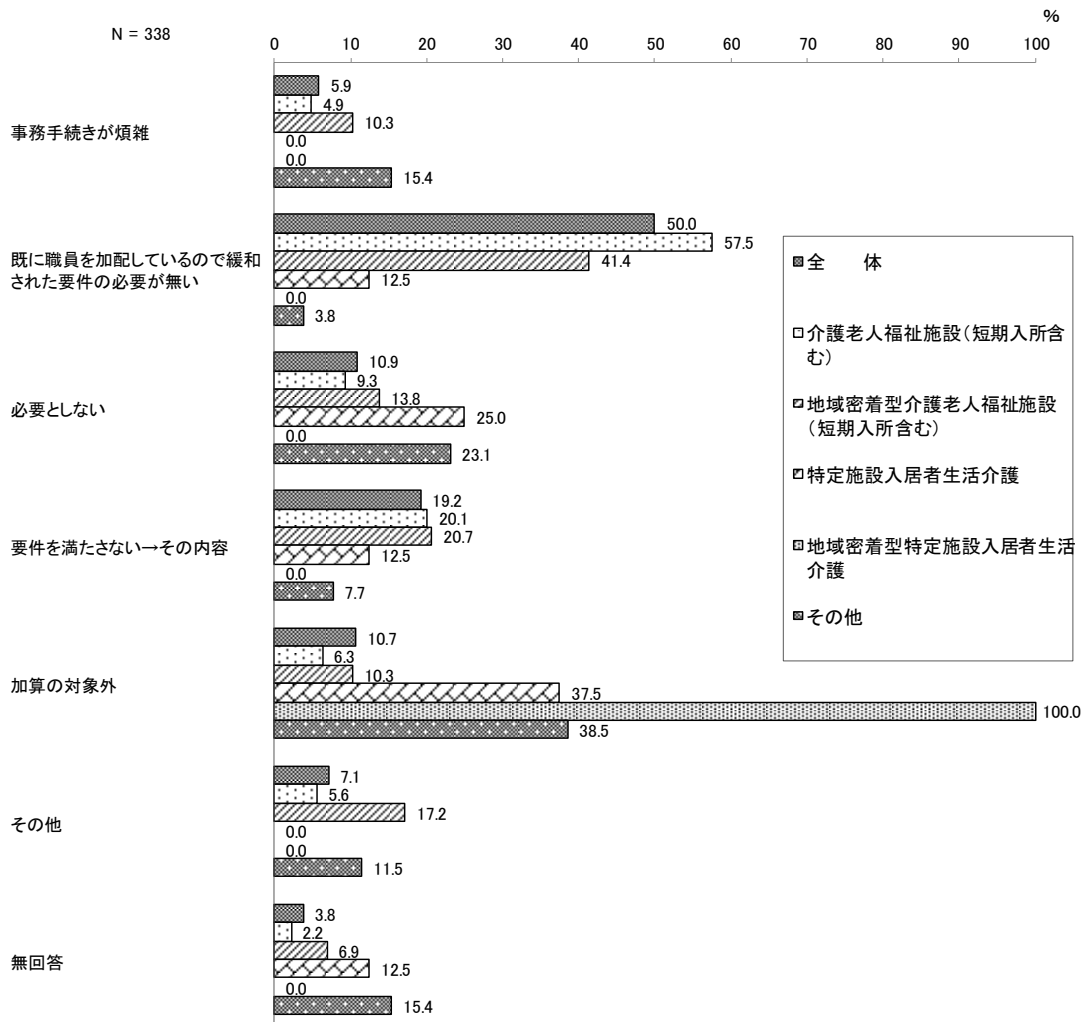
		問5(7) 加算の見直し今後、職員の就労条件に反映される予定はありますか						
		サンプル数	できるだけ早期に対応したい	検討中・検討を行いたい	計画はない	わからない	その他	無回答
問1 (1) 施設の基本情報	全体	41	1	7	9	17	2	5
		100.0	2.4	17.1	22.0	41.5	4.9	12.2
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	33	-	4	8	14	2	5
		100.0	-	12.1	24.2	42.4	6.1	15.2
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7	1	3	1	2	-	-
		100.0	14.3	42.9	14.3	28.6	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	
その他	1	-	-	-	1	-	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	-	

11) 見直し後の夜勤配置加算を算定していない理由

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していない施設について、その理由は、次の通りであった。

図表 212 見直し後の夜勤配置加算を算定していない理由(グラフ)

問5(8) 加算の見直し加算を算定しない理由



図表 213 見直し後の夜勤配置加算を算定していない理由(表)

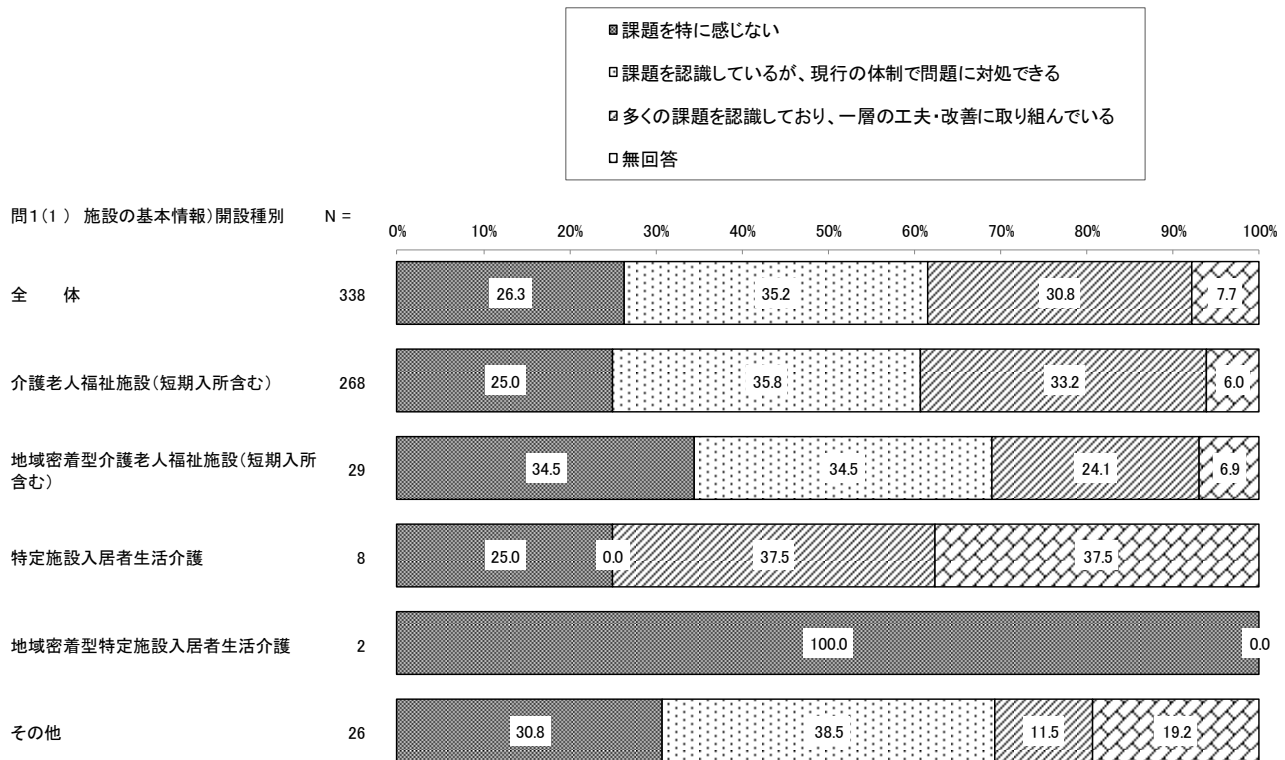
		問5(8) 加算の見直し加算を算定しない理由							
		サンプル数	事務手続きが煩雑	既に職員を加配しているので緩和された要件の必要が無い	必要としない	要件を満たさない→その内容	加算の対象外	その他	無回答
問1 (1) 施設種別の基本情報	全体	338	20	169	37	65	36	24	13
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	100.0	5.9	50.0	10.9	19.2	10.7	7.1	3.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	268	13	154	25	54	17	15	6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	100.0	4.9	57.5	9.3	20.1	6.3	5.6	2.2
	特定施設入居者生活介護	29	3	12	4	6	3	5	2
	特定施設入居者生活介護	100.0	10.3	41.4	13.8	20.7	10.3	17.2	6.9
	地域密着型特定施設入居者生活介護	8	-	1	2	1	3	-	1
地域密着型特定施設入居者生活介護	100.0	-	12.5	25.0	12.5	37.5	-	12.5	
その他	2	-	-	-	-	2	-	-	
その他	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	
その他	26	4	1	6	2	10	3	4	
その他	100.0	15.4	3.8	23.1	7.7	38.5	11.5	15.4	

12) 夜勤業務における安全体制確保の課題

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していない施設について、夜勤業務における安全体制確保の課題は、次の通りであった。

図表 214 夜勤業務における安全体制確保の課題(グラフ)

問5(9) 加算の見直し夜勤業務における安全体制確保についての課題



図表 215 夜勤業務における安全体制確保の課題(表)

		問5(9) 加算の見直し夜勤業務における安全体制確保についての課題				
		サンプル数	課題を特に感じない	課題を認識しているが、現行の体制で問題に対処できる	多くの課題を認識しており、一層の工夫・改善に取り組んでいる	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全 体	338	89	119	104	26
		100.0	26.3	35.2	30.8	7.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	268	67	96	89	16
		100.0	25.0	35.8	33.2	6.0
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	29	10	10	7	2
		100.0	34.5	34.5	24.1	6.9
	特定施設入居者生活介護	8	2	-	3	3
	100.0	25.0	-	37.5	37.5	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	2	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	
その他	26	8	10	3	5	
	100.0	30.8	38.5	11.5	19.2	

13) 夜勤業務における安全体制確保の課題(自由記述) 抜粋

夜勤業務における安全体制確保の課題についての自由記述回答のうち、主なものを抜粋すると、次の通りであった。

図表 216 夜勤業務における安全体制確保の課題の具体的な内容(自由記述) 抜粋

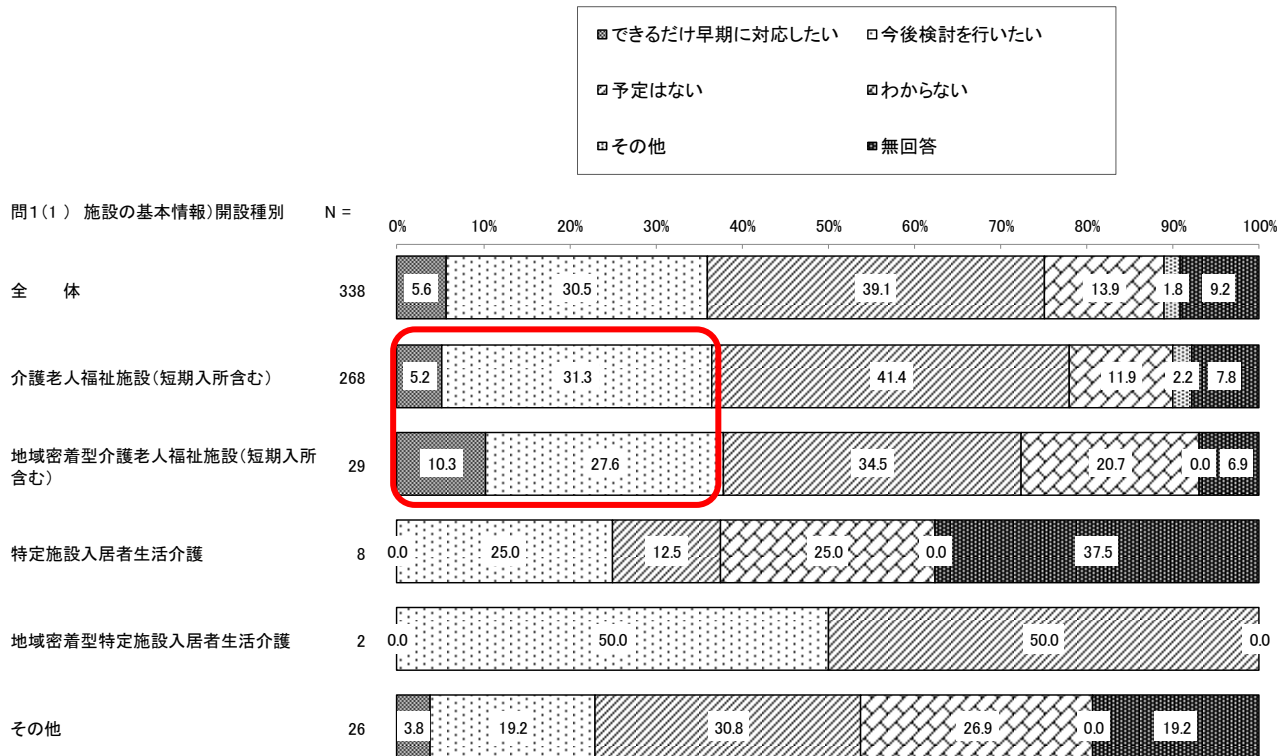
見守り機器が多く導入出来れば、巡回回数を減らす事が出来るかもしれないと思っている
圧倒的に職員の目が行き届きにくく、安全への配慮が足りず、工夫・改善に取り組んでいるが、費用も高額と、なる場合が多く、思うように進めることができていない。
見守り機器導入により人員の削減ができて、利用者へのケアの量は変わらないので職員の負担増や精神的にも不安が大きくなる。
センサーマットで利用者の動きが分かるようになったが、動きの早い方だと間に合わないことがある。
休憩時間にフォロー体制がマンパワーとして弱い。同時にケアコール、センサー等が重なる場合がある。
利用者の年齢や病歴など年々変化しており夜間にすべき業務もそれに伴い変化している。確かに見守り機器を用いて巡回の回数が減り、記録もできるが、利用者の重度化は入居対象が要介護3以上になったことにより避けられず、ロボットでは対応できない緊急対応が多くなったと思う。
職員教育の不足によるスキルの低下、サービスの質の低下のおそれ。

14) 見直し後の夜勤配置加算を算定していないと回答した施設の今後の加算の活用予定

見直し後の夜勤職員配置加算を算定していない施設について、今後の加算の活用を検討しているのは、介護老人福祉施設で約4割であった。

図表 217 見直し後の夜勤配置加算を算定していないと回答した施設の今後の加算の活用予定(グラフ)

問5(10) 加算の見直し 今後加算の活用



図表 218 見直し後の夜勤配置加算を算定していないと回答した施設の今後の加算の活用予定(表)

施設の種類	問5(10) 加算の見直し 今後加算の活用						
	サンプル数	できるだけ早期に対応したい	今後検討を行いたい	予定はない	わからない	その他	無回答
問1 全体	338	19	103	132	47	6	31
(1) 介護老人福祉施設(短期入所含む)	268	14	84	111	32	6	21
(1) 地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	29	3	8	10	6	-	2
施設の基本情報 特定施設入居者生活介護	8	-	2	1	2	-	3
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	1	1	-	-	-
その他	26	1	5	8	7	-	5
	100.0	5.6	30.5	39.1	13.9	1.8	9.2
	100.0	5.2	31.3	41.4	11.9	2.2	7.8
	100.0	10.3	27.6	34.5	20.7	-	6.9
	100.0	-	25.0	12.5	25.0	-	37.5
	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-
	100.0	3.8	19.2	30.8	26.9	-	19.2

15) 「夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準」の緩和についてご意見(自由記述)

「夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準」の緩和についての自由記述意見のうち、主なものは、次の通りであった。

図表 219 「夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準」の緩和についてご意見(自由記述)抜粋

介護ロボット、ICT機器導入に関連した加算が設定されるのは経営層の意識づけのきっかけになるので有難い。
現状、当施設では見守り機器の導入台数が12台であり、夜勤職員の0.1人分換算となる要件を満たしているところだが、0.1人分の活用方法については、その具体を決めあぐねている状況。そもそも、見守り機器が現場職員の心理的・身体的な負担の軽減に効力を発揮しているところだが、当施設のような大規模定員従来型の施設においては見守り以外の夜間帯業務(オムツ交換・離床・臥床)が占めるウェイトも大きく、思い切った人員の削減が難しい状態であり、加算目的でのシステム利活用は現実的ではない状態にある。真に夜勤配置職員の減に努め、介護業界の人材不足に対応するためには、排泄支援機器や、褥瘡の具合に配慮しつつ自動体位交換を実施する介護ロボットを併用する必要がある。それらの開発を期待すると共に、そうした介護ロボットへ投資した費用をなるべく短期間で回収できるような加算の仕組みを待つところ。
要件緩和のために機器を導入したい訳ではなく、安全確保の一環として機器導入を検討したい。
見守り機器の導入により、安全性の確保、巡回業務の効率化は図れたが、対応すべき業務が減ったわけではないため、人員を減らすことには直結しない。
0.9人に緩和されても配置は変わらず、田舎では夜の通勤移動は危険だから自由のない休憩時間となる(2.0人+0.9人)。夜10時までの勤務は少なくできた。
今現在出ている介護ロボットだけでは、とても夜勤者を減らすことが難しい。安全面、事故について考えると、介護ロボットには任せられない。
インカム、スマートフォンの導入、および各居室に監視カメラ等を設置し、記録の整備を順次行っているが、機器の整備を行っても、人が人をサービスする現場では人の目と手によるケアは削れないと考えている。
算定条件のハードルが高すぎて、算定できない。機器の数をそろえるには、高額のコストがかかる。機器があつたとしても、実務としては人の配置が必要であり、人員の削減には結び付かない。今でさえ、夜間は2ユニット(18人)を1人の夜勤者で見ているのにこれ以上、どうやって減らしていくのかわからない。利用者が、夜はずっと寝ているという前提に基づいた設定がおかしい。
ICT機器の扱いに不慣れな高齢のスタッフも多い。

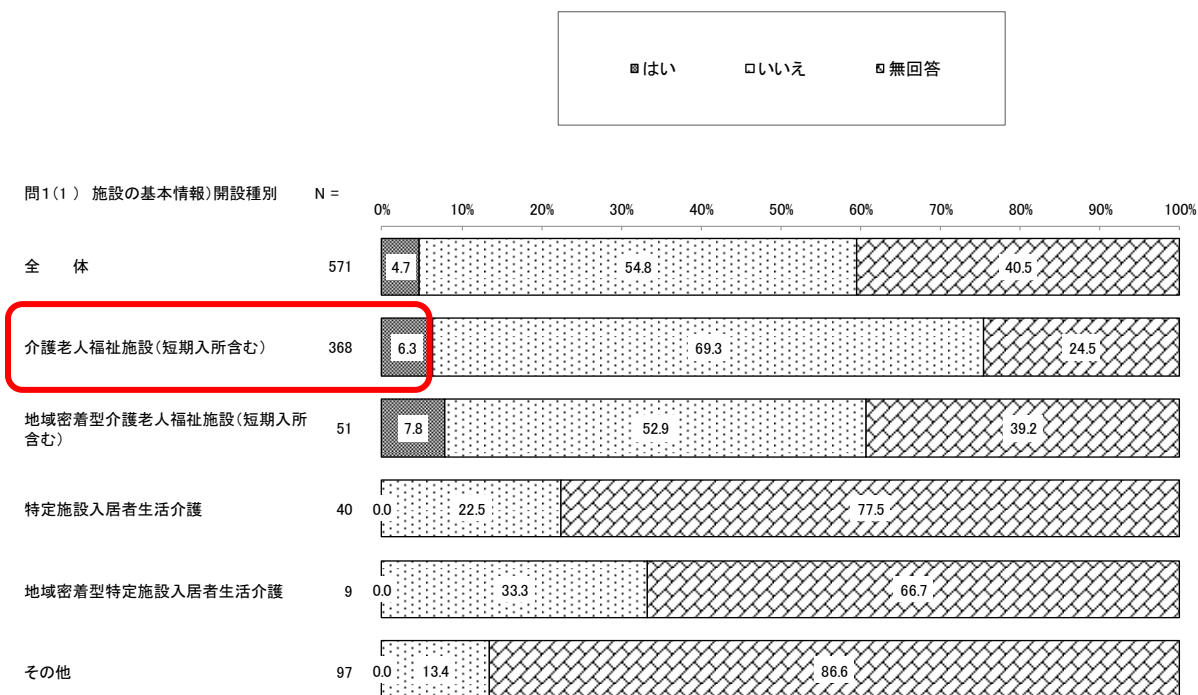
(9) 【人員配置基準緩和】見守り機器等を導入した場合の夜間における人員配置基準の緩和

1) 見直し後の夜間における人員配置基準の緩和の実施状況

見直し後の夜間における人員配置基準で算定している介護老人福祉施設は 6.3%であった。

図表 220 見直し後の夜間における人員配置基準の緩和の実施状況(グラフ)

問6(1) 人員配置基準緩和)見直しの後の基準での算定有無



図表 221 見直し後の夜間における人員配置基準の緩和の実施状況(表)

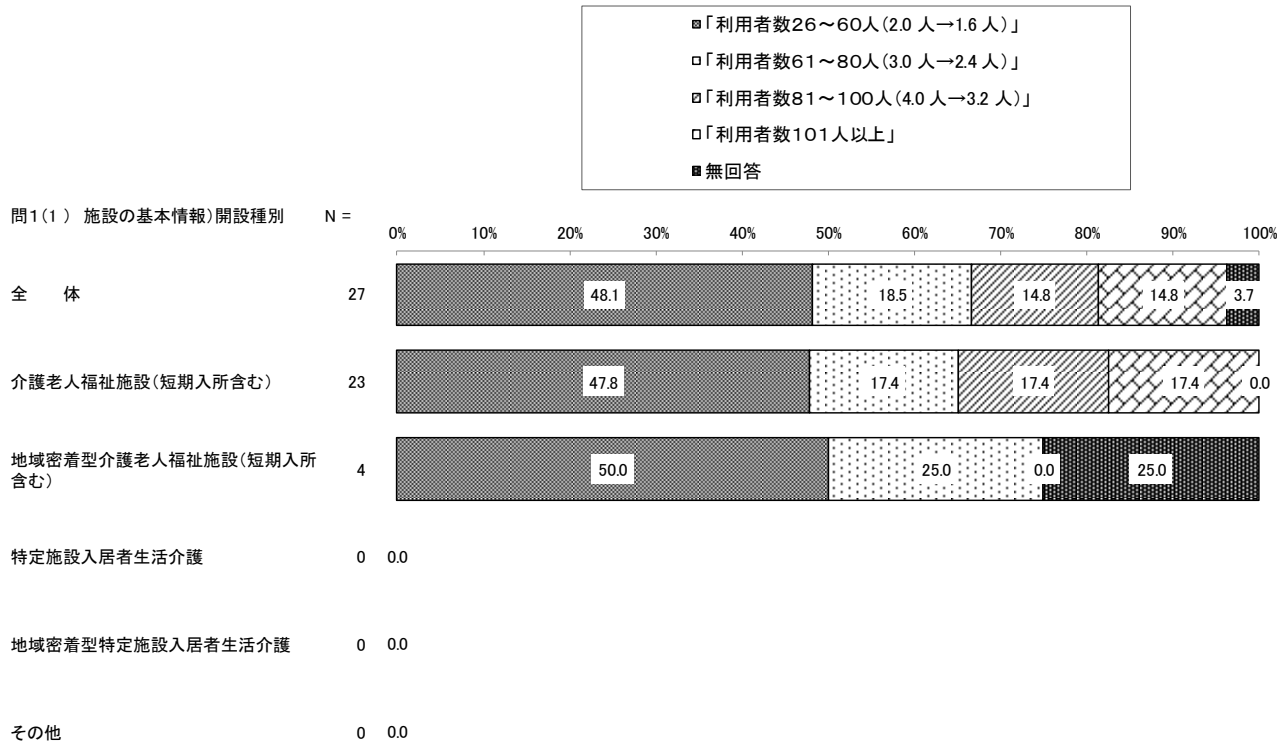
問1(1) 施設の基本情報	開設種別	問6(1) 人員配置基準緩和)見直しの後の基準での算定有無			
		サンプル数	はい	いいえ	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全体	571	27	313	231
		100.0	4.7	54.8	40.5
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	23	255	90
		100.0	6.3	69.3	24.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	4	27	20
		100.0	7.8	52.9	39.2
	特定施設入居者生活介護	40	-	9	31
	100.0	-	22.5	77.5	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	3	6
		100.0	-	33.3	66.7
	その他	97	-	13	84
		100.0	-	13.4	86.6

2) 見直し後の夜間における人員配置基準の緩和要件

見直し後の夜間における人員配置基準の緩和要件は、次の通りであった。

図表 222 見直し後の夜間における人員配置基準の緩和要件(グラフ)

問6(2) 人員配置基準緩和)どの要件に合致しているか



図表 223 見直し後の夜間における人員配置基準の緩和要件(表)

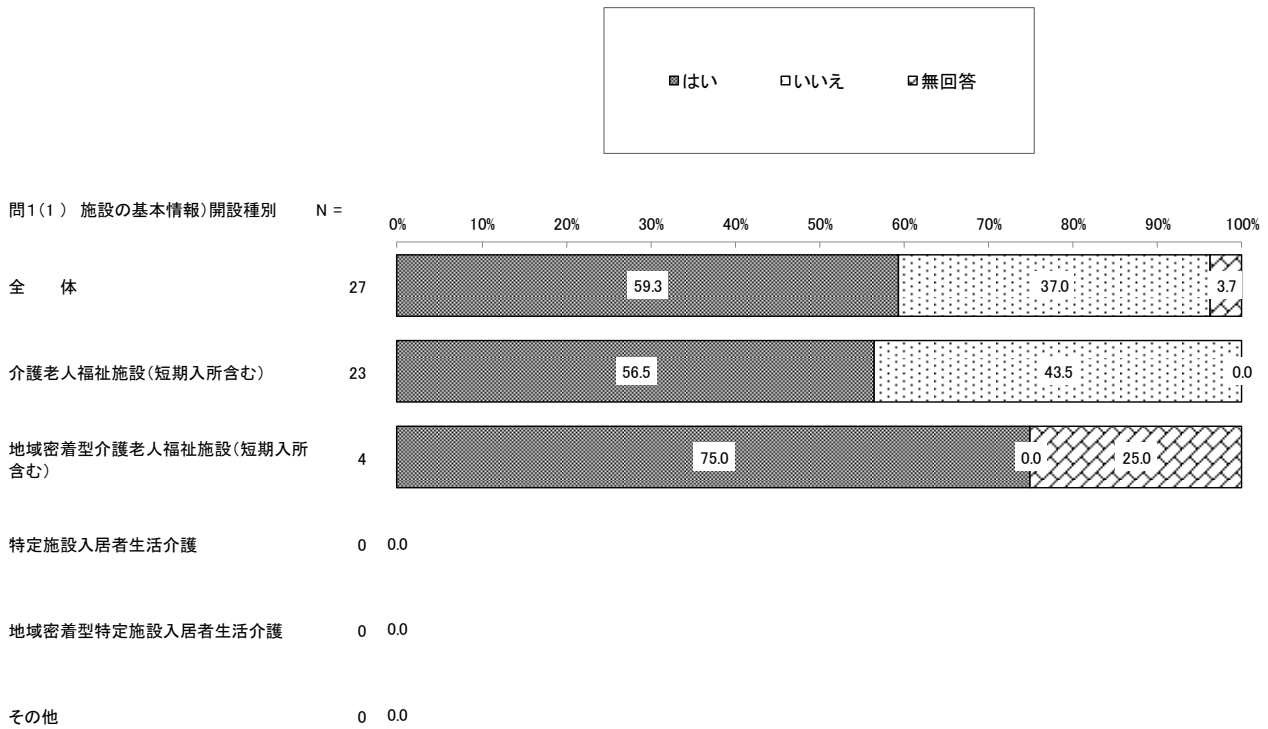
		問6(2) 人員配置基準緩和)どの要件に合致しているか					
		サンプル数	「利用者数26～60人(2.0人→1.6人)」	「利用者数61～80人(3.0人→2.4人)」	「利用者数81～100人(4.0人→3.2人)」	「利用者数101人以上」	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	27	13	5	4	4	1
		100.0	48.1	18.5	14.8	14.8	3.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	11	4	4	4	-
		100.0	47.8	17.4	17.4	17.4	-
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	2	1	-	-	1
		100.0	50.0	25.0	-	-	25.0
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

3) 人員配置基準の要件を満たすための現場との協議

人員配置基準の要件を満たすための現場との協議を行った施設は、基準緩和を実施したと回答した施設のうち約6割であった。

図表 224 人員配置基準の要件を満たすための現場との協議(グラフ)

問6(3) 人員配置基準緩和)人員配置基準の要件を満たすために現場と協議したか



図表 225 人員配置基準の要件を満たすための現場との協議(表)

		問6(3) 人員配置基準緩和)人員配置基準の要件を満たすために現場と協議したか			
		サンプル数	はい	いいえ	無回答
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の 基本情	全体	27	16	10	1
		100.0	59.3	37.0	3.7
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	13	10	-
		100.0	56.5	43.5	-
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	3	-	1
		100.0	75.0	-	25.0
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	

4) 上記協議の結果新たに実施することにした事項

現場との協議を行った結果、新たに実施することにした事項は、次の通りであった。

図表 226 上記協議の結果新たに実施することにした事項(グラフ)

		問6(4) 人員配置基準緩和)協議の結果、新たに実施すること									
		サンプル数	夜勤体制の在り方(勤務時間・休憩時間等)	定期巡視の実施方法変更(直接の定期巡視の廃止・頻度削減等)	見守り機器を活用するための環境整備(携帯端末配備等)	十分な休憩時間の確保等の勤務・雇用条件の改訂	機器の不具合の定期チェック等の実施	機器担当者等の設置等、体制整備	テクノロジー活用に関する教育・研修の定例化	その他	無回答
問1 (1) 報 (開設種別 の 基本 情	全 体	16	10	6	8	1	7	6	3	-	1
		100.0	62.5	37.5	50.0	6.3	43.8	37.5	18.8	-	6.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	13	7	4	6	-	4	3	1	-	1
		100.0	53.8	30.8	46.2	-	30.8	23.1	7.7	-	7.7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	3	3	2	2	1	3	3	2	-	-
		100.0	100.0	66.7	66.7	33.3	100.0	100.0	66.7	-	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

5) 基準緩和を受けた実人員の配置の変化

基準緩和を受けた実人員の配置人数は、次の通りであった。

図表 227 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:従来の配置人数

		問6(5) 人員配置基準緩和)従来の配置人数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (1) 開設 種別 施設 の 基本 情	全 体	23 100.0	7.12	9.46	2.00	37.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	20 87.0	7.74	9.99	2.00	37.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	3 13.0	3.00	1.41	2.00	5.00
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

図表 228 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:緩和後配置人数

		問6(5) 人員配置基準緩和)緩和後配置人数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (1) 開設 種別 施設 の 基本 情	全 体	23 100.0	6.97	9.52	1.60	37.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	20 87.0	7.62	10.04	1.60	37.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	3 13.0	2.67	0.94	2.00	4.00
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

6) 基準緩和を受けた業務オペレーション変更

基準緩和を受けて、変更した業務オペレーションは、次の通りであった。

図表 229 基準緩和を受けた業務オペレーション変更

		問6(6) 人員配置基準緩和)緩和を受け、業務オペレーションを変更したか						
		サンプル数	夜間に行っていた業務の一部を昼間に移した	定期訪問を廃止した	定期訪問の順路や回数を変更した	何も変更していない	その他	無回答
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情報	全 体	27	-	1	4	19	1	2
		100.0	-	3.7	14.8	70.4	3.7	7.4
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	23	-	-	3	19	-	1
		100.0	-	-	13.0	82.6	-	4.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4	-	1	1	-	1	1
		100.0	-	25.0	25.0	-	25.0	25.0
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	

7) 上記具体的な内容(自由記述)

基準緩和を受けた業務オペレーション変更の具体的な内容についての自由記述回答は、次の通りであった。

図表 230 基準緩和を受けた業務オペレーション変更の具体的な内容(自由記述)抜粋

元々の夜勤職員の配置2ユニットで1名夜勤はかえず全室に見守り機器と職員にインカムを配布したため、不要な訪室を減らしたのみ。
訪室回数を減らした。単なる見回りで確認する必要がなくなった。
変更したら業務が回りません。

8) 基準緩和による影響や効果

基準緩和による影響や効果については、次の通りであった。

図表 231 基準緩和による影響や効果

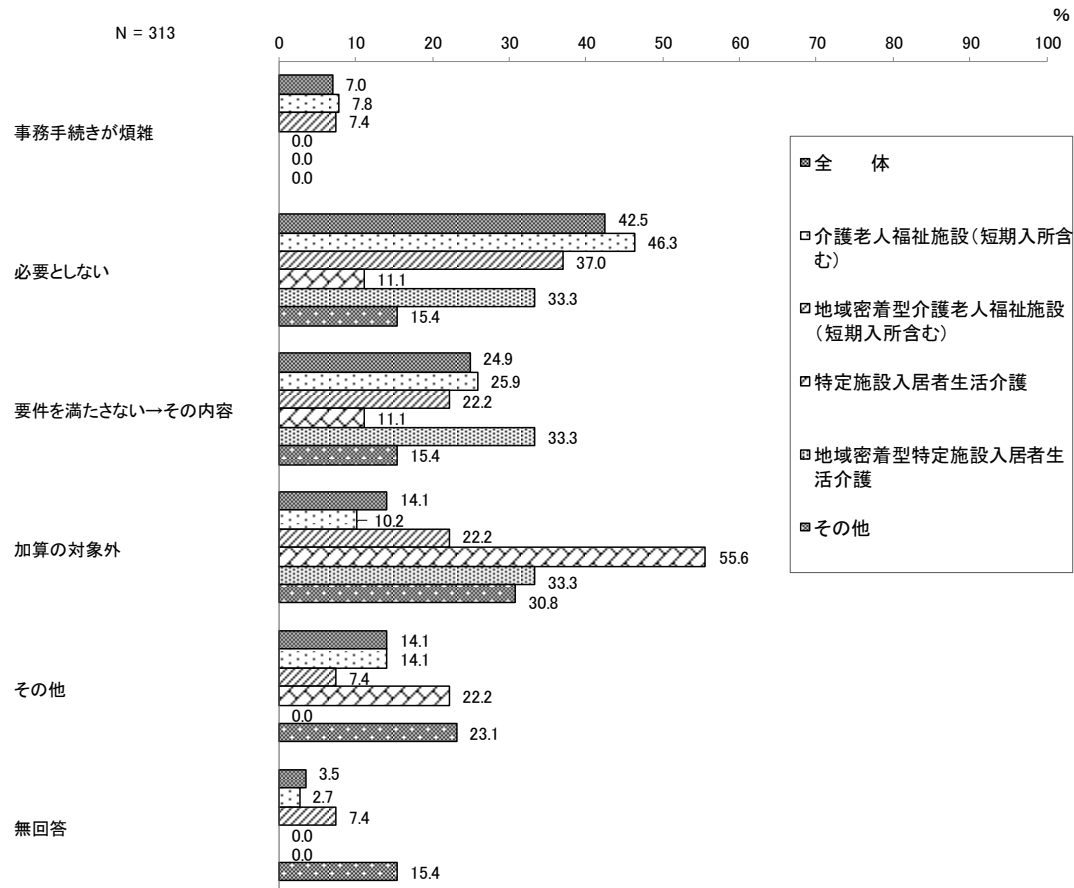
		問6(7) 人員配置基準緩和)基準緩和による影響や効果								
		サンプル数	夜勤が減り、職員の負担が軽減した	日勤に手厚く人員配置できるようになった	教育・研修等の時間確保が楽になった(特に夜勤専門の職員)	シフトを組むのが楽になった、パート等の採用がやすくなった	夜勤に従事する職員の意欲が高まった	何も変わっていない	その他	無回答
問1 (1) 報 (開 設 種 別 の 基 本 情	全 体	27 100.0	- -	4 14.8	- -	1 3.7	- -	21 77.8	- -	2 7.4
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	23 100.0	- -	2 8.7	- -	1 4.3	- -	20 87.0	- -	1 4.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	4 100.0	- -	2 50.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -	1 25.0
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

9) 見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の算定していない理由

見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設について、算定していない理由については、次の通りであった。

図表 232 見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の算定していない理由(グラフ)

問6(8) 人員配置基準緩和)加算を算定しない理由



図表 233 見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の算定していない理由(表)

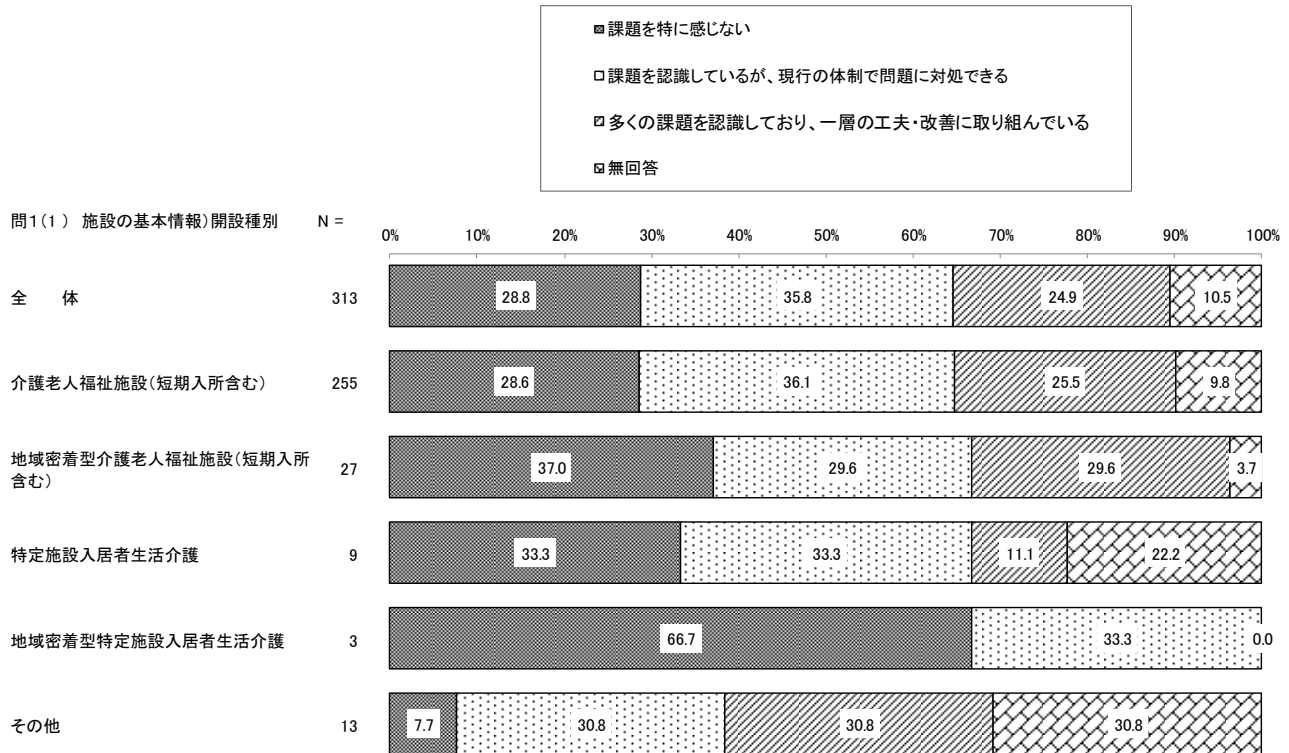
		問6(8) 人員配置基準緩和)加算を算定しない理由						
		サンプル数	事務手続きが煩雑	必要としない	要件を満たさない→その内容	加算の対象外	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	313	22	133	78	44	44	11
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	255	20	118	66	26	36	7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	27	2	10	6	6	2	2
	特定施設入居者生活介護	9	-	1	1	5	2	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	3	-	1	1	1	-	-
	その他	13	-	2	2	4	3	2
		100.0	-	15.4	15.4	30.8	23.1	15.4

10) 夜勤業務における安全体制確保の課題

見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設について、夜勤業務における安全体制確保の課題は、次の通りであった。

図表 234 夜勤業務における安全体制確保の課題(グラフ)

問6(9) 人員配置基準緩和)夜勤業務における安全体制確保についての課題



図表 235 夜勤業務における安全体制確保の課題(表)

		問6(9) 人員配置基準緩和)夜勤業務における安全体制確保についての課題				
		サンプル数	課題を特に感じない	課題を認識しているが、現行の体制で問題に対処できる	多くの課題を認識しており、一層の工夫・改善に取り組んでいる	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	313	90	112	78	33
		100.0	28.8	35.8	24.9	10.5
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	255	73	92	65	25
		100.0	28.6	36.1	25.5	9.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	27	10	8	8	1
		100.0	37.0	29.6	29.6	3.7
	特定施設入居者生活介護	9	3	3	1	2
	100.0	33.3	33.3	11.1	22.2	
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	2	1	-	-	
	100.0	66.7	33.3	-	-	
その他	13	1	4	4	4	
	100.0	7.7	30.8	30.8	30.8	

11) 上記具体的な内容(自由記述)

夜勤業務における安全体制確保の課題についての自由記述の主な回答は、次の通りであった。

図表 236 夜勤業務における安全体制確保の課題に関する具体的な内容(自由記述)抜粋

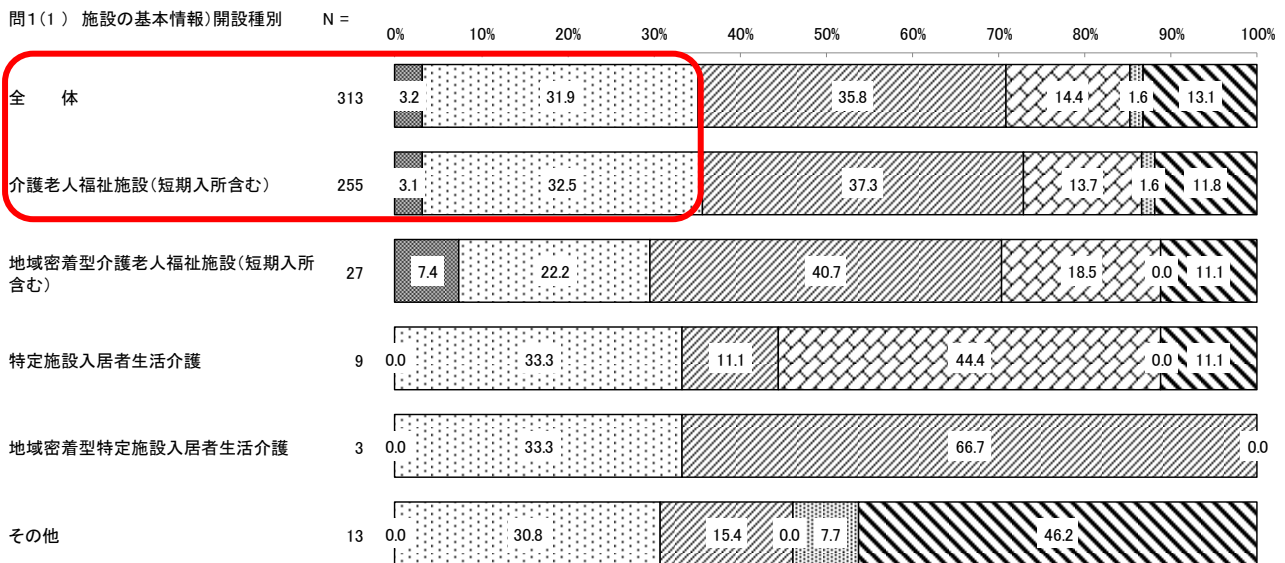
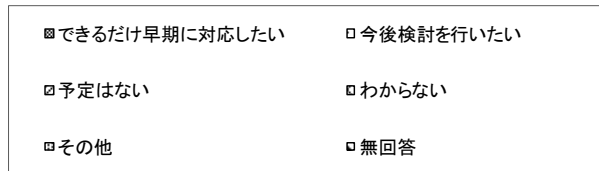
見守り機器に対応するのは夜勤者なので、発報しても人がいなければ事故は防げない。見守り機器が増える分、コール数が増え、対応にあせりが出る。
利用者の重度化による業務量増加、看取りも増加しており、職員の心身の負担軽減のための介護ロボット導入が追いついていない。介護ロボットでは補えないこともある。
夜間に救急搬送があった時、夜勤の職員が付き添わねばならない。代替の職員を配置させなくてはならない
長時間労働による職員の身体的、精神的負担。
1人で16名もの利用者を支援しており、職員の精神面な負担が大きい。
なかなか機器導入がむずかしく、現状の体制で続けている。助成額のアップなどが望まれる。
グループホームで介護ロボットを導入しても加算がないので加算をつけるようにしてほしい。
施設の構造等の条件を踏まえた職員の配置、職員の資質向上等。

12) 見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の今後の加算の活用予定

見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の、今後の加算の加算の活用予定について、前向きに検討する意向の介護老人福祉施設が約3割であった。

図表 237 見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の今後の加算の活用予定(グラフ)

問6(10) 人員配置基準緩和) 今後加算の活用



図表 238 見直し後の基準での算定をしていないと回答した施設の今後の加算の活用予定(表)

		問6(10) 人員配置基準緩和) 今後加算の活用						
		サンプル数	できるだけ早期に対応したい	今後検討を行いたい	予定はない	わからない	その他	無回答
問1 (1) 報 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	313	10	100	112	45	5	41
		100.0	3.2	31.9	35.8	14.4	1.6	13.1
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	255	8	83	95	35	4	30
		100.0	3.1	32.5	37.3	13.7	1.6	11.8
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	27	2	6	11	5	-	3
		100.0	7.4	22.2	40.7	18.5	-	11.1
	特定施設入居者生活介護	9	-	3	1	4	-	1
	100.0	-	33.3	11.1	44.4	-	11.1	
地域密着型特定施設入居者生活介護	3	-	1	2	-	-	-	
	100.0	-	33.3	66.7	-	-	-	
その他	13	-	4	2	-	1	6	
	100.0	-	30.8	15.4	-	7.7	46.2	

13) 要件緩和を実務に展開するにあたっての課題(自由記述)

要件緩和を実務に展開するにあたっての課題についての自由記述回答は、次の通りであった。

図表 239 要件緩和を実務に展開するにあたっての課題(自由記述)抜粋

<p>人員の緩和の要件が満たされることでの期待については現在のスタッフたちはあまり要望がなく、安全面重視で気楽に仕事が出来るという考え方に意向がある。人材の確保に考え方があり、国の方針が受け入れられるのには少々時間が必要。</p>
<p>人員が減ることで、職員の精神的負担は増えてしまうと思う。介護ロボットにより気付くことはできるが、リスクが減るわけではないので、人員は必要だと思う。</p>
<p>機器は、あくまで人を補助するものであり、代わりにはならない。業務を楽に簡素化していく方向に進めると共に若い日本の職員が介護の仕事に魅力を感じてもらえる様な取り組みが必要。</p>
<p>見守り機器は対応する職員が配置されてこそそのもの。事故等をへらすものではない。職員をへらすのであれば家族・職員の理解・協力は不可欠。</p>
<p>全居室に見守り機器等があっても対応するのは職員なので今の加配を減らすことは困難かと思う。それよりも加配しているところへの手当が欲しい。</p>
<p>緩和された人員数をどのように利用できるのか、わからない。</p>
<p>初期投資がかかるので、例えば定員の20%などに、台数要件の緩和をおねがいしたい(必要でない方もいるため)。</p>
<p>機器の検討と実用性を重視して選定していきたい。職員の年齢上昇に伴い、対応が簡単な機器などを見ていく必要がある。</p>

(10) 【算定要件緩和】テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進

1) 基準緩和の要件を満たしているか

要件緩和の要件を満たしている施設は、約1割であった。

図表 240 基準緩和の要件を満たしているか(グラフ)

問7(1) 算定要件緩和)基準緩和の要件を満たしているか



図表 241 基準緩和の要件を満たしているか(表)

問 1 (報 開 設 種 別 の 施 設 の 基 本 情 報)	施設の種類	問7(1) 算定要件緩和)基準緩和の要件を満たしているか			
		サンプル数	はい	いいえ	無回答
問 1 (報 開 設 種 別 の 施 設 の 基 本 情 報)	全 体	571	55	281	235
		100.0	9.6	49.2	41.2
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	368	47	232	89
		100.0	12.8	63.0	24.2
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	51	7	27	17
		100.0	13.7	52.9	33.3
	特定施設入居者生活介護	40	-	10	30
	100.0	-	25.0	75.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	9	-	2	7	
	100.0	-	22.2	77.8	
その他	97	1	5	91	
	100.0	1.0	5.2	93.8	

2) 基準緩和を受けた実人員の配置の変化

基準緩和を受けての実人員の配置変化の状況は、次の通りであった。

図表 242 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:従来の配置人数(A)

		問7(2)① 算定要件緩和)A 従来の配置人数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情	全 体	44 100.0	21.06	16.49	1.00	80.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	39 88.6	22.33	17.03	1.00	80.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 11.4	11.10	4.41	3.00	16.00
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

図表 243 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:従来の利用者人数(B)

		問7(2)① 算定要件緩和)B 従来の利用者人数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情	全 体	45 100.0	64.87	33.68	3.00	156.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	40 88.9	69.35	33.10	3.00	156.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 11.1	29.00	0.00	29.00	29.00
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

図表 244 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:従来の配置人数1人当たりの利用者数(B/A)

		問7(2)① 算定要件緩和)従来の配置人数1人当たりの利用者数(B/A)				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情	全 体	44 100.0	4.85	4.81	0.25	23.33
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	39 88.6	5.00	4.97	0.25	23.33
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 11.4	3.74	2.98	1.81	9.67
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

図表 245 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:緩和後配置人数(A)

		問7(2)② 算定要件緩和)A 緩和後配置人数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情	全 体	42 100.0	21.08	17.06	1.00	80.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	37 88.1	22.27	17.83	1.00	80.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 11.9	12.30	2.40	9.00	16.00
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

図表 246 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:緩和後(B)

		問7(2)② 算定要件緩和)B 緩和後利用者人数				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情	全 体	43 100.0	66.49	33.73	3.00	156.00
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	38 88.4	71.42	32.83	3.00	156.00
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 11.6	29.00	0.00	29.00	29.00
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

図表 247 基準緩和を受けた実人員の配置の変化:緩和後(B/A)

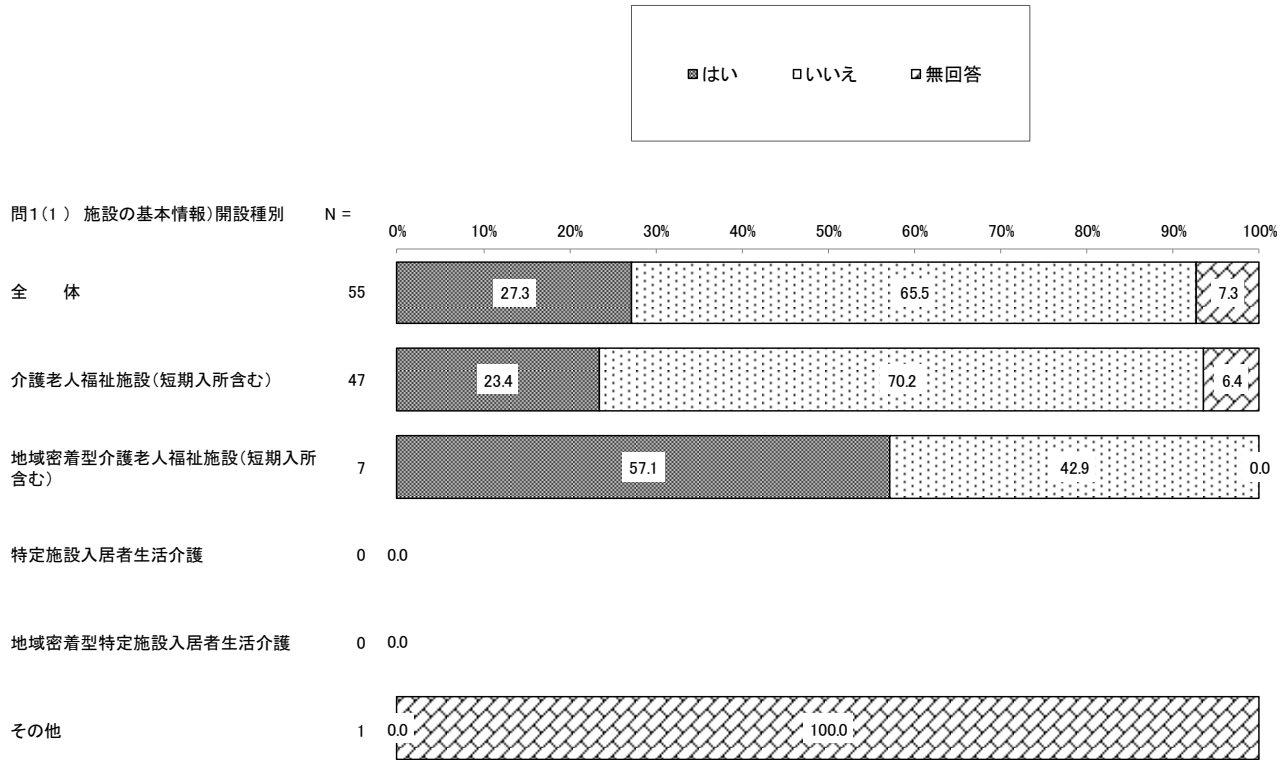
		問7(2)② 算定要件緩和)緩和後の配置人数1人当たりの利用者数(B/A)				
		サンプル数	平均(人)	標準偏差	最小値	最大値
問1 (1) 報 (開設種別) 施設の基本情	全 体	42 100.0	5.01	5.43	1.00	29.17
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	37 88.1	5.35	5.69	1.00	29.17
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	5 11.9	2.45	0.49	1.81	3.22
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-

3) 要件を満たすための現場と協議の状況

算定要件緩和加算を取る際の現場との協議を行ったと回答する施設は、約3割であった。

図表 248 要件を満たすための現場と協議の状況(グラフ)

問7(3) 算定要件緩和(加算をとる際、要件を満たすため現場と協議したか



図表 249 要件を満たすための現場と協議の状況(表)

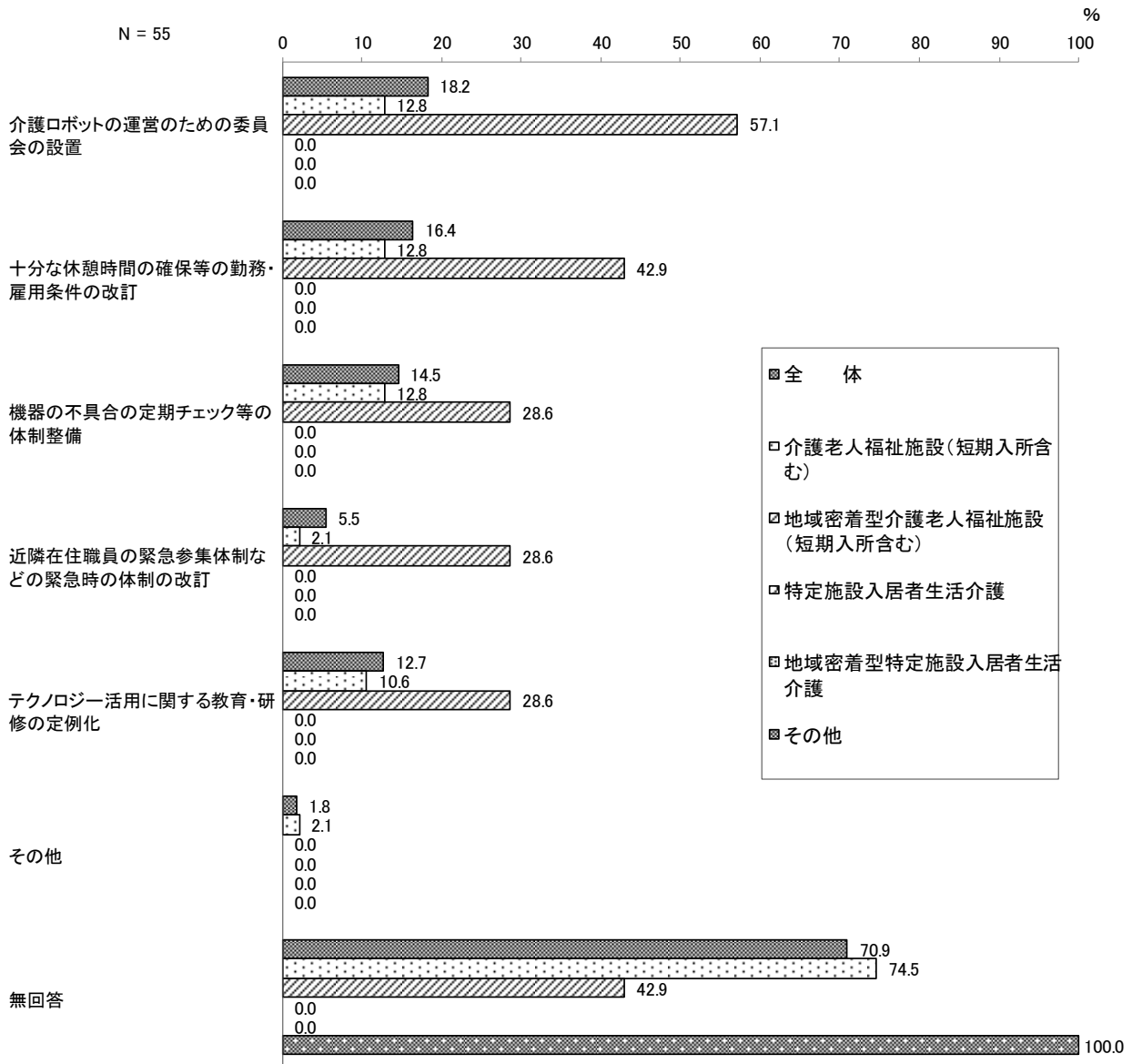
		問7(3) 算定要件緩和(加算をとる際、要件を満たすため現場と協議したか			
		サンプル数	はい	いいえ	無回答
問 1 (報 開 設 種 別 の 基 本 情 報	全 体	55	15	36	4
		100.0	27.3	65.5	7.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	47	11	33	3
		100.0	23.4	70.2	6.4
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7	4	3	-
		100.0	57.1	42.9	-
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-
		-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	
	-	-	-	-	
その他	1	-	-	1	
	100.0	-	-	100.0	

4) 上記協議の結果、新たに実施することとした事項

現場との協議を行った結果、新たに実施することとした事項は、次の通りであった。

図表 250 上記協議の結果、新たに実施することとした事項(グラフ)

問7(4) 算定要件緩和協議の結果、新たに実施すること



図表 251 上記協議の結果、新たに実施することとした事項(表)

		問7(4) 算定要件緩和)協議の結果、新たに実施すること							
		サンプル数	介護ロボット運営のための委員会の設置	十分な休憩時間の確保等の勤務・雇用条件の改訂	機器の不具合の定期チェック等の体制整備	近隣在住職員の緊急参集制などの緊急時の体制の改訂	テクノロジー活用に関する教育・研修の定例化	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全 体	55 100.0	10 18.2	9 16.4	8 14.5	3 5.5	7 12.7	1 1.8	39 70.9
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	47 100.0	6 12.8	6 12.8	6 12.8	1 2.1	5 10.6	1 2.1	35 74.5
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7 100.0	4 57.1	3 42.9	2 28.6	2 28.6	2 28.6	-	3 42.9
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0

5) 要件緩和を受けて、業務オペレーションを変更した点(自由記述)

要件緩和を受けて、業務オペレーションを変更した点についての自由記述の主な回答は、次の通りであった。

図表 252 要件緩和を受けて、業務オペレーションを変更した点(自由記述)抜粋

新規利用者について、認知症自立度ⅡA以上の方が65%以上という要件を60%以上となれば、テクノロジーを導入した際の効率化に結果が出せると思う。65%以上だと厳しいと思う。
必要以上の訪室をせず、定時もしくは、機器が反応した場合に対応するようにした。夜間の職員の待機位置を変更した。
オペレーションの変更はなし。
夜間巡視回数の見直し。

6) 緩和後の基準の算定を受けるにあたって、課題と感じている点

緩和後の基準の算定を受けるにあたって課題と感じる点は、次の通りであった。

図表 253 緩和後の基準の算定を受けるにあたって、課題と感じている点

		問7(6) 算定要件緩和)緩和後の基準の算定を受けるにあたっての課題						
		サンプル数	機器の導入が負担	安全確保の体制を整備する人的資源が不足	3ヶ月の試行と、その実効性を確認する方法がわからない	緩和要件そのものに魅力が薄い	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	55	20	8	5	23	3	15
		100.0	36.4	14.5	9.1	41.8	5.5	27.3
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	47	16	7	5	20	2	13
		100.0	34.0	14.9	10.6	42.6	4.3	27.7
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	7	3	-	-	3	1	2
		100.0	42.9	-	-	42.9	14.3	28.6
	特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	
その他	1	1	1	-	-	-	-	
	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	

7) 加算の算定をしていないと回答した施設の算定しない理由

加算の要件を満たしていないと回答した施設について、加算を算定しない理由については、次の通りであった。

図表 254 加算の算定をしていないと回答した施設の算定しない理由

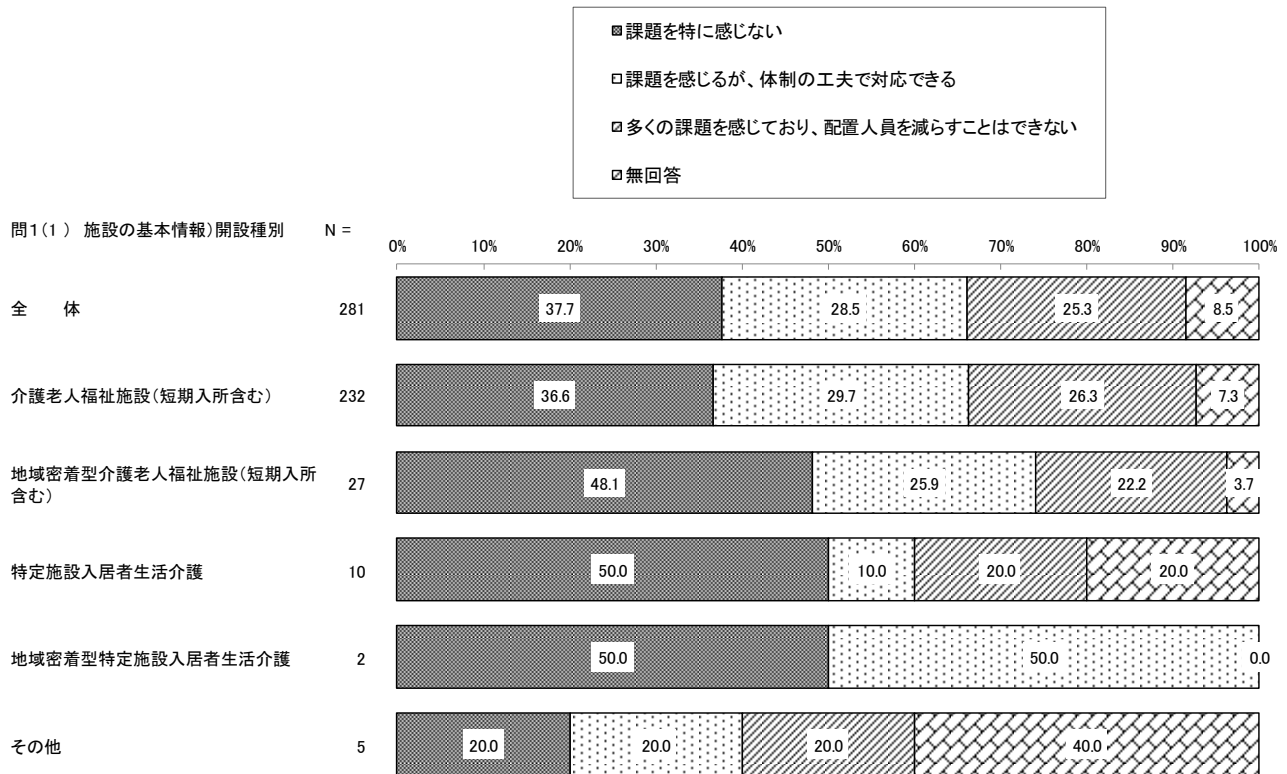
		問7(7) 算定要件緩和)加算を算定しない理由						
		サンプル数	事務手続きが煩雑	必要としない	要件を満たさない	加算の対象外	その他	無回答
問1 (1) 開設種別 施設の基本情報	全体	281	20	109	91	40	26	7
		100.0	7.1	38.8	32.4	14.2	9.3	2.5
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	232	15	97	76	26	23	6
		100.0	6.5	41.8	32.8	11.2	9.9	2.6
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	27	3	11	11	3	-	-
		100.0	11.1	40.7	40.7	11.1	-	-
	特定施設入居者生活介護	10	1	1	3	4	1	-
		100.0	10.0	10.0	30.0	40.0	10.0	-
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	-	1	1	-	-	
	100.0	-	-	50.0	50.0	-	-	
その他	5	-	-	-	4	1	-	
	100.0	-	-	-	80.0	20.0	-	

8) ICT 機器導入後の安全体制確保の課題

加算の要件を満たしていないと回答した施設について、ICT 機器導入後の安全体制確保の課題については、次の通りであった。

図表 255 ICT 機器導入後の安全体制確保の課題(グラフ)

問7(8) 算定要件緩和)ICT 機器導入後の安全体制確保についての課題



図表 256 ICT 機器導入後の安全体制確保の課題(表)

		問7(8) 算定要件緩和)ICT 機器導入後の安全体制確保についての課題				
		サンプル数	課題を特に感じない	課題を感じるが、体制の工夫で対応できる	多くの課題を感じており、配置人員を減らすことはできない	無回答
問1(1) 施設の基本情報	全 体	281	106	80	71	24
		100.0	37.7	28.5	25.3	8.5
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	232	85	69	61	17
		100.0	36.6	29.7	26.3	7.3
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	27	13	7	6	1
		100.0	48.1	25.9	22.2	3.7
	特定施設入居者生活介護	10	5	1	2	2
	100.0	50.0	10.0	20.0	20.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	1	1	-	-	
	100.0	50.0	50.0	-	-	
その他	5	1	1	1	2	
	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	

9) 上記具体的な内容(自由記述)

ICT 機器導入後の安全体制確保の課題についての自由記述の主な回答は、次の通りであった。

図表 257 ICT 機器導入後の安全体制確保の課題に関する具体的な内容(自由記述)抜粋

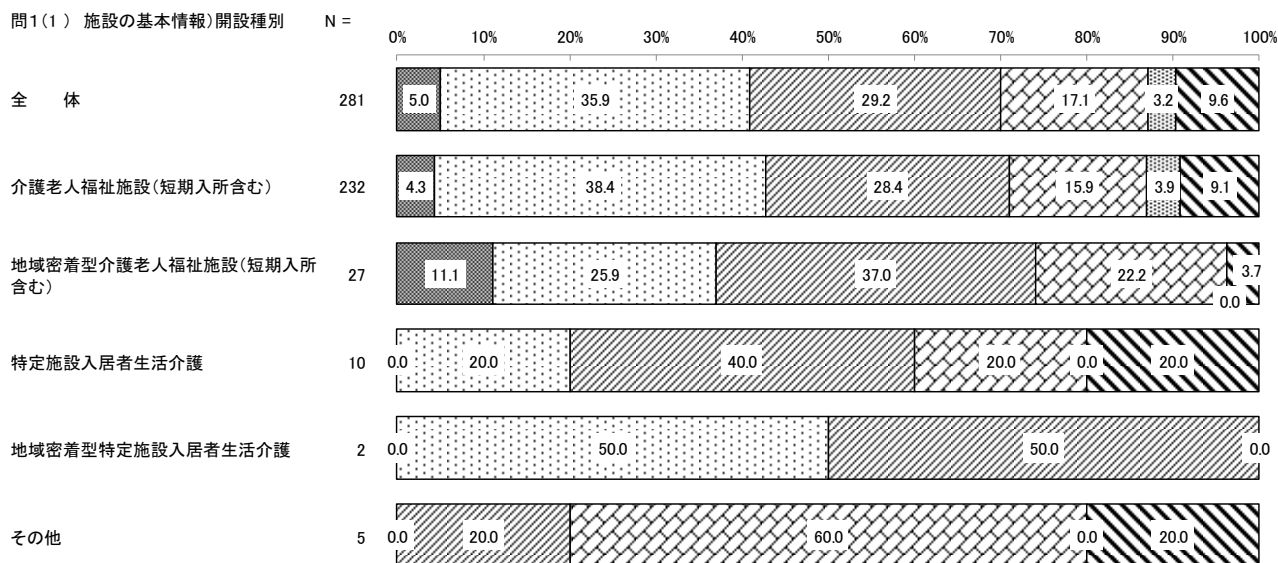
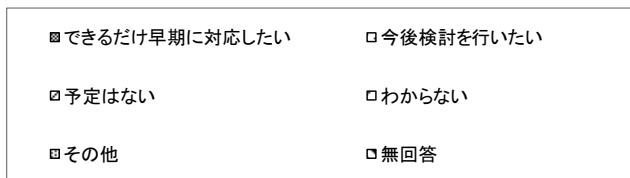
機器導入によって、今まで発見できなかったリスクが発見できるようになっている。対応する(リスクを防ぐ)のは職員であり、配置人員を減らすことはできない。
いろいろな機器で負担軽減を図っても、利用者を安全に導くのは人の対応力である。発見から対応までの全ての機能を持つ自立型の機器は今のところない。
現在の介護ロボットは、職員が、介護ロボットに合わせなくてはならない傾向がある。それが課題となっていると思うが、施設に合った介護ロボットの選定をしていく事で解決できるのでは、と考えている。
停電や不測の事態が発生した時が心配だが、機器の導入の必要性は非常に感じる。
機器の不具合が発生する。機器の通信、反応状況など安定しない時がある(エラーなど)。
もっと分析をする必要がある。成功事例をもっと知りたい。
職員に対するテクノロジー活用に関する教育の実施が難しいのではないか。
本人、家族への十分な説明と同意が必要。

10) 加算の算定をしていないと回答した施設の今後の加算の活用予定

加算の要件を満たしていないと回答した施設について、今後の加算の活用予定は約 4 割が活用に前向きに取り組む意向であった。

図表 258 加算の算定をしていないと回答した施設の今後の加算の活用予定(グラフ)

問7(9) 算定要件緩和)今後加算の活用



図表 259 加算の算定をしていないと回答した施設の今後の加算の活用予定(表)

		問7(9) 算定要件緩和)今後加算の活用						
		サンプル数	できるだけ早期に対応したい	今後検討を行いたい	予定はない	わからない	その他	無回答
問1(1) 施設の基本情報)開設種別	全 体	281	14	101	82	48	9	27
		100.0	5.0	35.9	29.2	17.1	3.2	9.6
	介護老人福祉施設(短期入所含む)	232	10	89	66	37	9	21
		100.0	4.3	38.4	28.4	15.9	3.9	9.1
	地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む)	27	3	7	10	6	-	1
		100.0	11.1	25.9	37.0	22.2	-	3.7
	特定施設入居者生活介護	10	-	2	4	2	-	2
	100.0	-	20.0	40.0	20.0	-	20.0	
地域密着型特定施設入居者生活介護	2	-	1	1	-	-	-	
	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-	
その他	5	-	-	1	3	-	1	
	100.0	-	-	20.0	60.0	-	20.0	

11) 要件緩和を実務に展開するにあたっての課題(自由記述)

要件緩和を実務に展開するにあたっての課題についての自由記述の主な回答は、次の通りであった。

図表 260 要件緩和を実務に展開するにあたっての課題(自由記述) 抜粋

ICT機器導入により、介護記録も手書きからタブレットに移行したことで、業務の効率化と他部署との情報共有が図れた。
ICT機器の導入により、ケアに対する負担が減るが、一方で管理面の負担が増えることが考えられるため、業務全体で考えると導入により現場が楽になるとばかりは言えない。
「介護ロボットの導入→業務量減→職員減」となることが必要。現状のロボットは、そこまで至っていないのではないかと。施設の設計から見直す必要がある。モデル施設を作ったらどうか？
ICT機器により減った業務量以上にケアの質を高める為に必要となる業務が多くある。
テクノロジー導入は賛成するが、ハードルが高すぎる。ハードルが高いが、緩和内容が7:1ではどこも加算を算定しないそもそも、6:1という比率自体が少なすぎるのではないかと思う。介護福祉士はあまり必要としていないのではないかと感じてしまう。
介護福祉士の割合は十分に満たしている為、現時点では必要としていません。
熟考力と実行力のある人材が介護に多く就ければ、「ケアの質」は、上がるでしょう。
機器の信頼性の改善、及びデータの検証

(11)その他自由意見

1) 介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定について(自由記述)

介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定についての自由記述の主な回答は、次の通りであった。

図表 261 介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定について(自由記述) 抜粋

将来今よりも少ない職員数でケアを行うには、介護ロボットは必須と考える。オペレーションのさらなる工夫により、将来に備えておきたい。
見守り機器導入にあたり、どのような設備が必要で、金額がどれくらいかかり、補助金の対象としてどんな機器があるのか、調べて推進していきたい。
ICT機器導入につき職員の負担軽減が考えられるが負担が軽減した分をケアの質の向上に繋げるようにしていきたい。
わざわざ人が記録しなくても、直接介助、支援した内容が自動で記録されるようになってくれたら、より多くの時間を利用者 に充てることができると思うので、近い将来なしてほしいと思う。
利用者の行動を見えない場所からでも知ることができ、見回り等の介護労力を低減できている。今後は介護職員の腰痛防止を図る為、簡単に装着できるアシスト機器の導入を検討している。
私共の施設では、ノーリフトケアの導入が進むよう、リフトや見守り機器を導入している。ノーリフトケアは、職員の腰痛予防だけでなく、利用者の寝たきり予防、改善につながっている。自立支援が進むと、要介護度が下がる方もいて、介護報酬も下がるので、そういう所に加算を付けて欲しい。介護ロボットを導入しただけで、加算がついて終わりではなく、導入後の評価で加算がもらえるような仕組みが必要だと思う。
ICT機器導入について、今やスマホやPC、タブレットが普及しているのに介護業界はいつまでたってもアナログである。それは、導入資金が高額であるからだと思う。何をやるにあたって初期導入に対する金額が安価なものではないので、二の足を踏んでしまう。特に Wi-Fi の設備があることが大前提である。にもかかわらず、設置するにあたり、補助金の制限がある為、むずかしいと考える。
介護ロボット・ICT機器導入による、加算の新設は賛成。但し大きな問題として、メーカー側の現場の動きなどの理解が乏しく、故障や不具合が多発している。これにより介護職員の機器への信用度が落ち改革が進まない。修理費用は、非常に高額となり、経営もきびしい状態となっている。
機器の購入、社員教育など時間が必要。

2.5.2 職員調査票 調査結果

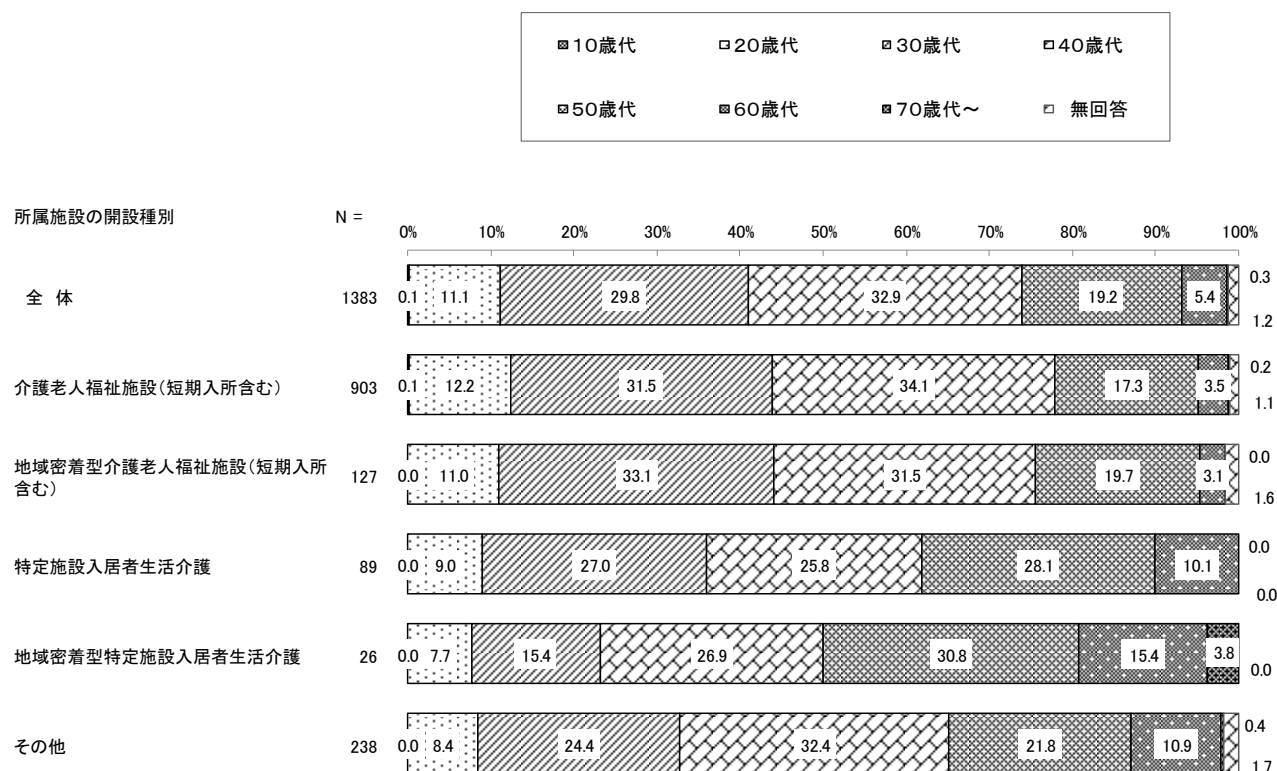
(1) 職員概要

1) 年齢階級

職員調査票の回答者における年齢階級は、次の通りであった。

図表 262 職員概要:年齢階級(グラフ)

問1.2 職員概要/年齢階級



図表 263 職員概要:年齢階級(表)

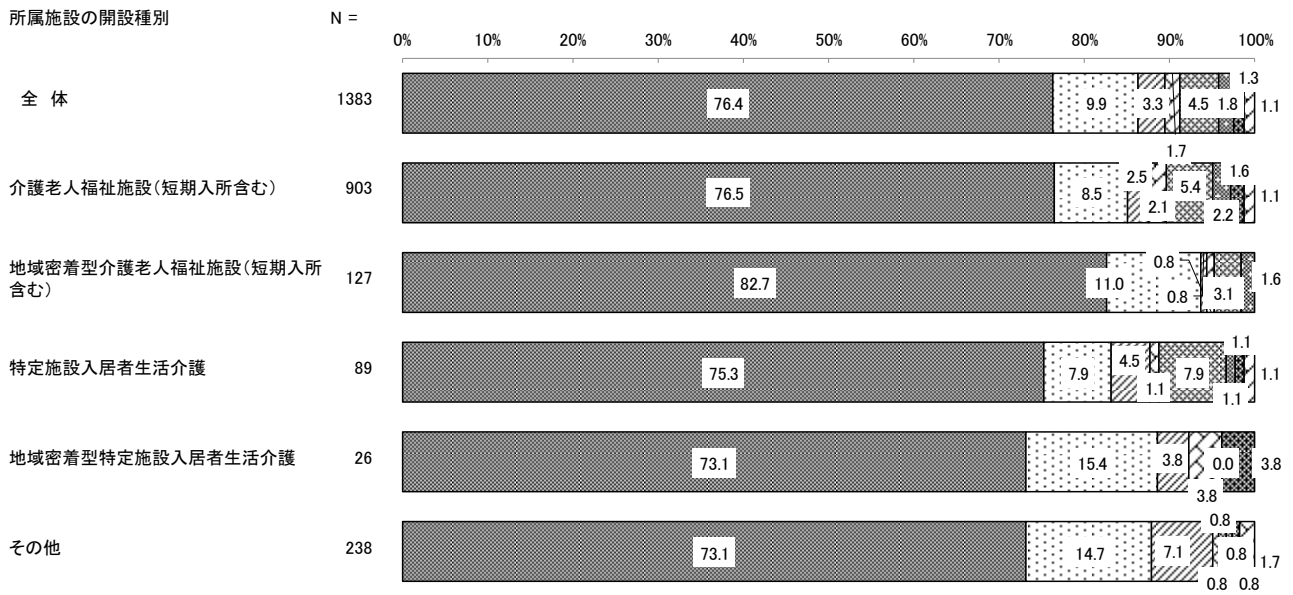
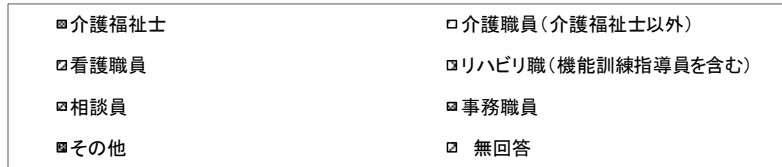
		問1.2 職員概要／年齢階級								
		全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 ～	無回答
分析軸	全体	1383	1	154	412	455	266	75	4	16
		100.0	0.1	11.1	29.8	32.9	19.2	5.4	0.3	1.2
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	1	110	284	308	156	32	2	10
		100.0	0.1	12.2	31.5	34.1	17.3	3.5	0.2	1.1
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	14	42	40	25	4	-	2
		100.0	-	11.0	33.1	31.5	19.7	3.1	-	1.6
	特定施設入居者生活介護	89	-	8	24	23	25	9	-	-
		100.0	-	9.0	27.0	25.8	28.1	10.1	-	-
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	2	4	7	8	4	1	-
		100.0	-	7.7	15.4	26.9	30.8	15.4	3.8	-
	その他	238	-	20	58	77	52	26	1	4
		100.0	-	8.4	24.4	32.4	21.8	10.9	0.4	1.7
	性別／男性	650	1	81	239	242	70	9	1	7
		100.0	0.2	12.5	36.8	37.2	10.8	1.4	0.2	1.1
	女性	717	-	70	171	205	195	66	3	7
		100.0	-	9.8	23.8	28.6	27.2	9.2	0.4	1.0
	年齢階級／10～20歳代	155	1	154	-	-	-	-	-	-
		100.0	0.6	99.4	-	-	-	-	-	-
	30歳代	412	-	-	412	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	40歳代	455	-	-	-	455	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	50歳代	266	-	-	-	-	266	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	60歳代以上	79	-	-	-	-	-	75	4	-
		100.0	-	-	-	-	-	94.9	5.1	-
	職種別／介護福祉士	1056	-	100	336	356	205	46	2	11
		100.0	-	9.5	31.8	33.7	19.4	4.4	0.2	1.0
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	39	36	28	21	10	1	1
		100.0	0.7	28.5	26.3	20.4	15.3	7.3	0.7	0.7
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	-	8	34	43	34	11	-	2
		100.0	-	6.1	25.8	32.6	25.8	8.3	-	1.5
	事務職員・その他	43	-	4	5	22	5	5	1	1
		100.0	-	9.3	11.6	51.2	11.6	11.6	2.3	2.3
	役職別／経営層	9	-	-	1	2	4	1	1	-
		100.0	-	-	11.1	22.2	44.4	11.1	11.1	-
	管理者・リーダー	718	-	42	226	272	133	33	2	10
		100.0	-	5.8	31.5	37.9	18.5	4.6	0.3	1.4
	一般職	606	1	110	172	166	118	34	1	4
		100.0	0.2	18.2	28.4	27.4	19.5	5.6	0.2	0.7
その他	17	-	-	2	6	5	4	-	-	
	100.0	-	-	11.8	35.3	29.4	23.5	-	-	
経験年数別／5年未満	279	1	68	70	80	47	8	-	5	
	100.0	0.4	24.4	25.1	28.7	16.8	2.9	-	1.8	
5年以上10年未満	352	-	73	104	93	58	15	3	6	
	100.0	-	20.7	29.5	26.4	16.5	4.3	0.9	1.7	
10年以上15年未満	327	-	13	154	86	57	15	1	1	
	100.0	-	4.0	47.1	26.3	17.4	4.6	0.3	0.3	
15年以上	391	-	-	78	181	99	30	-	3	
	100.0	-	-	19.9	46.3	25.3	7.7	-	0.8	

2) 職種

職員調査票の回答者における職種は、次の通りであった。

図表 264 職員概要:職種(グラフ)

問1.3 職員概要/職種



図表 265 職員概要:職種(表)

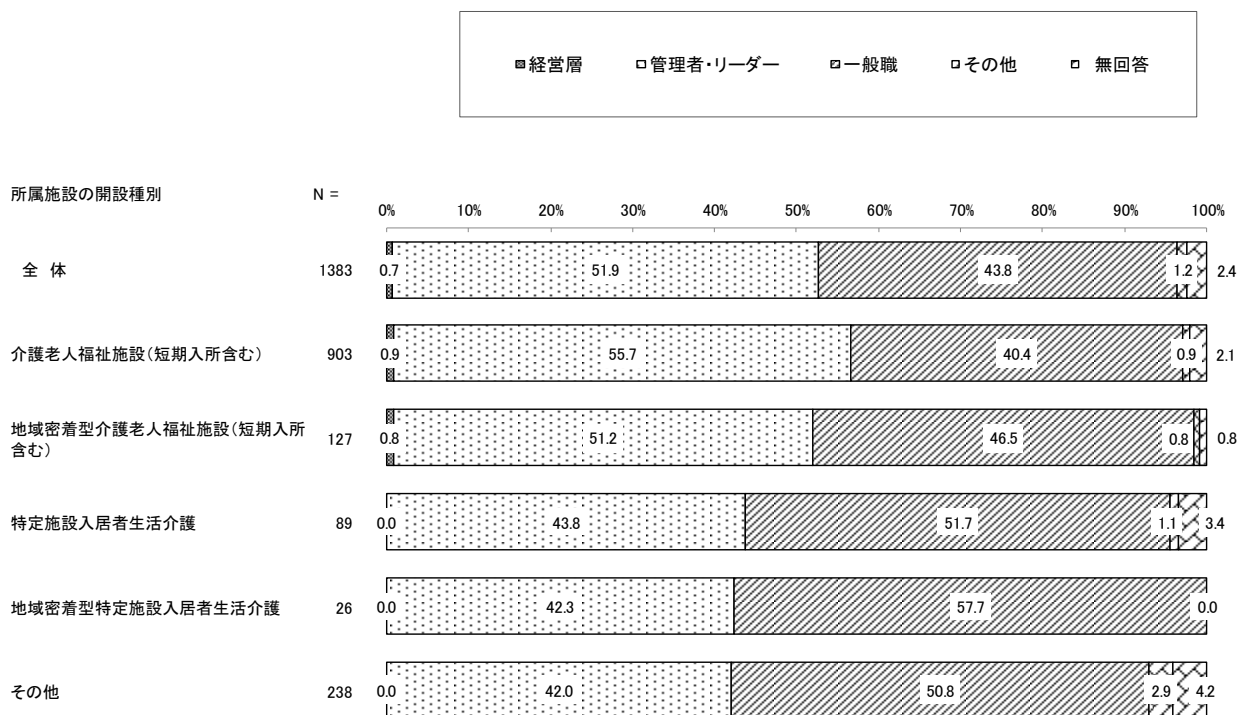
		問1.3 職員概要/職種								
		全 体	介護福祉士	介護職員 (介護福祉士以外)	看護職員	リハビリ 職(機能 訓練指導 員を含む)	相談員	事務職員	その他	無回答
分析軸	全 体	1383	1056	137	46	24	62	25	18	15
		100.0	76.4	9.9	3.3	1.7	4.5	1.8	1.3	1.1
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	691	77	23	19	49	20	14	10
		100.0	76.5	8.5	2.5	2.1	5.4	2.2	1.6	1.1
	地域密着型介護老人福祉施設	127	105	14	1	1	4	2	-	-
		100.0	82.7	11.0	0.8	0.8	3.1	1.6	-	-
	特定施設入居者生活介護	89	67	7	4	1	7	1	1	1
		100.0	75.3	7.9	4.5	1.1	7.9	1.1	1.1	1.1
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	19	4	1	1	-	-	1	-
		100.0	73.1	15.4	3.8	3.8	-	-	3.8	-
	その他	238	174	35	17	2	2	2	2	4
		100.0	73.1	14.7	7.1	0.8	0.8	0.8	0.8	1.7
	性別/男性	650	505	59	6	15	35	15	8	7
		100.0	77.7	9.1	0.9	2.3	5.4	2.3	1.2	1.1
	女性	717	542	75	40	9	24	10	10	7
		100.0	75.6	10.5	5.6	1.3	3.3	1.4	1.4	1.0
	年齢階級/10~20歳代	155	100	40	2	3	3	3	1	3
		100.0	64.5	25.8	1.3	1.9	1.9	1.9	0.6	1.9
	30歳代	412	336	36	5	9	20	2	3	1
		100.0	81.6	8.7	1.2	2.2	4.9	0.5	0.7	0.2
	40歳代	455	356	28	14	8	21	14	8	6
		100.0	78.2	6.2	3.1	1.8	4.6	3.1	1.8	1.3
	50歳代	266	205	21	18	3	13	2	3	1
		100.0	77.1	7.9	6.8	1.1	4.9	0.8	1.1	0.4
	60歳代以上	79	48	11	5	1	5	4	2	3
		100.0	60.8	13.9	6.3	1.3	6.3	5.1	2.5	3.8
	職種別/介護福祉士	1056	1056	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	137	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
看護職員・リハビリ職・相談員	132	-	-	46	24	62	-	-	-	
	100.0	-	-	34.8	18.2	47.0	-	-	-	
事務職員・その他	43	-	-	-	-	-	25	18	-	
	100.0	-	-	-	-	-	58.1	41.9	-	
役職別/経営層	9	1	-	-	1	1	3	2	1	
	100.0	11.1	-	-	11.1	11.1	33.3	22.2	11.1	
管理者・リーダー	718	605	27	24	7	34	10	6	5	
	100.0	84.3	3.8	3.3	1.0	4.7	1.4	0.8	0.7	
一般職	606	421	105	22	14	20	10	9	5	
	100.0	69.5	17.3	3.6	2.3	3.3	1.7	1.5	0.8	
その他	17	9	3	-	1	3	1	-	-	
	100.0	52.9	17.6	-	5.9	17.6	5.9	-	-	
経験年数別/5年未満	279	142	72	10	5	27	11	9	3	
	100.0	50.9	25.8	3.6	1.8	9.7	3.9	3.2	1.1	
5年以上10年未満	352	269	38	8	10	12	9	4	2	
	100.0	76.4	10.8	2.3	2.8	3.4	2.6	1.1	0.6	
10年以上15年未満	327	288	12	6	2	9	1	2	7	
	100.0	88.1	3.7	1.8	0.6	2.8	0.3	0.6	2.1	
15年以上	391	334	10	22	6	12	3	3	1	
	100.0	85.4	2.6	5.6	1.5	3.1	0.8	0.8	0.3	

3) 役職

職員調査票の回答者における役職は、次の通りであった。

図表 266 職員概要:役職(グラフ)

問1.4 職員概要/役職



図表 267 職員概要:役職(表)

		問1.4 職員概要/役職					
		全体	経営層	管理者・リーダー	一般職	その他	無回答
分析軸	全体	1383	9	718	606	17	33
		100.0	0.7	51.9	43.8	1.2	2.4
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	8	503	365	8	19
		100.0	0.9	55.7	40.4	0.9	2.1
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	65	59	1	1
		100.0	0.8	51.2	46.5	0.8	0.8
	特定施設入居者生活介護	89	-	39	46	1	3
		100.0	-	43.8	51.7	1.1	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	11	15	-	-
		100.0	-	42.3	57.7	-	-
	その他	238	-	100	121	7	10
		100.0	-	42.0	50.8	2.9	4.2
	性別/男性	650	7	367	262	3	11
		100.0	1.1	56.5	40.3	0.5	1.7
	女性	717	2	345	337	13	20
		100.0	0.3	48.1	47.0	1.8	2.8
	年齢階級/10~20歳代	155	-	42	111	-	2
		100.0	-	27.1	71.6	-	1.3
	30歳代	412	1	226	172	2	11
		100.0	0.2	54.9	41.7	0.5	2.7
	40歳代	455	2	272	166	6	9
		100.0	0.4	59.8	36.5	1.3	2.0
	50歳代	266	4	133	118	5	6
		100.0	1.5	50.0	44.4	1.9	2.3
	60歳代以上	79	2	35	35	4	3
		100.0	2.5	44.3	44.3	5.1	3.8
	職種別/介護福祉士	1056	1	605	421	9	20
		100.0	0.1	57.3	39.9	0.9	1.9
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	27	105	3	2
		100.0	-	19.7	76.6	2.2	1.5
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	65	56	4	5
		100.0	1.5	49.2	42.4	3.0	3.8
事務職員・その他	43	5	16	19	1	2	
	100.0	11.6	37.2	44.2	2.3	4.7	
役職別/経営層	9	9	-	-	-	-	
	100.0	100.0	-	-	-	-	
管理者・リーダー	718	-	718	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	
一般職	606	-	-	606	-	-	
	100.0	-	-	100.0	-	-	
その他	17	-	-	-	17	-	
	100.0	-	-	-	100.0	-	
経験年数別/5年未満	279	5	80	179	5	10	
	100.0	1.8	28.7	64.2	1.8	3.6	
5年以上10年未満	352	2	156	184	5	5	
	100.0	0.6	44.3	52.3	1.4	1.4	
10年以上15年未満	327	1	179	138	3	6	
	100.0	0.3	54.7	42.2	0.9	1.8	
15年以上	391	1	283	94	4	9	
	100.0	0.3	72.4	24.0	1.0	2.3	

4) 現状の職種での経験年数

職員調査票の回答者における経験年数は、次の通りであった。

図表 268 職員概要:経験年数(表 1)

		問 1. 5 職員概要/現状の職種での経験年数(年換算・小計)																								
		全体	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上 11年未満	11年以上 12年未満	12年以上 13年未満	13年以上 14年未満	14年以上 15年未満	15年以上 17年未満	17年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上	無回答						
分析軸	全体	1383	24	118	137	83	62	76	72	74	122	55	59	45	48	121	119	117	34	34						
	100.0	1.7	8.5	9.9	4.9	4.5	5.5	5.2	5.4	8.8	4.0	4.3	3.3	3.3	8.7	8.6	8.5	2.5	2.5							
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	17	78	84	43	42	47	40	47	76	43	40	31	27	85	82	75	23	23						
	100.0	1.9	8.6	9.3	4.8	4.7	5.2	4.4	5.2	8.4	4.8	4.4	3.4	3.0	9.4	9.1	8.3	2.5	2.5							
	地域密着型介護老人福祉施設	127	5	17	17	8	4	4	8	8	13	1	3	2	6	8	6	12	1	4						
	100.0	3.9	13.4	13.4	6.3	3.1	3.1	6.3	6.3	10.2	0.8	2.4	1.6	4.7	6.3	4.7	9.4	0.8	3.1							
	特定施設入居者生活介護	89	1	6	7	7	4	6	1	8	9	3	7	1	2	7	7	8	3	2						
	100.0	1.1	6.7	7.9	7.9	4.5	6.7	1.1	9.0	10.1	3.4	7.9	1.1	2.2	7.9	7.9	9.0	3.4	2.2							
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	1	2	2	2	-	3	1	3	-	-	1	2	4	1	1	-	3						
	100.0	-	3.8	7.7	7.7	7.7	-	11.5	3.8	11.5	-	-	-	3.8	7.7	15.4	3.8	3.8	-	11.5						
	その他	238	1	16	27	8	10	19	20	10	21	8	9	10	9	17	23	21	7	2						
	100.0	0.4	6.7	11.3	3.4	4.2	8.0	8.4	4.2	8.8	3.4	3.8	4.2	3.8	7.1	9.7	8.8	2.9	0.8							
	性別/男性	650	17	57	56	31	28	43	37	34	63	31	24	25	21	57	51	52	12	11						
	100.0	2.6	8.6	8.6	4.8	4.3	6.6	5.7	5.2	9.7	4.8	3.7	4.8	3.2	8.8	7.8	8.0	1.8	1.7							
	女性	717	7	61	78	35	34	33	35	38	58	24	34	20	25	63	67	62	21	22						
	100.0	1.0	8.5	10.9	4.9	4.7	4.6	4.9	5.3	8.1	3.3	4.7	2.8	3.5	8.8	9.3	8.6	2.9	3.1							
	年齢階級/10~20歳代	155	5	26	38	21	12	14	15	11	8	2	3	-	-	-	-	-	-	-						
	100.0	3.2	16.8	24.5	13.5	7.7	9.0	9.7	7.1	5.2	1.3	1.9	-	-	-	-	-	-	-							
	30歳代	412	6	30	34	10	15	29	23	27	41	29	31	23	30	45	28	5	-	6						
	100.0	1.5	7.3	8.3	2.4	3.6	7.0	5.6	6.6	10.0	7.0	7.5	5.6	7.3	10.9	6.8	1.2	-	1.5							
	40歳代	455	7	36	37	22	21	19	13	18	40	12	13	11	10	38	45	84	14	15						
	100.0	1.5	7.9	8.1	4.8	4.6	4.2	2.9	4.0	8.8	2.6	2.9	2.4	2.2	8.4	9.9	18.5	3.1	3.3							
	50歳代	266	6	19	22	9	12	9	11	17	28	10	7	6	4	30	35	17	17	5						
	100.0	2.3	7.1	8.3	3.4	4.5	3.4	4.1	6.4	10.5	3.8	2.6	3.0	1.5	11.3	13.2	6.4	6.4	1.9							
	60歳代以上	79	-	4	4	4	2	3	9	-	5	1	5	3	2	8	10	9	3	7						
100.0	-	5.1	5.1	5.1	2.5	3.8	11.4	-	6.3	1.3	6.3	3.8	2.5	10.1	12.7	11.4	3.8	8.9								
職種別/介護福祉士	1056	10	55	77	48	44	53	61	65	106	48	52	39	43	100	105	102	27	23							
100.0	0.9	5.2	7.3	4.4	4.2	5.0	5.8	6.2	10.0	4.5	4.9	3.7	4.1	9.5	9.9	9.7	2.6	2.2								
介護職員(介護福祉士以外)	137	5	32	35	8	7	12	8	3	8	2	1	1	-	4	2	4	-	5							
100.0	3.6	23.4	25.5	5.8	5.1	8.8	5.8	2.2	5.8	1.5	0.7	0.7	-	2.9	1.5	2.9	-	3.6								
看護職員・リハビリ職・相談員	132	5	22	15	7	7	7	3	6	6	2	4	3	2	13	12	9	6	3							
100.0	3.8	16.7	11.4	5.3	5.3	5.3	2.3	4.5	4.5	1.5	3.0	2.3	1.5	9.8	9.1	6.8	4.5	2.3								
事務職員・その他	43	4	8	8	6	3	4	-	-	1	1	1	-	4	1	1	1	1	1							
100.0	9.3	18.6	18.6	14.0	7.0	9.3	-	-	-	2.3	2.3	2.3	-	9.3	-	2.3	2.3	2.3								
役職別/経営層	9	-	2	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1							
100.0	-	22.2	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1							
管理者・リーダー	718	11	33	36	25	20	37	34	40	56	36	28	28	31	81	90	92	20	20							
100.0	1.5	4.6	5.0	3.5	2.8	5.2	4.7	5.6	7.8	5.0	3.9	3.9	4.3	11.3	12.5	12.8	2.8	2.8								
一般職	606	13	77	89	42	38	37	34	33	62	18	27	16	15	33	27	23	11	11							
100.0	2.1	12.7	14.7	6.9	6.3	6.1	5.6	5.4	10.2	3.0	4.5	2.6	2.5	5.4	4.5	3.8	1.8	1.8								
その他	17	-	4	1	-	2	-	2	1	1	1	-	1	-	2	-	1	1	-							
100.0	-	23.5	5.9	-	11.8	-	11.8	5.9	5.9	5.9	-	-	5.9	-	11.8	-	5.9	5.9	-							
経験年数別/5年未満	279	24	118	137	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
100.0	8.6	42.3	49.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
5年以上10年未満	352	-	-	-	68	62	76	72	74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
100.0	-	-	-	19.3	17.6	21.6	20.5	21.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
10年以上15年未満	327	-	-	-	-	-	-	-	-	122	55	59	45	46	-	-	-	-	-							
100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.3	16.8	18.0	13.8	14.1	-	-	-	-								
15年以上	391	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	121	119	117	34	-							
100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.9	30.4	29.9	8.7	-							

図表 269 職員概要:経験年数(表 2)

		問1.5 職員概要/ 現状の職種での経験 年数(年換算)	
		全体	平均(年)
分析軸	全体	1349	11.04
		100.0	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	880	11.17
		65.2	
	地域密着型介護老人福祉施設	123	9.44
		9.1	
	特定施設入居者生活介護	87	11.30
		6.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	23	10.66
		1.7	
	その他	236	11.32
		17.5	
	性別/男性	639	10.78
		47.4	
	女性	695	11.24
		51.5	
	年齢階級/10~20歳代	155	5.62
		11.5	
	30歳代	406	10.37
		30.1	
	40歳代	440	12.55
		32.6	
	50歳代	261	12.28
		19.3	
	60歳代以上	72	13.24
		5.3	
	職種別/介護福祉士	1033	11.97
		76.6	
	介護職員(介護福祉士以外)	132	5.95
		9.8	
	看護職員・リハビリ職・相談員	129	10.29
		9.6	
	事務職員・その他	42	6.66
		3.1	
	役職別/経営層	9	7.71
		0.7	
	管理者・リーダー	698	12.97
		51.7	
	一般職	595	8.87
		44.1	
その他	17	10.42	
	1.3		
経験年数別/5年未満	279	2.79	
	20.7		
5年以上10年未満	352	7.44	
	26.1		
10年以上15年未満	327	11.86	
	24.2		
15年以上	391	19.47	
	29.0		

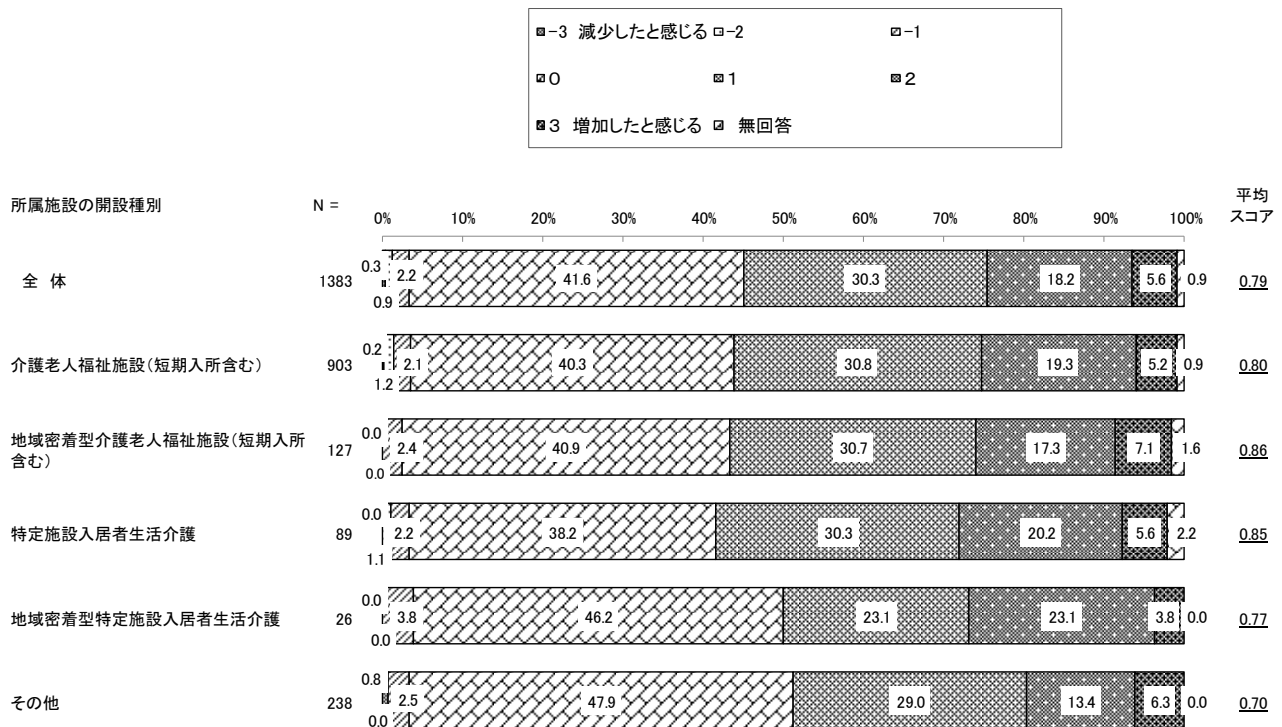
(2) 機器導入によるモチベーションの変化

1) 機器導入による仕事のやりがいの変化

機器導入による仕事のやりがいについては、約 5 割が増加したと感じていた。

図表 270 機器導入による仕事のやりがいの変化(グラフ)

問2. 1 導入後のモチベーションの変化/仕事のやりがいの変化



図表 271 機器導入による仕事のやりがいの変化(表)

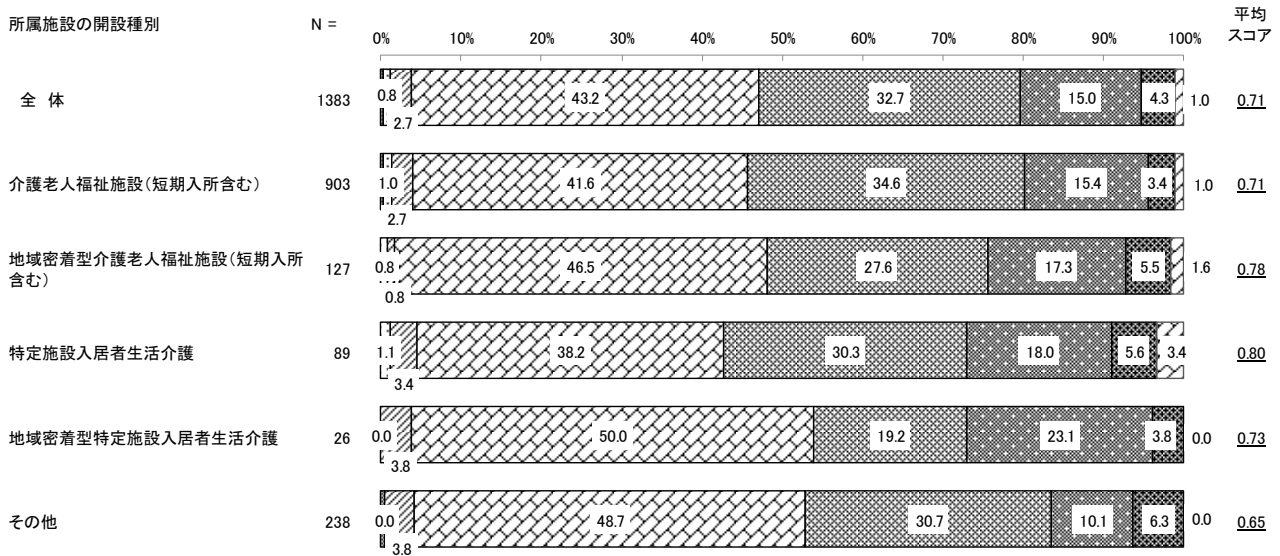
		問2. 1 導入後のモチベーションの変化／仕事のやりがいの変化									
		全 体	-3 減少 したと感 じる	-2	-1	0	1	2	3 増加 したと感 じる	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	4	12	31	576	419	252	77	12	0.79
		100.0	0.3	0.9	2.2	41.6	30.3	18.2	5.6	0.9	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	2	11	19	364	278	174	47	8	0.80
		100.0	0.2	1.2	2.1	40.3	30.8	19.3	5.2	0.9	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	-	3	52	39	22	9	2	0.86
		100.0	-	-	2.4	40.9	30.7	17.3	7.1	1.6	
	特定施設入居者生活介護	89	-	1	2	34	27	18	5	2	0.85
		100.0	-	1.1	2.2	38.2	30.3	20.2	5.6	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	-	1	12	6	6	1	-	0.77
		100.0	-	-	3.8	46.2	23.1	23.1	3.8	-	
	その他	238	2	-	6	114	69	32	15	-	0.70
		100.0	0.8	-	2.5	47.9	29.0	13.4	6.3	-	
	性別／男性	650	2	7	14	277	203	112	32	3	0.76
		100.0	0.3	1.1	2.2	42.6	31.2	17.2	4.9	0.5	
	女性	717	2	5	17	293	211	137	44	8	0.82
		100.0	0.3	0.7	2.4	40.9	29.4	19.1	6.1	1.1	
	年齢階級／10～20歳代	155	-	3	5	77	45	19	6	-	0.58
		100.0	-	1.9	3.2	49.7	29.0	12.3	3.9	-	
	30歳代	412	2	4	10	167	121	84	21	3	0.80
		100.0	0.5	1.0	2.4	40.5	29.4	20.4	5.1	0.7	
	40歳代	455	1	4	6	201	137	75	25	6	0.77
		100.0	0.2	0.9	1.3	44.2	30.1	16.5	5.5	1.3	
	50歳代	266	1	1	5	102	88	50	18	1	0.88
		100.0	0.4	0.4	1.9	38.3	33.1	18.8	6.8	0.4	
	60歳代以上	79	-	-	3	28	20	19	7	2	0.99
		100.0	-	-	3.8	35.4	25.3	24.1	8.9	2.5	
	職種別／介護福祉士	1056	4	10	23	431	321	200	57	10	0.80
		100.0	0.4	0.9	2.2	40.8	30.4	18.9	5.4	0.9	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	1	2	76	32	18	8	-	0.64
		100.0	-	0.7	1.5	55.5	23.4	13.1	5.8	-	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	-	1	5	44	46	26	9	1	0.90	
	100.0	-	0.8	3.8	33.3	34.8	19.7	6.8	0.8		
事務職員・その他	43	-	-	-	16	16	7	3	1	0.93	
	100.0	-	-	-	37.2	37.2	16.3	7.0	2.3		
役職別／経営層	9	-	-	-	-	7	2	-	-	1.22	
	100.0	-	-	-	-	77.8	22.2	-	-		
管理者・リーダー	718	2	7	18	280	219	143	44	5	0.84	
	100.0	0.3	1.0	2.5	39.0	30.5	19.9	6.1	0.7		
一般職	606	2	5	13	271	181	98	31	5	0.73	
	100.0	0.3	0.8	2.1	44.7	29.9	16.2	5.1	0.8		
その他	17	-	-	-	10	3	3	1	-	0.71	
	100.0	-	-	-	58.8	17.6	17.6	5.9	-		
経歴年数別／5年未満	279	-	4	8	129	75	46	16	1	0.72	
	100.0	-	1.4	2.9	46.2	26.9	16.5	5.7	0.4		
5年以上10年未満	352	-	2	8	147	107	68	17	3	0.81	
	100.0	-	0.6	2.3	41.8	30.4	19.3	4.8	0.9		
10年以上15年未満	327	3	3	7	136	114	51	12	1	0.71	
	100.0	0.9	0.9	2.1	41.6	34.9	15.6	3.7	0.3		
15年以上	391	1	3	7	154	110	80	31	5	0.90	
	100.0	0.3	0.8	1.8	39.4	28.1	20.5	7.9	1.3		

2) 機器導入による職場の活気の変化

機器導入により、職場の活気が増加したと回答した職員は、約 5 割であった。

図表 272 機器導入による職場の活気の変化(グラフ)

問2.2 導入後のモチベーションの変化/職場の活気の変化



図表 273 機器導入による職場の活気の変化(表)

		問2.2 導入後のモチベーションの変化/職場の活気の変化									
		全 体	-3 減少 したと感 じる	-2	-1	0	1	2	3 増加 したと感 じる	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	4	11	38	598	452	207	59	14	0.71
		100.0	0.3	0.8	2.7	43.2	32.7	15.0	4.3	1.0	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	3	9	24	376	312	139	31	9	0.71
		100.0	0.3	1.0	2.7	41.6	34.6	15.4	3.4	1.0	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	1	1	59	35	22	7	2	0.78
		100.0	-	0.8	0.8	46.5	27.6	17.3	5.5	1.6	
	特定施設入居者生活介護	89	-	1	3	34	27	16	5	3	0.80
		100.0	-	1.1	3.4	38.2	30.3	18.0	5.6	3.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	-	1	13	5	6	1	-	0.73
		100.0	-	-	3.8	50.0	19.2	23.1	3.8	-	
	その他	238	1	-	9	116	73	24	15	-	0.65
		100.0	0.4	-	3.8	48.7	30.7	10.1	6.3	-	
	性別/男性	650	3	7	20	305	213	74	24	4	0.60
		100.0	0.5	1.1	3.1	46.9	32.8	11.4	3.7	0.6	
	女性	717	1	4	18	288	234	130	34	8	0.80
		100.0	0.1	0.6	2.5	40.2	32.6	18.1	4.7	1.1	
	年齢階級/10~20歳代	155	-	2	5	73	53	18	3	1	0.58
		100.0	-	1.3	3.2	47.1	34.2	11.6	1.9	0.6	
	30歳代	412	2	5	12	180	142	55	13	3	0.64
		100.0	0.5	1.2	2.9	43.7	34.5	13.3	3.2	0.7	
	40歳代	455	-	3	13	216	135	60	23	5	0.68
		100.0	-	0.7	2.9	47.5	29.7	13.2	5.1	1.1	
	50歳代	266	2	1	4	101	88	55	13	2	0.85
		100.0	0.8	0.4	1.5	38.0	33.1	20.7	4.9	0.8	
	60歳代以上	79	-	-	2	26	26	16	7	2	1.00
		100.0	-	-	2.5	32.9	32.9	20.3	8.9	2.5	
	職種別/介護福祉士	1056	3	9	27	448	350	164	44	11	0.72
		100.0	0.3	0.9	2.6	42.4	33.1	15.5	4.2	1.0	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	-	4	68	42	16	6	-	0.62
		100.0	0.7	-	2.9	49.6	30.7	11.7	4.4	-	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	-	1	7	53	47	16	7	1	0.69	
	100.0	-	0.8	5.3	40.2	35.6	12.1	5.3	0.8		
事務職員・その他	43	-	1	-	19	9	10	2	2	0.80	
	100.0	-	2.3	-	44.2	20.9	23.3	4.7	4.7		
役職別/経営層	9	-	-	-	2	4	3	-	-	1.11	
	100.0	-	-	-	22.2	44.4	33.3	-	-		
管理者・リーダー	718	1	6	21	291	243	116	35	5	0.76	
	100.0	0.1	0.8	2.9	40.5	33.8	16.2	4.9	0.7		
一般職	606	3	5	16	282	189	82	22	7	0.64	
	100.0	0.5	0.8	2.6	46.5	31.2	13.5	3.6	1.2		
その他	17	-	-	-	10	4	2	1	-	0.65	
	100.0	-	-	-	58.8	23.5	11.8	5.9	-		
経験年数別/5年未満	279	-	3	9	133	85	35	11	3	0.63	
	100.0	-	1.1	3.2	47.7	30.5	12.5	3.9	1.1		
5年以上10年未満	352	-	2	9	147	129	48	14	3	0.73	
	100.0	-	0.6	2.6	41.8	36.6	13.6	4.0	0.9		
10年以上15年未満	327	4	2	8	143	116	44	8	2	0.63	
	100.0	1.2	0.6	2.4	43.7	35.5	13.5	2.4	0.6		
15年以上	391	-	4	11	162	110	74	26	4	0.82	
	100.0	-	1.0	2.8	41.4	28.1	18.9	6.6	1.0		

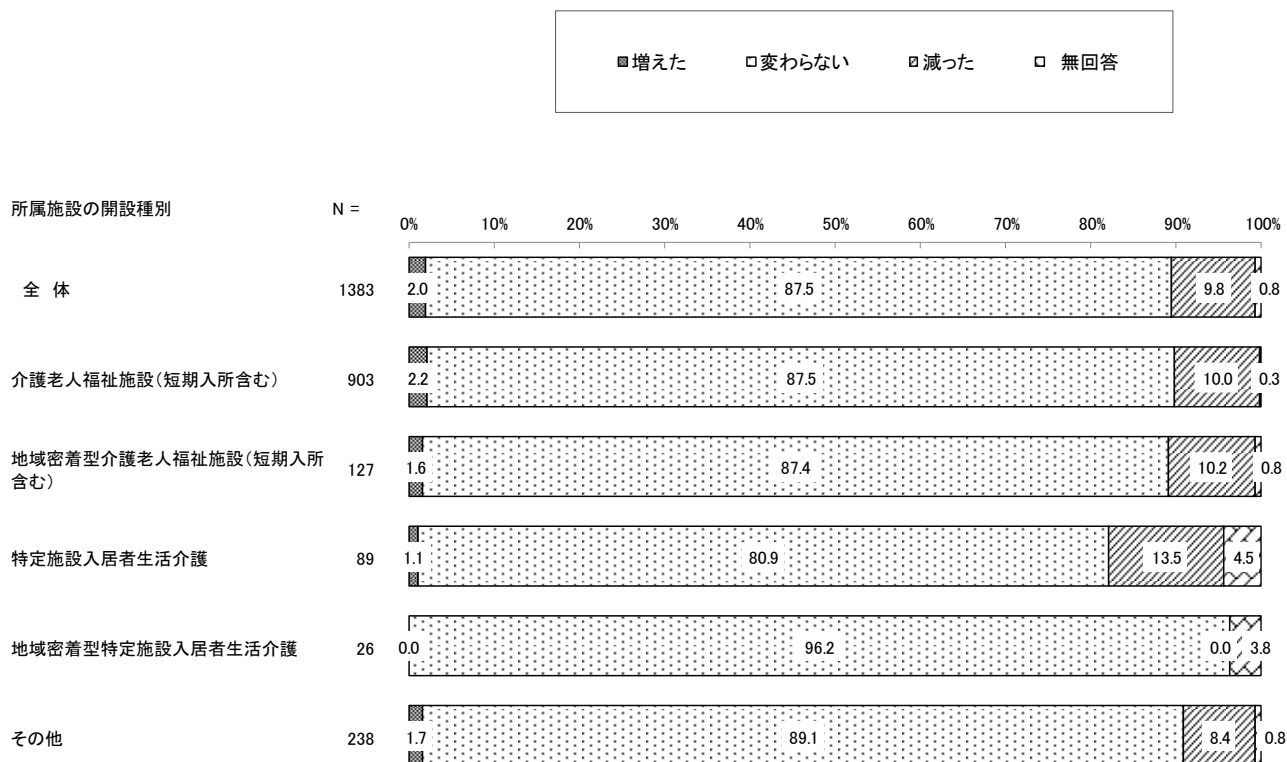
(3) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化

1) 介護ロボットを導入する前後の変化: 残業時間

介護ロボットの導入の前後で比較したとき、残業時間が減ったと回答した職員が約 1 割、変わらないと回答した職員が約 9 割であった。

図表 274 介護ロボットを導入する前後の変化: 残業時間(グラフ)

問3(1)① 機器導入による夜間勤務職員の変化/残業時間



図表 275 介護ロボットを導入する前後の変化:残業時間(表)

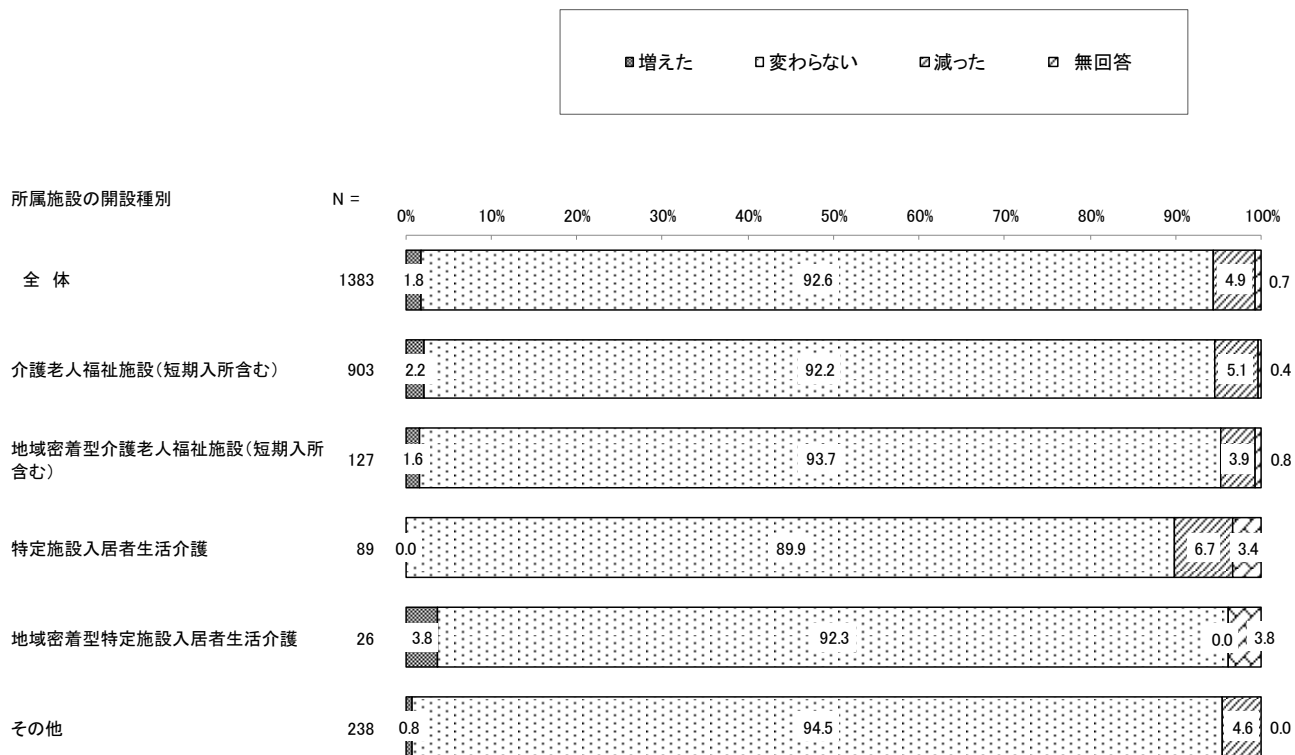
		問3(1)① 機器導入による夜間勤務職員の変化/残業時間				
		全 体	増えた	変わら ない	減った	無回答
分析軸	全 体	1383	27	1210	135	11
		100.0	2.0	87.5	9.8	0.8
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	20	790	90	3
		100.0	2.2	87.5	10.0	0.3
	地域密着型介護老人福祉施設	127	2	111	13	1
		100.0	1.6	87.4	10.2	0.8
	特定施設入居者生活介護	89	1	72	12	4
		100.0	1.1	80.9	13.5	4.5
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	25	-	1
		100.0	-	96.2	-	3.8
	その他	238	4	212	20	2
		100.0	1.7	89.1	8.4	0.8
	性別/男性	650	17	561	70	2
		100.0	2.6	86.3	10.8	0.3
	女性	717	10	635	64	8
		100.0	1.4	88.6	8.9	1.1
	年齢階級/10~20歳代	155	3	138	14	-
		100.0	1.9	89.0	9.0	-
	30歳代	412	7	358	45	2
		100.0	1.7	86.9	10.9	0.5
	40歳代	455	9	399	43	4
		100.0	2.0	87.7	9.5	0.9
	50歳代	266	7	235	21	3
		100.0	2.6	88.3	7.9	1.1
	60歳代以上	79	1	65	11	2
		100.0	1.3	82.3	13.9	2.5
	職種別/介護福祉士	1056	21	919	108	8
		100.0	2.0	87.0	10.2	0.8
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	123	11	2
		100.0	0.7	89.8	8.0	1.5
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	3	118	10	1
	100.0	2.3	89.4	7.6	0.8	
事務職員・その他	43	1	37	5	-	
	100.0	2.3	86.0	11.6	-	
役職別/経営層	9	1	6	2	-	
	100.0	11.1	66.7	22.2	-	
管理者・リーダー	718	14	616	84	4	
	100.0	1.9	85.8	11.7	0.6	
一般職	606	10	545	45	6	
	100.0	1.7	89.9	7.4	1.0	
その他	17	1	14	2	-	
	100.0	5.9	82.4	11.8	-	
経験年数別/5年未満	279	6	249	20	4	
	100.0	2.2	89.2	7.2	1.4	
5年以上10年未満	352	7	303	41	1	
	100.0	2.0	86.1	11.6	0.3	
10年以上15年未満	327	10	282	32	3	
	100.0	3.1	86.2	9.8	0.9	
15年以上	391	4	344	41	2	
	100.0	1.0	88.0	10.5	0.5	

2) 介護ロボットを導入する前後の変化:平均勤務時間

介護ロボットの導入の前後で比較したとき、平均勤務時間が変わらないと回答した職員が約 9 割であった。

図表 276 介護ロボットを導入する前後の変化:平均勤務時間(グラフ)

問3(1)② 機器導入による夜間勤務職員の変化/平均勤務時間



図表 277 介護ロボットを導入する前後の変化:平均勤務時間(表)

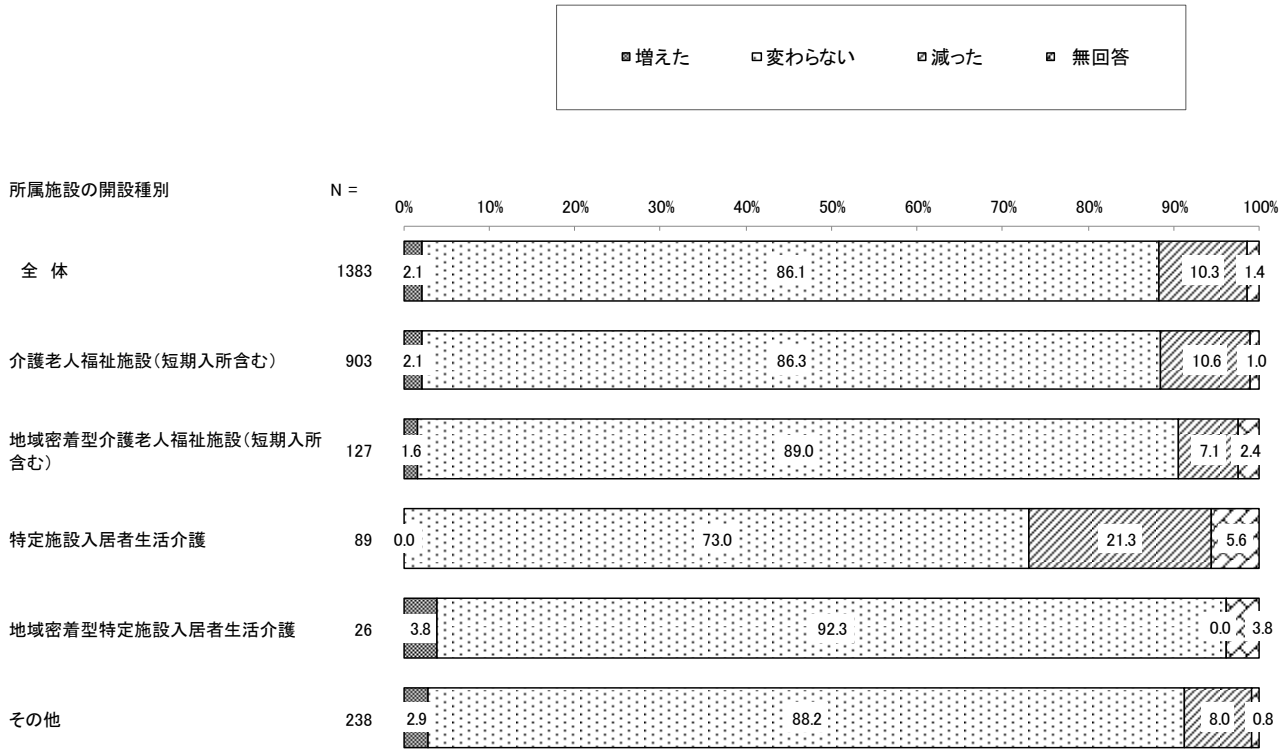
		問3(1)② 機器導入による夜間勤務職員の変化/平均勤務時間				
		全体	増えた	変わらない	減った	無回答
分析軸	全体	1383	25	1281	68	9
		100.0	1.8	92.6	4.9	0.7
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	20	833	46	4
		100.0	2.2	92.2	5.1	0.4
	地域密着型介護老人福祉施設	127	2	119	5	1
		100.0	1.6	93.7	3.9	0.8
	特定施設入居者生活介護	89	-	80	6	3
		100.0	-	89.9	6.7	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	24	-	1
		100.0	3.8	92.3	-	3.8
	その他	238	2	225	11	-
		100.0	0.8	94.5	4.6	-
	性別/男性	650	17	601	29	3
		100.0	2.6	92.5	4.5	0.5
	女性	717	8	665	39	5
		100.0	1.1	92.7	5.4	0.7
	年齢階級/10~20歳代	155	3	145	7	-
		100.0	1.9	93.5	4.5	-
	30歳代	412	6	388	17	1
		100.0	1.5	94.2	4.1	0.2
	40歳代	455	8	420	24	3
		100.0	1.8	92.3	5.3	0.7
	50歳代	266	6	244	12	4
		100.0	2.3	91.7	4.5	1.5
	60歳代以上	79	2	69	7	1
		100.0	2.5	87.3	8.9	1.3
	職種別/介護福祉士	1056	18	981	51	6
		100.0	1.7	92.9	4.8	0.6
	介護職員(介護福祉士以外)	137	3	123	9	2
		100.0	2.2	89.8	6.6	1.5
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	124	5	1
		100.0	1.5	93.9	3.8	0.8
	事務職員・その他	43	1	39	3	-
	100.0	2.3	90.7	7.0	-	
役職別/経営層	9	1	7	1	-	
	100.0	11.1	77.8	11.1	-	
管理者・リーダー	718	13	663	38	4	
	100.0	1.8	92.3	5.3	0.6	
一般職	606	9	565	27	5	
	100.0	1.5	93.2	4.5	0.8	
その他	17	1	15	1	-	
	100.0	5.9	88.2	5.9	-	
経験年数別/5年未満	279	6	257	13	3	
	100.0	2.2	92.1	4.7	1.1	
5年以上10年未満	352	6	331	14	1	
	100.0	1.7	94.0	4.0	0.3	
10年以上15年未満	327	9	297	19	2	
	100.0	2.8	90.8	5.8	0.6	
15年以上	391	4	364	21	2	
	100.0	1.0	93.1	5.4	0.5	

3) 介護ロボットを導入する前後の変化:夜勤職員の平均労働時間

介護ロボットの導入の前後で比較したとき、夜勤職員の平均労働時間が減ったと回答した職員が約 1 割、変わらないと回答した職員が約 9 割であった。

図表 278 介護ロボットを導入する前後の変化:夜勤職員の平均労働時間(グラフ)

問3(1)③ 機器導入による夜間勤務職員の変化/夜勤職員の平均労働時間



図表 279 介護ロボットを導入する前後の変化:夜勤職員の平均労働時間(表)

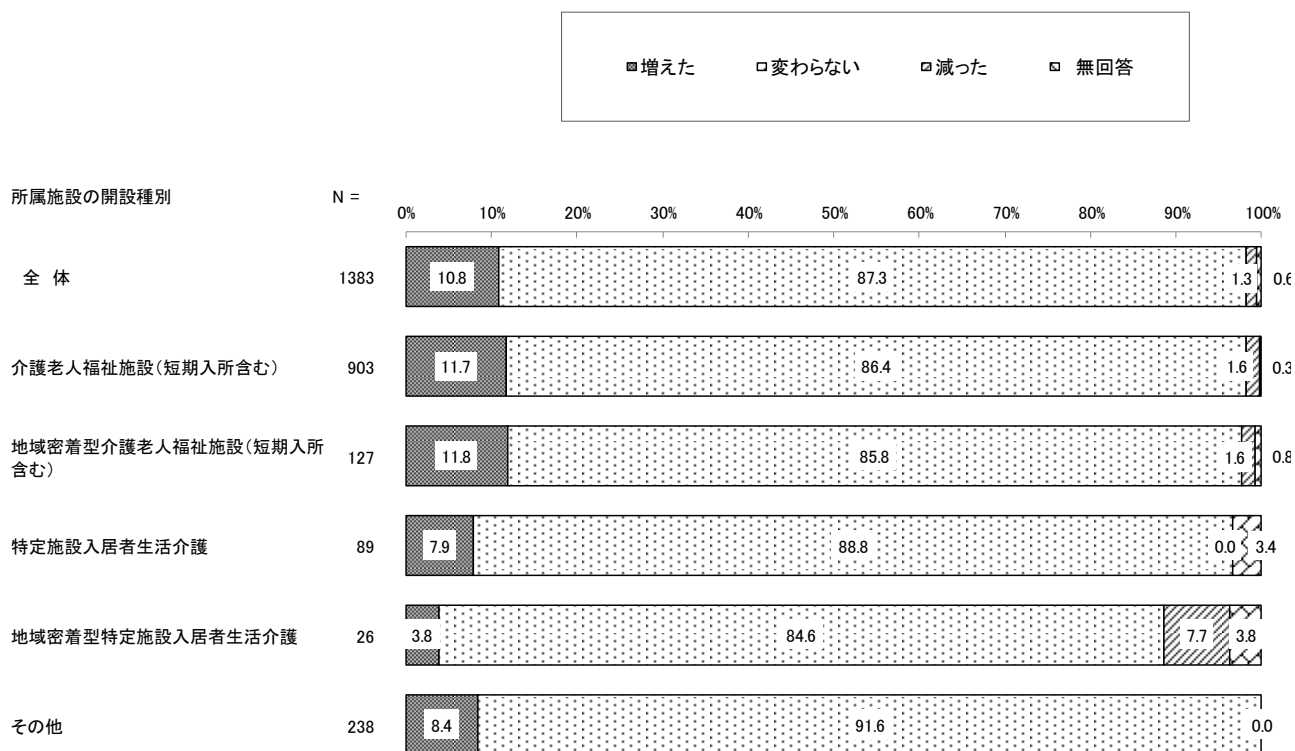
		問3(1)③ 機器導入による夜間勤務職員の変化/夜勤職員の平均労働時間				
		全 体	増えた	変わらな い	減った	無回答
分 析 軸	全 体	1383	29	1191	143	20
		100.0	2.1	86.1	10.3	1.4
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	19	779	96	9
		100.0	2.1	86.3	10.6	1.0
	地域密着型介護老人福祉施設	127	2	113	9	3
		100.0	1.6	89.0	7.1	2.4
	特定施設入居者生活介護	89	-	65	19	5
		100.0	-	73.0	21.3	5.6
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	24	-	1
		100.0	3.8	92.3	-	3.8
	その他	238	7	210	19	2
		100.0	2.9	88.2	8.0	0.8
	性別/男性	650	19	547	79	5
		100.0	2.9	84.2	12.2	0.8
	女性	717	10	631	62	14
		100.0	1.4	88.0	8.6	2.0
	年齢階級/10~20歳代	155	3	137	15	-
		100.0	1.9	88.4	9.7	-
	30歳代	412	9	350	48	5
		100.0	2.2	85.0	11.7	1.2
	40歳代	455	8	393	46	8
		100.0	1.8	86.4	10.1	1.8
	50歳代	266	7	228	26	5
		100.0	2.6	85.7	9.8	1.9
	60歳代以上	79	2	69	6	2
		100.0	2.5	87.3	7.6	2.5
	職種別/介護福祉士	1056	23	900	125	8
		100.0	2.2	85.2	11.8	0.8
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	124	9	3
		100.0	0.7	90.5	6.6	2.2
看護職員・リハビリ職・相談員	132	4	114	6	8	
	100.0	3.0	86.4	4.5	6.1	
事務職員・その他	43	-	40	2	1	
	100.0	-	93.0	4.7	2.3	
役職別/経営層	9	-	8	1	-	
	100.0	-	88.9	11.1	-	
管理者・リーダー	718	19	598	92	9	
	100.0	2.6	83.3	12.8	1.3	
一般職	606	9	539	48	10	
	100.0	1.5	88.9	7.9	1.7	
その他	17	1	16	-	-	
	100.0	5.9	94.1	-	-	
経験年数別/5年未満	279	2	244	26	7	
	100.0	0.7	87.5	9.3	2.5	
5年以上10年未満	352	8	307	35	2	
	100.0	2.3	87.2	9.9	0.6	
10年以上15年未満	327	10	280	35	2	
	100.0	3.1	85.6	10.7	0.6	
15年以上	391	9	328	45	9	
	100.0	2.3	83.9	11.5	2.3	

4) 介護ロボットを導入する前後の変化:有給休暇の取得状況

介護ロボットの導入の前後で比較したとき、有給休暇の取得が増えたと回答した職員が約 1 割、変わらないと回答した職員が約 9 割であった。

図表 280 介護ロボットを導入する前後の変化:有給休暇の取得状況(グラフ)

問3(1)④ 機器導入による夜間勤務職員の変化/有給休暇の取得状況



図表 281 介護ロボットを導入する前後の変化:有給休暇の取得状況(表)

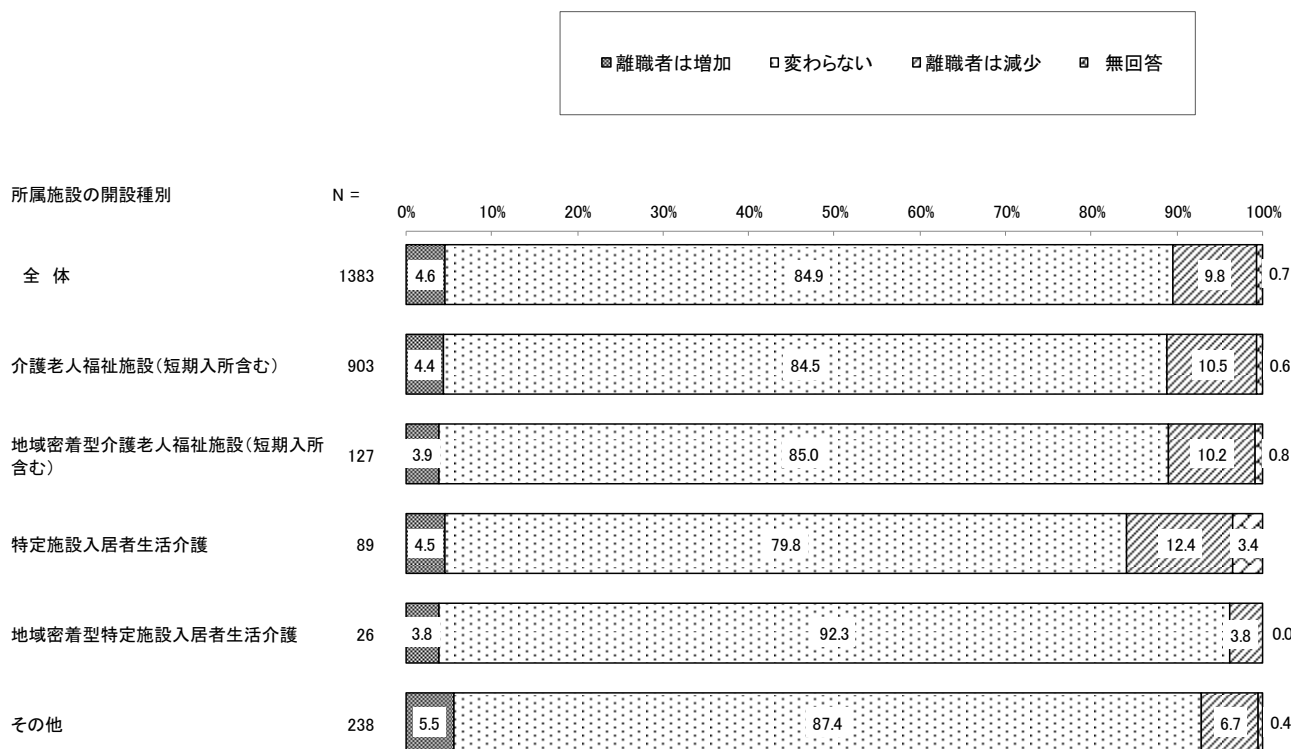
		問3(1)④ 機器導入による夜間勤務職員の変化/有給休暇の取得状況				
		全 体	増えた	変わら ない	減った	無回答
分 析 軸	全 体	1383	149	1208	18	8
		100.0	10.8	87.3	1.3	0.6
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	106	780	14	3
		100.0	11.7	86.4	1.6	0.3
	地域密着型介護老人福祉施設	127	15	109	2	1
		100.0	11.8	85.8	1.6	0.8
	特定施設入居者生活介護	89	7	79	-	3
		100.0	7.9	88.8	-	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	22	2	1
		100.0	3.8	84.6	7.7	3.8
	その他	238	20	218	-	-
		100.0	8.4	91.6	-	-
	性別/男性	650	71	566	11	2
		100.0	10.9	87.1	1.7	0.3
	女性	717	75	630	7	5
		100.0	10.5	87.9	1.0	0.7
	年齢階級/10~20歳代	155	18	134	3	-
		100.0	11.6	86.5	1.9	-
	30歳代	412	43	359	9	1
		100.0	10.4	87.1	2.2	0.2
	40歳代	455	41	408	3	3
		100.0	9.0	89.7	0.7	0.7
	50歳代	266	35	226	2	3
		100.0	13.2	85.0	0.8	1.1
	60歳代以上	79	9	68	1	1
		100.0	11.4	86.1	1.3	1.3
	職種別/介護福祉士	1056	118	917	15	6
		100.0	11.2	86.8	1.4	0.6
	介護職員(介護福祉士以外)	137	7	127	2	1
		100.0	5.1	92.7	1.5	0.7
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	13	117	1	1
		100.0	9.8	88.6	0.8	0.8
	事務職員・その他	43	9	34	-	-
	100.0	20.9	79.1	-	-	
役職別/経営層	9	4	4	1	-	
	100.0	44.4	44.4	11.1	-	
管理者・リーダー	718	85	620	9	4	
	100.0	11.8	86.4	1.3	0.6	
一般職	606	58	537	7	4	
	100.0	9.6	88.6	1.2	0.7	
その他	17	1	15	1	-	
	100.0	5.9	88.2	5.9	-	
経験年数別/5年未満	279	29	244	3	3	
	100.0	10.4	87.5	1.1	1.1	
5年以上10年未満	352	40	305	6	1	
	100.0	11.4	86.6	1.7	0.3	
10年以上15年未満	327	33	284	8	2	
	100.0	10.1	86.9	2.4	0.6	
15年以上	391	46	342	1	2	
	100.0	11.8	87.5	0.3	0.5	

5) 介護ロボットを導入する前後の変化:職員の定着(離職)状況

介護ロボットの導入の前後で比較したとき、職員の離職が減少したと回答した職員が約 1 割、変わらないと回答した職員が約 9 割であった。

図表 282 介護ロボットを導入する前後の変化:職員の定着(離職)状況(グラフ)

問3(1)⑤ 機器導入による夜間勤務職員の変化/職員の定着(離職)状況



図表 283 介護ロボットを導入する前後の変化:職員の定着(離職)状況(表)

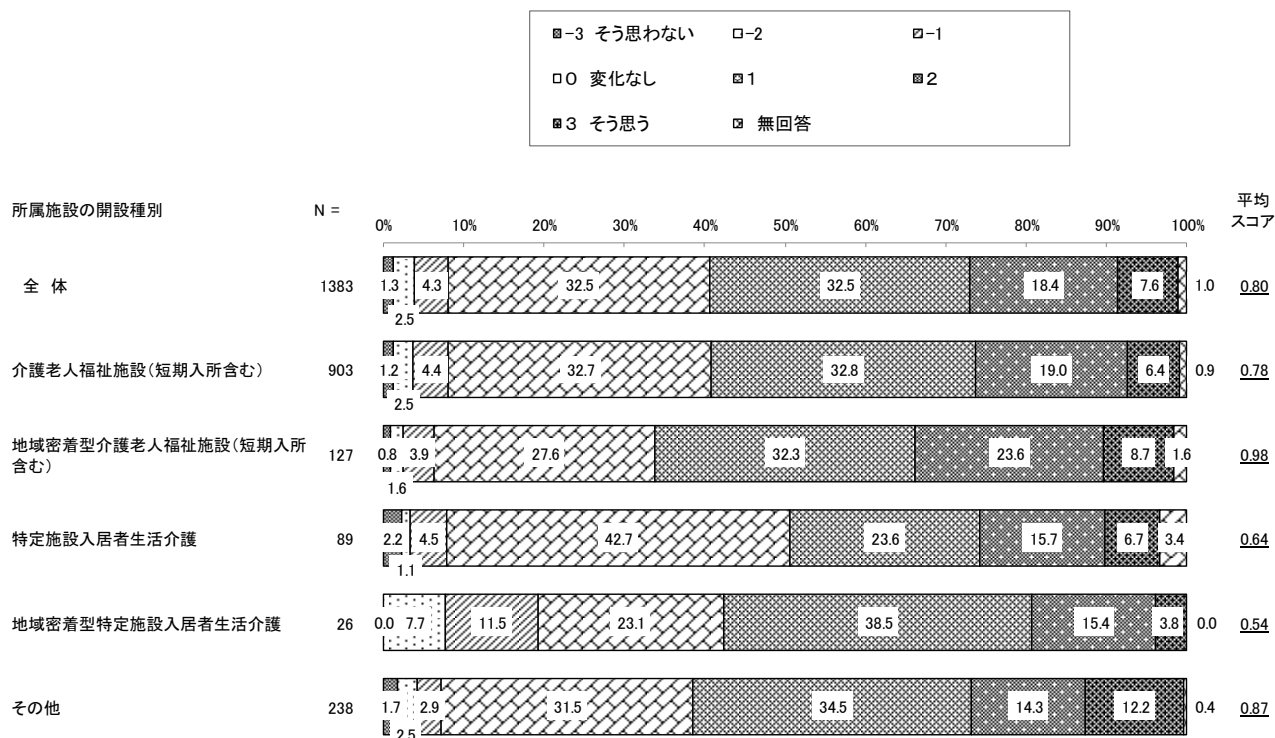
		問3(1)⑤ 機器導入による夜間勤務職員の変化/職員の定着(離職)状況				
		全 体	離職者は増加	変わらない	離職者は減少	無回答
分析軸	全 体	1383	63	1174	136	10
		100.0	4.6	84.9	9.8	0.7
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	40	763	95	5
		100.0	4.4	84.5	10.5	0.6
	地域密着型介護老人福祉施設	127	5	108	13	1
		100.0	3.9	85.0	10.2	0.8
	特定施設入居者生活介護	89	4	71	11	3
		100.0	4.5	79.8	12.4	3.4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	24	1	-
		100.0	3.8	92.3	3.8	-
	その他	238	13	208	16	1
		100.0	5.5	87.4	6.7	0.4
	性別/男性	650	22	557	69	2
		100.0	3.4	85.7	10.6	0.3
	女性	717	40	606	64	7
		100.0	5.6	84.5	8.9	1.0
	年齢階級/10~20歳代	155	12	130	13	-
		100.0	7.7	83.9	8.4	-
	30歳代	412	15	353	42	2
		100.0	3.6	85.7	10.2	0.5
	40歳代	455	17	399	35	4
		100.0	3.7	87.7	7.7	0.9
	50歳代	266	12	221	30	3
		100.0	4.5	83.1	11.3	1.1
	60歳代以上	79	7	63	8	1
		100.0	8.9	79.7	10.1	1.3
	職種別/介護福祉士	1056	54	898	97	7
		100.0	5.1	85.0	9.2	0.7
	介護職員(介護福祉士以外)	137	7	117	12	1
		100.0	5.1	85.4	8.8	0.7
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	1	112	18	1
		100.0	0.8	84.8	13.6	0.8
事務職員・その他	43	1	34	7	1	
	100.0	2.3	79.1	16.3	2.3	
役職別/経営層	9	-	8	1	-	
	100.0	-	88.9	11.1	-	
管理者・リーダー	718	32	600	80	6	
	100.0	4.5	83.6	11.1	0.8	
一般職	606	29	522	51	4	
	100.0	4.8	86.1	8.4	0.7	
その他	17	2	15	-	-	
	100.0	11.8	88.2	-	-	
経験年数別/5年未満	279	12	235	29	3	
	100.0	4.3	84.2	10.4	1.1	
5年以上10年未満	352	19	301	31	1	
	100.0	5.4	85.5	8.8	0.3	
10年以上15年未満	327	16	275	33	3	
	100.0	4.9	84.1	10.1	0.9	
15年以上	391	15	335	38	3	
	100.0	3.8	85.7	9.7	0.8	

6) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:①気持ちに余裕ができた

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、気持ちに余裕ができたと回答した職員が約6割であった。

図表 284 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:①気持ちに余裕ができた(グラフ)

問3(2)① 機器導入による夜間勤務職員の変化/気持ちに余裕ができた



図表 285 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:①気持ちに余裕ができた(表)

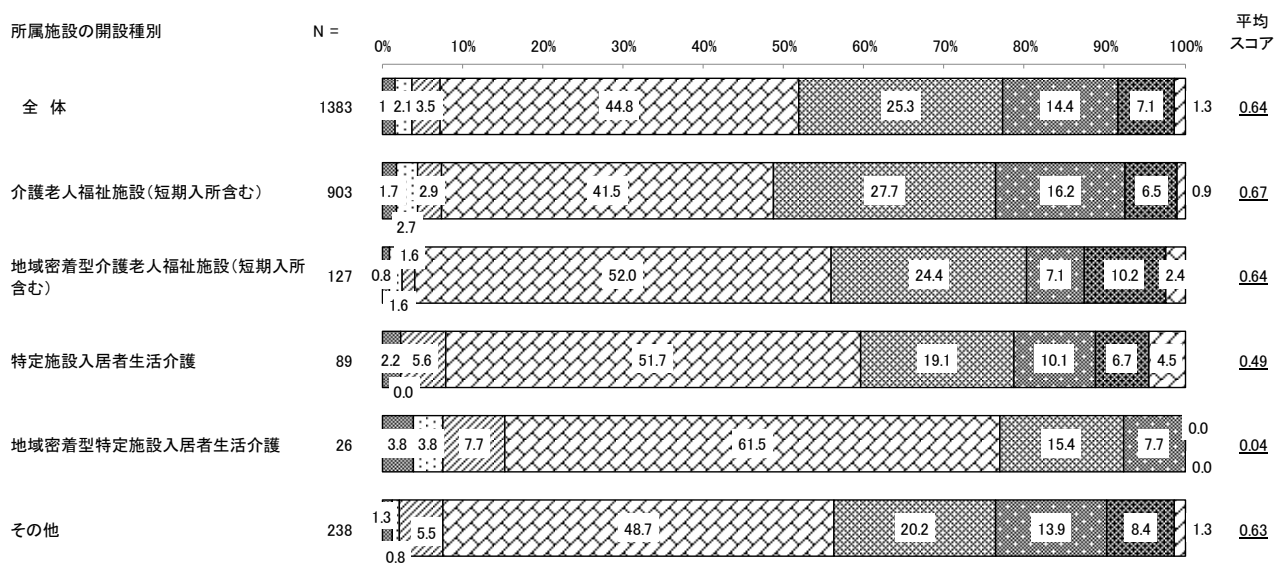
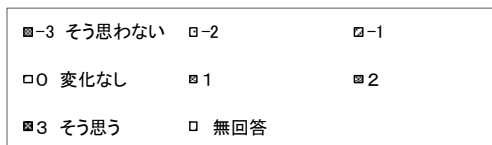
		問3(2)① 機器導入による夜間勤務職員の変化/気持ちに余裕ができた									
		全体	3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全体	1383	18	34	59	449	450	254	105	14	0.80
		100.0	1.3	2.5	4.3	32.5	32.5	18.4	7.6	1.0	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	11	23	40	295	296	172	58	8	0.78
		100.0	1.2	2.5	4.4	32.7	32.8	19.0	6.4	0.9	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	2	5	35	41	30	11	2	0.98
		100.0	0.8	1.6	3.9	27.6	32.3	23.6	8.7	1.6	
	特定施設入居者生活介護	89	2	1	4	38	21	14	6	3	0.64
		100.0	2.2	1.1	4.5	42.7	23.6	15.7	6.7	3.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	2	3	6	10	4	1	-	0.54
		100.0	-	7.7	11.5	23.1	38.5	15.4	3.8	-	
	その他	238	4	6	7	75	82	34	29	1	0.87
		100.0	1.7	2.5	2.9	31.5	34.5	14.3	12.2	0.4	
	性別/男性	650	11	17	30	215	200	124	49	4	0.77
		100.0	1.7	2.6	4.6	33.1	30.8	19.1	7.5	0.6	
	女性	717	7	17	28	229	246	126	55	9	0.82
		100.0	1.0	2.4	3.9	31.9	34.3	17.6	7.7	1.3	
	年齢階級/10~20歳代	155	5	4	4	55	50	29	6	2	0.65
		100.0	3.2	2.6	2.6	35.5	32.3	18.7	3.9	1.3	
	30歳代	412	6	13	17	129	132	77	34	4	0.80
		100.0	1.5	3.2	4.1	31.3	32.0	18.7	8.3	1.0	
	40歳代	455	3	10	25	160	129	83	41	4	0.81
		100.0	0.7	2.2	5.5	35.2	28.4	18.2	9.0	0.9	
	50歳代	266	3	4	9	82	101	47	17	3	0.84
		100.0	1.1	1.5	3.4	30.8	38.0	17.7	6.4	1.1	
	60歳代以上	79	1	3	4	18	31	15	6	1	0.85
		100.0	1.3	3.8	5.1	22.8	39.2	19.0	7.6	1.3	
	職種別/介護福祉士	1056	14	28	47	318	334	215	89	11	0.85
		100.0	1.3	2.7	4.5	30.1	31.6	20.4	8.4	1.0	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	4	2	8	47	50	17	7	2	0.60
		100.0	2.9	1.5	5.8	34.3	36.5	12.4	5.1	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	-	3	3	58	46	13	8	1	0.66	
	100.0	-	2.3	2.3	43.9	34.8	9.8	6.1	0.8		
事務職員・その他	43	-	1	1	21	16	3	1	-	0.51	
	100.0	-	2.3	2.3	48.8	37.2	7.0	2.3	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	4	3	2	-	-	0.78	
	100.0	-	-	-	44.4	33.3	22.2	-	-		
管理者・リーダー	718	6	18	30	218	227	153	59	7	0.88	
	100.0	0.8	2.5	4.2	30.4	31.6	21.3	8.2	1.0		
一般職	606	12	14	26	207	204	93	43	7	0.72	
	100.0	2.0	2.3	4.3	34.2	33.7	15.3	7.1	1.2		
その他	17	-	1	1	4	7	2	2	-	0.82	
	100.0	-	5.9	5.9	23.5	41.2	11.8	11.8	-		
経験年数別/5年未満	279	4	6	12	94	100	39	20	4	0.73	
	100.0	1.4	2.2	4.3	33.7	35.8	14.0	7.2	1.4		
5年以上10年未満	352	3	8	16	124	108	70	22	1	0.78	
	100.0	0.9	2.3	4.5	35.2	30.7	19.9	6.3	0.3		
10年以上15年未満	327	8	8	12	104	107	68	17	3	0.75	
	100.0	2.4	2.4	3.7	31.8	32.7	20.8	5.2	0.9		
15年以上	391	3	12	17	117	125	70	43	4	0.89	
	100.0	0.8	3.1	4.3	29.9	32.0	17.9	11.0	1.0		

7) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:②身体的負担(体の痛みなど)が軽減した

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、身体的負担が軽減したと回答した職員が約5割であった。

図表 286 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
②身体的負担(体の痛みなど)が軽減した(グラフ)

問3(2)② 機器導入による夜間勤務職員の変化/身体的負担(体の痛みなど)が軽減した



図表 287 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
②身体的負担(体の痛みなど)が軽減した(表)

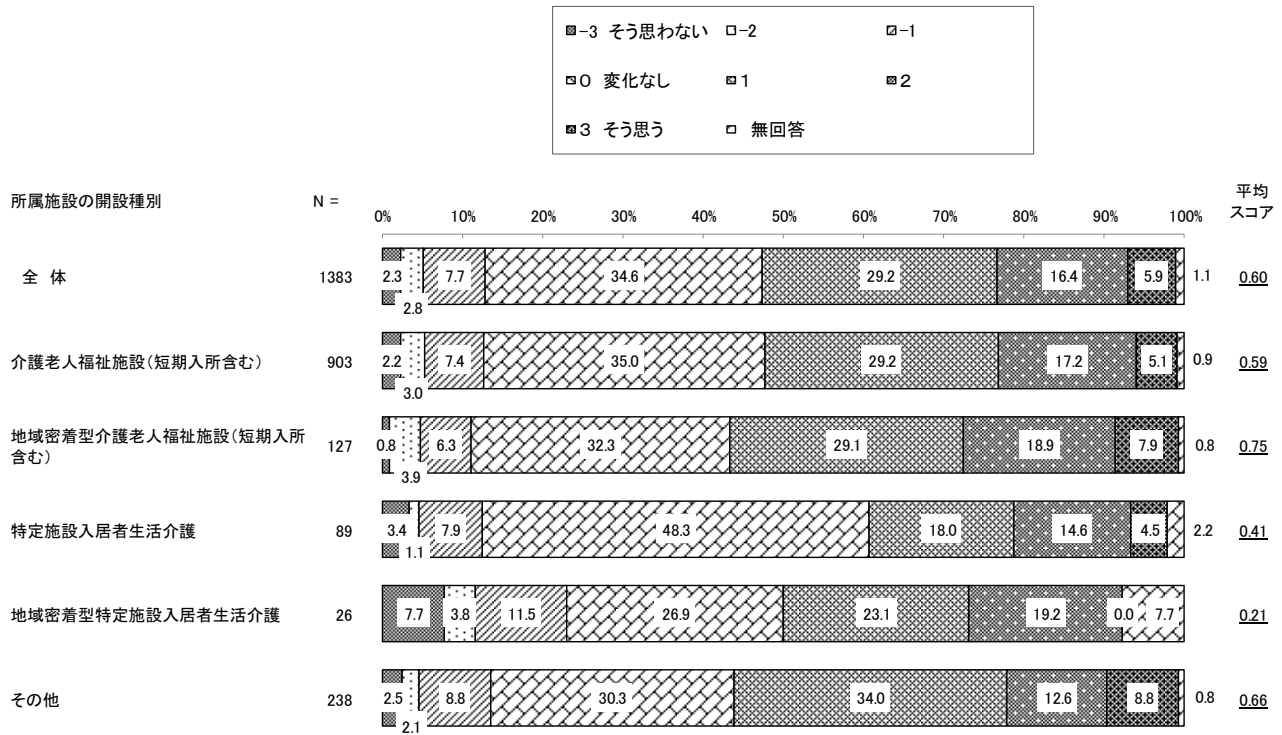
		問3(2)② 機器導入による夜間勤務職員の変化/身体的負担(体の痛みなど)が軽減した									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	22	29	48	619	350	199	98	18	0.64
		100.0	1.6	2.1	3.5	44.8	25.3	14.4	7.1	1.3	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	15	24	26	375	250	146	59	8	0.67
		100.0	1.7	2.7	2.9	41.5	27.7	16.2	6.5	0.9	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	2	2	66	31	9	13	3	0.64
		100.0	0.8	1.6	1.6	52.0	24.4	7.1	10.2	2.4	
	特定施設入居者生活介護	89	2	-	5	46	17	9	6	4	0.49
		100.0	2.2	-	5.6	51.7	19.1	10.1	6.7	4.5	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	1	2	16	4	2	-	-	0.04
		100.0	3.8	3.8	7.7	61.5	15.4	7.7	-	-	
	その他	238	3	2	13	116	48	33	20	3	0.63
		100.0	1.3	0.8	5.5	48.7	20.2	13.9	8.4	1.3	
	性別/男性	650	10	15	25	268	172	109	47	4	0.69
		100.0	1.5	2.3	3.8	41.2	26.5	16.8	7.2	0.6	
	女性	717	12	14	22	343	174	89	50	13	0.59
		100.0	1.7	2.0	3.1	47.8	24.3	12.4	7.0	1.8	
	年齢階級/10~20歳代	155	4	3	4	67	42	24	9	2	0.62
		100.0	2.6	1.9	2.6	43.2	27.1	15.5	5.8	1.3	
	30歳代	412	9	9	14	180	97	68	32	3	0.66
		100.0	2.2	2.2	3.4	43.7	23.5	16.5	7.8	0.7	
	40歳代	455	6	7	23	205	118	67	26	3	0.61
		100.0	1.3	1.5	5.1	45.1	25.9	14.7	5.7	0.7	
	50歳代	266	1	7	6	131	63	29	22	7	0.63
		100.0	0.4	2.6	2.3	49.2	23.7	10.9	8.3	2.6	
	60歳代以上	79	2	3	1	29	24	11	6	3	0.67
		100.0	2.5	3.8	1.3	36.7	30.4	13.9	7.6	3.8	
	職種別/介護福祉士	1056	17	22	37	457	262	172	77	12	0.68
		100.0	1.6	2.1	3.5	43.3	24.8	16.3	7.3	1.1	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	3	3	6	61	43	10	9	2	0.51
		100.0	2.2	2.2	4.4	44.5	31.4	7.3	6.6	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	2	3	62	34	16	10	3	0.64	
	100.0	1.5	1.5	2.3	47.0	25.8	12.1	7.6	2.3		
事務職員・その他	43	-	2	1	29	8	1	2	-	0.26	
	100.0	-	4.7	2.3	67.4	18.6	2.3	4.7	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	6	2	1	-	-	0.44	
	100.0	-	-	-	66.7	22.2	11.1	-	-		
管理者・リーダー	718	8	16	29	311	185	107	54	8	0.67	
	100.0	1.1	2.2	4.0	43.3	25.8	14.9	7.5	1.1		
一般職	606	12	10	17	276	156	84	42	9	0.63	
	100.0	2.0	1.7	2.8	45.5	25.7	13.9	6.9	1.5		
その他	17	2	1	-	8	3	2	1	-	0.12	
	100.0	11.8	5.9	-	47.1	17.6	11.8	5.9	-		
経歴年数別/5年未満	279	2	8	11	131	67	29	23	8	0.59	
	100.0	0.7	2.9	3.9	47.0	24.0	10.4	8.2	2.9		
5年以上10年未満	352	5	5	8	172	91	48	22	1	0.63	
	100.0	1.4	1.4	2.3	48.9	25.9	13.6	6.3	0.3		
10年以上15年未満	327	7	3	12	146	85	53	18	3	0.64	
	100.0	2.1	0.9	3.7	44.6	26.0	16.2	5.5	0.9		
15年以上	391	7	12	17	152	99	66	33	5	0.69	
	100.0	1.8	3.1	4.3	38.9	25.3	16.9	8.4	1.3		

8) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:③精神的負担(ストレスなど)が軽減した

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、精神的負担が軽減したと回答した職員が約5割であった。

図表 288 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:③精神的負担(ストレスなど)が軽減した(グラフ)

問3(2)③ 機器導入による夜間勤務職員の変化/精神的負担(ストレスなど)が軽減した



図表 289 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:③精神的負担(ストレスなど)が軽減した(表)

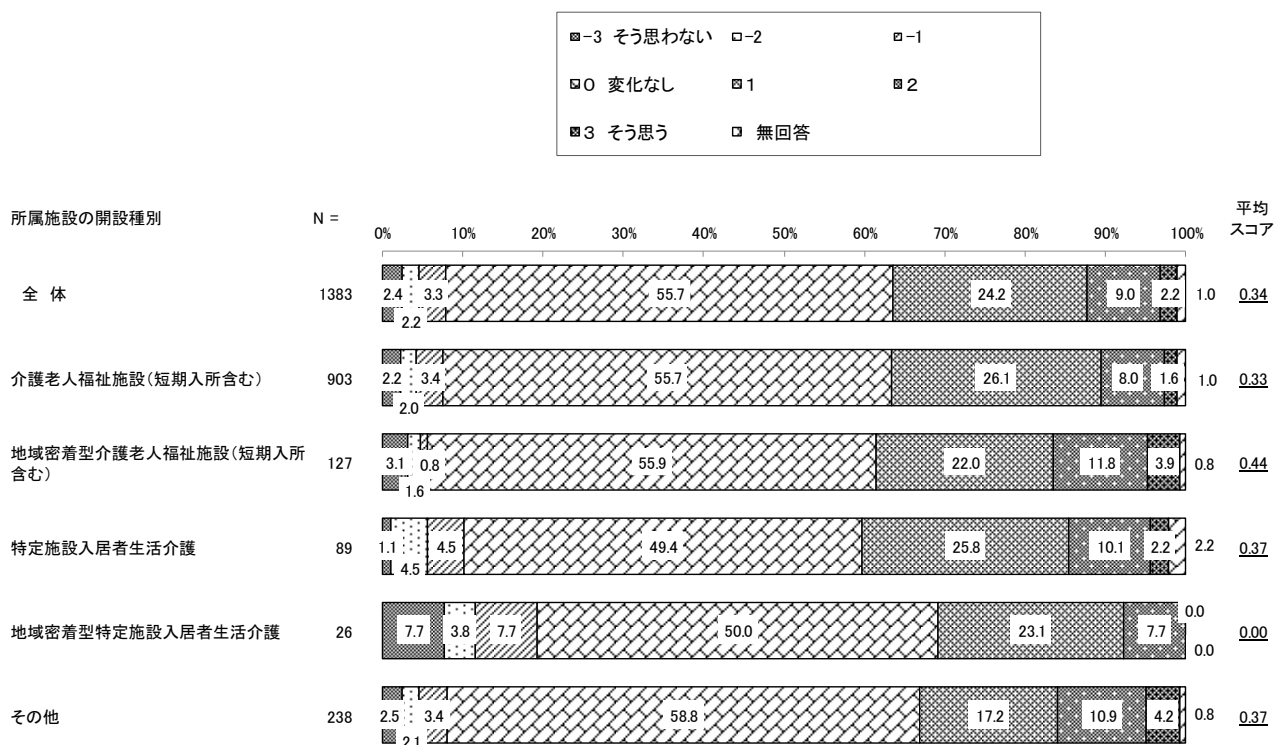
		問3(2)③ 機器導入による夜間勤務職員の変化/精神的負担(ストレスなど)が軽減した									
		全体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全体	1383	32	39	106	479	404	227	81	15	0.60
		100.0	2.3	2.8	7.7	34.6	29.2	16.4	5.9	1.1	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	20	27	67	316	264	155	46	8	0.59
		100.0	2.2	3.0	7.4	35.0	29.2	17.2	5.1	0.9	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	5	8	41	37	24	10	1	0.75
		100.0	0.8	3.9	6.3	32.3	29.1	18.9	7.9	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	3	1	7	43	16	13	4	2	0.41
		100.0	3.4	1.1	7.9	48.3	18.0	14.6	4.5	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	1	3	7	6	5	-	2	0.21
		100.0	7.7	3.8	11.5	26.9	23.1	19.2	-	7.7	
	その他	238	6	5	21	72	81	30	21	2	0.66
		100.0	2.5	2.1	8.8	30.3	34.0	12.6	8.8	0.8	
	性別/男性	650	15	18	52	230	187	108	35	5	0.58
		100.0	2.3	2.8	8.0	35.4	28.8	16.6	5.4	0.8	
	女性	717	17	21	50	245	212	118	45	9	0.62
		100.0	2.4	2.9	7.0	34.2	29.6	16.5	6.3	1.3	
	年齢階級/10~20歳代	155	8	7	10	57	45	22	5	1	0.36
		100.0	5.2	4.5	6.5	36.8	29.0	14.2	3.2	0.6	
	30歳代	412	11	14	34	137	116	73	24	3	0.58
		100.0	2.7	3.4	8.3	33.3	28.2	17.7	5.8	0.7	
	40歳代	455	7	8	47	156	136	71	27	3	0.61
		100.0	1.5	1.8	10.3	34.3	29.9	15.6	5.9	0.7	
	50歳代	266	5	7	11	100	77	45	15	6	0.66
		100.0	1.9	2.6	4.1	37.6	28.9	16.9	5.6	2.3	
	60歳代以上	79	1	3	4	21	26	13	9	2	0.86
		100.0	1.3	3.8	5.1	26.6	32.9	16.5	11.4	2.5	
	職種別/介護福祉士	1056	25	30	85	340	307	192	65	12	0.64
		100.0	2.4	2.8	8.0	32.2	29.1	18.2	6.2	1.1	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	6	5	12	53	38	15	7	1	0.36
		100.0	4.4	3.6	8.8	38.7	27.7	10.9	5.1	0.7	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	1	3	6	59	39	14	8	2	0.58	
	100.0	0.8	2.3	4.5	44.7	29.5	10.6	6.1	1.5		
事務職員・その他	43	-	1	2	21	15	3	1	-	0.47	
	100.0	-	2.3	4.7	48.8	34.9	7.0	2.3	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	7	1	1	-	-	0.33	
	100.0	-	-	-	77.8	11.1	11.1	-	-		
管理者・リーダー	718	12	16	63	238	207	127	47	8	0.66	
	100.0	1.7	2.2	8.8	33.1	28.8	17.7	6.5	1.1		
一般職	606	19	20	40	217	180	92	32	6	0.54	
	100.0	3.1	3.3	6.6	35.8	29.7	15.2	5.3	1.0		
その他	17	1	1	-	7	4	2	2	-	0.53	
	100.0	5.9	5.9	-	41.2	23.5	11.8	11.8	-		
経験年数別/5年未満	279	4	12	23	101	82	36	17	4	0.53	
	100.0	1.4	4.3	8.2	36.2	29.4	12.9	6.1	1.4		
5年以上10年未満	352	8	11	22	123	111	59	15	3	0.59	
	100.0	2.3	3.1	6.3	34.9	31.5	16.8	4.3	0.9		
10年以上15年未満	327	9	8	25	118	92	58	16	1	0.58	
	100.0	2.8	2.4	7.6	36.1	28.1	17.7	4.9	0.3		
15年以上	391	10	7	32	127	106	72	30	7	0.69	
	100.0	2.6	1.8	8.2	32.5	27.1	18.4	7.7	1.8		

9) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:④利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになったと回答した職員が約4割、変化なしと回答した職員が約6割であった。

図表 290 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
④利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった(グラフ)

問3(2)④ 機器導入による夜間勤務職員の変化/利用者との時間が取れるようになった



図表 291 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
④利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった(表)

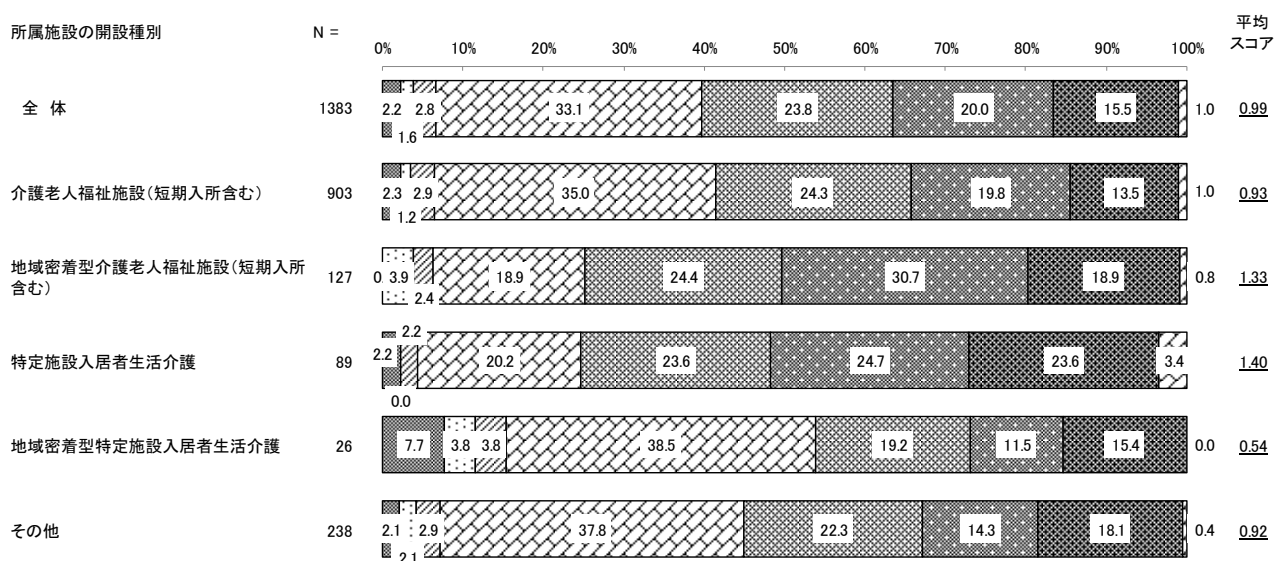
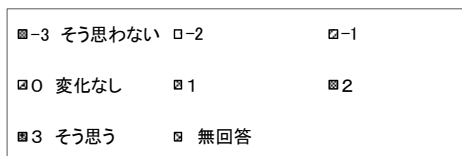
		問3(2)④ 機器導入による夜間勤務職員の変化／利用者との時間が取れるようになった									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	33	30	46	771	334	124	31	14	0.34
		100.0	2.4	2.2	3.3	55.7	24.2	9.0	2.2	1.0	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	20	18	31	503	236	72	14	9	0.33
		100.0	2.2	2.0	3.4	55.7	26.1	8.0	1.6	1.0	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	4	2	1	71	28	15	5	1	0.44
		100.0	3.1	1.6	0.8	55.9	22.0	11.8	3.9	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	1	4	4	44	23	9	2	2	0.37
		100.0	1.1	4.5	4.5	49.4	25.8	10.1	2.2	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	1	2	13	6	2	-	-	0.00
		100.0	7.7	3.8	7.7	50.0	23.1	7.7	-	-	
	その他	238	6	5	8	140	41	26	10	2	0.37
		100.0	2.5	2.1	3.4	58.8	17.2	10.9	4.2	0.8	
	性別／男性	650	18	13	21	359	173	49	13	4	0.32
		100.0	2.8	2.0	3.2	55.2	26.6	7.5	2.0	0.6	
	女性	717	15	14	25	405	159	73	17	9	0.36
		100.0	2.1	2.0	3.5	56.5	22.2	10.2	2.4	1.3	
	年齢階級／10～20歳代	155	8	3	3	78	42	13	4	4	0.31
		100.0	5.2	1.9	1.9	50.3	27.1	8.4	2.6	2.6	
	30歳代	412	8	9	13	226	110	35	8	3	0.36
		100.0	1.9	2.2	3.2	54.9	26.7	8.5	1.9	0.7	
	40歳代	455	11	12	20	259	105	37	9	2	0.28
		100.0	2.4	2.6	4.4	56.9	23.1	8.1	2.0	0.4	
	50歳代	266	4	4	6	160	56	28	5	3	0.38
		100.0	1.5	1.5	2.3	60.2	21.1	10.5	1.9	1.1	
	60歳代以上	79	1	2	3	42	18	7	4	2	0.44
		100.0	1.3	2.5	3.8	53.2	22.8	8.9	5.1	2.5	
	職種別／介護福祉士	1056	27	21	40	586	251	102	21	8	0.34
		100.0	2.6	2.0	3.8	55.5	23.8	9.7	2.0	0.8	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	4	6	2	76	32	11	3	3	0.28
		100.0	2.9	4.4	1.5	55.5	23.4	8.0	2.2	2.2	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	2	3	77	32	9	5	2	0.40	
	100.0	1.5	1.5	2.3	58.3	24.2	6.8	3.8	1.5		
事務職員・その他	43	-	1	1	23	15	1	2	-	0.47	
	100.0	-	2.3	2.3	53.5	34.9	2.3	4.7	-		
役職別／経営層	9	-	-	-	7	2	-	-	-	0.22	
	100.0	-	-	-	77.8	22.2	-	-	-		
管理者・リーダー	718	15	16	27	376	203	61	15	5	0.37	
	100.0	2.1	2.2	3.8	52.4	28.3	8.5	2.1	0.7		
一般職	606	17	13	16	354	126	56	16	8	0.32	
	100.0	2.8	2.1	2.6	58.4	20.8	9.2	2.6	1.3		
その他	17	1	1	1	10	1	3	-	-	0.06	
	100.0	5.9	5.9	5.9	58.8	5.9	17.6	-	-		
経歴年数別／5年未満	279	5	5	7	165	60	22	10	5	0.37	
	100.0	1.8	1.8	2.5	59.1	21.5	7.9	3.6	1.8		
5年以上10年未満	352	5	9	18	179	93	37	8	3	0.40	
	100.0	1.4	2.6	5.1	50.9	26.4	10.5	2.3	0.9		
10年以上15年未満	327	8	8	7	193	83	25	1	2	0.27	
	100.0	2.4	2.4	2.1	59.0	25.4	7.6	0.3	0.6		
15年以上	391	15	8	13	212	90	37	12	4	0.33	
	100.0	3.8	2.0	3.3	54.2	23.0	9.5	3.1	1.0		

10) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑤訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、訪室しなくても利用者の状況が分かるようになったと回答した職員が約6割であった。

図表 292 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑤訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)(グラフ)

問3(2)⑤ 機器導入による夜間勤務職員の変化/訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)



図表 293 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑤訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)(表)

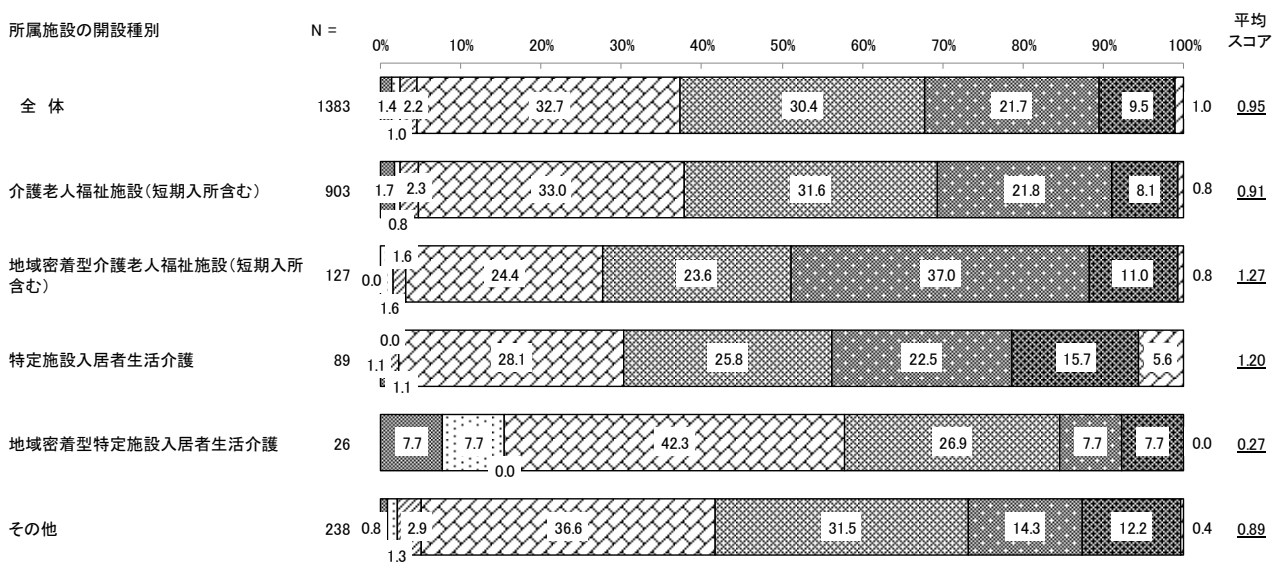
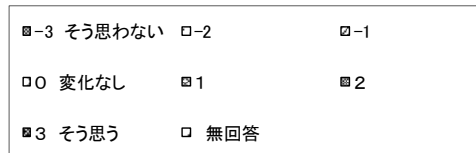
		問3(2)⑤ 機器導入による夜間勤務職員の変化／訪室しなくても利用者の状況が分かる(即時性)									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	30	22	39	458	329	277	214	14	0.99
		100.0	2.2	1.6	2.8	33.1	23.8	20.0	15.5	1.0	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	21	11	26	316	219	179	122	9	0.93
		100.0	2.3	1.2	2.9	35.0	24.3	19.8	13.5	1.0	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	5	3	24	31	39	24	1	1.33
		100.0	-	3.9	2.4	18.9	24.4	30.7	18.9	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	2	-	2	18	21	22	21	3	1.40
		100.0	2.2	-	2.2	20.2	23.6	24.7	23.6	3.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	1	1	10	5	3	4	-	0.54
		100.0	7.7	3.8	3.8	38.5	19.2	11.5	15.4	-	
	その他	238	5	5	7	90	53	34	43	1	0.92
		100.0	2.1	2.1	2.9	37.8	22.3	14.3	18.1	0.4	
	性別／男性	650	13	10	16	222	154	123	104	8	0.99
		100.0	2.0	1.5	2.5	34.2	23.7	18.9	16.0	1.2	
	女性	717	15	12	23	233	170	149	110	5	0.99
		100.0	2.1	1.7	3.2	32.5	23.7	20.8	15.3	0.7	
	年齢階級／10～20歳代	155	4	3	8	50	47	22	20	1	0.81
		100.0	2.6	1.9	5.2	32.3	30.3	14.2	12.9	0.6	
	30歳代	412	10	6	8	135	85	93	70	5	1.06
		100.0	2.4	1.5	1.9	32.8	20.6	22.6	17.0	1.2	
	40歳代	455	10	7	13	157	108	83	72	5	0.96
		100.0	2.2	1.5	2.9	34.5	23.7	18.2	15.8	1.1	
	50歳代	266	4	4	9	88	65	61	33	2	0.97
		100.0	1.5	1.5	3.4	33.1	24.4	22.9	12.4	0.8	
	60歳代以上	79	2	1	1	22	18	16	18	1	1.22
		100.0	2.5	1.3	1.3	27.8	22.8	20.3	22.8	1.3	
	職種別／介護福祉士	1056	24	18	26	335	239	222	184	8	1.05
		100.0	2.3	1.7	2.5	31.7	22.6	21.0	17.4	0.8	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	2	4	7	48	43	21	10	2	0.70
		100.0	1.5	2.9	5.1	35.0	31.4	15.3	7.3	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	4	-	2	53	30	28	12	3	0.84	
	100.0	3.0	-	1.5	40.2	22.7	21.2	9.1	2.3		
事務職員・その他	43	-	-	3	19	11	4	6	-	0.79	
	100.0	-	-	7.0	44.2	25.6	9.3	14.0	-		
役職別／経営層	9	-	-	-	4	3	2	-	-	0.78	
	100.0	-	-	-	44.4	33.3	22.2	-	-		
管理者・リーダー	718	18	11	19	231	161	142	129	7	1.04	
	100.0	2.5	1.5	2.6	32.2	22.4	19.8	18.0	1.0		
一般職	606	12	10	18	208	151	121	80	6	0.93	
	100.0	2.0	1.7	3.0	34.3	24.9	20.0	13.2	1.0		
その他	17	-	1	1	5	4	3	3	-	0.94	
	100.0	-	5.9	5.9	29.4	23.5	17.6	17.6	-		
経験年数別／5年未満	279	3	5	12	91	73	55	35	5	0.94	
	100.0	1.1	1.8	4.3	32.6	26.2	19.7	12.5	1.8		
5年以上10年未満	352	8	3	11	105	90	70	64	1	1.09	
	100.0	2.3	0.9	3.1	29.8	25.6	19.9	18.2	0.3		
10年以上15年未満	327	11	3	3	117	78	57	54	4	0.97	
	100.0	3.4	0.9	0.9	35.8	23.9	17.4	16.5	1.2		
15年以上	391	8	11	12	133	79	86	58	4	0.95	
	100.0	2.0	2.8	3.1	34.0	20.2	22.0	14.8	1.0		

11) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑥利用者の行動パターンが把握できるようになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、利用者の行動パターンが把握できるようになったと回答した職員が約6割であった。

図表 294 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑥利用者の行動パターンが把握できるようになった(グラフ)

問3(2)⑥ 機器導入による夜間勤務職員の変化/利用者の行動パターンが把握できる



図表 295 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑥利用者の行動パターンが把握できるようになった(表)

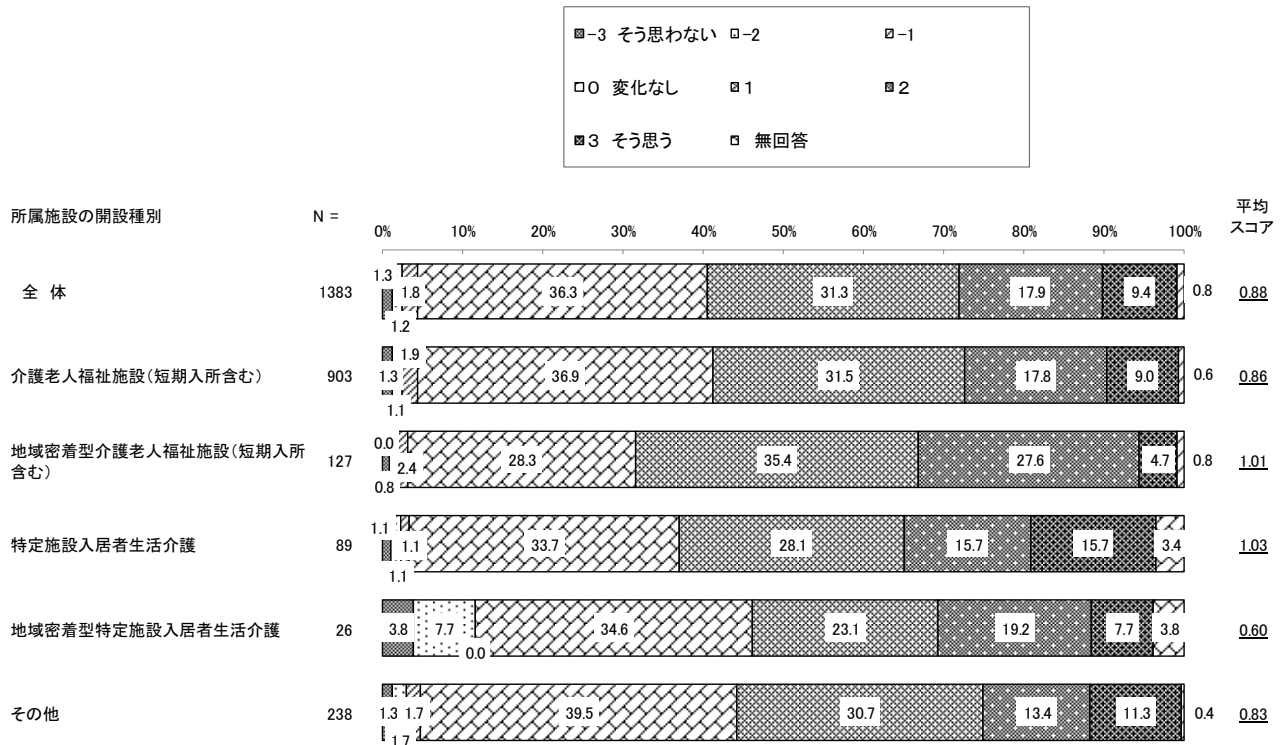
		問3(2)⑥ 機器導入による夜間勤務職員の変化/利用者の行動パターンが把握できる									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	20	14	31	452	420	300	132	14	0.95
		100.0	1.4	1.0	2.2	32.7	30.4	21.7	9.5	1.0	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	15	7	21	298	285	197	73	7	0.91
		100.0	1.7	0.8	2.3	33.0	31.6	21.8	8.1	0.8	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	2	2	31	30	47	14	1	1.27
		100.0	-	1.6	1.6	24.4	23.6	37.0	11.0	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	1	-	1	25	23	20	14	5	1.20
		100.0	1.1	-	1.1	28.1	25.8	22.5	15.7	5.6	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	2	-	11	7	2	2	-	0.27
		100.0	7.7	7.7	-	42.3	26.9	7.7	7.7	-	
	その他	238	2	3	7	87	75	34	29	1	0.89
		100.0	0.8	1.3	2.9	36.6	31.5	14.3	12.2	0.4	
	性別/男性	650	10	7	18	219	194	135	61	6	0.91
		100.0	1.5	1.1	2.8	33.7	29.8	20.8	9.4	0.9	
	女性	717	9	7	11	229	223	160	71	7	0.99
		100.0	1.3	1.0	1.5	31.9	31.1	22.3	9.9	1.0	
	年齢階級/10~20歳代	155	4	3	4	47	59	26	11	1	0.79
		100.0	2.6	1.9	2.6	30.3	38.1	16.8	7.1	0.6	
	30歳代	412	8	4	8	129	109	103	47	4	1.02
		100.0	1.9	1.0	1.9	31.3	26.5	25.0	11.4	1.0	
	40歳代	455	6	6	9	155	151	83	41	4	0.89
		100.0	1.3	1.3	2.0	34.1	33.2	18.2	9.0	0.9	
	50歳代	266	2	-	8	97	71	62	22	4	0.94
		100.0	0.8	-	3.0	36.5	26.7	23.3	8.3	1.5	
	60歳代以上	79	-	1	2	20	24	21	10	1	1.18
		100.0	-	1.3	2.5	25.3	30.4	26.6	12.7	1.3	
	職種別/介護福祉士	1056	15	10	21	335	326	232	108	9	0.98
		100.0	1.4	0.9	2.0	31.7	30.9	22.0	10.2	0.9	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	3	3	5	52	39	22	10	3	0.69
		100.0	2.2	2.2	3.6	38.0	28.5	16.1	7.3	2.2	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	-	3	46	34	34	11	2	0.97	
	100.0	1.5	-	2.3	34.8	25.8	25.8	8.3	1.5		
事務職員・その他	43	-	1	2	16	13	8	3	-	0.79	
	100.0	-	2.3	4.7	37.2	30.2	18.6	7.0	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	3	4	2	-	-	0.89	
	100.0	-	-	-	33.3	44.4	22.2	-	-		
管理者・リーダー	718	9	8	17	219	222	165	73	5	1.00	
	100.0	1.3	1.1	2.4	30.5	30.9	23.0	10.2	0.7		
一般職	606	11	6	13	210	181	119	57	9	0.89	
	100.0	1.8	1.0	2.1	34.7	29.9	19.6	9.4	1.5		
その他	17	-	-	1	6	6	2	2	-	0.88	
	100.0	-	-	5.9	35.3	35.3	11.8	11.8	-		
経験年数別/5年未満	279	1	6	7	85	90	56	29	5	0.97	
	100.0	0.4	2.2	2.5	30.5	32.3	20.1	10.4	1.8		
5年以上10年未満	352	6	4	8	113	113	73	34	1	0.93	
	100.0	1.7	1.1	2.3	32.1	32.1	20.7	9.7	0.3		
10年以上15年未満	327	9	1	7	114	94	66	32	4	0.89	
	100.0	2.8	0.3	2.1	34.9	28.7	20.2	9.8	1.2		
15年以上	391	4	3	9	126	111	99	35	4	1.00	
	100.0	1.0	0.8	2.3	32.2	28.4	25.3	9.0	1.0		

12) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ⑦事故原因分析の参考情報にできた

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、事故原因分析の参考情報に活用できたと回答した職員が約6割であった。

図表 296 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑦事故原因分析の参考情報にできた(グラフ)

問3(2)⑦ 機器導入による夜間勤務職員の変化/事故原因分析の参考情報にできた



図表 297 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑦事故原因分析の参考情報にできた(表)

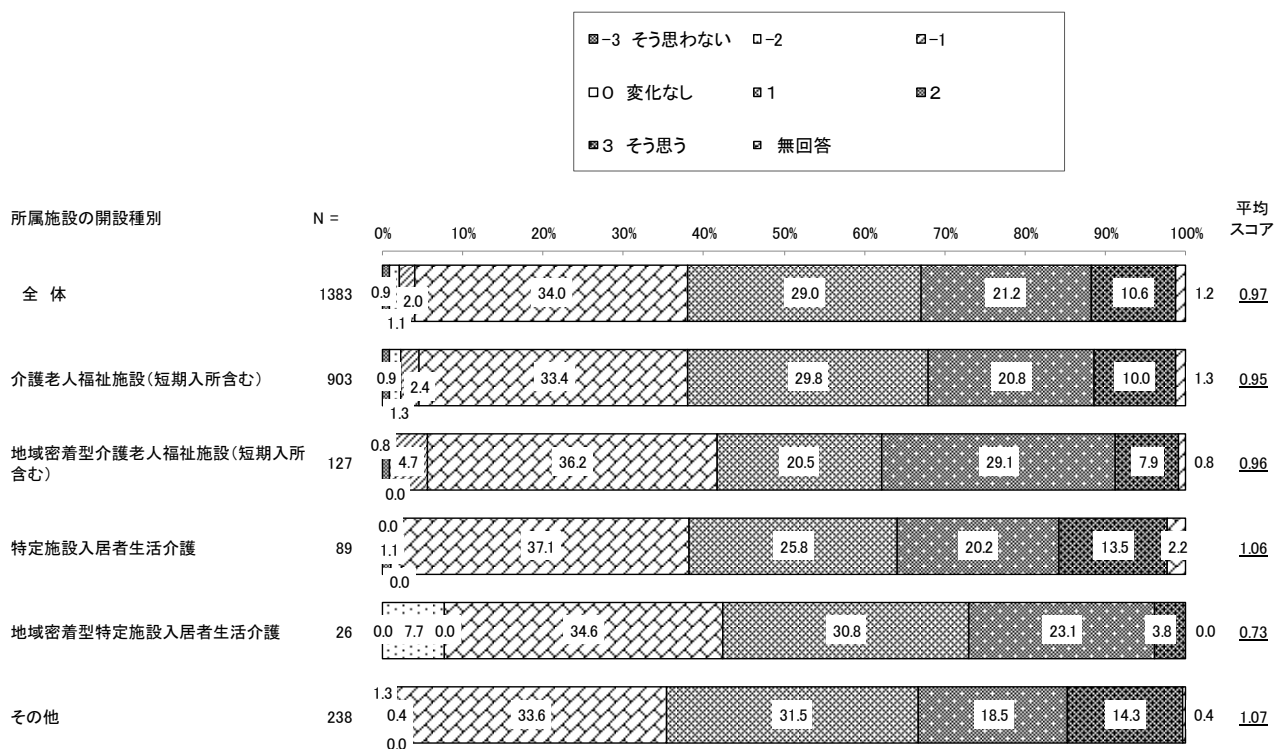
		問3(2)⑦ 機器導入による夜間勤務職員の変化/事故原因分析の参考情報にできた									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	18	17	25	502	433	247	130	11	0.88
		100.0	1.3	1.2	1.8	36.3	31.3	17.9	9.4	0.8	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	12	10	17	333	284	161	81	5	0.86
		100.0	1.3	1.1	1.9	36.9	31.5	17.8	9.0	0.6	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	-	3	36	45	35	6	1	1.01
		100.0	0.8	-	2.4	28.3	35.4	27.6	4.7	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	1	1	1	30	25	14	14	3	1.03
		100.0	1.1	1.1	1.1	33.7	28.1	15.7	15.7	3.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	2	-	9	6	5	2	1	0.60
		100.0	3.8	7.7	-	34.6	23.1	19.2	7.7	3.8	
	その他	238	3	4	4	94	73	32	27	1	0.83
		100.0	1.3	1.7	1.7	39.5	30.7	13.4	11.3	0.4	
	性別/男性	650	9	7	12	236	211	106	65	4	0.87
		100.0	1.4	1.1	1.8	36.3	32.5	16.3	10.0	0.6	
	女性	717	8	10	11	260	219	139	64	6	0.89
		100.0	1.1	1.4	1.5	36.3	30.5	19.4	8.9	0.8	
	年齢階級/10~20歳代	155	3	4	1	63	53	17	13	1	0.70
		100.0	1.9	2.6	0.6	40.6	34.2	11.0	8.4	0.6	
	30歳代	412	8	3	10	131	129	92	36	3	0.93
		100.0	1.9	0.7	2.4	31.8	31.3	22.3	8.7	0.7	
	40歳代	455	4	7	9	184	140	69	40	2	0.80
		100.0	0.9	1.5	2.0	40.4	30.8	15.2	8.8	0.4	
	50歳代	266	2	1	4	99	78	51	27	4	0.95
		100.0	0.8	0.4	1.5	37.2	29.3	19.2	10.2	1.5	
	60歳代以上	79	1	2	1	22	25	15	12	1	1.06
		100.0	1.3	2.5	1.3	27.8	31.6	19.0	15.2	1.3	
	職種別/介護福祉士	1056	14	13	17	374	337	191	103	7	0.90
		100.0	1.3	1.2	1.6	35.4	31.9	18.1	9.8	0.7	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	3	2	5	57	44	15	9	2	0.61
		100.0	2.2	1.5	3.6	41.6	32.1	10.9	6.6	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	1	1	2	49	32	34	11	2	0.97	
	100.0	0.8	0.8	1.5	37.1	24.2	25.8	8.3	1.5		
事務職員・その他	43	-	1	1	17	13	6	5	-	0.86	
	100.0	-	2.3	2.3	39.5	30.2	14.0	11.6	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	1	5	2	1	-	1.33	
	100.0	-	-	-	11.1	55.6	22.2	11.1	-		
管理者・リーダー	718	9	7	12	249	232	131	73	5	0.93	
	100.0	1.3	1.0	1.7	34.7	32.3	18.2	10.2	0.7		
一般職	606	8	10	12	233	182	103	52	6	0.81	
	100.0	1.3	1.7	2.0	38.4	30.0	17.0	8.6	1.0		
その他	17	1	-	-	6	6	1	3	-	0.82	
	100.0	5.9	-	-	35.3	35.3	5.9	17.6	-		
経験年数別/5年未満	279	2	4	9	95	95	43	27	4	0.87	
	100.0	0.7	1.4	3.2	34.1	34.1	15.4	9.7	1.4		
5年以上10年未満	352	4	5	7	120	117	56	41	2	0.92	
	100.0	1.1	1.4	2.0	34.1	33.2	15.9	11.6	0.6		
10年以上15年未満	327	8	3	4	135	88	66	21	2	0.77	
	100.0	2.4	0.9	1.2	41.3	26.9	20.2	6.4	0.6		
15年以上	391	4	5	5	141	118	78	38	2	0.93	
	100.0	1.0	1.3	1.3	36.1	30.2	19.9	9.7	0.5		

13) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑧優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中)

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、優先順位の判断ができるようになったと回答した職員が約6割であった。

図表 298 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑧優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中)(グラフ)

問3(2)⑧ 機器導入による夜間勤務職員の変化/優先順位の判断ができる(同時コール、他の利用者の介護中)



図表 299(表) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑧優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中)(表)

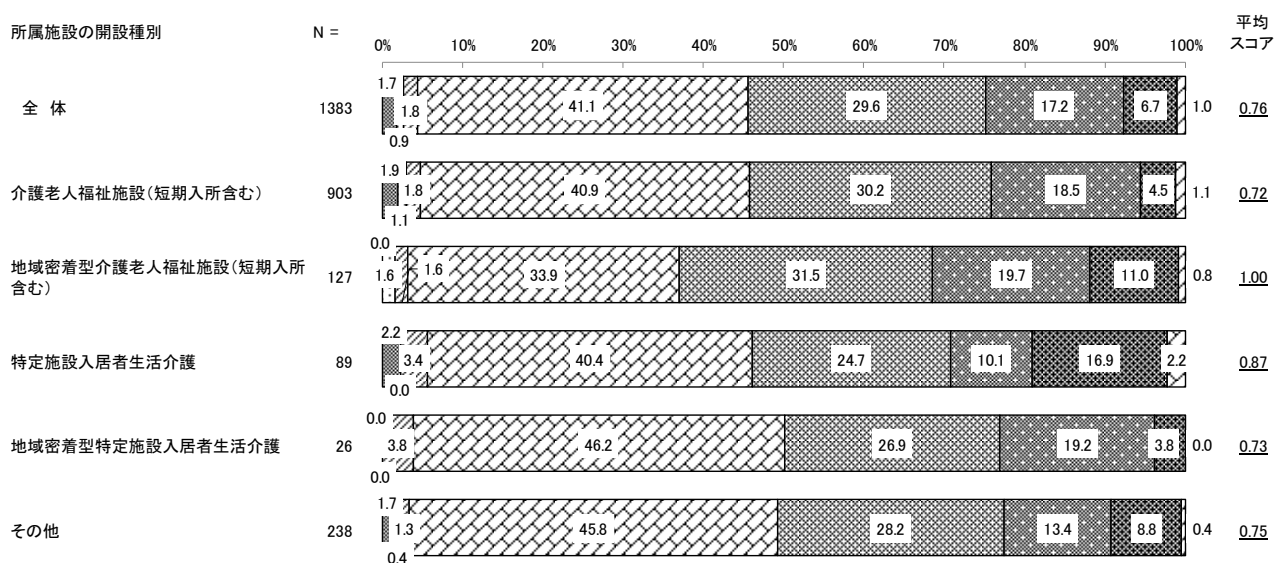
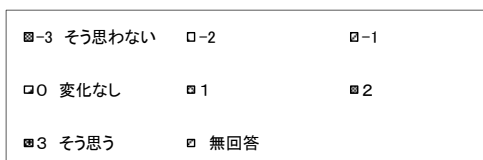
		問3(2)⑧ 機器導入による夜間勤務職員の変化/優先順位の判断ができる(同時コール、他の利用者の介護中)									
		全体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全体	1383	13	15	28	470	401	293	147	16	0.97
		100.0	0.9	1.1	2.0	34.0	29.0	21.2	10.6	1.2	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	8	12	22	302	269	188	90	12	0.95
		100.0	0.9	1.3	2.4	33.4	29.8	20.8	10.0	1.3	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	-	6	46	26	37	10	1	0.96
		100.0	0.8	-	4.7	36.2	20.5	29.1	7.9	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	1	-	-	33	23	18	12	2	1.06
		100.0	1.1	-	-	37.1	25.8	20.2	13.5	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	2	-	9	8	6	1	-	0.73
		100.0	-	7.7	-	34.6	30.8	23.1	3.8	-	
	その他	238	3	1	-	80	75	44	34	1	1.07
		100.0	1.3	0.4	-	33.6	31.5	18.5	14.3	0.4	
	性別/男性	650	8	4	12	227	187	134	70	8	0.97
		100.0	1.2	0.6	1.8	34.9	28.8	20.6	10.8	1.2	
	女性	717	5	11	15	237	209	157	76	7	0.98
		100.0	0.7	1.5	2.1	33.1	29.1	21.9	10.6	1.0	
	年齢階級/10~20歳代	155	1	4	1	54	50	28	16	1	0.92
		100.0	0.6	2.6	0.6	34.8	32.3	18.1	10.3	0.6	
	30歳代	412	3	5	10	138	106	98	46	6	1.01
		100.0	0.7	1.2	2.4	33.5	25.7	23.8	11.2	1.5	
	40歳代	455	6	3	9	160	138	84	51	4	0.94
		100.0	1.3	0.7	2.0	35.2	30.3	18.5	11.2	0.9	
	50歳代	266	3	3	6	96	74	56	25	3	0.91
		100.0	1.1	1.1	2.3	36.1	27.8	21.1	9.4	1.1	
	60歳代以上	79	-	-	1	20	25	23	8	2	1.22
		100.0	-	-	1.3	25.3	31.6	29.1	10.1	2.5	
	職種別/介護福祉士	1056	12	11	19	331	304	234	135	10	1.05
		100.0	1.1	1.0	1.8	31.3	28.8	22.2	12.8	0.9	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	4	3	57	40	29	2	2	0.69
		100.0	-	2.9	2.2	41.6	29.2	21.2	1.5	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	1	-	2	62	34	22	7	4	0.73	
	100.0	0.8	-	1.5	47.0	25.8	16.7	5.3	3.0		
事務職員・その他	43	-	-	4	18	15	4	2	-	0.58	
	100.0	-	-	9.3	41.9	34.9	9.3	4.7	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	3	6	-	-	-	0.67	
	100.0	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-		
管理者・リーダー	718	8	7	15	233	208	153	86	8	1.01	
	100.0	1.1	1.0	2.1	32.5	29.0	21.3	12.0	1.1		
一般職	606	5	8	13	218	173	125	57	7	0.92	
	100.0	0.8	1.3	2.1	36.0	28.5	20.6	9.4	1.2		
その他	17	-	-	-	5	8	4	-	-	0.94	
	100.0	-	-	-	29.4	47.1	23.5	-	-		
経験年数別/5年未満	279	1	2	9	107	86	47	22	5	0.84	
	100.0	0.4	0.7	3.2	38.4	30.8	16.8	7.9	1.8		
5年以上10年未満	352	2	3	9	114	101	80	41	2	1.04	
	100.0	0.6	0.9	2.6	32.4	28.7	22.7	11.6	0.6		
10年以上15年未満	327	5	5	3	112	96	71	31	4	0.94	
	100.0	1.5	1.5	0.9	34.3	29.4	21.7	9.5	1.2		
15年以上	391	5	5	7	121	111	88	50	4	1.05	
	100.0	1.3	1.3	1.8	30.9	28.4	22.5	12.8	1.0		

14) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑨利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等)

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、利用者のペースに合わせた介助ができるようになったと回答した職員が約5割であった。

図表 300 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑨利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等) (グラフ)

問3(2)⑨ 機器導入による夜間勤務職員の変化/利用者のペースに合わせた介助ができる



図表 301 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑨利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等) (表)

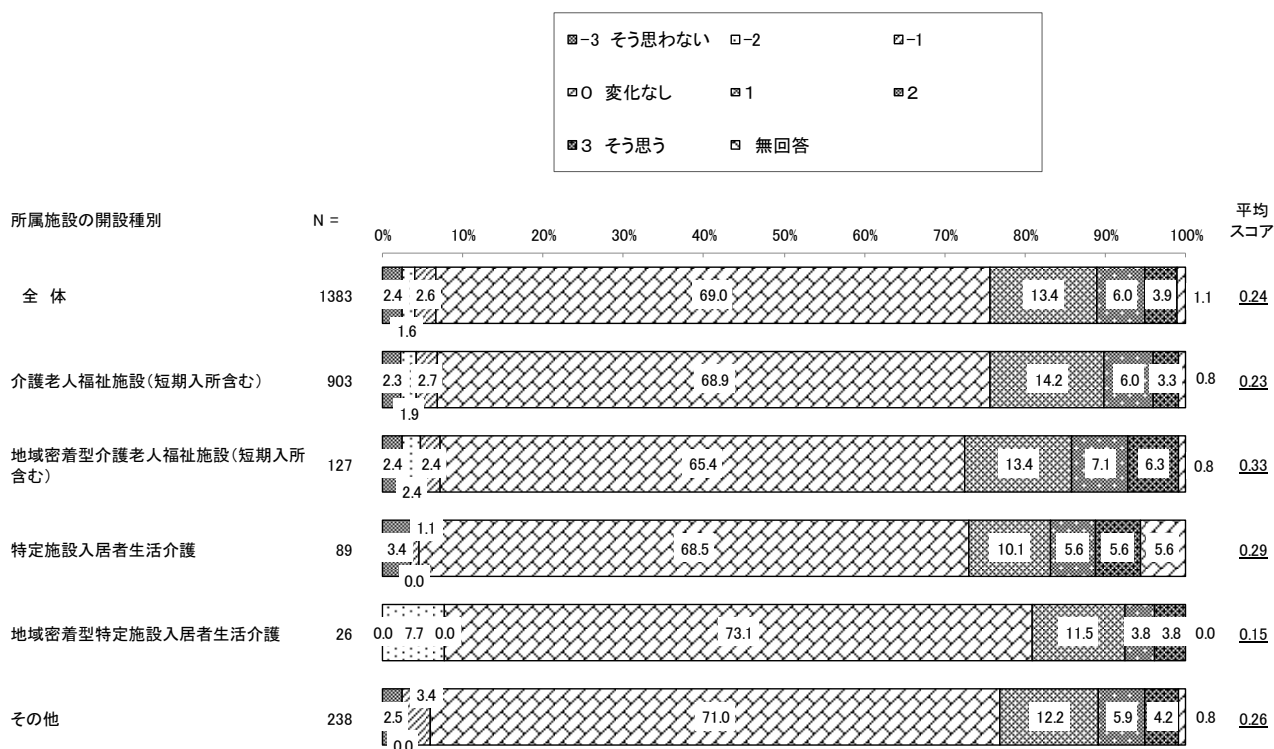
		問3(2)⑨ 機器導入による夜間勤務職員の変化/利用者のペースに合わせた介助ができる									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	23	13	25	569	409	238	92	14	0.76
		100.0	1.7	0.9	1.8	41.1	29.6	17.2	6.7	1.0	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	17	10	16	369	273	167	41	10	0.72
		100.0	1.9	1.1	1.8	40.9	30.2	18.5	4.5	1.1	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	2	2	43	40	25	14	1	1.00
		100.0	-	1.6	1.6	33.9	31.5	19.7	11.0	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	2	-	3	36	22	9	15	2	0.87
		100.0	2.2	-	3.4	40.4	24.7	10.1	16.9	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	-	1	12	7	5	1	-	0.73
		100.0	-	-	3.8	46.2	26.9	19.2	3.8	-	
	その他	238	4	1	3	109	67	32	21	1	0.75
		100.0	1.7	0.4	1.3	45.8	28.2	13.4	8.8	0.4	
	性別/男性	650	12	7	16	265	200	107	34	9	0.70
		100.0	1.8	1.1	2.5	40.8	30.8	16.5	5.2	1.4	
	女性	717	10	6	9	298	204	128	58	4	0.82
		100.0	1.4	0.8	1.3	41.6	28.5	17.9	8.1	0.6	
	年齢階級/10~20歳代	155	2	2	2	62	51	30	5	1	0.74
		100.0	1.3	1.3	1.3	40.0	32.9	19.4	3.2	0.6	
	30歳代	412	9	1	8	163	127	67	32	5	0.79
		100.0	2.2	0.2	1.9	39.6	30.8	16.3	7.8	1.2	
	40歳代	455	7	6	9	201	132	67	28	5	0.68
		100.0	1.5	1.3	2.0	44.2	29.0	14.7	6.2	1.1	
	50歳代	266	5	3	3	109	75	51	18	2	0.78
		100.0	1.9	1.1	1.1	41.0	28.2	19.2	6.8	0.8	
	60歳代以上	79	-	1	2	28	17	21	9	1	1.05
		100.0	-	1.3	2.5	35.4	21.5	26.6	11.4	1.3	
	職種別/介護福祉士	1056	20	8	18	414	316	191	80	9	0.81
		100.0	1.9	0.8	1.7	39.2	29.9	18.1	7.6	0.9	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	3	2	60	45	21	4	2	0.67
		100.0	-	2.2	1.5	43.8	32.8	15.3	2.9	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	3	-	3	65	34	19	5	3	0.58	
	100.0	2.3	-	2.3	49.2	25.8	14.4	3.8	2.3		
事務職員・その他	43	-	1	2	24	9	5	2	-	0.49	
	100.0	-	2.3	4.7	55.8	20.9	11.6	4.7	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	5	4	-	-	-	0.44	
	100.0	-	-	-	55.6	44.4	-	-	-		
管理者・リーダー	718	13	8	16	276	222	125	51	7	0.78	
	100.0	1.8	1.1	2.2	38.4	30.9	17.4	7.1	1.0		
一般職	606	9	4	9	265	174	100	39	6	0.75	
	100.0	1.5	0.7	1.5	43.7	28.7	16.5	6.4	1.0		
その他	17	1	-	-	6	5	4	1	-	0.76	
	100.0	5.9	-	-	35.3	29.4	23.5	5.9	-		
経歴年数別/5年未満	279	1	3	6	135	81	32	16	5	0.65	
	100.0	0.4	1.1	2.2	48.4	29.0	11.5	5.7	1.8		
5年以上10年未満	352	3	4	7	132	111	65	29	1	0.87	
	100.0	0.9	1.1	2.0	37.5	31.5	18.5	8.2	0.3		
10年以上15年未満	327	8	2	5	131	94	65	16	6	0.74	
	100.0	2.4	0.6	1.5	40.1	28.7	19.9	4.9	1.8		
15年以上	391	11	4	7	152	114	73	28	2	0.76	
	100.0	2.8	1.0	1.8	38.9	29.2	18.7	7.2	0.5		

15) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ⑩休憩時間に休むことができるようになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、休憩時間に休むことができるようになったと回答した職員が約2割、変化なしと回答した職員が約7割であった。

図表 302 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑩休憩時間に休むことができるようになった(グラフ)

問3(2)⑩ 機器導入による夜間勤務職員の変化/休憩時間に休むことができる



図表 303 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑩休憩時間に休むことができるようになった(表)

		問3(2)⑩ 機器導入による夜間勤務職員の変化／休憩時間に休むことができる									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	33	22	36	954	186	83	54	15	0.24
		100.0	2.4	1.6	2.6	69.0	13.4	6.0	3.9	1.1	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	21	17	24	622	128	54	30	7	0.23
		100.0	2.3	1.9	2.7	68.9	14.2	6.0	3.3	0.8	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	3	3	3	83	17	9	8	1	0.33
		100.0	2.4	2.4	2.4	65.4	13.4	7.1	6.3	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	3	-	1	61	9	5	5	5	0.29
		100.0	3.4	-	1.1	68.5	10.1	5.6	5.6	5.6	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	2	-	19	3	1	1	-	0.15
		100.0	-	7.7	-	73.1	11.5	3.8	3.8	-	
	その他	238	6	-	8	169	29	14	10	2	0.26
		100.0	2.5	-	3.4	71.0	12.2	5.9	4.2	0.8	
	性別／男性	650	22	9	13	452	88	32	28	6	0.22
		100.0	3.4	1.4	2.0	69.5	13.5	4.9	4.3	0.9	
	女性	717	11	13	22	492	95	50	26	8	0.27
		100.0	1.5	1.8	3.1	68.6	13.2	7.0	3.6	1.1	
	年齢階級／10～20歳代	155	3	1	3	108	25	7	7	1	0.30
		100.0	1.9	0.6	1.9	69.7	16.1	4.5	4.5	0.6	
	30歳代	412	10	6	12	275	59	25	21	4	0.29
		100.0	2.4	1.5	2.9	66.7	14.3	6.1	5.1	1.0	
	40歳代	455	11	10	14	325	51	29	13	2	0.18
		100.0	2.4	2.2	3.1	71.4	11.2	6.4	2.9	0.4	
	50歳代	266	4	4	4	190	35	15	8	6	0.25
		100.0	1.5	1.5	1.5	71.4	13.2	5.6	3.0	2.3	
	60歳代以上	79	5	-	2	50	9	6	5	2	0.25
		100.0	6.3	-	2.5	63.3	11.4	7.6	6.3	2.5	
	職種別／介護福祉士	1056	29	14	28	727	139	66	44	9	0.25
		100.0	2.7	1.3	2.7	68.8	13.2	6.3	4.2	0.9	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	6	3	97	20	3	5	3	0.19
		100.0	-	4.4	2.2	70.8	14.6	2.2	3.6	2.2	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	3	-	4	88	17	13	4	3	0.33	
	100.0	2.3	-	3.0	66.7	12.9	9.8	3.0	2.3		
事務職員・その他	43	-	2	1	31	8	-	1	-	0.14	
	100.0	-	4.7	2.3	72.1	18.6	-	2.3	-		
役職別／経営層	9	-	-	-	7	2	-	-	-	0.22	
	100.0	-	-	-	77.8	22.2	-	-	-		
管理者・リーダー	718	16	11	21	493	100	43	30	4	0.26	
	100.0	2.2	1.5	2.9	68.7	13.9	6.0	4.2	0.6		
一般職	606	15	11	14	419	78	35	24	10	0.23	
	100.0	2.5	1.8	2.3	69.1	12.9	5.8	4.0	1.7		
その他	17	1	-	1	11	1	3	-	-	0.18	
	100.0	5.9	-	5.9	64.7	5.9	17.6	-	-		
経歴年数別／5年未満	279	4	7	10	184	41	18	9	6	0.25	
	100.0	1.4	2.5	3.6	65.9	14.7	6.5	3.2	2.2		
5年以上10年未満	352	8	2	9	247	47	20	17	2	0.29	
	100.0	2.3	0.6	2.6	70.2	13.4	5.7	4.8	0.6		
10年以上15年未満	327	11	6	6	234	40	19	7	4	0.15	
	100.0	3.4	1.8	1.8	71.6	12.2	5.8	2.1	1.2		
15年以上	391	10	7	10	268	50	25	18	3	0.26	
	100.0	2.6	1.8	2.6	68.5	12.8	6.4	4.6	0.8		

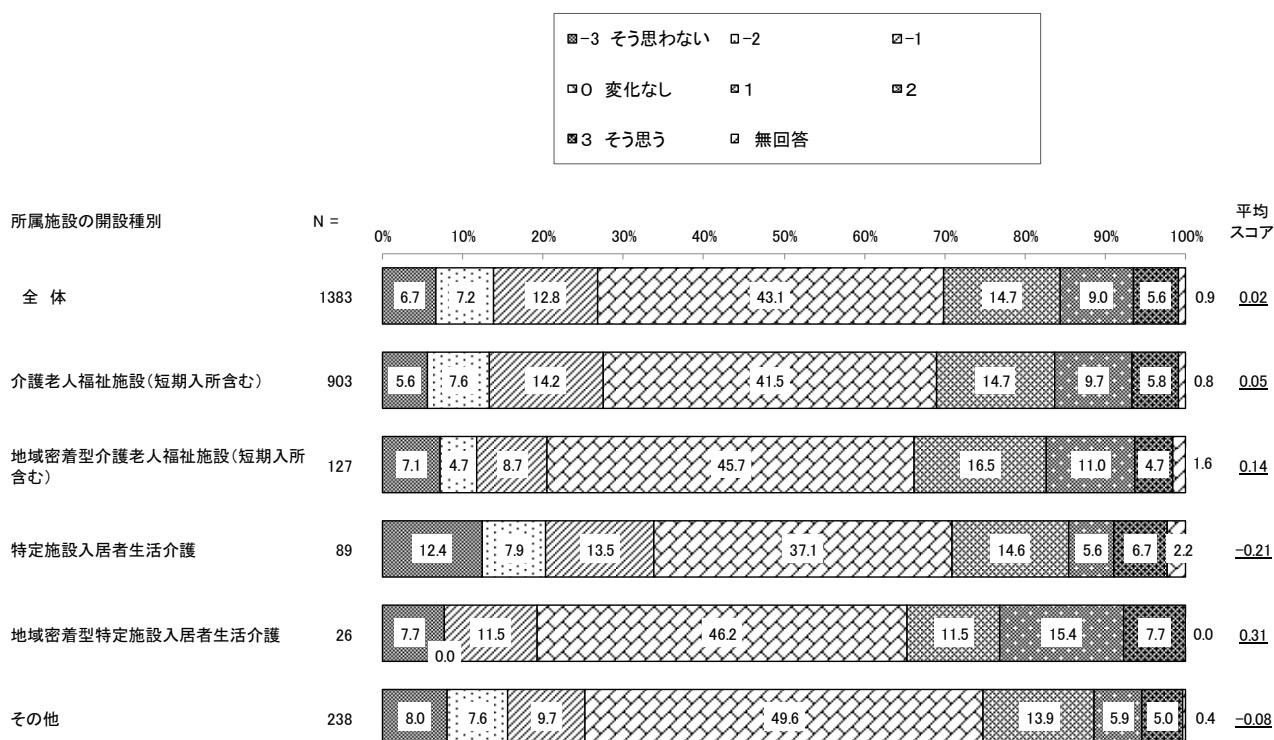
16) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ①必要以上に利用者を見に行くことになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、必要以上に利用者を見に行くことになったと回答した職員とそうではないと回答した職員がそれぞれ約3割、変化なしと回答した職員が約4割であった。

※本設問は、ネガティブな設問であることに留意が必要。

図表 304 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
①必要以上に利用者を見に行くことになった(グラフ)

問3(2)① 機器導入による夜間勤務職員の変化/必要以上に利用者を見に行くことになった



図表 305 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
①必要以上に利用者を見に行くことになった(表)

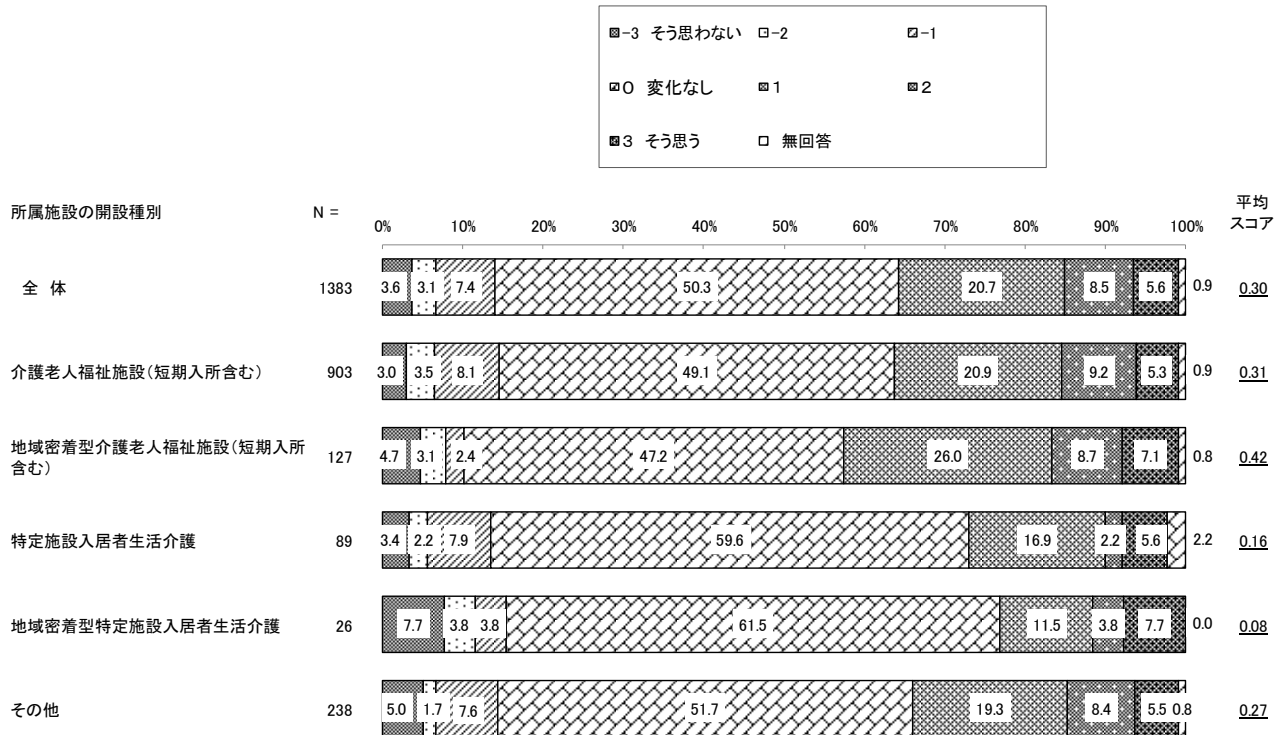
		問3(2)① 機器導入による夜間勤務職員の変化／必要以上に利用者を見に行くことになった									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	92	100	177	596	203	125	78	12	0.02
		100.0	6.7	7.2	12.8	43.1	14.7	9.0	5.6	0.9	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	51	69	128	375	133	88	52	7	0.05
		100.0	5.6	7.6	14.2	41.5	14.7	9.7	5.8	0.8	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	9	6	11	58	21	14	6	2	0.14
		100.0	7.1	4.7	8.7	45.7	16.5	11.0	4.7	1.6	
	特定施設入居者生活介護	89	11	7	12	33	13	5	6	2	-0.21
		100.0	12.4	7.9	13.5	37.1	14.6	5.6	6.7	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	-	3	12	3	4	2	-	0.31
		100.0	7.7	-	11.5	46.2	11.5	15.4	7.7	-	
	その他	238	19	18	23	118	33	14	12	1	-0.08
		100.0	8.0	7.6	9.7	49.6	13.9	5.9	5.0	0.4	
	性別／男性	650	44	49	85	276	90	63	37	6	0.02
		100.0	6.8	7.5	13.1	42.5	13.8	9.7	5.7	0.9	
	女性	717	48	51	89	313	110	60	41	5	0.03
		100.0	6.7	7.1	12.4	43.7	15.3	8.4	5.7	0.7	
	年齢階級／10～20歳代	155	8	7	24	58	30	14	12	2	0.21
		100.0	5.2	4.5	15.5	37.4	19.4	9.0	7.7	1.3	
	30歳代	412	35	32	39	179	49	47	27	4	0.04
		100.0	8.5	7.8	9.5	43.4	11.9	11.4	6.6	1.0	
	40歳代	455	32	35	67	186	74	36	23	2	-0.04
		100.0	7.0	7.7	14.7	40.9	16.3	7.9	5.1	0.4	
	50歳代	266	10	18	30	132	38	22	13	3	0.10
		100.0	3.8	6.8	11.3	49.6	14.3	8.3	4.9	1.1	
	60歳代以上	79	6	8	14	33	10	5	2	1	-0.28
		100.0	7.6	10.1	17.7	41.8	12.7	6.3	2.5	1.3	
	職種別／介護福祉士	1056	75	81	139	433	151	109	63	5	0.03
		100.0	7.1	7.7	13.2	41.0	14.3	10.3	6.0	0.5	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	5	9	17	62	23	9	8	4	0.11
		100.0	3.6	6.6	12.4	45.3	16.8	6.6	5.8	2.9	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	11	7	12	69	20	6	4	3	-0.12	
	100.0	8.3	5.3	9.1	52.3	15.2	4.5	3.0	2.3		
事務職員・その他	43	-	2	6	26	7	-	2	-	0.07	
	100.0	-	4.7	14.0	60.5	16.3	-	4.7	-		
役職別／経営層	9	-	1	1	6	1	-	-	-	-0.22	
	100.0	-	11.1	11.1	66.7	11.1	-	-	-		
管理者・リーダー	718	51	61	91	298	98	70	45	4	0.01	
	100.0	7.1	8.5	12.7	41.5	13.6	9.7	6.3	0.6		
一般職	606	38	37	75	270	96	51	32	7	0.05	
	100.0	6.3	6.1	12.4	44.6	15.8	8.4	5.3	1.2		
その他	17	3	-	2	8	1	2	1	-	-0.18	
	100.0	17.6	-	11.8	47.1	5.9	11.8	5.9	-		
経験年数別／5年未満	279	14	22	41	121	49	14	11	7	-0.06	
	100.0	5.0	7.9	14.7	43.4	17.6	5.0	3.9	2.5		
5年以上10年未満	352	30	28	45	151	48	30	19	1	-0.07	
	100.0	8.5	8.0	12.8	42.9	13.6	8.5	5.4	0.3		
10年以上15年未満	327	18	21	35	147	47	34	23	2	0.16	
	100.0	5.5	6.4	10.7	45.0	14.4	10.4	7.0	0.6		
15年以上	391	27	27	53	159	53	45	25	2	0.08	
	100.0	6.9	6.9	13.6	40.7	13.6	11.5	6.4	0.5		

17) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑫走って訪室することが減った

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、走って訪室することが減ったと回答した職員が約3割、変化なしと回答した職員が約5割であった。

図表 306 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑫走って訪室することが減った(グラフ)

問3(2)⑫ 機器導入による夜間勤務職員の変化/走って訪室することが減った



図表 307 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑫走って訪室することが減った(表)

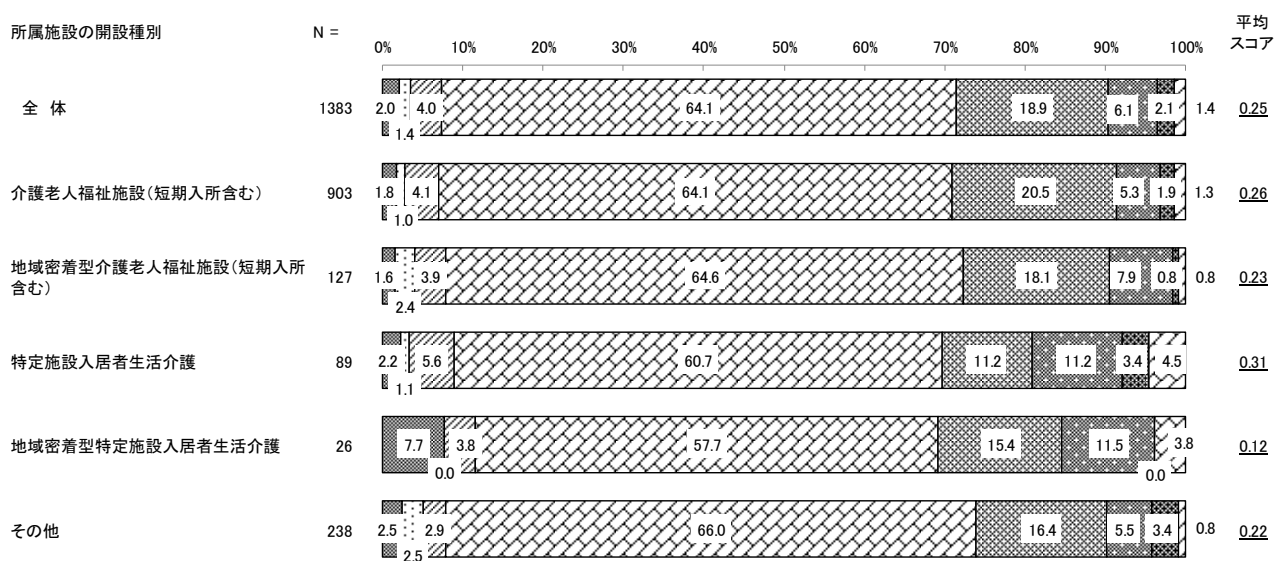
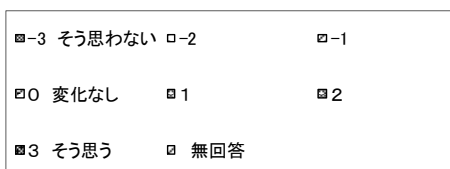
		問3(2)⑫ 機器導入による夜間勤務職員の変化/走って訪室することが減った									
		全体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全体	1383	50	43	102	695	286	117	77	13	0.30
		100.0	3.6	3.1	7.4	50.3	20.7	8.5	5.6	0.9	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	27	32	73	443	189	83	48	8	0.31
		100.0	3.0	3.5	8.1	49.1	20.9	9.2	5.3	0.9	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	6	4	3	60	33	11	9	1	0.42
		100.0	4.7	3.1	2.4	47.2	26.0	8.7	7.1	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	3	2	7	53	15	2	5	2	0.16
		100.0	3.4	2.2	7.9	59.6	16.9	2.2	5.6	2.2	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	1	1	16	3	1	2	-	0.08
		100.0	7.7	3.8	3.8	61.5	11.5	3.8	7.7	-	
	その他	238	12	4	18	123	46	20	13	2	0.27
		100.0	5.0	1.7	7.6	51.7	19.3	8.4	5.5	0.8	
	性別/男性	650	26	23	54	315	136	52	37	7	0.27
		100.0	4.0	3.5	8.3	48.5	20.9	8.0	5.7	1.1	
	女性	717	23	20	47	373	146	64	39	5	0.33
		100.0	3.2	2.8	6.6	52.0	20.4	8.9	5.4	0.7	
	年齢階級/10~20歳代	155	4	2	6	87	33	11	10	2	0.41
		100.0	2.6	1.3	3.9	56.1	21.3	7.1	6.5	1.3	
	30歳代	412	14	15	27	207	76	41	27	5	0.34
		100.0	3.4	3.6	6.6	50.2	18.4	10.0	6.6	1.2	
	40歳代	455	17	14	49	216	102	35	20	2	0.23
		100.0	3.7	3.1	10.8	47.5	22.4	7.7	4.4	0.4	
	50歳代	266	10	8	15	141	57	19	14	2	0.29
		100.0	3.8	3.0	5.6	53.0	21.4	7.1	5.3	0.8	
	60歳代以上	79	4	2	3	39	13	11	5	2	0.40
		100.0	5.1	2.5	3.8	49.4	16.5	13.9	6.3	2.5	
	職種別/介護福祉士	1056	43	36	75	506	219	103	66	8	0.33
		100.0	4.1	3.4	7.1	47.9	20.7	9.8	6.3	0.8	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	3	4	9	79	29	6	5	2	0.22
		100.0	2.2	2.9	6.6	57.7	21.2	4.4	3.6	1.5	
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	4	2	10	77	25	6	5	3	0.20
		100.0	3.0	1.5	7.6	58.3	18.9	4.5	3.8	2.3	
	事務職員・その他	43	-	1	7	25	9	-	1	-	0.07
	100.0	-	2.3	16.3	58.1	20.9	-	2.3	-		
役職別/経営層	9	-	-	1	6	2	-	-	-	0.11	
	100.0	-	-	11.1	66.7	22.2	-	-	-		
管理者・リーダー	718	27	21	60	356	143	64	43	4	0.30	
	100.0	3.8	2.9	8.4	49.6	19.9	8.9	6.0	0.6		
一般職	606	21	21	39	307	127	49	34	8	0.31	
	100.0	3.5	3.5	6.4	50.7	21.0	8.1	5.6	1.3		
その他	17	2	-	1	7	6	1	-	-	0.06	
	100.0	11.8	-	5.9	41.2	35.3	5.9	-	-		
経験年数別/5年未満	279	10	8	23	142	58	18	14	6	0.25	
	100.0	3.6	2.9	8.2	50.9	20.8	6.5	5.0	2.2		
5年以上10年未満	352	10	16	25	175	75	31	18	2	0.30	
	100.0	2.8	4.5	7.1	49.7	21.3	8.8	5.1	0.6		
10年以上15年未満	327	12	4	19	170	71	28	21	2	0.39	
	100.0	3.7	1.2	5.8	52.0	21.7	8.6	6.4	0.6		
15年以上	391	18	13	33	186	79	36	23	3	0.28	
	100.0	4.6	3.3	8.4	47.6	20.2	9.2	5.9	0.8		

18) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ⑬機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えたと回答した職員が約3割、変化なしと回答した職員が約6割であった。

図表 308 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑬機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた(グラフ)

問3(2)⑬ 機器導入による夜間勤務職員の変化/機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた



図表 309 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑬機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた(表)

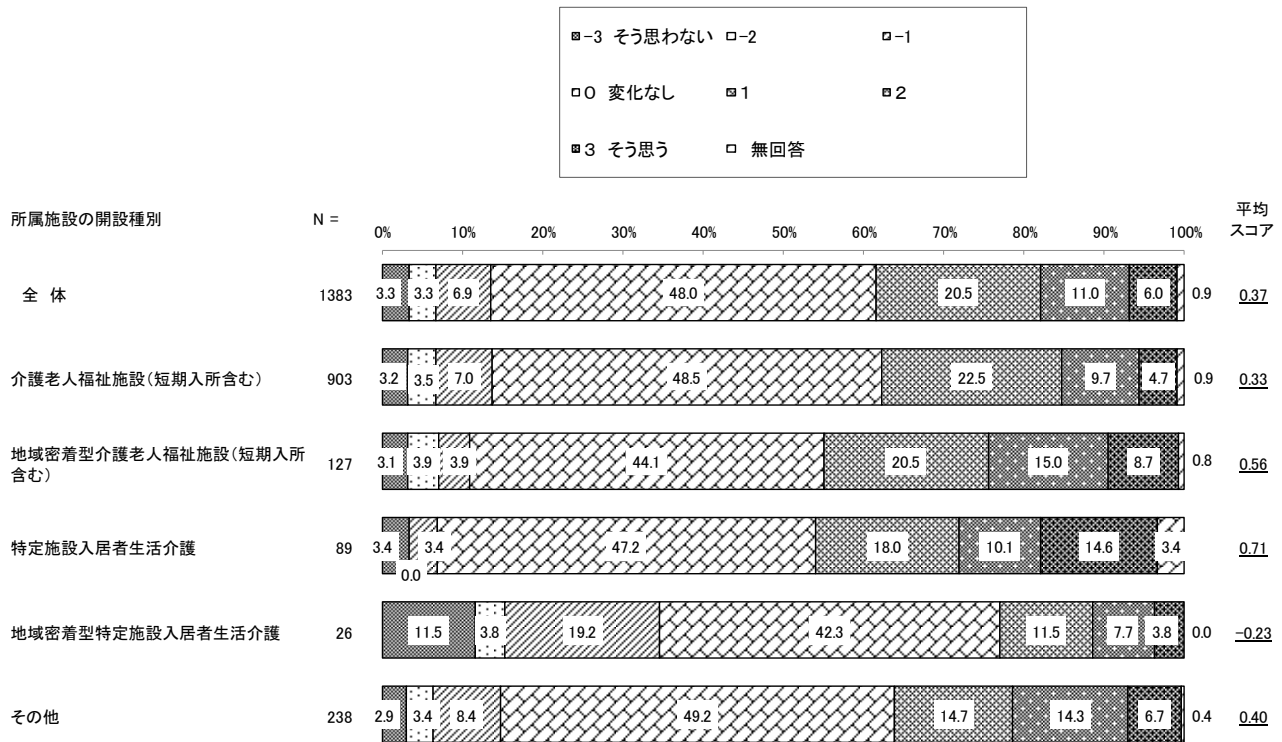
		問3(2)⑬ 機器導入による夜間勤務職員の変化/機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	28	19	55	887	261	84	29	20	0.25
		100.0	2.0	1.4	4.0	64.1	18.9	6.1	2.1	1.4	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	16	9	37	579	185	48	17	12	0.26
		100.0	1.8	1.0	4.1	64.1	20.5	5.3	1.9	1.3	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	2	3	5	82	23	10	1	1	0.23
		100.0	1.6	2.4	3.9	64.6	18.1	7.9	0.8	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	2	1	5	54	10	10	3	4	0.31
		100.0	2.2	1.1	5.6	60.7	11.2	11.2	3.4	4.5	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	-	1	15	4	3	-	1	0.12
		100.0	7.7	-	3.8	57.7	15.4	11.5	-	3.8	
	その他	238	6	6	7	157	39	13	8	2	0.22
		100.0	2.5	2.5	2.9	66.0	16.4	5.5	3.4	0.8	
	性別/男性	650	15	11	32	400	130	38	13	11	0.23
		100.0	2.3	1.7	4.9	61.5	20.0	5.8	2.0	1.7	
	女性	717	13	8	22	478	128	45	15	8	0.26
		100.0	1.8	1.1	3.1	66.7	17.9	6.3	2.1	1.1	
	年齢階級/10~20歳代	155	3	-	6	102	34	7	1	2	0.24
		100.0	1.9	-	3.9	65.8	21.9	4.5	0.6	1.3	
	30歳代	412	9	8	11	263	79	21	11	10	0.25
		100.0	2.2	1.9	2.7	63.8	19.2	5.1	2.7	2.4	
	40歳代	455	9	7	27	294	78	29	8	3	0.20
		100.0	2.0	1.5	5.9	64.6	17.1	6.4	1.8	0.7	
	50歳代	266	6	2	6	177	47	19	5	4	0.27
		100.0	2.3	0.8	2.3	66.5	17.7	7.1	1.9	1.5	
	60歳代以上	79	-	2	3	44	18	7	4	1	0.47
		100.0	-	2.5	3.8	55.7	22.8	8.9	5.1	1.3	
	職種別/介護福祉士	1056	23	16	46	667	198	69	23	14	0.25
		100.0	2.2	1.5	4.4	63.2	18.8	6.5	2.2	1.3	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	-	1	5	100	23	5	1	2	0.21
		100.0	-	0.7	3.6	73.0	16.8	3.6	0.7	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	4	1	2	83	27	9	3	3	0.29	
	100.0	3.0	0.8	1.5	62.9	20.5	6.8	2.3	2.3		
事務職員・その他	43	-	1	1	30	10	-	1	-	0.23	
	100.0	-	2.3	2.3	69.8	23.3	-	2.3	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	6	3	-	-	-	0.33	
	100.0	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-		
管理者・リーダー	718	15	10	37	445	140	46	14	11	0.24	
	100.0	2.1	1.4	5.2	62.0	19.5	6.4	1.9	1.5		
一般職	606	12	9	16	405	109	32	14	9	0.24	
	100.0	2.0	1.5	2.6	66.8	18.0	5.3	2.3	1.5		
その他	17	-	-	1	10	2	3	1	-	0.59	
	100.0	-	-	5.9	58.8	11.8	17.6	5.9	-		
経歴年数別/5年未満	279	1	4	13	190	52	10	3	6	0.21	
	100.0	0.4	1.4	4.7	68.1	18.6	3.6	1.1	2.2		
5年以上10年未満	352	8	3	13	218	77	20	10	3	0.30	
	100.0	2.3	0.9	3.7	61.9	21.9	5.7	2.8	0.9		
10年以上15年未満	327	7	4	10	212	58	27	3	6	0.26	
	100.0	2.1	1.2	3.1	64.8	17.7	8.3	0.9	1.8		
15年以上	391	12	7	19	242	69	25	13	4	0.23	
	100.0	3.1	1.8	4.9	61.9	17.6	6.4	3.3	1.0		

19) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑭訪室回数合計が減った

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、訪室回数合計が減ったと回答した職員が約4割、変化なしと回答した職員が約5割であった。

図表 310 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:⑭訪室回数合計が減った(グラフ)

問3(2)⑭ 機器導入による夜間勤務職員の変化/訪室回数合計が減った



図表 311 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：⑭訪室回数合計が減った(表)

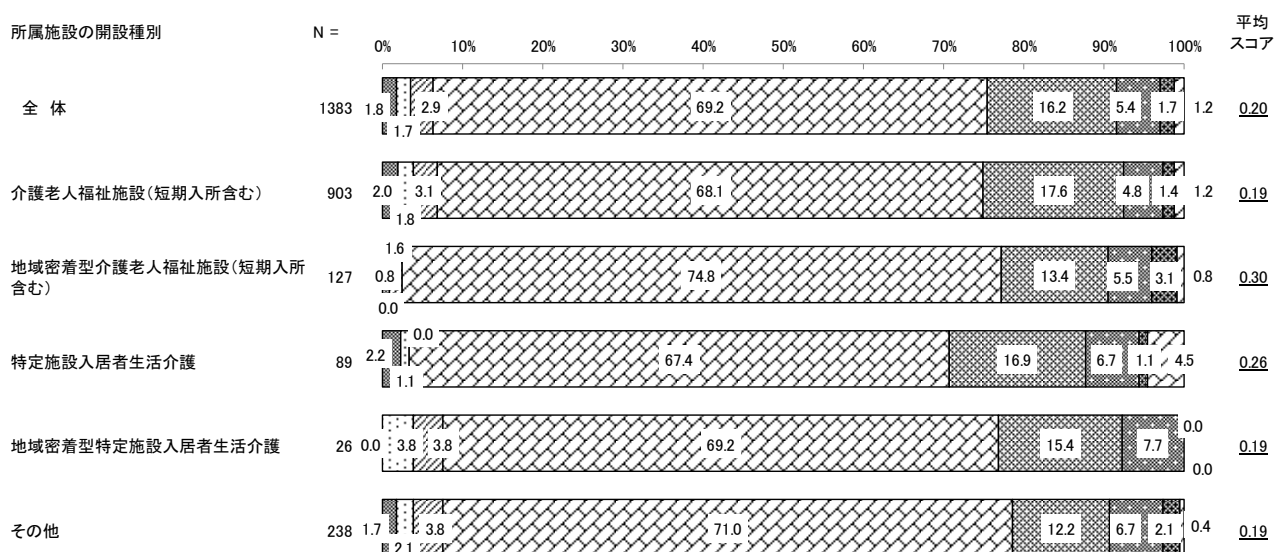
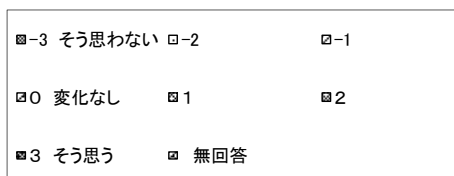
		問3(2)⑭ 機器導入による夜間勤務職員の変化／訪室回数合計が減った									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全 体	1383	46	46	96	664	283	152	83	13	0.37
		100.0	3.3	3.3	6.9	48.0	20.5	11.0	6.0	0.9	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	29	32	63	438	203	88	42	8	0.33
		100.0	3.2	3.5	7.0	48.5	22.5	9.7	4.7	0.9	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	4	5	5	56	26	19	11	1	0.56
		100.0	3.1	3.9	3.9	44.1	20.5	15.0	8.7	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	3	-	3	42	16	9	13	3	0.71
		100.0	3.4	-	3.4	47.2	18.0	10.1	14.6	3.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	3	1	5	11	3	2	1	-	-0.23
		100.0	11.5	3.8	19.2	42.3	11.5	7.7	3.8	-	
	その他	238	7	8	20	117	35	34	16	1	0.40
		100.0	2.9	3.4	8.4	49.2	14.7	14.3	6.7	0.4	
	性別／男性	650	24	23	47	312	136	68	35	5	0.33
		100.0	3.7	3.5	7.2	48.0	20.9	10.5	5.4	0.8	
	女性	717	21	23	48	346	142	83	47	7	0.41
		100.0	2.9	3.2	6.7	48.3	19.8	11.6	6.6	1.0	
	年齢階級／10～20歳代	155	5	5	7	85	32	16	4	1	0.29
		100.0	3.2	3.2	4.5	54.8	20.6	10.3	2.6	0.6	
	30歳代	412	13	15	26	188	83	56	26	5	0.44
		100.0	3.2	3.6	6.3	45.6	20.1	13.6	6.3	1.2	
	40歳代	455	19	16	37	212	95	44	30	2	0.32
		100.0	4.2	3.5	8.1	46.6	20.9	9.7	6.6	0.4	
	50歳代	266	7	8	18	138	56	21	15	3	0.33
		100.0	2.6	3.0	6.8	51.9	21.1	7.9	5.6	1.1	
	60歳代以上	79	1	2	6	34	14	14	6	2	0.61
		100.0	1.3	2.5	7.6	43.0	17.7	17.7	7.6	2.5	
	職種別／介護福祉士	1056	37	37	74	469	230	130	71	8	0.42
		100.0	3.5	3.5	7.0	44.4	21.8	12.3	6.7	0.8	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	6	9	83	21	10	5	2	0.24
		100.0	0.7	4.4	6.6	60.6	15.3	7.3	3.6	1.5	
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	6	2	8	82	19	8	4	3	0.13
		100.0	4.5	1.5	6.1	62.1	14.4	6.1	3.0	2.3	
	事務職員・その他	43	-	1	3	25	9	2	3	-	0.40
	100.0	-	2.3	7.0	58.1	20.9	4.7	7.0	-		
役職別／経営層	9	-	-	-	5	4	-	-	-	0.44	
	100.0	-	-	-	55.6	44.4	-	-	-		
管理者・リーダー	718	25	23	58	328	145	82	52	5	0.40	
	100.0	3.5	3.2	8.1	45.7	20.2	11.4	7.2	0.7		
一般職	606	19	22	32	307	126	65	28	7	0.35	
	100.0	3.1	3.6	5.3	50.7	20.8	10.7	4.6	1.2		
その他	17	1	-	1	9	2	3	1	-	0.41	
	100.0	5.9	-	5.9	52.9	11.8	17.6	5.9	-		
経験年数別／5年未満	279	8	7	15	144	64	26	10	5	0.34	
	100.0	2.9	2.5	5.4	51.6	22.9	9.3	3.6	1.8		
5年以上10年未満	352	9	16	25	168	73	39	21	1	0.37	
	100.0	2.6	4.5	7.1	47.7	20.7	11.1	6.0	0.3		
10年以上15年未満	327	13	5	27	163	57	41	18	3	0.36	
	100.0	4.0	1.5	8.3	49.8	17.4	12.5	5.5	0.9		
15年以上	391	15	17	26	174	81	42	32	4	0.40	
	100.0	3.8	4.3	6.6	44.5	20.7	10.7	8.2	1.0		

20) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ⑮自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになったと回答した職員が約2割、変化なしと回答した職員が約7割であった。

図表 312 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑮自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった(グラフ)

問3(2)⑮ 機器導入による夜間勤務職員の変化/自分の専門性を発揮する時間が確保できる



図表 313 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑮自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった(表)

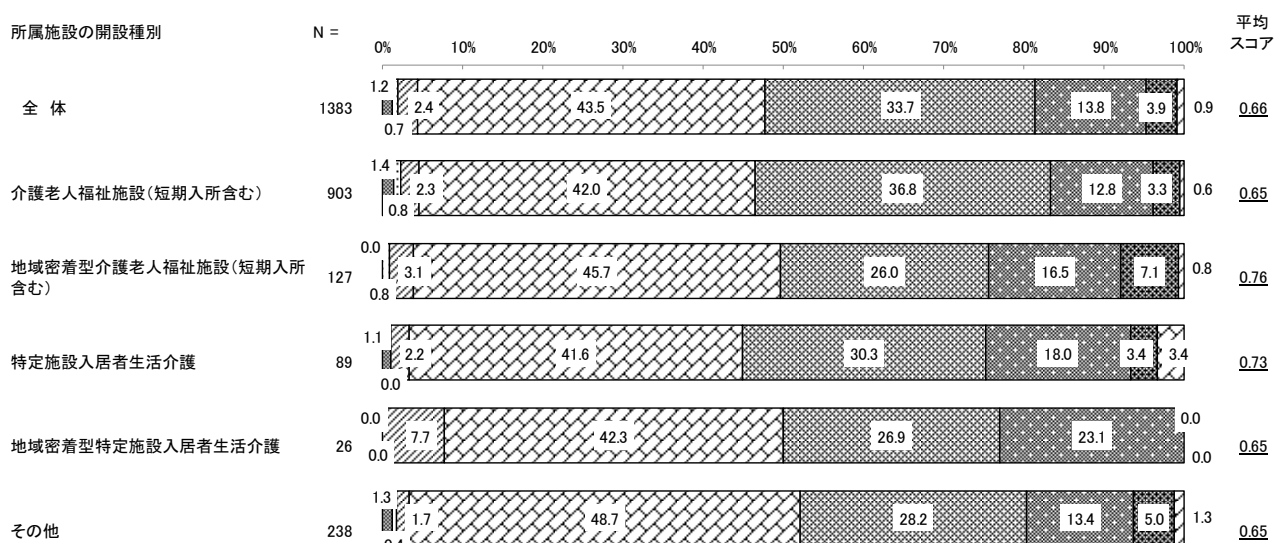
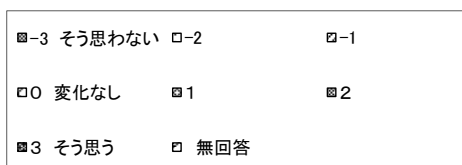
		問3(2)⑮ 機器導入による夜間勤務職員の変化／自分の専門性を発揮する時間が確保できる									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	25	23	40	957	224	74	23	17	0.20
		100.0	1.8	1.7	2.9	69.2	16.2	5.4	1.7	1.2	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	18	16	28	615	159	43	13	11	0.19
		100.0	2.0	1.8	3.1	68.1	17.6	4.8	1.4	1.2	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	-	2	95	17	7	4	1	0.30
		100.0	0.8	-	1.6	74.8	13.4	5.5	3.1	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	2	1	-	60	15	6	1	4	0.26
		100.0	2.2	1.1	-	67.4	16.9	6.7	1.1	4.5	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	1	1	18	4	2	-	-	0.19
		100.0	-	3.8	3.8	69.2	15.4	7.7	-	-	
	その他	238	4	5	9	169	29	16	5	1	0.19
		100.0	1.7	2.1	3.8	71.0	12.2	6.7	2.1	0.4	
	性別／男性	650	16	13	14	447	112	28	13	7	0.19
		100.0	2.5	2.0	2.2	68.8	17.2	4.3	2.0	1.1	
	女性	717	9	10	26	500	109	44	10	9	0.22
		100.0	1.3	1.4	3.6	69.7	15.2	6.1	1.4	1.3	
	年齢階級／10～20歳代	155	4	1	2	111	27	7	2	1	0.20
		100.0	2.6	0.6	1.3	71.6	17.4	4.5	1.3	0.6	
	30歳代	412	6	6	15	266	85	19	10	5	0.27
		100.0	1.5	1.5	3.6	64.6	20.6	4.6	2.4	1.2	
	40歳代	455	10	11	12	324	60	27	6	5	0.15
		100.0	2.2	2.4	2.6	71.2	13.2	5.9	1.3	1.1	
	50歳代	266	5	3	10	194	35	13	2	4	0.14
		100.0	1.9	1.1	3.8	72.9	13.2	4.9	0.8	1.5	
	60歳代以上	79	-	2	-	52	13	7	3	2	0.42
		100.0	-	2.5	-	65.8	16.5	8.9	3.8	2.5	
	職種別／介護福祉士	1056	21	13	31	734	169	59	17	12	0.21
		100.0	2.0	1.2	2.9	69.5	16.0	5.6	1.6	1.1	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	4	2	102	19	5	2	2	0.16
		100.0	0.7	2.9	1.5	74.5	13.9	3.6	1.5	1.5	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	3	3	6	80	26	8	3	3	0.23	
	100.0	2.3	2.3	4.5	60.6	19.7	6.1	2.3	2.3		
事務職員・その他	43	-	2	-	31	7	2	1	-	0.23	
	100.0	-	4.7	-	72.1	16.3	4.7	2.3	-		
役職別／経営層	9	-	-	-	6	3	-	-	-	0.33	
	100.0	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-		
管理者・リーダー	718	13	11	21	490	129	31	14	9	0.21	
	100.0	1.8	1.5	2.9	68.2	18.0	4.3	1.9	1.3		
一般職	606	11	10	18	426	88	38	9	6	0.20	
	100.0	1.8	1.7	3.0	70.3	14.5	6.3	1.5	1.0		
その他	17	1	-	-	13	-	3	-	-	0.18	
	100.0	5.9	-	-	76.5	-	17.6	-	-		
経験年数別／5年未満	279	4	9	7	197	38	13	6	5	0.16	
	100.0	1.4	3.2	2.5	70.6	13.6	4.7	2.2	1.8		
5年以上10年未満	352	3	5	11	240	62	22	8	1	0.28	
	100.0	0.9	1.4	3.1	68.2	17.6	6.3	2.3	0.3		
10年以上15年未満	327	6	3	12	232	52	14	2	6	0.16	
	100.0	1.8	0.9	3.7	70.9	15.9	4.3	0.6	1.8		
15年以上	391	12	6	10	264	64	23	7	5	0.19	
	100.0	3.1	1.5	2.6	67.5	16.4	5.9	1.8	1.3		

21) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ⑩利用者により良いケアが提供できるようになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、利用者により良いケアが提供できるようになったと回答した職員が約5割であった。

図表 314 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑩利用者により良いケアが提供できるようになった(グラフ)

問3(2)⑩ 機器導入による夜間勤務職員の変化/利用者により良いケアが提供できる



図表 315 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑩利用者により良いケアが提供できるようになった(表)

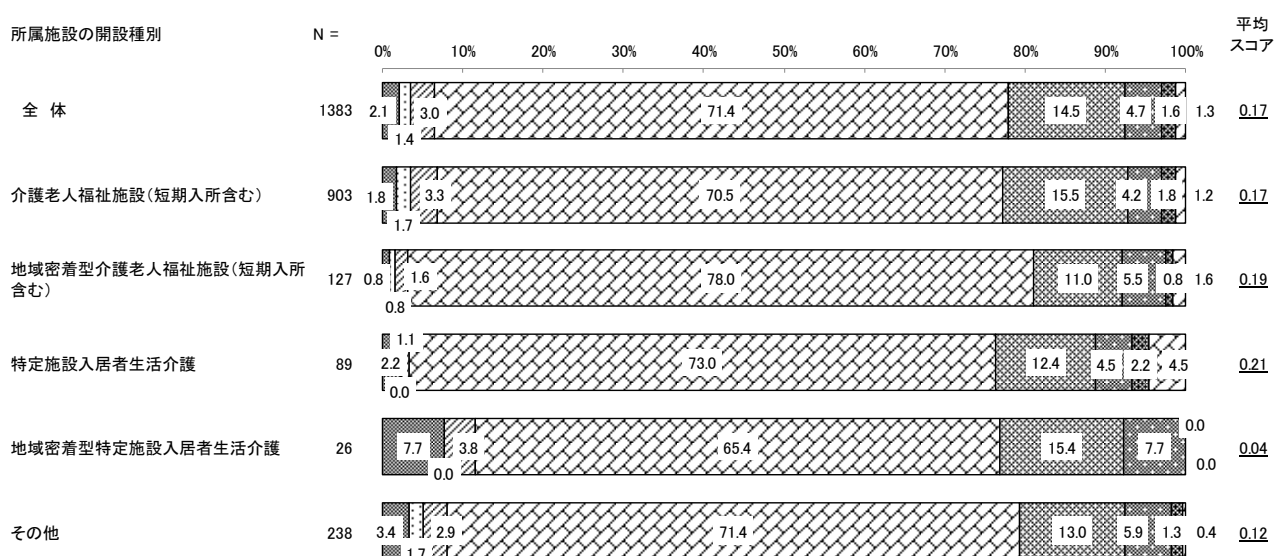
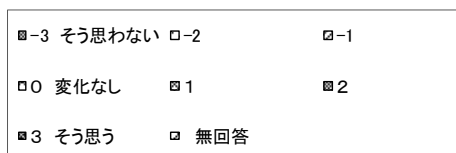
		問3(2)⑩ 機器導入による夜間勤務職員の変化／利用者により良いケアが提供できる									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	17	9	33	601	466	191	54	12	0.66
		100.0	1.2	0.7	2.4	43.5	33.7	13.8	3.9	0.9	
	所属施設の開設種別／介護老人福祉施設	903	13	7	21	379	332	116	30	5	0.65
		100.0	1.4	0.8	2.3	42.0	36.8	12.8	3.3	0.6	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	1	4	58	33	21	9	1	0.76
		100.0	-	0.8	3.1	45.7	26.0	16.5	7.1	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	1	-	2	37	27	16	3	3	0.73
		100.0	1.1	-	2.2	41.6	30.3	18.0	3.4	3.4	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	-	-	2	11	7	6	-	-	0.65
		100.0	-	-	7.7	42.3	26.9	23.1	-	-	
	その他	238	3	1	4	116	67	32	12	3	0.65
		100.0	1.3	0.4	1.7	48.7	28.2	13.4	5.0	1.3	
	性別／男性	650	12	3	15	276	233	80	25	6	0.64
		100.0	1.8	0.5	2.3	42.5	35.8	12.3	3.8	0.9	
	女性	717	5	6	16	320	228	109	28	5	0.68
		100.0	0.7	0.8	2.2	44.6	31.8	15.2	3.9	0.7	
	年齢階級／10～20歳代	155	3	1	3	62	61	15	8	2	0.66
		100.0	1.9	0.6	1.9	40.0	39.4	9.7	5.2	1.3	
	30歳代	412	5	-	10	171	146	61	16	3	0.71
		100.0	1.2	-	2.4	41.5	35.4	14.8	3.9	0.7	
	40歳代	455	5	4	13	209	150	58	15	1	0.61
		100.0	1.1	0.9	2.9	45.9	33.0	12.7	3.3	0.2	
	50歳代	266	4	3	7	117	81	39	11	4	0.64
		100.0	1.5	1.1	2.6	44.0	30.5	14.7	4.1	1.5	
	60歳代以上	79	-	1	-	35	22	16	3	2	0.79
		100.0	-	1.3	-	44.3	27.8	20.3	3.8	2.5	
	職種別／介護福祉士	1056	14	4	24	448	364	156	39	7	0.69
		100.0	1.3	0.4	2.3	42.4	34.5	14.8	3.7	0.7	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	1	3	4	65	41	14	6	3	0.55
		100.0	0.7	2.2	2.9	47.4	29.9	10.2	4.4	2.2	
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	1	4	60	39	16	8	2	0.64
		100.0	1.5	0.8	3.0	45.5	29.5	12.1	6.1	1.5	
	事務職員・その他	43	-	1	-	20	18	3	1	-	0.58
	100.0	-	2.3	-	46.5	41.9	7.0	2.3	-		
役職別／経営層	9	-	-	-	3	5	1	-	-	0.78	
	100.0	-	-	-	33.3	55.6	11.1	-	-		
管理者・リーダー	718	10	5	16	310	249	99	25	4	0.65	
	100.0	1.4	0.7	2.2	43.2	34.7	13.8	3.5	0.6		
一般職	606	7	4	16	264	196	82	29	8	0.67	
	100.0	1.2	0.7	2.6	43.6	32.3	13.5	4.8	1.3		
その他	17	-	-	-	9	5	3	-	-	0.65	
	100.0	-	-	-	52.9	29.4	17.6	-	-		
経歴年数別／5年未満	279	3	3	8	134	78	32	15	6	0.60	
	100.0	1.1	1.1	2.9	48.0	28.0	11.5	5.4	2.2		
5年以上10年未満	352	2	3	9	141	131	51	13	2	0.72	
	100.0	0.6	0.9	2.6	40.1	37.2	14.5	3.7	0.6		
10年以上15年未満	327	5	2	7	145	108	47	11	2	0.64	
	100.0	1.5	0.6	2.1	44.3	33.0	14.4	3.4	0.6		
15年以上	391	7	1	8	163	138	57	15	2	0.68	
	100.0	1.8	0.3	2.0	41.7	35.3	14.6	3.8	0.5		

22) 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化: ⑰教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった

機器導入による夜間勤務職員の行動や意識において、教育をする(受ける)時間を確保できるようになったと回答した職員が約2割、変化なしと回答した職員が約7割であった。

図表 316 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化:
⑰教育をする(教育を受ける)時間を確保できるようになった(グラフ)

問3(2)⑰ 機器導入による夜間勤務職員の変化/教育をする(教育を受ける)時間を確保できる



図表 317 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化：
⑰教育をする(教育をうける)時間を確保できるようになった(表)

		問3(2)⑰ 機器導入による夜間勤務職員の変化/教育をする(教育をうける)時間を確保できる									
		全 体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分 析 軸	全 体	1383	29	20	41	988	200	65	22	18	0.17
		100.0	2.1	1.4	3.0	71.4	14.5	4.7	1.6	1.3	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	16	15	30	637	140	38	16	11	0.17
		100.0	1.8	1.7	3.3	70.5	15.5	4.2	1.8	1.2	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	1	1	2	99	14	7	1	2	0.19
		100.0	0.8	0.8	1.6	78.0	11.0	5.5	0.8	1.6	
	特定施設入居者生活介護	89	2	-	1	65	11	4	2	4	0.21
		100.0	2.2	-	1.1	73.0	12.4	4.5	2.2	4.5	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	-	1	17	4	2	-	-	0.04
		100.0	7.7	-	3.8	65.4	15.4	7.7	-	-	
	その他	238	8	4	7	170	31	14	3	1	0.12
		100.0	3.4	1.7	2.9	71.4	13.0	5.9	1.3	0.4	
	性別/男性	650	15	9	18	460	99	31	11	7	0.18
		100.0	2.3	1.4	2.8	70.8	15.2	4.8	1.7	1.1	
	女性	717	13	11	22	520	98	33	10	10	0.16
		100.0	1.8	1.5	3.1	72.5	13.7	4.6	1.4	1.4	
	年齢階級/10~20歳代	155	3	2	4	108	29	4	4	1	0.21
		100.0	1.9	1.3	2.6	69.7	18.7	2.6	2.6	0.6	
	30歳代	412	8	4	15	278	69	23	8	7	0.23
		100.0	1.9	1.0	3.6	67.5	16.7	5.6	1.9	1.7	
	40歳代	455	12	10	14	329	63	18	6	3	0.10
		100.0	2.6	2.2	3.1	72.3	13.8	4.0	1.3	0.7	
	50歳代	266	5	3	5	206	28	13	2	4	0.13
		100.0	1.9	1.1	1.9	77.4	10.5	4.9	0.8	1.5	
	60歳代以上	79	1	1	2	55	8	7	2	3	0.28
		100.0	1.3	1.3	2.5	69.6	10.1	8.9	2.5	3.8	
	職種別/介護福祉士	1056	23	12	28	759	154	53	15	12	0.18
		100.0	2.2	1.1	2.7	71.9	14.6	5.0	1.4	1.1	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	3	5	4	97	19	3	3	3	0.08
		100.0	2.2	3.6	2.9	70.8	13.9	2.2	2.2	2.2	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	2	6	90	19	8	2	3	0.19	
	100.0	1.5	1.5	4.5	68.2	14.4	6.1	1.5	2.3		
事務職員・その他	43	-	1	2	32	5	1	2	-	0.21	
	100.0	-	2.3	4.7	74.4	11.6	2.3	4.7	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	6	3	-	-	-	0.33	
	100.0	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-		
管理者・リーダー	718	13	11	18	509	111	38	9	9	0.19	
	100.0	1.8	1.5	2.5	70.9	15.5	5.3	1.3	1.3		
一般職	606	14	9	21	436	82	24	13	7	0.15	
	100.0	2.3	1.5	3.5	71.9	13.5	4.0	2.1	1.2		
その他	17	1	-	-	13	2	1	-	-	0.06	
	100.0	5.9	-	-	76.5	11.8	5.9	-	-		
経験年数別/5年未満	279	4	4	12	200	35	10	6	8	0.15	
	100.0	1.4	1.4	4.3	71.7	12.5	3.6	2.2	2.9		
5年以上10年未満	352	4	6	12	247	55	18	9	1	0.23	
	100.0	1.1	1.7	3.4	70.2	15.6	5.1	2.6	0.3		
10年以上15年未満	327	10	3	8	244	44	13	1	4	0.09	
	100.0	3.1	0.9	2.4	74.6	13.5	4.0	0.3	1.2		
15年以上	391	11	7	8	271	59	24	6	5	0.18	
	100.0	2.8	1.8	2.0	69.3	15.1	6.1	1.5	1.3		

23) 介護ロボット機器を導入して、「ケアの質」に関して一番変わったと感じる点(自由記述)

介護ロボット機器を導入して、ケアの質に関して一番変わったと感じる点として、職員の身体的・精神的負担軽減、職員間の情報共有、利用者の状況把握や利用者本位のケアの充実等の意見がみられた。

図表 318 介護ロボット機器を導入して、「ケアの質」に関して一番変わったと感じる点(自由記述)抜粋

<p>看取りの利用者に対し、最期まで呼吸状態、心拍数の見守りができ、異常が起きた時にすぐに状態確認することができた。定時の巡視後に呼吸停止になったことに早く気づくことができた。何度も訪室したり、声かけしたり、バイタル測定をしたりすることが利用者側も負担に感じるかもしれないことも軽減できると思う。</p>
<p>夜間帯のセンサーの反応で過剰に訪室することが減った。それにより職員のストレスや心的負担が減った事により利用者に対応する時間が増加した。また利用者にも夜間に必要以上の声かけが減ったことで睡眠時間の増加し、利用者の行動パターン夜間帯の動きについて知ることができそれにあった対応ができた。</p>
<p>介護ロボットを導入したことにより、利用者が動いたタイミングを一早く理解出来るようになった為、今までこの理由で動きがあるが、タイミングが分からなかったという悩みを解決することができ、また、利用者に合わせてケアを更に行えるようになったと思う。</p>
<p>移乗用介護ロボットを導入後、「出来ない」が減り、安全(痣などができなくなった)に負担を少なく行えるようになった。ただ移乗するだけでなく、生活リズムを整えられたり、トイレに行き排泄できる事で、自立度やQOLが向上し、介助の幅が広がった。</p>
<p>物音で覚醒される方の睡眠を妨害してしまうことがなくなった。</p>
<p>業務の可視化につながり、よりエビデンスに基づいた科学的介護を実践しやすくなった。必然的にスタッフには「自信」と「ゆとり」が生まれ専門性とモチベーションの向上につながっている。</p>
<p>ケアカルテは全職種が確認することができ情報共有がより早くできるようになった。見守り機器でも睡眠パターンをはあくで、今まで必要以上に介入していたか、私自身も利用者自身も負担だった為、介入が少し減り気持ち的にも安心ができ良かった。</p>
<p>移乗支援機器を用いてケアの統一が図られた。担当職員を中心として、職員へのレクチャー・教育が行えている。</p>
<p>見守り機器、LIFE等導入しているが直接的にケアの質に影境は無いと感じている。色々な介護ロボットがあると思うが業務負担や人員配置等にも効果があるものは知りません。</p>

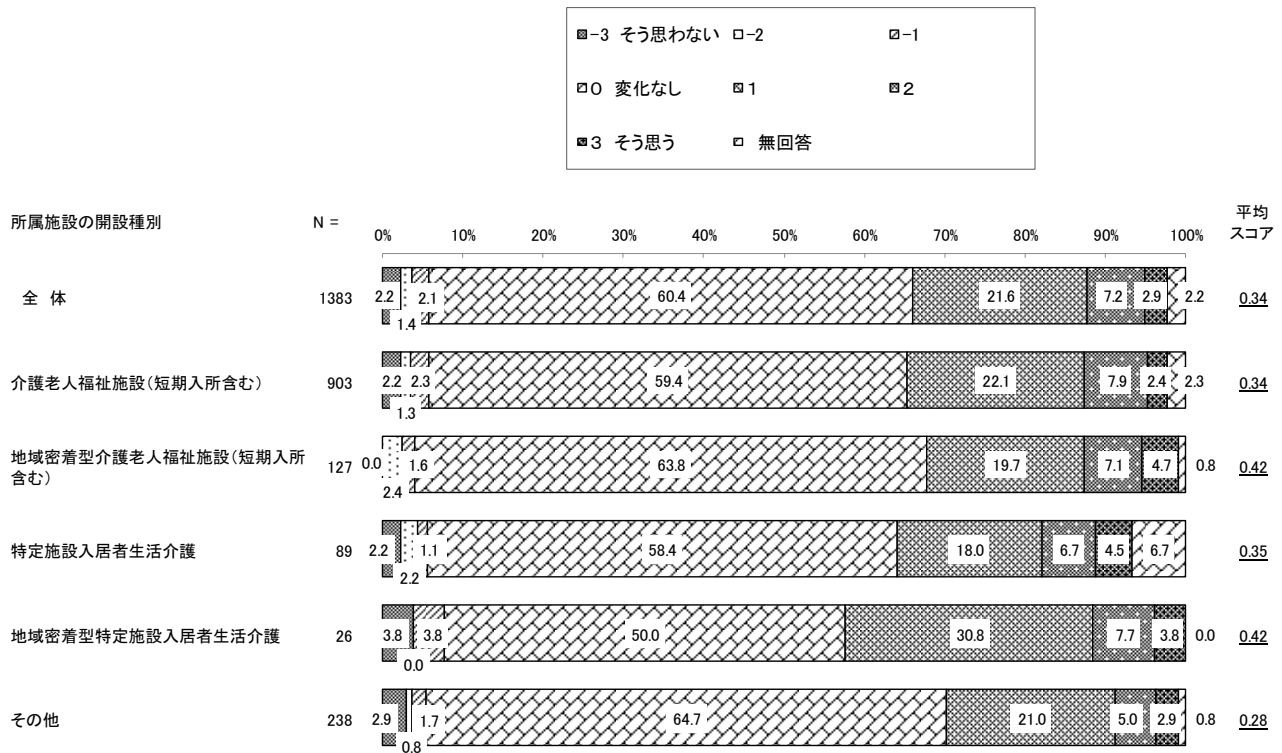
(4) 機器導入による利用者の変化

1) 利用者の行動等が変化:利用者の自立支援につながる機会が増えた

機器の導入により利用者の自立支援につながる機会が増えたと回答した職員が約3割、変化なしと回答した職員が約6割であった。

図表 319 利用者の行動等が変化:利用者の自立支援につながる機会が増えた(グラフ)

問4. 1 機器導入による利用者の変化/自立支援につながる機会が増えた



図表 320 利用者の行動等が変化:利用者の自立支援につながる機会が増えた(表)

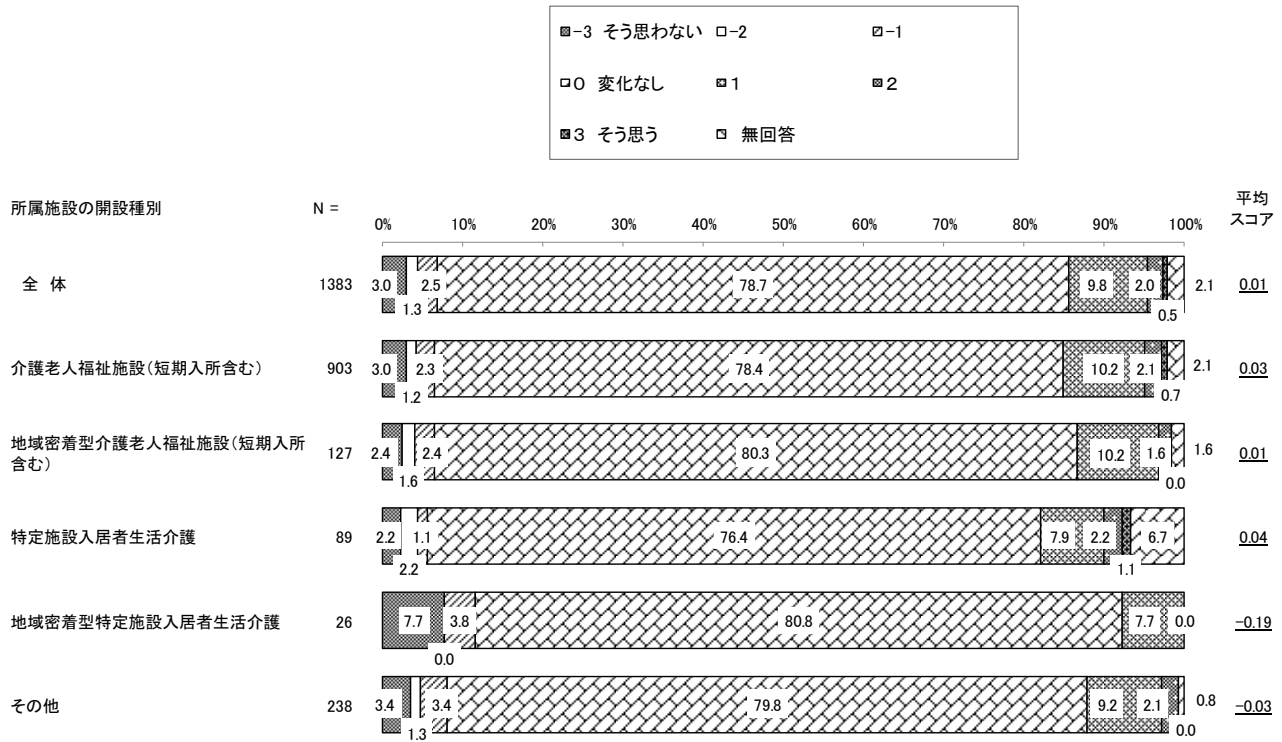
		問4. 1 機器導入による利用者の変化/自立支援につながる機会が増えた									
		全体	3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全体	1383	30	19	29	836	299	100	40	30	0.34
		100.0	2.2	1.4	2.1	60.4	21.6	7.2	2.9	2.2	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	20	12	21	536	200	71	22	21	0.34
		100.0	2.2	1.3	2.3	59.4	22.1	7.9	2.4	2.3	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	-	3	2	81	25	9	6	1	0.42
		100.0	-	2.4	1.6	63.8	19.7	7.1	4.7	0.8	
	特定施設入居者生活介護	89	2	2	1	52	16	6	4	6	0.35
		100.0	2.2	2.2	1.1	58.4	18.0	6.7	4.5	6.7	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	1	-	1	13	8	2	1	-	0.42
		100.0	3.8	-	3.8	50.0	30.8	7.7	3.8	-	
	その他	238	7	2	4	154	50	12	7	2	0.28
		100.0	2.9	0.8	1.7	64.7	21.0	5.0	2.9	0.8	
	性別/男性	650	16	11	13	384	153	47	17	9	0.34
		100.0	2.5	1.7	2.0	59.1	23.5	7.2	2.6	1.4	
	女性	717	13	8	15	443	145	51	23	19	0.35
		100.0	1.8	1.1	2.1	61.8	20.2	7.1	3.2	2.6	
	年齢階級/10~20歳代	155	3	3	3	95	39	11	-	1	0.28
		100.0	1.9	1.9	1.9	61.3	25.2	7.1	-	0.6	
	30歳代	412	12	5	10	242	92	27	14	10	0.33
		100.0	2.9	1.2	2.4	58.7	22.3	6.6	3.4	2.4	
	40歳代	455	8	8	11	286	89	35	13	5	0.33
		100.0	1.8	1.8	2.4	62.9	19.6	7.7	2.9	1.1	
	50歳代	266	6	3	5	159	57	18	8	10	0.34
		100.0	2.3	1.1	1.9	59.8	21.4	6.8	3.0	3.8	
	60歳代以上	79	1	-	-	46	16	8	4	4	0.55
		100.0	1.3	-	-	58.2	20.3	10.1	5.1	5.1	
	職種別/介護福祉士	1056	25	13	22	630	228	87	29	22	0.35
		100.0	2.4	1.2	2.1	59.7	21.6	8.2	2.7	2.1	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	2	4	3	91	28	4	2	3	0.19
		100.0	1.5	2.9	2.2	66.4	20.4	2.9	1.5	2.2	
看護職員・リハビリ職・相談員	132	1	2	1	82	25	9	7	5	0.44	
	100.0	0.8	1.5	0.8	62.1	18.9	6.8	5.3	3.8		
事務職員・その他	43	1	-	2	27	12	-	1	-	0.23	
	100.0	2.3	-	4.7	62.8	27.9	-	2.3	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	5	4	-	-	-	0.44	
	100.0	-	-	-	55.6	44.4	-	-	-		
管理者・リーダー	718	13	10	14	421	165	53	27	15	0.40	
	100.0	1.8	1.4	1.9	58.6	23.0	7.4	3.8	2.1		
一般職	606	15	9	15	376	122	42	12	15	0.28	
	100.0	2.5	1.5	2.5	62.0	20.1	6.9	2.0	2.5		
その他	17	1	-	-	12	3	1	-	-	0.12	
	100.0	5.9	-	-	70.6	17.6	5.9	-	-		
経験年数別/5年未満	279	5	7	3	165	66	20	7	6	0.35	
	100.0	1.8	2.5	1.1	59.1	23.7	7.2	2.5	2.2		
5年以上10年未満	352	7	5	12	206	82	23	11	6	0.34	
	100.0	2.0	1.4	3.4	58.5	23.3	6.5	3.1	1.7		
10年以上15年未満	327	11	2	7	202	63	28	6	8	0.29	
	100.0	3.4	0.6	2.1	61.8	19.3	8.6	1.8	2.4		
15年以上	391	7	5	6	241	82	25	16	9	0.37	
	100.0	1.8	1.3	1.5	61.6	21.0	6.4	4.1	2.3		

2) 利用者の行動等が変化:利用者の社会参加が増えた

機器の導入により利用者の社会参加が増えたと回答した職員が約1割、変化なしと回答した職員が約8割であった。

図表 321 利用者の行動等が変化:利用者の社会参加が増えた(グラフ)

問4. 2 機器導入による利用者の変化/社会参加が増えた



図表 322 利用者の行動等が変化:利用者の社会参加が増えた(表)

		問4. 2 機器導入による利用者の変化/社会参加が増えた									
		全体	-3 そう 思わない	-2	-1	0 変化な し	1	2	3 そう思 う	無回答	スコア
分析軸	全体	1383	42	18	34	1089	136	28	7	29	0.01
		100.0	3.0	1.3	2.5	78.7	9.8	2.0	0.5	2.1	
	所属施設の開設種別/介護老人福祉施設	903	27	11	21	708	92	19	6	19	0.03
		100.0	3.0	1.2	2.3	78.4	10.2	2.1	0.7	2.1	
	地域密着型介護老人福祉施設	127	3	2	3	102	13	2	-	2	0.01
		100.0	2.4	1.6	2.4	80.3	10.2	1.6	-	1.6	
	特定施設入居者生活介護	89	2	2	1	68	7	2	1	6	0.04
		100.0	2.2	2.2	1.1	76.4	7.9	2.2	1.1	6.7	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	26	2	-	1	21	2	-	-	-	-0.19
		100.0	7.7	-	3.8	80.8	7.7	-	-	-	
	その他	238	8	3	8	190	22	5	-	2	-0.03
		100.0	3.4	1.3	3.4	79.8	9.2	2.1	-	0.8	
	性別/男性	650	22	12	17	501	75	12	2	9	0.00
		100.0	3.4	1.8	2.6	77.1	11.5	1.8	0.3	1.4	
	女性	717	19	6	17	578	60	14	5	18	0.02
		100.0	2.6	0.8	2.4	80.6	8.4	2.0	0.7	2.5	
	年齢階級/10~20歳代	155	5	3	-	120	22	4	-	1	0.06
		100.0	3.2	1.9	-	77.4	14.2	2.6	-	0.6	
	30歳代	412	16	5	13	318	43	5	2	10	-0.03
		100.0	3.9	1.2	3.2	77.2	10.4	1.2	0.5	2.4	
	40歳代	455	11	7	14	368	38	10	1	6	0.00
		100.0	2.4	1.5	3.1	80.9	8.4	2.2	0.2	1.3	
	50歳代	266	9	2	6	211	23	4	3	8	0.01
		100.0	3.4	0.8	2.3	79.3	8.6	1.5	1.1	3.0	
	60歳代以上	79	1	-	1	62	6	4	1	4	0.17
		100.0	1.3	-	1.3	78.5	7.6	5.1	1.3	5.1	
	職種別/介護福祉士	1056	33	14	27	836	97	24	5	20	0.01
		100.0	3.1	1.3	2.6	79.2	9.2	2.3	0.5	1.9	
	介護職員(介護福祉士以外)	137	4	2	3	105	17	2	-	4	0.02
		100.0	2.9	1.5	2.2	76.6	12.4	1.5	-	2.9	
	看護職員・リハビリ職・相談員	132	2	2	3	99	19	1	1	5	0.09
		100.0	1.5	1.5	2.3	75.0	14.4	0.8	0.8	3.8	
	事務職員・その他	43	2	-	-	37	3	-	1	-	0.00
	100.0	4.7	-	-	86.0	7.0	-	2.3	-		
役職別/経営層	9	-	-	-	8	-	1	-	-	0.22	
	100.0	-	-	-	88.9	-	11.1	-	-		
管理者・リーダー	718	19	9	24	568	67	12	5	14	0.01	
	100.0	2.6	1.3	3.3	79.1	9.3	1.7	0.7	1.9		
一般職	606	21	9	10	472	64	13	2	15	0.01	
	100.0	3.5	1.5	1.7	77.9	10.6	2.1	0.3	2.5		
その他	17	1	-	-	14	2	-	-	-	-0.06	
	100.0	5.9	-	-	82.4	11.8	-	-	-		
経験年数別/5年未満	279	9	6	5	213	32	7	-	7	0.01	
	100.0	3.2	2.2	1.8	76.3	11.5	2.5	-	2.5		
5年以上10年未満	352	12	6	6	274	36	9	3	6	0.03	
	100.0	3.4	1.7	1.7	77.8	10.2	2.6	0.9	1.7		
10年以上15年未満	327	11	3	11	255	37	2	-	8	-0.03	
	100.0	3.4	0.9	3.4	78.0	11.3	0.6	-	2.4		
15年以上	391	10	3	11	321	27	8	4	7	0.02	
	100.0	2.6	0.8	2.8	82.1	6.9	2.0	1.0	1.8		

3) 介護ロボット機器を導入して、利用者の行動に関して一番変わったと感じる点(自由記述)

利用者の行動に関して一番変わったと感じる点としては、職員が利用者の行動を予見できるようになることで、利用者の意向に沿った介助が実現するだけでなく、夜間における利用者への不必要な関与(訪室・のぞき見)が減り、不要な覚醒が少なくなる(主に見守り機器)が指摘されている。

また、不必要な関与の減少(見守り機器)や低い負荷での移乗(移乗支援機器)により、職員の身体的・精神的なゆとりが生まれ、それが疲労の軽減や利用者に対する新たな気づきを得る力となっている。

他方、機器の特徴と利用者への適性を考慮しないと、必要以上の鳴動が発生する(見守り機器)ことで、利用者・職員双方にとってマイナスな効果に結び付いていることも指摘されている。

図表 323 介護ロボット機器を導入して、利用者の行動に関して一番変わったと感じる点(自由記述)抜粋

居室内での生活を職員が覗く事が無くなった為(若くは減った為)QOLではないが、プライバシーと尊厳は守られると思う(利用者目線)。見守り機器は、体調急変時等も、職員がみてなくても知らせてくれる為、発生時は“気づき”が強くなる。よって、早期発見や、離床状態がわかる事からケアの質に直結する。
介護ロボット導入後、安全に、又、身体的な負担なくケアが出来るようになった。それにより、トイレに行ける回数も増え、2人介助のように、「人を待つ」(職員)ことが減ったことで、トイレに行きたい時に行けるようになった。
スタンディングリフトを使用することで、トイレでの排泄につながっている利用者が増えた。トイレでの排泄は人としての尊厳にもつながっていると思う。また、職員の腰の負担軽減にもなっている。
利用者が失敗してしまう排泄がトイレに間に合うようになった。
利用者の入眠、覚醒の状態がわかり、オムツ交換・巡回等で不要に覚醒される事が少なくなった。
介護ロボットを使用することで一定の動きで利用者を介助できるため、利用者、職員の負担を軽減できた。またセンサー等を使用することで、無駄な訪室回数が減り、利用者が安眠でき、日中活発に生活を送っていただき、ケアの質が向上したと思う。
センサーを設置した利用者では、ベッドからの転落事故が減った。一方、少しでもセンサーに触れただけで反応してしまうので、何回も鳴ってしまい利用者を起こしてしまう。

2.5.3 調査結果のまとめ

- 介護ロボットの導入による効果
 - 介護ロボット等を安全かつ有効活用するための委員会を設置していると回答した施設は、約3割であった。
 - 介護ロボットの導入によりケアのオペレーションを変えた施設は約3割であった。
 - 委員会を設置している施設の方が、ケアのオペレーションを変えた割合が高かった。
 - オペレーション変更により、総訪問回数が減った施設は約半数、残業時間が減った施設は約3割であった。
 - オペレーション変更による職員の行動や意識の変化としては、気持ちに余裕ができた、精神的負担が軽減した、訪室しなくても利用者の状況がわかるようになった、利用者の行動パターンが把握できるようになった、事故原因分析の参考情報にできた、優先順位の判断ができるようになった、利用者のペースに合わせた介助ができるようになった、利用者によりよいケアが提供できるようになった等があげられた。
- 令和3年度介護報酬改定における、見守り機器等導入に伴う夜勤職員配置加算・人員配置基準等の緩和された要件に応じた対応をしている施設は少数であった。

3. ヒアリング調査結果

3.1 調査目的

アンケート調査の回答があった施設のうち、テクノロジー活用を通じて令和3年度の介護報酬改定に関連した人員配置をしている施設を中心に、アンケート調査で把握しきれない、令和3年度介護報酬改定に沿った人員変更にかかる先進的な事例や効果の詳細を把握することを目的としたヒアリング調査を実施した。

3.2 調査対象・調査方法

ヒアリング調査対象は次の表の通りである。ヒアリング対応者は、施設の管理者またはロボット担当者であった。

本ヒアリング調査はすべて、感染予防の観点からオンラインにて実施した。

図表 324 ヒアリング調査対象

施設概要	サービス種類	夜勤職員加算(0.6人)	見守り人員配置緩和	日常生活(入居)継続支援加算
施設 A(営利法人、東京都)	特定施設入居者生活介護			○
施設 B(社会福祉法人、神奈川県)	介護老人福祉施設	○	○	
施設 C(社会福祉法人、東京都)	介護老人福祉施設			○
施設 D(社会福祉法人、千葉県)	介護老人福祉施設	○		○
施設 E(社会福祉法人、福井県)	介護老人福祉施設	○	○	
施設 F(社会福祉法人、新潟県)	介護老人福祉施設	○	○	○

3.3 調査期間

ヒアリング調査期間は、令和3年12月～令和4年2月であった。

3.4 調査項目

ヒアリング調査項目は、以下の表の通りである。

図表 325 主なヒアリング調査項目

大項目	小項目
ロボット導入概況	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入ロボット機種(重点分野と名称) ● ロボットの使用期間 ● 導入率、導入台数
介護ロボットを活用した人員配置変更の状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 加算の要件緩和を踏まえた人員配置変更の状況 ● 見直し後の夜勤職員配置加算算定、人員配置基準算定、継続支援加算算定の状況 ● 介護ロボットの利用率を高めていくことによる、人員配置の効率化(夜勤→日勤へのシフト等)の可能性
介護ロボットを活用した人員配置変更の具体的なプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボットを活用した人員配置変更の具体的なプロセスについて
人員配置変更するに当たっての課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員視点目線からの課題について ● 施設運営面での課題について
緩和された分の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 緩和された分の活用状況について
人員配置変更によるアウトカム(職員・利用者への影響)	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員への影響(負担軽減・効率化) ● 利用者への影響(自立支援・ケアの質の向上) ● 施設への影響(コスト、人材等)
ICT 機器導入後の安全体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT 機器導入後の安全体制確保についての課題と取組
今後の施設においてテクノロジー活用を進めていくための課題、求められる視点等	<ul style="list-style-type: none"> ● 推進していくにあたっての課題について ● 求められる視点等について
介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定について

3.5 調査結果

ヒアリング調査結果概要は、次の通りであった。コロナ発生および対策中による多忙のため、ヒアリング調査に協力頂けなかった施設が多く、アンケート調査の自由回答も活用して整理を行った。

調査結果の詳細は、次の通りであった。

3.5.1 介護ロボットを活用した人員配置変更について

(1) 介護ロボットを活用した人員配置変更の状況

人員配置変更を行った事例は以下の通りである。本ヒアリングでは加算の要件を満たす施設へのヒアリングを行ったが、人員配置の変更を行っている事例は数件しかなかった。ただし、介護ロボットの利用率を高めていくことによる、人員配置の効率化の事例を今後蓄積し、情報共有することで、規模や居室タイプ等によって広がっていくと考えられる。

図表 326 人員配置変更を行った事例・検討中の事例

施設サービス種類	施設定員(人)	居室タイプ	変更の状況
地域密着特養、夜勤職員配置加算：0.9人	29名	ユニット型個室	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜勤2ユニット1名体制(ヒアリング施設の同法人施設) ● 夜勤職員配置加算0.9人について、 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 早番・遅番の組み合わせでやりくりしている(早番、遅番の時間帯の積算で0.9を積みあげ)。 ➢ 8時間労働。 ➢ 17時～翌9時までの設定で、遅番の人を入れる、早番を入れる。 ● 地域密着特養では、職員数が少ないため、夜勤者を確保できないので、有効活用できた。 ● 地域密着の29名定員では、遅番・早番の配置を活用して、加算が算定できるため、非常に有効である。))
特養、夜勤職員配置加算：0.6人	20名	ユニット型個室	<p>(ヒアリング施設のサテライト施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加配1が取れなかったが、すべてに見守り機器を入れることで、0.6人で算定する予定。 ● 人員緩和は小規模施設にメリットがある。 ● 大規模特養は職員数多くて、時間もとれるため、あまりメリットを感じない。
介護老人福祉施設	100名	従来型個室	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護職員数は充足していないが、特に人員配置の変更に至っていない。

施設サービス種類	施設定員(人)	居室タイプ	変更の状況
		多床室	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来、状況によっては、以下の内どちらかを選択する可能性あり。 a.テクノロジー導入による緩和の場合の夜勤者数 (MAX110名)4.0以上(夜勤者数5→4名) b.宿直者配置緩和要件:夜勤配置基準にプラス1以上で、防火管理者として指名(宿直廃止) (現稼働率:88.5%=4人以上 本来は前年度平均利用者数が基準)

図表 327 人員配置変更を行っていない事例

事例/施設サービス種類	施設定員(人)	居室タイプ	変更できない状況
介護老人福祉施設	30人		<ul style="list-style-type: none"> ● 換算で前後減らすことはできなくはないが、人員を減らした場合、朝夕は利用者が起きていて対応が必要。真夜中に人を抜くことはできない(見守り機器で朝夕に業務を減らすことはできない)。 ● 端数への対応が難しい。1人が休憩時には利用者30人を職員1人で見る。 ● (夜勤が10人の施設であれば、10人を9人にはできるかもしれない)
介護老人福祉施設	70名	従来型個室+多床室	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の配置人員3人でいいところを、80床を4ユニットに分けて4人で見ている(4人中1人は外国人)。 ● 3人→2.8人について、今のコロナの状況で手厚くしないと影響を受けたときに立ち行かなくなってしまう。 ● 加算が取れるから1人減らすとはならない。 ● 0.2を削っていいことについて、シフト上抜けたり、常勤換算で示してくれているが、人を減らすと不安になる。 ● 3:1でできない現状。2.5で基本報酬にしてほしい。2.2でやっている。そこまで意識が動いていない。消毒等に時間がかかり、現実的ではない。 ● 見守り機器のコールが同時に夜勤人数以上になったときに対応できない。

(2) 人員配置変更するに当たっての課題

夜間における複数の利用者への同時対応や急変時の対応、徘徊する利用者への対応、朝夕の対応等の介護ロボットで代替できない業務があるため、人員配置変更が難しいという意見が多くあった。また、施設規模やフロア配置等の制約によっても人員配置を変更する難しさが異なることがわかった。

図表 328 人員配置変更するにあたっての課題

分類	課題
複数の利用者への同時対応	● 大勢の方が同じような時間で生活をしていると、同じ時間帯に生理現象が生じるので、人員の削減は課題である。多くの利用者は職員の支援がなければ生活ができない。
急変時の対応	● 少数で管理できるという発想は現実的でないことがある。特に夜勤配置人数においては、いつ救急搬送があるか職員は不安を抱いている。その為、特養で効率を求めるのであれば、宿直者の廃止に至る。しかし、防犯の体制を整える必要があるため、段階的に整備する必要がある。
フロア配置の関係	● 各階に食堂があるなど、各フロアで区切って対応しているため、機器を導入して1人減らすことは難しい。

図表 329 「夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準」の緩和に関する人員配置変更に対する意見（アンケート調査結果）

分類	意見
急変時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の急変時は、人手が必要になるケースがあるので、条件は変えない。 ● 看取りの方も多く、従来型ではあるが3ユニットになっているため緩和することは考えられない。 ● 見守りセンサーを利用しているが、センサーだけでは夜間業務の人員緩和につながらない。むしろ夜勤配置の人数を多くすることで夜間帯の緊急時対応や、転倒リスクを減少させられるのではと考える。+見守りロボットがあれば記録や巡回など楽になり介助もできやすい。また、夜間でも眠れないお年寄りもいるため1名での対応は不安が大きい様子。 ● 急変、体調不良、不穏など複数の課題が同時に発生した場合、少人数での対応となる為、負担が大きい。
徘徊の利用者の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 人手不足には基準の緩和が有効と思うが利用者の状態急変時や徘徊の利用者の対応時には職員の配置が少ないと対応ができない。 ● 機器があったとしても、実務としては人の配置が必要であり、人員の削減には結び付かない。今でさえ、夜間は2ユニット(18人)を1人の夜勤者で見ているのにこれ以上、どうやって減らしていくのかわからない。利用者が、夜はずっと寝ているという前提に基づいた設定がおかしい。
朝夕の対応	● 朝や夕方から就寝までの時間帯はテクノロジーでは補いにくい直接援助が多く求められており、既に十分なスタッフを配置していることから緩和されることに

分類	意見
	<p>ついてインセンティブとしての魅力は感じない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 見守りはあくまで見守りで、介助が必要な場面では人手が必要。老人の起きる時間は朝5～6時のため、遠隔でモニタリングできてもその時間帯からは人手が要る。
<p>ロボットが代替できない業務がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 緩和されたからといって減らしたら業務が回らない。 ● ロボット導入により基準が緩和されても必要な人手(実人員)の配置は変えられないと思う。 ● 見守り機器の導入により、安全性の確保、巡回業務の効率化は図れたが、対応すべき業務が減ったわけではないため、人員を減らすことには直結しない。 ● インカム、スマートフォンの導入、および各居室に監視カメラ等を設置し、記録の整備を順次行っているが、機器の整備を行っても、人が人をサービスする現場では人の目と手によるケアは削れないと考えている。 ● 見守り機器を導入しても人数を減らすのは難しい。見守り機器導入→巡回を減らすには結び付きにくい。 ● 基準緩和により、配置は少なくできるが減少した人員を補えるシステム導入が行えていないのが現状。
<p>施設規模</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模向けの加算であると感じる。導入資金と加算のバランスが取れていない。 ● 10人いる夜勤者を9人にすることは可能だが、2人しかいない夜勤者を1名にはできない。
<p>居室タイプ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ユニット型はそもそもの夜勤者が従来型より多い基準の為、ロボット導入割合が10%以上であれば、0.8人まで緩和してほしい。 ● 多床室・従来型個室とユニット型は別々の基準にするべき。 ● ユニット型の場合、緩和が難しい。
<p>フロア配置等の制約</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の造りによっては、人数を減らす対応が難しいと思われる部分も大きい。減らしたことで発生した事故の責任を施設だけに求められると厳しいのでは。 ● 建物状況(平面他)において各施設の課題が変わってくる。
<p>導入率(全床)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守り機器をたとえ全床に設置しても、夜間の人員を減らすことはできない。人数の配置基準の緩和ではなく、単位数を算定できるようにしてもらいたい。 ● 全床に導入するのに時間がかかる。シフトが細かい為、シフトの見直し変更が必要になる。 ● 初期投資がかかるので、例えば定員の20%とか、台数要件の緩和をおねがしたい(必要でない方もおられるため)。
<p>機器導入費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定条件のハードルが高すぎて、算定できない。機器の数をそろえるには、高額

分類	意見
維持費	<p>の費用がかかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加算を目的とすると、お金がかかりすぎる。配置基準等については、すでに満たしておりそれ以上の削減はむずかしい。 ● まずは、機器の購入や保守、維持費等の補助を拡充してほしい。 ● 100%+インカムの条件で良いと思うが助成金等拡充し環境整備をお願いしたい。 ● 緩和をみとめられても、財源の問題がある。助成されてもむずかしい所もあるし、事務処理が多すぎる。 ● 介護ロボット等による基準の緩和が取り入れられるように、ロボット等の導入補助を行っていただきたい(補助金があるのは知ってるが、一部負担するのには限界が費用的にある)。 ● 今後必須になってくると思われるが、設備を整えるにはかなりのコストがかかる為、その為の支援策は引き続き行ってほしい。 ● 補助金の範囲を多くして、個室には必ず設置してもらえれば有難い。 ● 見守り機器等の導入に必要な不可欠なWi-Fiの設置費用及び維持管理費を継続して助成しなければ加算が取れても収益に結びつかない。
安全性の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 今現在出ているロボットだけでは、とても夜勤者を減らすことが難しい。安全面、事故について考えると、ロボットには任せられない。 ● 安全性が確保できるのであれば、夜間の職員を減らしても良いと思う。 ● 見守り機器等を導入し人員を減らすことに不安がある。 ● どこまでを機器に頼っていいのか。このことを明確にしないと導入に踏み切れない。 ● 見守り機器導入＝リスク業務が少なくなるとは、思わないから。 ● 夜勤配置職員を今以上に減らすというのは、見守り機器導入をもってしても不安がある。現状の夜勤中の業務改善につながることを期待したい。 ● 介護ロボットの導入をしても、利用者の方々の状況把握をロボットまかせにすることは、良くないことであるように思える。
夜勤者の休憩時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 少人数の夜勤者での休憩時間の確保。
家族・職員の理解	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員を減らすのであれば家族・職員の理解・協力は得られない。 ● 全室への機器導入は金銭的に難しいことと、仮に導入した時に人員を減らす不安の解消に苦勞する可能性が高いと予測する。

分類	意見
職員の教育・研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボット、ICT機器について習熟が必要。現在の仕事を変えていくのはなかなか大変。 ● 見守り機器が充実したとしても最終的に利用者に対応するのは介護職員となる。緩和されても減らすことは難しく、現場の実状から言えば増やしたいが担う職員が居ない。 ● IT機器の扱いに不慣れな高齢スタッフも多い。
利用者視点のケア	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員配置や、インカム、各室監視カメラの設置、見守り機器の導入により、ある程度の改善はあるが、人員配置を限りなく削減する方向は、利用者ファーストのケアの基本とは視点がずれていると思う。
機器自体の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器だけでは対応しきれないことが多く存在する。 ● 真に夜勤配置職員の減に努め、介護業界の人材不足に対応するためには、排泄用支援機器や、褥瘡の具合に配慮しつつ自動体位交換を実施する介護ロボットと併用する必要があると思う。それらの開発を期待すると共に、そうした介護ロボットへ投資した費用をなるべく短期間で回収できるような加算の仕組みを待つところ。 ● 現時点では誤作動が多いという問題があるが、問題が解消されれば、「勤務条件に関する基準」の緩和が進むと思う。 ● 全ての見守り機器を同じ条件での緩和対象とするか(機器により性能が異なる)。
加配の算定	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員基準を1以下にするのではなく、加配するものであれば算定していた。 ● 実際には加配しなければ、業務は終わらない。 ● 利用者の重度化・高年齢化が進んでいることを踏まえると、緩和より夜勤者数を増やすことができるよう人員配置の充実が必要だと感じている。 ● 大型(広域)の特養であれば、自然に加配状況になる事がほとんどだと思われる。 ● 夜間職員配置が少ない。もっと配置する必要がある。特養における職員の配置基準の見直しが必要。3:1では勤務は組めない。 ● 夜勤配置加算を大きくあげて、夜勤の配置が増える様にしてほしい。緩和はさらなる介護職員の離職につながるのではないか ● 人員数の減ではなく、加算で評価して欲しい。0.1人減ったところで意味がない。 ● 機械ではオムツ交換やトイレ介助はできないので、やはり、人的体制を充実すべきと考える。 ● 夜間帯の、職員は、手厚くした方が良くと思う。

分類	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ● 単純なことではない。介護ロボットを導入しても、人員配置を変えられない施設もある。現状の人員より多く配置した場合の加算をつくるなど、逆行しているかも知れないが検討して欲しい。 ● 全居室に見守り支援センサー等があっても対応するのは職員なので今の加配を減らすことは困難かなと思う。それよりも加配しているところへの手当がほしい。 ● 人員基準の緩和ではなく加配であれば算定しようとする。 ● 基準の緩和も必要だが、加算単位の増を望む。夜勤をする職員の待遇改善につながるようにすべき。 ● 夜勤職員の加配についての加算を増やして欲しい。 ● 職員がなかなか集まらない施設にとっては、少しでも緩和され加算を算定できるのは良いと思うが、もともと職員を加配できているところは、それだけで人件費がかさんでしまう。
配置人数による加算	<ul style="list-style-type: none"> ● 配置人数というより加算で導入コスト、維持費がまかなえる様にしてほしい。 ● 配置人数の緩和より、加算額の増加の方が望ましいと思う。建物の構造が3階建てで、3フロアに分かれている。基準の人員配置3名なので緩和してもらっても1フロアゼロ人にする訳にはいかない。 ● 人員配置での加算はやめていただきたい。 ● 介護ロボットが代用できるものは限りがあるので、ロボットを導入＝人員削減とはならない場合も多い。現場で、どのように効率化を図るかが求められるが、現状は加算の内容が介護ロボット導入のコストや手間に見合っていないと思う。 ● これから、労働人口が減る中で、人数配置での加算はやめていただきたい。
基準や条件が煩雑	<ul style="list-style-type: none"> ● 配置する人数が、0.9になったとしても、全く職員がいなくて良いわけでもなく、0.1をどの様に利用するのかわからない。 ● 緩和された人員数をどのように利用できるのか、わからない。 ● 人件費も丸々一人は削れないのでわりに合わない。 ● あまりにも基準や条件が煩雑。 ● 緩和される人数が1以下だと魅力を感じない。 ● 現状、当施設では「見守り支援システム」の導入台数が12台であり、夜勤職員の0.1人分換算となる要件を満たしているところですが、0.1人分の活用方法については、その具体を決めあぐねている状況である。そもそも、システムが現場職員の心理的・身体的な負担の軽減に効力を発揮しているところではあります。当施設のような大規模定員従来型の施設においては見守り以外の夜間帯業務(オムツ交換・離床・臥床)が占めるウェイトも大きく、思い切った人員の削減が難しい状態であり、加算目的でのシステム利活用は現実的ではない状

分類	意見
	<p>態にあるのが正直なところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ロボットで0.9人は意味がないと考える。夜勤の人員はすでにクリアしている施設が多いと思う。 ● 緩和された時間をどう活用するか。本当の意味で職員の負担軽減と利用者の安全に寄与するとは考えにくい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボット、ICT導入に関連した加算が設定されるのは経営層の意識づけのきっかけになるので有難い。 ● 特養の利用者は、基本介護度3以上となっており緩和にはつながっているが、人数を減らす程の緩和ではない。 ● 配置については現行では難しいと理解しているため、時間について検討してほしい。 ● 0.9になっても2.0に配置は変わらず、田舎では夜の通勤移動は危険だから自由のない休憩時間となる(2.0+0.9)。夜10時までの勤務を少なくできた。 ● 夜勤職員配置加算の増額等の見直し。 ● 高齢者施設での夜勤業務に対する賃金基準や拘束時間(見直し)などの基準作成をお願いしたい。

図表 330 「テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進」に対する意見
(アンケート調査結果)

分類	意見
要件の緩和について	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護福祉士の割合を少なくすることがケアの質を維持・向上させるのか疑問。介護ロボット導入で緩和する条件なのか。 ● 介護福祉士を増やす方向なので、緩和は関係がない ● 介護福祉士の割合は十分に満たしている為、現時点では必要としていません。そもそも、6:1という比率自体が少なすぎるのではないかと思う。介護福祉士はあまり必要としていないのではないかと感じてしまう。 ● 人員の緩和より要件の緩和をして欲しい ● 緩和されても出勤する日数が大きく変えられないのであまり意味を感じない ● ハードルが高い。緩和内容が7:1ではどこも加算を算定しない ● 勤務実績の日毎の時間管理。必要なくなった人手をこれで全部カバーできないのが実態。 ● 介護ロボットによる見守りで全てのケアができるわけではなく実際に目で見ないと分からないことも多い。手厚いケアを行っている部分で加算があることが望ましい。

分類	意見
施設規模	<ul style="list-style-type: none"> ● 実務としては必要な人数を置きたい。少規模施設では基準をみたさない。
機器導入費・維持費	<ul style="list-style-type: none"> ● 設備投資に手が回らない。 ● 機器の導入コスト、ランニングコストが高い。実際に役立つ機器が少ない。 ● 機器導入の費用負担について、支援をもっと幅広く対応してほしい。
安全性の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器の信頼性の改善、及びデータの検証。
職員の教育・研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者雇用者の教育。職員の年齢が高い方の拒否や苦手意識が強い。 ● 機器を全員が使いこなせるかどうか。 ● 業務の効率化は可能と思うが、職員の質の低下が心配される。
機器自体の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 「介護ロボットの導入→業務量減→職員減」となることが必要。現状のロボットは、そこまで至っていないのではないか。施設の設計から見直す必要がある。 ● 介護の現場では、介護ロボットでは対応できないことが多くある。見守りセンサー、居室内カメラにより、定期巡回はフォローできるが排泄介助等で適切なケアをする為には人員が必要。看取りの方、リスクの高い方に機器を使用しても同時対応が必要な時に職員が居なければ対応できない為減らすことは難しい。 ● 利用者の重度化により、年々業務は増加してきているため、配置人員を減らすのは困難だと思う。 ● テクノロジーもまだまだの感。人の手による人へのサービス部分が大きく、導入をすすめて効率化を図っても配置を減らせるレベルではない。 ● ICT機器により減った業務量以上にケアの質を高める為に必要となる業務が多くある。 ● 停電になればすべて使えない。

3.5.2 ICT 機器導入に伴うオペレーション変更

ICT 機器導入に伴うオペレーション変更は、定時巡視の回数の変更や排泄ケアの時間変更などがあげられた。

図表 331 ICT 機器導入に伴うオペレーション変更

分類	変更内容
見守り機器導入によるオペレーション変更	<ul style="list-style-type: none"> ● 定時巡視の回数(頻度)を減らす。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 夜間帯の巡視が原則1時間に一度確認することから、2時間に一度確認することに変更した。 ● 排泄ケアの時間の調整。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 原則、定時の排泄介助を行っているが、特に夜間帯のオムツ交換については、覚醒時に行うことを目標として取り組んでおり、将来的にオムツ交換が必要な方は覚醒時にコミュニケーションを図りながら支援できることを目標としている。但し、現時点では睡眠や覚醒を確認するシステムが全てのフロア職員が把握できる状況で無いことが課題とされる。
オペレーション変更が難しいケース 【定時巡視】	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療行為が必要な利用者等、酸素マスクをつけている認知症の利用者などは、目視確認が必要。 ● バイタルがわかる機器ではないので、訪室は必要(バイタルのわかる機器は費用が高い)。

3.5.3 ICT 機器導入後の安全体制確保

夜間業務における安全体制の確保について、「複数利用者への同時対応」「急変時の対応」「徘徊する利用者・夜間に眠れない利用者の対応」や「仮眠・休憩時の対応や時間の確保」「夜間の勤務体制の課題」等の意見が多くあげられた。

図表 332 夜勤業務における安全体制確保についての課題(アンケート調査結果)

分類	意見
複数利用者への同時対応	<ul style="list-style-type: none"> ● センサー使用も、重なると対応が間に合わない可能性もある。 ● 同時にセンサーが反応した場合。 ● ナースコールが重なった場合の対処。 ● 休憩時間にフォロー体制がマンパワーとして弱い。同時にケアコール、センサー等が重なった場合。 ● 配置職員が最低限なので、何かあった時のフォロー体制。 ● 利用者の年齢や病歴など年々変化しており夜間にすべき業務もそれに伴い変化している。確かに見守りロボットにおいて巡回の回数が減り、記録もできるが、利用者の重度化は入居対象が要介護3以上になったことによりさげられず、ロボットでは対応できない緊急対応が多くなったと思う。 ● 1人夜勤での緊急時の対応。 ● すぐケアが必要な方、急ぎでの対応をしなければならない方で同時にナースコールが鳴る時が多い。見守りの機器があっても対応は同時にできず、優先度も同じくらい高い場合も多く、危険を感じる。 ● 夜勤帯は職員が少ないにも関わらず、ナースコールやセンサーが鳴りやまない状況が多い。見守り機器を活用して、睡眠状況を確認し、巡回の頻度を少なくして、負担を軽減したい。 ● 見守り機器を導入したことにより、コールが重なった時の対応課題がある。 ● 対応すべき事象が同時に多発した際の優先順位や対応方法など。 ● 少ない人数での対応になるので、利用者の対応が重なった時への不安。 ● 夜間20:1で配置されているが、負担が大きい。2人同時に転倒注意の人が立ち上がった時などのアクションプランを、ロボットによる生活リズム把握で作っている最中である。
急変時の対応(利用者の重度化)	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜間緊急時の対応・センサーに反応しない方への見守り支援について。 ● 多くの重介護の利用者に対応するには職員(夜勤業務を行う)が不足している。 ● 救急搬送の際のスタッフ確保。 ● 急変者の早期発見・転倒リスクの高い方の対応。 ● 急な受診等の対応。 ● 安全もそうだが夜勤者は利用者の急変時対応の不安が大きく、この不安は機

分類	意見
	<p>器が導入されても人員数が減れば解消は小さい</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 体調不良者発生時や事前情報の少ない短期利用者受入時の安全体制の確保（死角が多くなることによる二次被害の発生）。 ● 夜勤者の負担増加（利用者の重度化、看取り介護の増加）。 ● 緊急時の対応（吸引等の医療が必要な時）。 ● 急変の対応に職員の個人差がある。
徘徊の利用者・不眠の利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 不眠者の対応。 ● 多動な方の対応には夜勤者の人数が不足している。 ● 徘徊される利用者への対応。 ● 介護ロボットの導入だけでは対応しきれない認知症や夜間せん妄等への対応。 ● ショートステイなので、手の掛かる方が入って来られた場合、（徘徊の激しい方が他居室で放尿するなど）夜勤者が対応に追われるが、優先順位をつけて何とか対応できている。 ● 夜勤1名で対応しているが、認知症の方の不穏対応で応援をよびたいが、現状、呼べる相手がいない。 ● 利用者进行评估し、夜間にトイレへ行く方、認知症により理解できない方、転倒リスクの高い方に対し、センサーや見守り機器を設置し、何とか対応している。 ● 転倒リスクのある方の見守り。
ロボットが代替できない業務がある	<ul style="list-style-type: none"> ● センサーによるバイタル測定が行えるか、安全確保は人の目・手が必要と考える。 ● 機器に全てのケアをまかせることはできないため、結局は人材が必要。 ● 見守り機器導入により人員の削減ができて、利用者へのケアの量は変わらないので職員の負担増や精神的にも不安が大きくなる。 ● 見守りだけが夜勤業務でない。重度化しており、100人の利用者を4人で夜勤するだけでも重労働。 ● 利用者が重度化しているため、夜勤業務の負担が増している。介護ロボットで代用できることではないため、人員の配置が必要になっている。
居室タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● ユニット型の施設は2ユニット1名の配置が多く休憩できない。
フロア配置等の制約	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物が広く、死角が多い。 ● 施設の構造等の条件を踏まえた職員の配置、職員の資質向上等。 ● フロアをまたいでの連携。 ● フロアが1・2Fと分かれている為1人が休憩に入った時1・2F同時にみなくて

分類	意見
	<p>はいけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 構造上、機器を導入しても、ユニットの配置が、2ユニットが見通せず、防火扉、ナースコール等の改築等が必要であるため、法人本部と中長期的な計画立案が必要。
導入率(全床)	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守りケアシステムベッドの導入が全体の20%程なので、必要な数に達していない点。 ● 見守り機器がまだ1台のみの導入なので、必要な数をそろえ、効率的な支援を行っていく。 ● 全床見守り機器導入を検討中。 ● 見守り機器をより多く導入を進めたい。 ● 見守り機器が多く導入出来れば、巡回回数を減らす事が出来るかもしれないと思っている。 ● 導入割合を100%にする必要あり。 ● 全員に見守り機器を導入する必要はないが、現在の台数では不足している。必要台数を設置しても、混乱する当事者に都度対応を要するので、加配をやめるのは難しい。
機器導入費・維持費	<ul style="list-style-type: none"> ● 圧倒的に職員の目が行き届きにくく、安全への配慮が足りず、工夫・改善に取り組んでいるが、費用も高額となる場合が多く、思うように進めることができていない。 ● 見守りベッドが高額で除々に導入する状態。定期巡回やセンサーマットで対応している。 ● 看取り介護等、見守りが出来る介護ロボットの導入に関して、経費がかかりすぎる。
夜勤者の休憩時間の確保/休憩中の体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員の確保、仮眠・休憩時間の確保。 ● 仮眠時の職員減・同時コールへの対応。 ● 特に感じているのは、まとまった休憩時間が確保できないこと。 ● 深夜帯3フロアを3人の職員で対応しているが、休憩時間は実質2人体制になってしまい見守りが不十分な時間となる。 ● 1人体制であることで緊急事態に対応が困難となる。8時間夜勤での休憩が取れない。
職員の教育・研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、見守り機器の導入により、利用者の安全性の向上、プライバシーの確保に繋がっているが、機器の使用について不適切な部分もあり、統一した使用方法を検討している。 ● 何人配置しても足りない時はある。優先順位を判断できる職員を育成していく

分類	意見
	<p>必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職員の精神的負担の軽減。ヒヤリハット原因を分析することでリスクを減らす ● 職員教育の不足によるスキルの低下、サービスの質の低下のおそれ。
データ活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守り機器の更なる活用(データ分析、行動予測)。
機器自体の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守り機器も正確でないところもあるため、十分に安心することはできない。 ● 見守り機器に併設されている体位交換機能バイタルの状況など確認できるようになる機器を希望。
夜勤体制の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜勤者は最低基準の配置であり、今後増える予定は無い。見守りの強化や勤務者の心身負担の軽減を考えると、見守り機器等を増やして対応していきたい。 ● 現在、看護職員一名で深夜帯を対応。あとは、オンコールで医師、看護、介護職員対応している。 ● 現12ユニットで6人(2ユニットで1人)の職員配置だが、1~2名の機動的対応要員がいることが望ましい。 ● 配置基準における安全確保の課題。 ● 1人夜勤の為、手が足りない時がある。 ● 二人体制が望ましいが現在一人夜勤となっている。 ● 夜間業務は見守りだけではない。2ユニットに1人の配置で16時間夜勤を行っているため、これ以上は減らせない。 ● 1人で30人をケアする体制。事故防止の取り組みにも限界がある。 ● 夜勤職員が4人の為、ナースコールが多い日はすぐに対応出来ない。 ● 夜勤1名だが宿直者をつけ、対応。 ● 職員の高齢化や離職者等の問題に対して、体制の見直しを検討している。 ● 特定行為業務資格者の確保。 ● 16時間夜勤の検討見直しが必要か。 ● 夜間帯と日勤帯の業務バランス。
インカム	<ul style="list-style-type: none"> ● モニターの活用・インカムによる情報共有。 ● 法人により必要のない物が要件として上がってきているため、インカム等は使いにくい。
災害対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜勤時の災害対応等。

3.5.4 今後の施設においてテクノロジー活用を進めていくための課題、求められる視点等

今後の施設においてテクノロジー活用を進めていくための課題・求められる視点は、「コスト」「事故時等の責任の問題」「利用者目線を忘れないこと」「機器間の連携」「更なる機器の改良」等の意見があげられた。

図表 333 テクノロジー活用を進めていくための課題

分類	意見
機器の信頼性	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器の動作不良は不安がある。
記録システムと機器の連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守り機器は睡眠のマネジメントであるが、心拍数や呼吸数も同時に確認することができるため、様々な根拠として確認することができる。それを共有する仕組みや協議する時間などが課題として挙げられ、また現行使用している介護ソフトでは記録が対応できないのが残念である。様々な商品が融合して活用できることが大事。
機器の導入率(全床)	<ul style="list-style-type: none"> ● 見守り機器の導入による職員負担軽減について。台数を増やしすぎると対応できない。夜間は20人を一人の職員がみていて、認知症の方が多い中で、アラートがたくさんなっても対応できず、負荷が増える。 ● 機器を入れることで、気づくことが増える。対応のスピードも求められ、せかされるため、夜間については、全床に入れても対応できず、身体的に負担になる。 ● 必要な台数は施設の利用者の状況等によって異なる。一律で数値を設定すべきではない。 ● 訪室頻度を減らすなら、夜間の動きのない人に使うことを考えている。その流れにもっていきたい。心拍や呼吸数のアラートによって見守る。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 逆に、動きのある方、寝ていない方、徘徊する方には、直接的に職員が関与する方が有効と考えている。
効率化の限界	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存の人員配置基準は今後守ることが出来なくなってくる可能性が高いが、その中でどう介護ロボットを利用し、実際に運用することで人がどれだけ効率よく働けることが未知数。
職員の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの職員は自らの経験値を頼りに曖昧な答えを導くことがある。見守り機器の情報を分析し、支援の根拠に結び付ける視点に変化させなければならない。
機器導入・維持やWi-Fi整備等にかかるコスト	<ul style="list-style-type: none"> ● いかにかフロア職員が同じ情報を把握し、連携して支援できるかが課題。そのためには通信設備の入替が必要である。但し、全ての理想の仕組みを一気に導入する訳ではないので、継ぎはぎで整備するため、使い勝手の悪さがある。 ● 導入初期はまとまったお金がかかる。基金等による補助を手厚くしてほしい。 ● 初期投資を助けてもらいたい。利用者負担を考えると、所得のある人にはそのまま払ってもらおうが、そうでなければ、償還払いがある。それを組み合わせれば、負担もそれほど重くないのでは？

分類	意見
責任問題	<ul style="list-style-type: none"> ● 責任に関する整理が必要。「施設内のことは全て施設の責任」ということから脱却しないと、という話と、ヒトの手によるケアと、機械のケア、それを納得できるように整理することが大切。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 家族が、機器を入れたことで「転倒を防げる」のね？という考えがあったりする。そうじゃない、ということ伝えるのが難しかった。 ■ センサーはあったが対応できなかった場合に、なぜ対応しなかったのか、できたのでは？と言われたいかなければ。
利用者の目線を忘れないこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの高齢者は認知症と診断される中で、「効率」を求めるよりも「余裕」が生まれること必要であり、「作業」よりも「温もり(会話や触れ合い)」を利用者が求めている。その中で安心・安全を提供できると良い。

図表 334 テクノロジー活用を進めていくための課題(アンケート調査結果)

分類	意見
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの介護ロボットのラインが複数化・複雑化することの問題も出てくる。相互の連携・連動の規格があるとすむのではないか。インターフェイス、インタラクティブを高めていく必要があると思われる。
機器の更なる改良	<ul style="list-style-type: none"> ● ロボットの活用により、人的業務を減らすことなど分かりますが、人員配置を減らせるだけの介護ロボットがあるとは言い難い状況かと思う。国の方からも自信を持って、すすめることが出来るロボットの開発や活用を期待している。 ● わざわざ人が記録しなくても、直接介助、支援した内容が自動で記録されるようになってくれたら、より多くの時間を利用者に充てることができると思うので、近い将来なってほしいと思う。
故障・不具合対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボット・ICT機器導入による、加算の新設は賛成である。但し大きな問題として、メーカー側における現場の動きなどの理解が乏しく、故障や不具合が多発している。これにより介護職員の機器への信用度が落ち改革が進まない。修理費用は、非常に高額となり、経営もきびしい状態となっている。

3.5.5 介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定

介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定について、「人員配置の変更が難しい点」「機器に関するコスト」「職員の教育・研修」等の課題があげられた。

図表 335 加算及び人員配置基準等に対する意見

分類	意見
日常生活継続支援加算・入居継続支援加算	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定を受けるにあたっての課題は、3ヶ月の試行と、その実効性を確認する方法がわからない。 ● 安全体制を整備する人的資源の不足。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 緩和要件そのものに魅力が薄い。大規模施設の場合、メリットはあまり感じにくい。
夜勤職員配置加算	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜勤職員配置加算について、パートも有休があり、対象に入れてほしい。対象を拡大してもらえると急な職員退所時などに余力ができる。
継続支援加算算定	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症自立度 65%以上の要件があるが、60%に緩和できないか。施設間で要介護の認知症の人を取り合っている現状。夜間の医療行為ができない中で、夜間に亡くなったり、救急車を呼んだり、夜勤職員が疲弊する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 「統一勤務票」について。勤務票をつくる事務負担も大変な上に、そのあとの算定表に落とし込む作業が毎月あり、それも負担が大きくなった。勤務票は普通のものにしてほしい。

図表 336 加算及び人員配置基準等に対する意見(アンケート調査結果)

分類	意見
徘徊の利用者の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの多い認知症の方が複数あると、対応に追われてしまうため、人員配置の改定は現状では具体化しにくい。
フロア配置等の制約	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護ロボット導入により、夜間の見廻り回数が減り、利用者の状態に合った、ケアが可能となった。ただ、夜間の人員を減らすことは、ハード面なども、考え、難しいと思う。
機器導入費・維持費	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT機器を導入している体制加算などコストをまかなえるように充実させてほしい。 ● 介護ロボット導入により、介護職員の必要最低人数(利用者3名に対し1名)等の制限が緩和されない限り、介護職員の業務の軽減化になっても、経営的には、費用倒れとなり、導入不可。
職員の教育・研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際の使用方法などの研修や動画研修を充実してほしい。 ● リテラシーが重要。 ● 使い方を明確にしないと宝の持ち腐れになる。慣れるまでの教育には苦労しました。 ● 専門的な知識のある職員が少なく、導入しても使いこなすまで時間がかかってしまう。又使いこなせていない気がしている。うまく説明もできないし、理解できているかの確認も難しいこともある。
他事業所のノウハウ共有	<ul style="list-style-type: none"> ● 当事業所の介護ロボット等の活用が中途半端な段階でとどまっていることから人員配置基準の緩和のメリットをいかしきれていないため、抜本的なオペレーションの見直しを図ることができるように他事業所の実践ノウハウをもって学んでいきたい。
利用者視点のケア	<ul style="list-style-type: none"> ● ICT機器導入につき職員の負担軽減が考えられるが、負担が軽減した分をケアの質の向上に繋げるようにしていきたい

分類	意見
加配の算定	<ul style="list-style-type: none"> ● 対応するのは人なので導入しても人員の緩和がサービスの質につながると思えない。それよりも、多めに配置している施設に加算していく項目を増やしてはどうか
配置人数による加算	<ul style="list-style-type: none"> ● 数字(要件)の達成と利用者の状況が合わないと業務の負担増につながり離職につながると思う。今の数字ですと現状との、バランスがまだとれていないと思う。 ● 介護ロボットの導入により、人員基準の緩和を行うこと事体は限られた介護人材で業務をこなしていく必要から、方向性としては問題ないと思うが、要介護者の状態によっては、ロボットで対応が難しい状態も多く見受けられる。そのため、介護ロボットを導入しつつも、職員を加配している施設について、何らかの加算により手当していただきたい。
新たな加算	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立支援が進むと、要介護度が下がる方もいて、介護報酬も下がるので、そういう所に加算を付けて欲しい。介護ロボットを導入しただけで、加算がついて終わりではなく、導入後の評価で加算がもらえるような仕組みが必要だと思う。 ● 介護ロボット導入により緩和できること、配置を充実させなければならないことの見極めが重要だと思う。特に、夜勤時など2ユニット単位での対応が必要な場合があるので、ユニット間の可動式壁を認めるとか、夜勤者が交代で休憩できるように配置基準を変更する、あるいは加配施設に加算を付ける等をしてほしいと思う。 ● 介護ロボットの導入はまとまった費用が必要であり、また、導入後の効果も大きいと思うので、導入促進のためにも加算要件の緩和だけでなく、新たな加算の創設等、一步踏み込んだ改定を期待している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入し加算があることはいいことであり、働く人にとっても業務負担が軽減し安心できると感じるが人材確保ができず、人員を減らすことが目的にはならないで欲しい。 ● 介護ロボット導入する事により職員のストレス緩和、余裕ができ、ケアの質の向上につながる。しかし人員配置基準を変えていくことは、むずかしいと思う。 ● 配置要件を緩和することにより、介護担当者の負荷が増大される可能性がある。

4. 本調査研究のまとめと課題

4.1 本調査研究のまとめ

令和3年度介護報酬改定に関する審議報告において、テクノロジーの活用による①見守り機器等を導入した場合の夜勤職員配置加算の見直し、②見守り機器等を導入した場合の夜間における人員配置基準の緩和、③テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進等の見直しがなされた。一方で、テクノロジーを活用した場合の人員基準の緩和等による施行後の状況について把握・検証することとされている。

本調査研究は、テクノロジーを活用して効率的な人員配置を行う介護施設等における、ケアの質の維持・向上や職員の負担軽減に資する先進的な取組について詳細把握を行い、テクノロジー活用によるケアの質や職員の負担への影響を整理し、取りまとめることを目的とした。

本調査研究の成果として、見守り機器をはじめとした介護ロボット導入を通じたオペレーション変更、例えば訪室の優先順位を判断する等を通じてケアの質の向上をはじめとした効果を生み出している施設がみられた。特に、委員会を設置している施設では介護ロボットの導入によりケアのオペレーションを変更している施設の割合が高く、単に介護ロボットを導入しているのではなく、一連のケア業務の流れの中で介護ロボットを有効活用していることが伺えた。ヒアリング調査等の結果からは、様々なケアのシーンにおいて介護ロボットを活用し、ケアの質の向上や職員の業務負担軽減等につなげられているケースが見いだされた。

一方で、介護ロボットの活用に当たっては、利用者の尊厳の保持、自立支援の両面から配慮が重要であることが判明した。一例として、例えばカメラタイプの見守り機器で常時監視をすることは、プライバシー保護が難しく被介護者の尊厳保持の観点で望ましくないケースも想定される。しかし、介護する側にとっては訪室せずに利用者の状況を確認できることにより、利用者の睡眠を妨げることなく見守りができることは、利用者の生活の質が向上する面もあり、見守りと監視をどのように判断をして運用するかの問題は今後議論が必要である。介護ロボットの機能ありきではなく、施設としてどのようなケアを目指すのかを踏まえたうえで、介護ロボットを導入・活用していくためにも、委員会等を設置し、組織として検討する体制を構築することが期待される。

令和3年度介護報酬改定における見守り機器等導入に関する要件緩和についてケアの質が担保され職員の負担軽減が図られていること等の要件を満たし、対応している施設は多くはなかったが実態は把握できた。特に、職員数が少ない施設においては要件緩和のメリットを感じ、早番・遅番等の変更により、要件緩和の適用を受けているケースが見られた。要件緩和を通じて単に夜間の人員を削減するのではなく、昼間のケアに人員を手厚く配置し、ケアの質の向上を図っている事例も把握された。このように、テクノロジーを利活用することで24時間のケア業務における必要人員の変動を最適化できる可能性も示唆された。一方、要件緩和の適用を受けていない施設からは、人員配置の変更により緊急時の対応等が難しいとの意見も見られた。自事業所・施設内だけでの対応ではなく、他事業所との連携等も含めた体制構築を事前に行っておくことも必要なのではないかと考えられる。

4.2 今後に向けて

本調査研究の結果から、介護現場において介護ロボットの導入・活用が進みつつあり、令和 3 年度介護報酬改定における要件緩和の適用を受けている施設の状況等が把握された。

地域医療介護総合確保基金等を活用した介護ロボットの導入に関する補助が出ているが、介護現場では費用負担に関する声が多く、継続した導入支援がなされていくことが期待される。一方で、導入支援があるから介護ロボットを導入するのではなく、ケアの在りたい姿や現場の課題解決に資する介護ロボットを検討した上で、自事業所・施設として必要なものを導入することが重要である。また、導入した介護ロボットをどのように使うか検討する体制を構築した上で、継続的にケアの質の向上に向けた PDCA を回し続けることが望ましい。特に、委員会ではどのように介護ロボットをケアの中で活用するか、利用者毎に介護ロボットの活用がケアの質の向上につながっているか、どのような利用者に活用可能か等の議論を実施することが望ましい。

本調査研究が、今後の介護ロボットの導入・活用の一助となれば幸いである。

5. 参考資料

- アンケート調査:施設調査票
- アンケート調査:職員調査票
- ヒアリングシート

5.1 アンケート調査:施設調査票

「テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究事業」 (令和3年度老健事業) 施設調査票			
■ご記入にあたってのご注意			
<ul style="list-style-type: none"> この調査票は調査対象の施設管理者または介護ロボット導入・管理担当者にご記入ください。 特に指定の無い限り、令和3年10月1日(金)現在の状況についてご回答ください。 選択肢のあるものは、選択肢の番号に1つ〇をつけてください。(記載がある場合のみ、複数回答可) 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。 令和3年11月22日(月)までに、職員票3通と併せて、同封の返信用封筒にて、返送ください。 			
■調査に関するお問い合わせ先			
「テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究事業」事務局			
電話 :03-6409-6295(平日 9:30~17:30) ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎			
住所 :東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル6F			
株式会社RJCリサーチ内			
問1 施設の基本情報			
(1) 開設種別	1 介護老人福祉施設(短期入所含む) 2 地域密着型介護老人福祉施設(短期入所含む) 3 特定施設入居者生活介護 4 地域密着型特定施設入居者生活介護 5 その他 (<input type="text"/>)		
(2) 事業所番号	<input type="text"/>		
(3) 施設形態 ※回答可能な施設のみ	1 従来型個室 2 多床室 3 ユニット型個室 4 ユニット型個室の多床室 5 その他・回答不可		
(4) 開設年度	西暦	年	月
(5) 施設の定員数	人 (10月1日現在)		
施設の入所者数	人 (10月1日現在)		
(5) 施設の職員数 ※介護福祉士は常勤換算人員 でご記入ください	1 管理者	人	
	2 介護職員	人	うち介護福祉士 <input type="text"/> 人
	3 医療職	人	
	4 事務職等	人	
(6) 加算算定状況	夜勤職員配置加算	1 算定あり(見守り機器導入) 2 算定あり(見守り機器未導入) 3 算定なし	
	日常生活継続支援加算・入居継続支援加算	1 算定あり	2 算定なし 3 非該当
	サービス提供体制強化加算	1 (Ⅰ)イ算定 2 (Ⅰ)ロ算定 3 (Ⅱ)算定 4 (Ⅲ)算定 5 算定なし 6 非該当	

問2 介護ロボット等の機器の活用状況

1. 介護ロボットの導入概況

① 見守り機器	1 導入済み →(1)～(2)を記入ください	2 未導入
② 移乗支援機器	1 導入済み →(3)～(4)を記入ください	2 未導入
③ インカム	1 導入済み →(5)を記入ください	2 未導入
④ 介護記録ソフト (タブレット等利用)	1 導入済み →(6)を記入ください ※タブレット・スマホを利用してケアをペーパーレス化	2 未導入

上の設問のいずれかで「導入済み」を選択した方は、対応する(1)～(6)にお答えください。※見守り機器・移乗支援機器について3種類以上導入している場合、台数が多いもの2機種について記載ください。

(1) 見守り機器①	機器・機種名			
① 初回導入年月	西暦	年	月	※1台目の導入時期
② 初回導入台数		台		
③ 現体制となった時期	西暦	年	月	
④ 現在導入済みの台数		台		
⑤ 導入支援の活用	公的支援(補助金等)を活用した機器:導入済みのうち			台
⑥ 稼働中の台数		台		
(2) 見守り機器②	機器・機種名			
① 初回導入年月	西暦	年	月	※1台目の導入時期
② 初回導入台数		台		
③ 現体制となった時期	西暦	年	月	
④ 現在導入済みの台数		台		
⑤ 導入支援の活用	公的支援(補助金等)を活用した機器:導入済みのうち			台
⑥ 稼働中の台数		台		
(3) 移乗支援機器①	機器・機種名			
① 現在の使用頻度	1. ほぼ毎日、 2. 2～3日に1回、 3. 週に1回かそれ未満			
② 初回導入年月	西暦	年	月	※1台目の導入時期
③ 初回導入台数		台		
④ 現体制となった時期	西暦	年	月	
⑤ 現在導入済みの台数		台		
⑥ 導入支援の活用	公的支援(補助金等)を活用した機器:導入済みのうち			台
⑦ 稼働中の台数		台		
(4) 移乗支援機器②	機器・機種名			
① 現在の使用頻度	1. ほぼ毎日、 2. 2～3日に1回、 3. 週に1回かそれ未満			
② 初回導入年月	西暦	年	月	※1台目の導入時期
③ 初回導入台数		台		
④ 現体制となった時期	西暦	年	月	
⑤ 現在導入済みの台数		台		
⑥ 導入支援の活用	公的支援(補助金等)を活用した機器:導入済みのうち			台
⑦ 稼働中の台数		台		

(5) インカムの状況										
① 機器概要	タイプ	1 トランシーバー			2 スマートフォン(アプリ)			3 その他		
	機種名									
② 導入済みの台数				台						
③ 導入支援の活用		公的支援(補助金等)を活用した機器:導入済みのうち							台	
④ 稼働中の台数				台						
⑤ 利用職種	介護職	1 全員			2 一部			3 未導入		
	看護職	1 全員			2 一部			3 未導入		
	その他専門職・管理職	1 全員			2 一部			3 未導入		
⑥ 導入年月		西暦		年		月	※1台目の導入時期			
⑦ 利用頻度 (あてはまるもの1つに○) ※直近1か月の状況		1 毎日			2 週2~3回			3 週1回		
		4 月2~3回			5 月1回			6 数ヶ月に1回		
		7 その他()								
(6) 介護記録ソフト(タブレット・スマホ入力方式)の状況 ※現場のペーパーレス化にお取り組みの場合に回答ください										
① 機器・機種名										
② 主な操作場所 (あてはまるもの全てに○)		1 ベッドサイド・食堂等			2 事務所・ステーション					
		3 その他()								
③ 導入年月		西暦		年		月				
④ 導入済みの入力端末台数				台						
⑤ 稼働中の入力端末台数				台						

問3 介護ロボット等に関する組織的な取組み									
1. 安全かつ有効活用するための委員会の状況									
(1) 委員会を設置していますか(あてはまるもの1つに○)		1 設置している 2 設置していない							
上の設問で「設置している」を選択した方は、(2)~(5)にお答えください									
(2) 委員会の開催頻度はどれぐらいですか(あてはまるもの1つに○)		1 月1回以上			2 2ヶ月に1回			3 3ヶ月に1回	
		4 6ヶ月に1回			5 1年に1回				
		6 不定期に開催			過去1年間に				回開催
(3) どのような位置づけで設置していますか(あてはまるもの1つに○)		1 独立して設置 2 他の会議体と併設(既存の会議体で併せて協議) 3 その他()							
(4) どのような参加者で構成されていますか(該当する数字を記入、該当者がいない場合は0「ゼロ」を記入)		1 管理者(施設長等)							名
		2 介護職員							名
		3 医師							名
		4 看護師							名
		5 リハビリテーション専門職							名
		6 その他()							名
		委員の総人数							名

(5) 委員会での協議内容はどのようなものですか(あてはまるもの全てに○)	1 介護ロボット活用中の利用者の状況確認 2 介護ロボットを活用したケアの質の向上・確保 3 介護ロボット適応可否の検討(既存利用者、新規利用者) 4 ヒヤリハット・事故等の発生状況確認 5 機器の不具合等の発生状況共有 6 職員の負担を軽減する運用方法の検討・効果の把握 7 利用方法の相談・工夫の共有 8 機器の新規導入や追加導入に向けた検討・情報共有 9 メーカーからの技術情報の報告・共有 10 その他()								
(6) 現場の意見をどのように反映していますか(あてはまるもの全てに○)	1 現場を代表する職員が委員として参加している 2 委員が現場の職員の意見を聞く機会を定期的に設けている 3 書面アンケート等で定期的に意見を収集している 4 施設職員参加のSNSやメールなどで随時意見を収集している 5 その他()								
2. 継続的に実施する教育・研修等の状況									
(1) 直近1年以内に、介護ロボットに関する職員向け教育・研修を実施しましたか(あてはまるもの1つに○)	1 実施した 2 実施していない								
上の設問で「実施した」を選択した方は、(2)～(6)にお答えください									
(2) いくつかのテーマで何回開催しましたか(あてはまる数字を記入)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">設定したテーマ</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">件</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>開催回数(延べ)</td> <td></td> <td>回</td> <td></td> </tr> </table>	設定したテーマ		件		開催回数(延べ)		回	
設定したテーマ		件							
開催回数(延べ)		回							
(3) 誰が対象者・参加者でしたか(あてはまるもの全てに○)	1 介護職職員(パート等含む) 2 医療職職員 3 施設長等の管理職 4 事務を担当する職員(パート等含む) 5 その他()								
(4) どのような方式で開催しましたか(あてはまるもの全てに○)	1 対面・講義形式 2 オンライン講座(Zoom等) 3 ビデオ講座・DVD講座(受講者の都合で自由に受講) 4 e-ラーニング(パワーポイント形式の資料) 5 その他()								
(5) 誰が講師(話題提供者)を担当しましたか(あてはまるもの全てに○)	1 施設の介護ロボット担当者 2 施設の一般職員 3 メーカーや販売代理店の担当者 4 他施設の利用経験者 5 その他()								
(6) 実施にあたって、メーカーや販売代理店の支援を受けたケースがありますか(あてはまるもの全てに○)	1 講師の招聘 2 研修用資料の提供 3 試用機器の無料貸し出し 4 支援を受けたことはない 5 その他()								

3. 介護ロボット導入をきっかけとする利用者及び自施設に関するデータ分析内容			
(1) データ分析の実施有無を教えてください	1 実施したことがある 2 実施していない		
上の設問で「実施したことがある」とご回答した方は、(2)～(3)にお答えください			
(2) 実施頻度はどれくらいですか(あてはまるもの1つに○)	1 現在、定期的に実施している → 年()回程度 2 現在、不定期に実施している 3 過去に、定期的に実施していた 4 過去に、不定期に実施していた 5 その他()		
(3) 分析項目を教えてください(あてはまるもの全てに○)	1 利用者のADL・IADL 2 利用者の認知機能 3 利用者の行動心理症状 4 利用者の栄養状態 5 利用者の口腔・嚥下機能 6 その他()		
4. 介護ロボット等の安全な運用			
(1) 介護ロボットを考慮した安全体制の確保に対応していますか(あてはまるもの1つに○)			
① 勤務・雇用条件への配慮(十分な休憩時間の確保等)	1 対応済み	2 対応中	2 対応していない
② 緊急時の体制整備(近隣在住職を中心とした緊急参集委員の確保等)	1 対応済み	2 対応中	2 対応していない
③ 機器の不具合の定期チェックの実施(メーカー連携等)	1 対応済み	2 対応中	2 対応していない
④ 夜間の訪室が必要な利用者に対する訪室の個別実施	1 対応済み	2 対応中	2 対応していない

問4 職員の変化、利用者の変化について			
(1) 介護ロボットの導入によりケアのオペレーションを変更しましたか(あてはまるもの1つに○)	1 変えた 2 これから変える予定 3 変えていない、変える計画はない 4 わからない		
上の設問で「変えた」「これから変える予定」を選択した方は、(2)～(6)にお答えください (「これから変える予定」の場合は、今後の見込み・期待する結果をお答えください)			
(2) オペレーションの変更は、どの機器の導入を踏まえたものですか(あてはまるもの全てに○)	1 見守り機器	2 移乗支援機器	
	3 インカム	4 介護記録ソフト	
	5 その他()		

(3) 以下の業務について、変更の状況をお答えください(あてはまるもの1つに○)			
① 定期訪問(巡回)	1 やめた 具体的内容()	2 減らした	2 変えない
② 定時の排泄介助	1 やめた 具体的内容()	2 減らした	2 変えない
③ 上記①②以外の個別対応(訪問・排泄介助等)	1 変えた 具体的内容()		2 変えない
④ 総訪問回数(①+②+③の合計数)	1 減った 具体的内容()	2 変わらない	3 増えた
⑤ その他、変更内容があれば具体的にご記入ください。			
(4) 以下の事項について、変更の状況をお答えください(あてはまるもの1つに○)			
① 休憩時間・仮眠時間の運用	1 変える(予定) 変更の内容()		2 変えない
② 時間外勤務管理	1 変える(予定) 変更の内容()		2 変えない
③ 勤務時間管理	1 変える(予定) 変更の内容()		2 変えない
(5) 変更した結果、以下の事項についての変化をお答えください(あてはまるもの1つに○)			
① 残業時間	1 増えた 変化の内容()	2 変わらない	3 減った
② 平均勤務時間	1 増えた 変化の内容()	2 変わらない	3 減った
③ 夜勤職員の平均労働時間	1 増えた 変化の内容()	2 変わらない	3 減った
④ 有給休暇の取得状況	1 増えた 変化の内容()	2 変わらない	3 減った
⑤ 職員の定着(離職)状況	1 離職者は増加 変化の内容()	2 変わらない	3 離職者は減少

(1)の設問で「変えた」を選択した方は、(6)～(10)にお答えください

(6) 以下の点について職員の行動や意識が変化しましたか(－3から3のうち1つに○)

	←そう思わない	変化なし	そう思う→
① 気持ちに余裕ができた	-3	-2	-1 0 1 2 3
② 身体的負担(体の痛みなど)が軽減した	-3	-2	-1 0 1 2 3
③ 精神的負担(ストレスなど)が軽減した	-3	-2	-1 0 1 2 3
④ 利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑤ 訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑥ 利用者の行動パターンが把握できるようになった	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑦ 事故原因分析の参考情報にできた	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑧ 優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中等)	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑨ 利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等)	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑩ 休憩時間に休むことができるようになった	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑪ 必要以上に利用者を見に行くことになった	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑫ 走って訪室することが減った	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑬ 機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑭ 訪室回数合計が減った	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑮ 自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑯ 利用者により良いケアが提供できるようになった	-3	-2	-1 0 1 2 3
⑰ 教育をする(教育をうける)時間を確保できるようになった	-3	-2	-1 0 1 2 3

(7) 以下について職員のモチベーションで介護ロボットを導入する前後で変化しましたか(－3から3のうち1つに○)

	←減少したと感じる	増加したと感じる→
1 機器導入による、仕事のやりがいの変化	-3	-2 -1 0 1 2 3
2 機器導入による、職場の活気の変化	-3	-2 -1 0 1 2 3

(8) 介護ロボット機器を導入して、「ケアの質」に関して一番変わったと感じる点について、お答えください。

(9) 以下の事項について利用者の行動等が変化しましたか(－3から3のうち最も近いもの1つに○)

	←そう思わない	変化なし	そう思う→
① 利用者の自立支援につながる機会が増えた	-3	-2	-1 0 1 2 3
② 利用者の社会参加が増えた	-3	-2	-1 0 1 2 3

(10) 介護ロボット機器を導入して、利用者の行動が一番変わったと感じる点があれば、お答えください。

<p>問5 【加算の見直し】「見守り機器等を導入した場合の夜勤職員配置加算の見直し」について</p> <p>この設問は、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、短期入所生活介護において「夜勤職員配置加算」を算定している施設のみお答えください。</p> <p>最低基準に加えて配置する人数が「0.9人(見守り機器導入割合が10%以上)」「0.6人(見守り機器導入割合が100%以上)」と改訂されたことに関連してお聞きします。</p>	
<p>(1) 見直し後の夜勤配置加算を算定していますか</p>	<p>1 はい →(2)にお進みください</p> <p>2 いいえ →(8)にお進みください</p>
<p>上の設問で「はい」と回答した方は(2)～(7)にお答えください</p>	
<p>(2) どの緩和要件に合致していますか(あてはまるもの1つに○)</p>	<p>1 「0.9人(見守り機器導入割合が10%以上)」</p> <p>2 「0.6人(見守り機器導入割合が100%以上)」</p>
<p>(3) 緩和で得られた時間は、職員の就労条件にどのように反映していますか(当てはまるもの1つに○)</p>	<p>1 夜勤職員の就業時間短縮 (勤務開始の繰り延べ、勤務終了時間の切上、等)</p> <p>2 夜勤中の休憩・仮眠時間の拡充</p> <p>3 夜勤中に別業務(兼務)時間を割当</p> <p>4 何も変更していない(従来勤務体制のまま)</p> <p>5 その他 ()</p>
<p>※1～4を選んだ方は、具体的な内容をご記入ください</p>	
<p>上の設問で「夜勤中に別業務(兼務)時間を割当」と回答した方は、(4)～(6)にお答えください</p>	
<p>(4) 別業務の内容は具体的にどのようなものですか(あてはまるもの全てに○)</p>	<p>1 当該ユニット・フロアに関する業務 (整理清掃、用具・備品の管理、等)</p> <p>2 別ユニット・フロアに関する夜勤業務</p> <p>3 別ユニット・フロアに関する業務 (整理清掃、用具・備品の管理、等)</p> <p>4 別事業所(同一建物・敷地内の別施設等)に関する夜勤業務</p> <p>5 別事業所(同一建物・敷地内の別施設等)に関する業務 (整理清掃、用具・備品の管理、等)</p> <p>6 その他 ()</p>
<p>※1～5を選んだ方は、具体的な内容をご記入ください</p>	
<p>(5) 従来の運用と比較してのメリットとデメリットは何か</p>	<p>職員にとっての メリット・デメリット</p> <p>施設としての メリット・デメリット</p>

(3)で「何も変更していない(従来勤務体制のまま)」と回答した方は(6)～(7)にお答えください	
(6) 変更しない理由は何ですか (当てはまるもの全てに○)	1 事務手続きが煩雑 2 緩和された分の人員の配置の仕方がわからない 3 ケアの質の維持がむずかしい 4 安全体制の確保がむずかしい 5 その他 ()
(7) 今後、職員の終了条件に反映される予定はありますか (当てはまるもの1つに○)	1 できるだけ早期に対応したい 2 検討中・検討を行いたい 3 計画はない 4 わからない 5 その他 ()
(1)で「いいえ」と回答した方は、(8)～(10)にお答えください	
(8) 加算を算定しない理由は何ですか (当てはまるもの全てに○)	1 事務手続きが煩雑 2 既に職員を加配しているので緩和された要件の必要が無い 3 必要としない 4 要件を満たさない→その内容 その内容() 5 加算の対象外 6 その他 ()
(9) 夜勤業務における安全体制確保について、課題を感じますか(あてはまるもの1つに○)	1 課題を特に感じない 2 課題を認識しているが、現行の体制で問題に対処できる 3 多くの課題を認識しており、一層の工夫・改善に取り組んでいる
※2～3を選んだ方は、課題の具体的な内容をご記入ください	
(10) 今後加算の活用を考えていますか(あてはまるもの1つに○)	1 できるだけ早期に対応したい 2 今後検討を行いたい 3 予定はない 4 わからない 5 その他 ()
次の設問は、全ての方がお答えください	
(11) 「夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準」の緩和について、何かご意見があれば、自由にご記入ください	

問6 【人員配置基準緩和】「見守り機器等を導入した場合の夜間における人員配置基準の緩和」について	
この設問は、介護老人福祉施設(従来型)、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(従来型)、短期入所生活介護(併設型短期入所生活介護(従来型))の施設のみお答えください。	
見守り機器等の導入により、配置人員数が緩和されたこと(2人→1.6人、3人→2.4人、4人→3.2人、等)についてお聞きします。	
(1) 見直しの後の基準での算定を行っていますか	1 はい →(2)にお進みください 2 いいえ →(8)にお進みください
上の設問で「はい」と回答した方は、(2)～(7)にお答えください	
(2) どの要件に合致していますか(当てはまるもの1つに○)	1 「利用者数26～60人(2.0人→1.6人)」 2 「利用者数61～80人(3.0人→2.4人)」 3 「利用者数81～100人(4.0人→3.2人)」 4 「利用者数101人以上」
(3) 人員配置基準の要件を満たすために現場と協議しましたか	1 はい →(4)にお進みください 2 いいえ →(5)にお進みください
上の設問で「はい」と回答した方は(4)にお答えください	
(4) 協議の結果、新たに実施することとした事項は何ですか(当てはまるもの全てに○)	1 夜勤体制の在り方(勤務時間・休憩時間等) 2 定期巡視の実施方法変更(直接の定期巡視の廃止・頻度削減等) 3 見守り機器を活用するための環境整備(携帯端末配備等) 4 十分な休憩時間の確保等の勤務・雇用条件の改訂 5 機器の不具合の定期チェック等の実施 6 機器担当者の設置等、体制整備 7 テクノロジー活用に関する教育・研修の定例化 8 その他 ()
(5) 基準緩和を受けて、実人員の配置は変化しましたか(当てはまる数字を記入)	従来配置人数 () 人 緩和後配置人数 () 人
(6) 緩和を受けて、業務オペレーションを変更しましたか(当てはまるもの1つに○)	1 夜間に行っていた業務の一部を昼間に移した 2 定期訪問を廃止した 3 定期訪問の順路や回数を変更した 4 何も変更していない 5 その他
※1～3、5を選んだ方は、具体的な内容をご記入ください	
(7) 基準緩和による影響や効果についてお答えください(当てはまるもの全てに○)	1 夜勤が減り、職員の負担が軽減した 2 日勤に手厚く人員配置できるようになった 3 教育・研修等の時間確保が楽になった(特に夜勤専門の職員) 4 シフトを組むのが楽になった、パート等の採用がしやすくなった 5 夜勤に従事する職員の意欲が高まった 6 何も変わっていない 7 その他 ()

(1)で「いいえ」と回答した方は、(8)～(10)にお答えください	
(8) 加算を算定しない理由は何ですか (当てはまるもの全てに○)	1 事務手続きが煩雑 2 必要としない 3 要件を満たさない→その内容 () 4 加算の対象外 5 その他 ()
(9) 夜勤業務における安全体制確保について、課題を感じますか(当てはまるもの1つに○)	1 課題を特に感じない 2 課題を認識しているが、現行の体制で問題に対処できる 3 多くの課題を認識しており、一層の工夫・改善に取り組んでいる
※2～3を選んだ方は、課題の具体的な内容をご記入ください	
(10) 今後加算の活用を考えていますか(当てはまるもの1つに○)	1 できるだけ早期に対応したい 2 今後検討を行いたい 3 予定はない 4 わからない 5 その他 ()
次の設問は、全ての方がお答えください	
(11) 要件緩和を実務に展開するにあたって、課題とお感じの点があれば、ご自由にご記入ください	

問7 【算定要件緩和】「テクノロジーの活用によるサービスの質の向上や業務効率化の推進」について

この設問は、介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、特定施設入居者生活介護または地域密着型特定施設入居者生活介護において、「日常生活継続支援加算」または「入居継続支援加算」を算定している施設のみお答えください。

テクノロジーを活用した複数機器の導入とオペレーションの改善により、介護福祉士の配置要件が緩和(6:1→7:1)されたことについてお聞きします。

(1) 基準緩和の要件を満たしているか	1 はい →(2)にお進みください 2 いいえ →(7)にお進みください
上の設問で「はい」と回答した方は(2)～(6)にお答えください	
(2) 基準緩和を受けて、実人員の配置は変化しましたか(当てはまる数字を記入)	① 従来の配置人数 () 人 /利用者 () 人 ② 緩和後配置人数 () 人 /利用者 () 人
(3) 加算をとる際に、要件を満たすために現場と協議しましたか	1 はい →(4)にお進みください 2 いいえ →(5)にお進みください
上の設問で「はい」と回答した方は(4)にお答えください	
(4) 協議の結果、新たに実施することとした事項は何ですか(当てはまるもの全てに○)	1 介護ロボットの運営のための委員会の設置 2 十分な休憩時間の確保等の勤務・雇用条件の改訂 3 機器の不具合の定期チェック等の体制整備 4 近隣在住職員の緊急参集体制などの緊急時の体制の改訂 5 テクノロジー活用に関する教育・研修の定例化 7 その他 ()

	(5) 要件緩和を受けて、業務オペレーションを変更した点があれば、ご紹介ください	
	(6) 緩和後の基準の算定を受けるにあたって、課題と感じている点をお答えください (当てはまるもの全てに○)	1 機器の導入が負担 2 安全角の体制を整備する人的資源が不足 3 3ヶ月の試行と、その実効性を確認する方法がわからない 4 緩和要件そのものに魅力が薄い 5 その他 (<input type="text"/>)
(1)で「いいえ」と回答した方は、(7)～(9)にお答えください		
	(7) 加算を算定しない理由は何ですか (当てはまるもの全てに○)	1 事務手続きが煩雑 2 必要としない 3 要件を満たさない→その内容 (<input type="text"/>) 4 加算の対象外 5 その他 (<input type="text"/>)
	(8) ICT機器導入後の安全体制確保について、課題を感じますか(あてはまるもの1つに○)	1 課題を特に感じない 2 課題を感じるが、体制の工夫で対応できる 3 多くの課題を感じており、配置人員を減らすことはできない
	※2～3を選んだ方は、課題の具体的な内容をご記入ください	
	(9) 今後加算の活用を考えていますか(あてはまるもの1つに○)	1 できるだけ早期に対応したい 2 今後検討を行いたい 3 予定はない 4 わからない 5 その他 (<input type="text"/>)
次の設問は、全ての方がお答えください		
	(10) 要件緩和を実務に展開するにあたって、課題とお感じの点があれば、ご自由にご記入ください	

問8 その他自由意見		
	介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定について、自由にご記入ください	

5.2 アンケート調査:職員調査票

「テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究事業」(令和3年度老健事業)職員調査票																																	
<p>■この調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> 弊社では、令和3年度老健事業「テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究事業」に取り組んでおります。 本調査は、ケアの質の維持・向上や職員の負担軽減に資する先進的な取組について詳細把握を行い、テクノロジー活用によるケアの質や職員の負担への影響を整理し、取りまとめることを目的としております。 この職員向け調査票は、施設向け調査票と同時に提出いただくことで、職員の皆様の負担への影響を分析することを狙いとして、介護ロボットを活用している職員の方にご協力をお願いいたします。 回答いただいた調査票は、封筒に入れて糊付け頂き、貴施設の調査担当者にお渡しください。 回答いただいた内容について、個人の回答内容を貴施設に回答することはありません。また、結果は集計の上、個人が特定されない形で公表されます。 今後の介護ロボットの導入に向けて、忌憚のないご意見を頂きますよう、よろしくおねがいします。 																																	
<p>■ご記入にあたってのご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> この調査票は介護施設の現場で介護ロボットを日ごろから活用する職員の方がご記入ください。 特に指定の無い限り、令和3年10月1日(金)現在の状況についてご回答ください。 選択肢のあるものは、選択肢の番号に1つ〇をつけてください。(記載がある場合のみ、複数回答可) 数字を記入する欄が0(ゼロ)の場合は「0」とご記入ください。 同封の職員票専用の返信用封筒に封緘して、貴施設のご担当者にお渡しください。(締切日は、ご担当者にご確認ください) 																																	
<p>■調査に関するお問い合わせ先</p> <p>「テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究事業」事務局</p> <p>電話 :03-6409-6295(平日 9:30~17:30) ◎お問い合わせの際に、調査名をお伝えください◎</p> <p>住所 :東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル6F</p> <p>株式会社RJCリサーチ内</p>																																	
<p>問1. 職員概要</p> <table border="1"> <tr> <td>性別</td> <td>1.男・2.女・3.その他</td> <td>年齢階級</td> <td>1.10歳代・2.20歳代・3.30歳代・4.40歳代・5.50歳代・6.60歳代・7.70歳代～</td> </tr> <tr> <td>職種</td> <td colspan="3">1.介護福祉士・2.介護職員(介護福祉士以外)・3.看護職員 4.リハビリ職(機能訓練指導員を含む)・5.相談員・6.事務職員 7.その他()</td> </tr> <tr> <td>役職</td> <td colspan="3">1.経営層・2.管理者・リーダー・3.一般職・4.その他()</td> </tr> <tr> <td>現状の職種での経験年数</td> <td>年</td> <td>ヶ月</td> <td></td> </tr> </table>		性別	1.男・2.女・3.その他	年齢階級	1.10歳代・2.20歳代・3.30歳代・4.40歳代・5.50歳代・6.60歳代・7.70歳代～	職種	1.介護福祉士・2.介護職員(介護福祉士以外)・3.看護職員 4.リハビリ職(機能訓練指導員を含む)・5.相談員・6.事務職員 7.その他()			役職	1.経営層・2.管理者・リーダー・3.一般職・4.その他()			現状の職種での経験年数	年	ヶ月																	
性別	1.男・2.女・3.その他	年齢階級	1.10歳代・2.20歳代・3.30歳代・4.40歳代・5.50歳代・6.60歳代・7.70歳代～																														
職種	1.介護福祉士・2.介護職員(介護福祉士以外)・3.看護職員 4.リハビリ職(機能訓練指導員を含む)・5.相談員・6.事務職員 7.その他()																																
役職	1.経営層・2.管理者・リーダー・3.一般職・4.その他()																																
現状の職種での経験年数	年	ヶ月																															
<p>問2. 機器導入によるモチベーションの変化</p> <p>※ この設問では、介護ロボットを導入する前後のあなたのモチベーションの変化についてお伺いします</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="4">←減少したと感じる</th> <th colspan="3">増加したと感じる→</th> </tr> <tr> <th></th> <th>-3</th> <th>-2</th> <th>-1</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 機器導入による、仕事のやりがいの変化</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 機器導入による、職場の活気の変化</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			←減少したと感じる				増加したと感じる→				-3	-2	-1	0	1	2	3	1 機器導入による、仕事のやりがいの変化								2 機器導入による、職場の活気の変化							
	←減少したと感じる				増加したと感じる→																												
	-3	-2	-1	0	1	2	3																										
1 機器導入による、仕事のやりがいの変化																																	
2 機器導入による、職場の活気の変化																																	
<p>問3. 機器導入による夜間勤務職員の行動や意識の変化</p> <p>※ この設問では、介護ロボットを導入する前後の行動・意識の変化についてお伺いします</p> <p>(1) 次の事項についての変化を、あなたのお考えでお答えください</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 増えた</th> <th>2 変わらない</th> <th>3 減った</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 残業時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 平均勤務時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 夜勤職員の平均労働時間</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 有給休暇の取得状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 職員の定着(離職)状況</td> <td>1 離職者は増加</td> <td>2 変わらない</td> <td>3 離職者は減少</td> </tr> </tbody> </table>			1 増えた	2 変わらない	3 減った	① 残業時間				② 平均勤務時間				③ 夜勤職員の平均労働時間				④ 有給休暇の取得状況				⑤ 職員の定着(離職)状況	1 離職者は増加	2 変わらない	3 離職者は減少								
	1 増えた	2 変わらない	3 減った																														
① 残業時間																																	
② 平均勤務時間																																	
③ 夜勤職員の平均労働時間																																	
④ 有給休暇の取得状況																																	
⑤ 職員の定着(離職)状況	1 離職者は増加	2 変わらない	3 離職者は減少																														

(2) 以下の事項についてあなたの行動や意識が変化しましたか(−3から3のうち最も近いもの1つに○)								
		← そう思わない		変化なし			→ そう思う →	
①	気持ちに余裕ができた	-3	-2	-1	0	1	2	3
②	身体的負担(体の痛みなど)が軽減した	-3	-2	-1	0	1	2	3
③	精神的負担(ストレスなど)が軽減した	-3	-2	-1	0	1	2	3
④	利用者とのコミュニケーションやケアの時間が充分に取れるようになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑤	訪室しなくても利用者の状況が分かるようになった(即時性)	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑥	利用者の行動パターンが把握できるようになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑦	事故原因分析の参考情報にできた	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑧	優先順位の判断ができるようになった(同時コールの発生、他の利用者の介護中)	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑨	利用者のペースに合わせた介助ができるようになった(予測による予防介入、訪室タイミング、声かけの内容等)	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑩	休憩時間に休むことができるようになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑪	必要以上に利用者を見に行くことになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑫	走って訪室することが減った	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑬	機器対象者以外の利用者へのケア時間が増えた	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑭	訪室回数合計が減った	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑮	自分の専門性を発揮する時間が確保できるようになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑯	利用者により良いケアが提供できるようになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
⑰	教育をする(教育をうける)時間を確保できるようになった	-3	-2	-1	0	1	2	3
(3)	介護ロボット機器を導入して、「ケアの質」に関してあなたが一番変わったと感じる点について、お答えください							
問4. 機器導入による利用者の変化								
※ この設問では、介護ロボットを導入する前後の利用者の行動の変化についてお伺いします								
(1) 以下の事項について利用者さんの行動等が変化しましたか(−3から3のうち最も近いもの1つに○)								
		← そう思わない		変化なし			→ そう思う →	
①	利用者の自立支援につながる機会が増えた	-3	-2	-1	0	1	2	3
②	利用者の社会参加が増えた	-3	-2	-1	0	1	2	3
(2)	介護ロボット機器を導入して、利用者さんの行動に関してあなたが一番変わったと感じる点を、お答えください							

職員向け調査票は以上です。

5.3 ヒアリングシート

テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究「ヒアリングシート」	
ヒアリング 日時:	2021年 ●月●日 ●●:●●~●●:●●
ヒアリング参加者:	●●●●
ヒアリング 場所:	WEB開催
【0】 ロボット導入概況	
①	導入ロボット機種（重点分野と名称）
②	ロボットの使用期間（導入から ●年）
③	導入率、導入台数（全体で●台、 ユニット当たり●台）
【1】 介護ロボットを活用した人員配置変更の状況	
①	加算の要件緩和を踏まえた人員配置変更の状況についてお教えてください。
②	見直し後の夜勤職員配置加算算定、人員配置基準算定、継続支援加算算定の状況についてお教えてください。
【2】 介護ロボットを活用した人員配置変更の具体的なプロセス	
○	アンケートでご回答いただいた介護ロボットを活用した人員配置変更の具体的なプロセスについて、お教えてください。（定期巡回、定時の排泄介助等）

テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究「ヒアリングシート」

【3】 人員配置変更するに当たっての課題
① 職員視点目線からの課題についてお教えてください。 例：職員の理解、教育・研修など、
② 施設運営面での課題についてお教えてください。 例：〇〇〇など、
【4】 緩和された分の活用状況について
○ 緩和された分の活用状況について、ご紹介ください。
【5】 人員配置変更によるアウトカム（職員・利用者への影響）
① 職員への影響（負担軽減・効率化）
② 利用者への影響（自立支援・ケアの質の向上）
③ 施設への影響（コスト、人材等）

テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究「ヒアリングシート」

【6】	ICT機器導入後の安全体制確保について <input type="radio"/> ICT機器導入後の安全体制確保についての課題をお教えてください
【7】	今後の施設においてテクノロジー活用を進めていくための課題、求められる視点等 ① 推進していくにあたっての課題についてお教えてください ② 求められる視点等についてお教えてください。
【8】	最後に、介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定についてお聞かせください <input type="radio"/> 介護ロボット導入による加算及び人員配置基準等の改定について、自由にお考えをご紹介します。

(2021/11/30版)

ヒアリング調査の事項は以上となります。 調査にご協力くださりましてありがとうございました。

令和3年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)
テクノロジーを活用した効率的な人員配置体制に関する調査研究事業 報告書

令和4(2022)年3月発行

株式会社三菱総合研究所
ヘルスケア&ウェルネス本部
〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3
TEL 03(6858)0503 FAX 03(5157)2143

本調査研究は、令和3年度老人保健事業推進費等補助金の助成を受け行ったものです。